

数量公開用図書

設計日

令和8年5月

工事名称 広野団地個別改善工事

工事場所 帯広市広野町西2線152番4

※注意事項

- ①本設計書は参考数量として取り扱い、数量の相違については、各々の判断で入札価格に反映させてください。

□工事概要

1. 工 期 契約上の着手日から令和8年12月11日まで

2. 建物概要 広野団地R-1号棟（6戸）
構 造 セラミックブロック造 2階建
建物面積 274.21㎡
延床面積 485.22㎡

広野団地R-2号棟（4戸）
構 造 セラミックブロック造 2階建
建物面積 172.43㎡
延床面積 299.28㎡

3. 工事内容 1, 共用部及び住戸内手摺設置 R-1・R-2号棟
2, 住戸誘導支援システム R-1・R-2号棟

4. 別途工事 広野団地屋根改修工事

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

R-1建築工事		共用手摺				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1) 金属工事						
1-①手摺	高耐侯性樹脂被覆 1型34φ×600	1	か所			
1-②手摺	高耐侯性樹脂被覆 床支持型40φ×670H	1	か所			
1-②手摺シーリング	変成シリコン MS-2 10×10	0.3	m			
1-③手摺	廊下 樹脂被覆 40φ×750H	45.8	m			
1-④手摺	階段 樹脂被覆 40φ750H	10.8	m			
計						

R-1建築工事		住戸内手摺				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1) 木工事						
2-①手摺集成材下地	100W×1000L×20 t 玄関 洗面脱衣	12	か所			
2-②手摺木下地	下地用製材 胴縁含む UB	6	か所			
小計						
2) 金属工事						
2-①I型手摺	樹脂被覆 1型34φ×600L 玄関 洗面脱衣	12	か所			
2-①I型手摺	樹脂被覆 1型34φ×600L UB	6	か所			
小計						
3) 塗装工事						
WUC	素地ごしらえ 一般木部 2回塗 工程B種 2液型	12	m			
小計						
4) 内外装工事						
壁化粧ケイカル板 5t張り	ジョイナー使用 釘打張り	12.5	m ²			
小計						
5) ユニット工事						

R-1 電気設備工事		誘導支援設備		インターホン		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
配管	Fモール	1	式			
合成樹脂線び	PR24	99	m			
計						
ケーブル		1	式			
600Vボリエチレン絶縁耐燃性ボリエチレンシースケーブル扁平形 EM-EEF	1.6mm- 2C 管内	4.8	m			
EM-AEケーブル	0.9 mm- 2C 管内	98	m			
EM-AEケーブル	0.9 mm- 2C ビット・天井	22.7	m			
EM-AEケーブル	0.9 mm- 4C 管内	49.8	m			
計						

R-1 電気設備工事		誘導支援設備		インターホン		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
配線器具		1	式			
トリル呼出表示器等	トリル呼出用押釦 埋込型 引き紐付き	24	個			
ホテル用ブランクカバー	樹脂製	3	個			
フラッシュプレート (樹脂製)	角型 フラック	3	個			
フラッシュプレート (金属製)	丸型 フラック	3	個			
照明・換気扇SW取り付け	1P15A×2	6	個			
照明・換気扇SW取り外し	1P15A×2	6	個			
計						
ボックス類		1	式			
合成樹脂線び付属品	露出スイッチボックス 1個用 (浅型)	15	個			
1種金属線び(MM1)付属品	A型(25.4mm) ジャンクションボックス	6	個			
モール用スイッチ枠	1ヶ用	3	個			
あと付はさみ取付枠	樹脂製	12	個			
計						

R-2 電気設備工事		誘導支援設備		インターホン		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
配線器具		1	式			
トル呼出表示器等	トル呼出用押釦 引き紐付き	16	個			
ホテル用ブランク カバー	樹脂製	2	個			
フッシュプレート (樹脂製)	角型 フランク	2	個			
フッシュプレート (金属製)	丸型 フランク	2	個			
計						
ボックス類		1	式			
合成樹脂線び 付属品	露出スイッチボックス 1個用 (浅型)	10	個			
1種金属線び(MM1) 付属品	A型(25.4mm) ジャンクションボックス	4	個			
モジュール用スイッチ 枠	1ヶ用	2	個			
あと付はさみ 取付枠	樹脂製	8	個			
計						

R-2 電気設備工事		誘導支援設備		インターホン		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
はつり工事		1	式			
穴あけ加工	8Φ ドリル明け	10	か所			
計						
撤去工事		1	式			
チャイム本体撤去 再使用しない	AC100V	4	個			
チャイム押し釦 撤去 再使用しない		4	個			
非常押し釦撤去 再使用しない	埋込型 樹脂プレート	4	個			
非常押し釦 再使用しない	埋込型 防沫型	2	個			
ランプ付き警報 フリッカーブザー	AC100V 90dB 防滴型	2	個			
600V絶縁ケーブル 撤去	1.6mm ² - 2C 管内 再使用しない	28.2	m			
600V絶縁電線 撤去	1.2mm ² × 1本 再使用しない	5.6	m			
計						

広野団地個別改善工事

特記仕様書

令和 8 年 5 月

帯広市都市環境部都市建築室住宅営繕課

● 共通事項特記仕様書

I 工事概要及び範囲

II 各 工 事

● 第1章 一般共通事項

○ 新営工事特記仕様書

○ 第2章 仮 設 工 事

○ 第3章 土 工 事

○ 第4章 地 業 工 事

○ 第5章 鉄 筋 工 事

○ 第6章 コンクリート工事

○ 第7章 鉄 骨 工 事

○ 第8章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

○ 第9章 防 水 工 事

○ 第10章 石 工 事

○ 第11章 タイル工事

○ 第12章 木 工 事

○ 第13章 屋根工事及びとい工事

○ 第14章 金 属 工 事

○ 第15章 左 官 工 事

○ 第16章 建 具 工 事

○ 第17章 カーテンウォール

○ 第18章 塗 装 工 事

○ 第19章 内 装 工 事

○ 第20章 ユニット及びその他工事

○ 第21章 そ の 他

● 改修工事特記仕様書

● 第2章 仮 設 工 事

○ 第3章 防水改修工事

○ 第4章 外壁改修工事

● 第5章 建具改修工事

● 第6章 内装改修工事

● 第7章 塗装改修工事

○ 第8章 耐震改修工事

● 第9章 環境配慮改修工事

○ 第10章 屋 根 工 事

○ 第11章 そ の 他

○ 建具工事特記仕様書

○ 第2章 建 具 工 事

● 共通事項特記仕様書

I 工事概要及び範囲

II 各 工 事

● 第 1 章 一般共通事項

● 電気設備工事特記仕様書

● 工 事 概 要

● 電気設備共通事項

○ 電力設備工事

○ 発電設備工事

○ 通信・情報設備工事

○ 映像・音響設備工事

○ 構内配電線路設備・構内通信線路設備

○ 環境配慮改修工事

● 機器取り付け高さ

I 工事概要及び範囲

1. 工事場所 帯広市広野町西2線152番4

2. 工事範囲 ※ 下記●は、工事対象範囲を示す。

	名称	構造種別・階数	数量	単位	備考
●	R-1号棟	セラミックブロック造 2階建	485.22	m ²	
●	R-2号棟	セラミックブロック造 2階建	299.28	m ²	
○					
○					

3. 建設工事に係る資材の再資源化に関する法律の対象の有無 ○ 有 ● 無

4. 指定部分工事

(1) 工事範囲

(2) 指定工期 契約締結の翌日から 令和 年 月 日まで

5. 別途工事

6. 施工区分（分離発注の場合のみ記入）

※ 下記●は、工事対象範囲を示す。

項目	工種				備考
	建築	電気	暖房	衛生	
躯体の設備配管用のスリーブ、箱抜等及びモルタル等の充填		○	○	○	補強は建築
上記の補強	○				
設備機器用天井、壁、床下地の開口及び開口補強	○				埋込電灯、スピーカー、ファン等
設備機器用天井、壁、床仕上材の切込		○	○	○	補強は建築
設備用天井、床点検口	○				
防火戸用煙感知器、自動閉鎖装置		○			
設備機器用基礎	○	○	○	○	
バルコニー・ルーフトップ等 排水金物	○			○	配管は衛生
流し台、ユニットバスの排水トラップ	○				接続は衛生
木製建具枠の取付け	○				建具枠のレールの欠込は建築
換気扇等取付枠	○	○	○	○	
同上 防雪フード	○		○		
外壁面入排気ガラリ及び防風板	○		○		
水道検針盤		○	○	○	
灯油集中盤への配線接続		○	○	○	

Ⅱ 各 工 事

1. 図面(閲覧用設計書を含む)及びこの特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 令和7年版(各工事編)」(以下「標準仕様書」という。)、「公共建築改修工事標準仕様書 令和7年版(各工事編)」(以下「改修標準仕様書」という。)、「公共建築木造工事標準仕様書 令和7年版」、「建築物解体工事共通仕様書 令和4年版」(以下「解体共通仕様書」という。)及び「北海道建設部土木工事共通仕様書(令和7年10月版)」による。
2. 特記事項の適用については次による。
 - (1) 章は●印を、項目は▶印の付いたものを適用する。
 - (2) 特記事項は●印の付いたものを適用する。
 - ・●印の付かない場合は、*印をつけたものを適用する。
 - ・●印と⊙印が付いた場合は、共に適用する。
 - (3) 特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の該当項目、該当図又は該当表を示す。
3. この特記仕様書に施工部位の記載のないものは図面によるものとする。
4. 本工事における工事監理業務委託の予定の有無 ○有 *無
5. 関係法令等
 - (1) 受注者は、工事の施工に当たり、周辺環境の保全に努めるとともに適用を受ける関係法令等を遵守し、必要に応じて次の関係法令等に従い手続き等を行い、適切に施工すること。
 - ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下「廃棄物処理法」という。)
 - ・ 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(以下「建設リサイクル法」という。)
 - ・ 資源の有効な利用の促進に関する法律(以下「資源有効利用促進法」という。)
 - ・ ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(以下「PCB特別措置法」という。)
 - ・ 特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律(以下「フロン回収破壊法」という。)
 - ・ ダイオキシン類対策特別措置法
 - ・ 労働安全衛生法
 - ・ 大気汚染防止法
 - ・ 騒音規制法
 - ・ 振動規制法
 - ・ 水質汚濁防止法
 - ・ 石綿障害予防規則
 - ・ 特定化学物質障害予防規則
 - ・ 建築基準法
 - ・ 環境基本法
 - ・ 土壤汚染対策法
 - ・ 建設副産物適正処理推進要綱
 - (2) 受注者は、「建設工事公衆災害防止対策要綱 建築工事等編」及び「建築物の解体工事における外壁の崩落等による公衆災害防止対策に関するガイドライン」を遵守し、災害防止に努めること。
6. 工事に係る留意事項及び施工条件は、次のとおりとする。
 - ① 工事工程表の作成については、監督員、及び施設管理者と十分打合せを行うこと。
 - ② 資材等の搬入搬出は利用状況を確認し、さらに近隣の住民の安全を確認すること。
 - ③ 住民の家具等を移動する場合は、必ず住民の了承を得てから移動すること。
 - ④ 工事日は入居者と調整の上、通知すること。
 - ⑤ 共用部の工事については、入居者の動線確保に配慮すること。
 - ⑥ 工事期間中は、各住戸に住民が居住している為、安全を最優先で施工を行うこと。
 - ⑦ 「広野団地屋根改修工事」が同時期に行われる予定であるため、資材置き場、仮設便所等を敷地内に設置する場合は、その位置について監督員と協議すること。
 - ⑧ 共用部階段手摺支柱を設置する階段ボーダー吹付タイル及び下地調整材について、アスベスト含有建材とみなして(建築年代より判断)穿孔作業を行うこと。
作業にあたっては、法令遵守及び本特記仕様書第9章に準拠して適切に措置すること。

● 第 1 章 一般共通事項															
項 目	特 記 事 項														
▶ 1. 地元材等の優先使用	本工事に使用する主要資材は、地元資材及び道産資材、北海道認定リサイクル製品を使用するよう努めること。（木材及び木材製品は除く。）														
▶ 2. 環境への配慮	<p>受注者は本工事において、次の(1)から(4)を遵守すること。</p> <p>(1) 化学物質を放散させる建築材料等（※1） 本工事に使用する建築材料等は、測定対象化学物質を含有していないものを基本とし、安全データシート（SDS）や成分組成表により確認を行うほか、次のア. からウ. を満たすものとする。</p> <p>ア. ホルムアルデヒド放散建築材料に指定されている材料は、JIS又はJASに定められたF☆☆☆☆を使用する。ただし、F☆☆☆☆の材料がない場合は監督員と協議すること。</p> <p>イ. 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用している環境対応型（配慮型）のものとする。</p> <p>ウ. 家具、建具類及び二次製品は、測定対象化学物質を含有しないか含有が極めて少ないものとする。</p> <p>※1 化学物質を放散する建築材料等 合板／木質系フローリング／構造用パネル／集成材／単板積層材／MDF／パーティクルボード／その他の木質建材／ユリア樹脂板／壁紙／保温材／緩衝材／断熱材／接着剤／塗料／仕上材料／表面処理用木材保存（防腐・防蟻）剤</p> <p>(2) 環境物品等の調達 本工事の資材等に係る環境物品等の調達は、北海道グリーン購入基本方針に基づく現行の環境物品等調達方針により行うよう努める。 上記における同調達方針として、資材（材料及び機材を含む）のこん包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮したものを優先的に選択・使用するよう努めること。</p> <p>(3) 工事中の留意事項</p> <p>ア. 換気の励行 工事期間中は、室内や足場内等の通風、換気を十分に行い、室内に放散された化学物質を室外に放出させること。</p> <p>イ. 施設利用者にシックハウスを発症した場合の措置 工事期間中に当該施設利用者がシックハウス症候群となった場合は、監督員に速やかに報告するとともに、監督員、施設管理者と連携を図りながら原因究明に努めること。 また、施設管理者へ建築材料等の情報提供やVOC測定を行うなど監督員と協議の上、必要な措置を行うこと。</p> <p>(4) 室内空気中の化学物質の濃度測定 室内空気中の化学物質の濃度を測定し、厚生労働省の指針値以下であることを確認の上、報告すること。</p> <p>【測定対象化学物質の種類及び指針値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定対象化学物質</th> <th>厚生労働省の指針値（25℃の場合）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホルムアルデヒド</td> <td>0.08ppm（100μg/m³）</td> </tr> <tr> <td>トルエン</td> <td>0.07ppm（260μg/m³）</td> </tr> <tr> <td>キシレン</td> <td>0.05ppm（200μg/m³）</td> </tr> <tr> <td>エチルベンゼン</td> <td>0.085ppm（370μg/m³）</td> </tr> <tr> <td>スチレン</td> <td>0.05ppm（220μg/m³）</td> </tr> <tr> <td>パラジクロロベンゼン</td> <td>0.04ppm（240μg/m³）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※パラジクロロベンゼンは文部科学省大正建築物のみ適用</p> <p>濃度測定 ○ 行う ● 行わない</p>	測定対象化学物質	厚生労働省の指針値（25℃の場合）	ホルムアルデヒド	0.08ppm（100μg/m ³ ）	トルエン	0.07ppm（260μg/m ³ ）	キシレン	0.05ppm（200μg/m ³ ）	エチルベンゼン	0.085ppm（370μg/m ³ ）	スチレン	0.05ppm（220μg/m ³ ）	パラジクロロベンゼン	0.04ppm（240μg/m ³ ）
測定対象化学物質	厚生労働省の指針値（25℃の場合）														
ホルムアルデヒド	0.08ppm（100μg/m ³ ）														
トルエン	0.07ppm（260μg/m ³ ）														
キシレン	0.05ppm（200μg/m ³ ）														
エチルベンゼン	0.085ppm（370μg/m ³ ）														
スチレン	0.05ppm（220μg/m ³ ）														
パラジクロロベンゼン	0.04ppm（240μg/m ³ ）														

	測定箇所	() 箇所 ※測定する位置は、図示による。
	測定回数	* 1回 ○ 2回
	測定時期	※ 測定を行う時期は、監督員の指示による。
	測定方式	拡散法（パッシブ方式）又は厚生労働省が示す標準的な測定方法（アクティブ方式）により実施すること。
	分析方法	厚生労働省の示している分析方法による。 測定時の平均室温が20度に満たない場合は、厚生労働省が示す温度、湿度による補正（ホルムアルデヒド）を行うこと。
▶	3. 地域材の優先使用	本工事に使用する木材又は木材を原料とする資材を使用する場合は、地元（管内）木材を優先的に使用することとし、使用した材料の種別、産地等を監督員に報告すること。
▶	4. 合法木材の使用	木材又は木材を原料とする資材を使用する場合は、間伐材や合法性の証明された材を使用すること。 また、木材の合法性の証明は、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（平成18年2月林野庁）に準拠し、資材納入業者から証明を受けるとともに、証明書類を工事完了年度から起算して5年間保存すること。
▶	5. 特別な材料の工法	設計図書等に指定されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。
▶	6. 品質計画	建築基準法に定められた区分等 ・ 風 速 ($V_0 = 30 \text{ m/s}$) ・ 地表面粗度区分 (○ I ○ II ● III ○ IV) ・ 垂直積雪量 (130 cm)
▶	7. 工事写真	工事写真は、営繕工事写真撮影要領 令和5年版（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課）による。 デジタル工事写真の黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課）による。 完成写真は、監督員と協議すること。
▶	8. 技能士	(1) 技能士の適用は次の職種とし、従事する技能士の氏名・職種及び資格を記載した書面により監督員に報告すること。 ただし、作業の軽微なものは、監督員との協議により省略することができる。 なお、施工計画書等の記載事項や添付資料（資格証明等）により、選定技能士の内容が確認できる場合は「技能者選定通知書」の提出を省略できる。 <職種> 型枠施工・鉄筋施工・防水施工・内装仕上げ施工・サッシ施工・ガラス施工・表装・塗装・建築板金・石材施工・建築大工・とび・左官・ブロック建築・タイル張り・エーエルシーパネル施工・カーテンウォール施工・造園・樹脂接着剤注入施工・コンクリート圧送施工・冷凍空気調和機器施工・配管・熱絶縁施工・枠組壁建築、厨房設備施工、自動ドア施工、バルコニー施工、ウェルポイント施工、建具製作、畳製作 (2) 技能士は、職業能力開発促進法による1級、2級若しくは単一等級の資格を有し、地域技能士会の発行する資格証明書、又は技能検定合格書の写し、或いは技能士手帳の写しを上記（1）の書面に添付すること。

	<p>(3) 技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業するとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。</p>																
<p>▶ 9. 施工中の安全確保及び環境保全等</p>	<p>受注者は、標準仕様書に定められた安全確保及び環境保全等のほか、特に次の事項に留意し、工事現場の事故防止に努めること。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 労働者の安全衛生教育の徹底すること。 (2) 工事現場の安全パトロールの励行すること。 (3) 建設機械器具などの危害防止処置を徹底すること。 (4) 第三者に災害を及ぼしてはならない。 (5) 公害防止に努めること。 (6) 公道の汚染防止に努めること。 (7) 善良な管理者の注意をもってしても、災害又は公害の発生の恐れがある場合の処置は、監督員と協議すること。 																
<p>▶ 10. 交通安全管理</p>	<p>受注者は、工事の施工中の交通事故防止のため交通安全管理に努め、次の事項を遵守すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 工事施工中の安全管理（交通誘導員の配置日及び人数を含む）について、工事着手に先立ち作成する総合施工計画書で計画すること。 なお、計画は資材搬出入運行路線・点検体制・その他車両運行に係る安全対策等について道路管理者等関係機関と十分な事前協議を行い、以後も常に連絡を密にとりながら適切な処置を講じること。 (2) 常に下請負人も含め工事施工中の交通安全管理状況の把握に努め、管理状況を適宜監督員に報告すること。 (3) 工事に関連して交通事故が発生したときは、速やかに監督員に連絡した後、書面により報告すること。 (4) 運搬には、許可業者を選定するなどして、過積載又は過労運転等に伴う交通事故防止に努めること。 (5) 建設機械（ブルドーザー、バックホウ等）は、排出ガス対策型を使用し、かつ、低騒音・低振動型の車両を使用すること。 																
<p>▶ 11. 工事完成時の提出図書等</p>	<p>工事が完成した時は、帯広市営繕工事現場管理要領により、書類を整理のうえ、イージーキャビネット（A4版）に収納し提出すること。完成図の製本は専門業者によるものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 完成図 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">* 作成する</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">○ 作成しない</td> </tr> <tr> <td>・ 縮小版製本（A3二つ折り）</td> <td style="text-align: right;">● 2部 ○ 3部</td> </tr> <tr> <td>・ 100%製本</td> <td style="text-align: right;">○ 1部</td> </tr> <tr> <td>・ 別途工事分完成図について</td> <td style="text-align: right;">○ まとめる ● まとめない</td> </tr> <tr> <td>・ 電子データ（完成図JWW・PDF）（完成写真PDF）</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">CD-R等による提出</td> </tr> <tr> <td>・ 設計原図の貸与</td> <td style="text-align: right;">* 有り ○ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ CADデータの貸与</td> <td style="text-align: right;">* 有り ○ 無し</td> </tr> </table> (2) 保全に関する資料（提出部数 * 1部 ○ ___部） (3) 保守に関する指導案内書（機器取扱説明書） 各設備の機能が十分発揮しうよう、主要機器を含めた装置の取扱説明及び保守についての事項を記載したものとする。 指導案内書 A4判カラーを標準 2部（住宅営繕課1＋施設1） 同上データ CD-R等による 1式 (4) その他、必要とする書類については、監督員の指示による。 	* 作成する	○ 作成しない	・ 縮小版製本（A3二つ折り）	● 2部 ○ 3部	・ 100%製本	○ 1部	・ 別途工事分完成図について	○ まとめる ● まとめない	・ 電子データ（完成図JWW・PDF）（完成写真PDF）		CD-R等による提出		・ 設計原図の貸与	* 有り ○ 無し	・ CADデータの貸与	* 有り ○ 無し
* 作成する	○ 作成しない																
・ 縮小版製本（A3二つ折り）	● 2部 ○ 3部																
・ 100%製本	○ 1部																
・ 別途工事分完成図について	○ まとめる ● まとめない																
・ 電子データ（完成図JWW・PDF）（完成写真PDF）																	
CD-R等による提出																	
・ 設計原図の貸与	* 有り ○ 無し																
・ CADデータの貸与	* 有り ○ 無し																
<p>▶ 12. 高度技術・創意工夫</p>	<p>受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する事項について工事完了までに所定の様式により提出することができる。</p>																
<p>▷ 13. 電力基本料金</p>	<p>本受電から引渡しまでの電力基本料金 ○ 本工事 ○ 別途</p>																

▶ 14. 発生材の処理等

発生材の処理等は、「建設リサイクル法」、「資源有効利用促進法」、「廃棄物処理法」等の関係法令及び「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理すること。

処分を行った場合は、処分数量の確認のため、その施設の許可書等（写し）、受入伝票又はマニフェスト伝票等（写し）を監督員に提示すること。

なお、工事完成書類としてマニフェスト伝票等（写し）の提出は求めない。

明示している処分場所については、受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設としているが、処理施設場所を指定するものではない。

受注者の提示する処理施設と積算上の処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、異なる処理施設となった理由が受注者の責によるものでないと判断される場合は、設計変更の対象として扱う。

- (1) 発生材のうち、引き渡しを要する範囲は次による。監督員の指示する方法及び位置に堆積、整理し所定の発生材報告書により監督員に報告すること。

引き渡しを要する範囲： _____

- (2) 受注者が処分する有価物の範囲は次による。

有価物の範囲： _____ 金属 _____

なお、有価物は、次の登録又は許可業者で処分すること。

7. 廃棄物再生事業者登録（知事登録）

1. 金属くず商許可業者（警察許可）

また、処分を行った場合は、その施設の許可書（写し）と受入伝票又はマニフェスト伝票等、及び許可書等の写しを監督員に提出すること。

- (3) 特別管理産業廃棄物

種 類	
処理方法	
処分場所	受入先：
	片道運搬距離 (km)
種 類	
処理方法	
処分場所	受入先：
	片道運搬距離 (km)

- (4) 再資源化を図るもの（特定建設資材廃棄物）

種 類	コンクリート塊
場所	受入先：
	片道運搬距離 (km)
種 類	アスファルト・コンクリート塊
場所	受入先：
	片道運搬距離 (km)
種 類	建設発生木材
場所	受入先： 山口重機(有)西戸蔦東2線137-1
	片道運搬距離 (8.4 km)

※ 設計上、特定建設資材廃棄物は発生しない場合で、受注者の都合により実際に特定建設資材を発生させ、廃棄物として処分する場合は、当該特定建設資材廃棄物の再資源化等実施方法の確定後に、監督員の確認を受けること。

- (5) 再資源化を図るもの（特定建設資材廃棄物以外）

種 類	
処理区分	○ 縮減 ○ 現場で使用
場所	受入先：
	片道運搬距離 (km)

(6) その他の発生材

種 類	アスベスト含有建材
処理区分	○ 中間処理 ● 最終処分
処分場所	受入先： (株)北海道エクスとよころドーム処分場
	片道運搬距離 (68.3 km)
種 類	廃プラスチック類
処理区分	● 中間処理 ○ 最終処分
処分場所	受入先： 山口重機(有)西戸蔦東2線137-1
	片道運搬距離 (8.4 km)
種 類	
処理区分	○ 中間処理 ○ 最終処分
処分場所	受入先：
	片道運搬距離 (km)

- (7) 建設廃棄物の収集・運搬は、産業廃棄物収集運搬業の許可を受けた者とする。

当該運搬車には、次に掲げる表示を行い、環境省令で定める書面を備え付けること。

産業廃棄物収集運搬車					
業 者 名	(○	○	○)
許可番号	x	x	x	x	x

- (8) 「建設リサイクル法」対象工事及び「資源有効利用促進法」で定められた次の資材の搬入、副産物の搬出がある工事は、工事着手時に再生資源利用・利用促進計画書を提出し、提出時にその内容を説明するとともに、書面又は映像（デジタルサイネージ）により工事現場の見やすい場所へ掲示し、可能な限りインターネットの利用により公表するよう努めなければならない。

また、工事完了時に再生資源利用・利用促進実施書を提出し、監督員から請求があった時は、当該実施状況を報告すること。

資源有効利用促進法で定められた一定規模以上の工事
(次表の一つでも該当するもの)

・ 再生資源利用計画書

次のような建築資材を搬入する工事

土 砂	500 m ³ 以上
砕 石	500 t 以上
加熱アスファルト混合物	200 t 以上

・ 再生資源利用促進計画書

次のような指定副産物を搬出する建設工事

土 砂	500 m ³ 以上
コンクリート塊	合計
アスファルト・コンクリート塊	200 t 以上
建設発生木材	

▷ 15. 特殊な建築副産物

- (1) 施工調査計画

特殊な建設副産物の施工調査は、次による。 (7.1.3)

なお、分析調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督員と協議すること。

7. 使用状況について、設計図書及び目視により製造所名、製造年、型式、種類、数量等を調査する。

4. 分析調査

- 行う ○ 行わない

▶ 16. 特殊な建設副産物の回収及び処分

特殊な建設副産物の回収及び処分は、次による。

(7.3.1)

(1) フロン

7. 冷媒

関係法令等に従い、登録を受けた回収業者。

処理区分	* 回収	
場所	業者名等：	
	住 所：	
	片道運搬距離	(km)

4. 建材用断熱材フロン

処理区分	* 焼却	
場所	業者名等：	
	住 所：	
	片道運搬距離	(km)

(2) ハロン

ハロン消火設備のハロン容器は、ハロン消火設備設置業者等に処理を委託。

処理区分	* 処理	
場所	業者名等：	
	住 所：	
	片道運搬距離	(km)

(3) イオン化式感知器

製造業者に処理を委託。

処理区分	* 処理	
場所	業者名等：	
	住 所：	
	片道運搬距離	(km)

(4) 六ふっ化硫黄ガス

製造業者に回収を委託。

種類	○ 絶縁開閉器 ○ 絶縁変圧器等の受変電機器	
処理区分	* 処理	
場所	業者名等：	
	住 所：	
	片道運搬距離	(km)

(5) PFOS (ペルフルオロ (オクタン-1-スルホン酸))

種類	○ 泡消火剤 ○ その他 ()	
処理区分	○ 中間処理 ○ 最終処分	
場所	業者名等：	
	住 所：	
	片道運搬距離	(km)

(6) その他の特殊な建設副産物

種類	○	
処理区分	○ 処理 ○ その他の処理方法 ()	
場所	業者名等：	
	住 所：	
	片道運搬距離	(km)

▶ 17. 北海道循環資源利用促進税

本工事で発生する産業廃棄物が、道内の最終処分場に直接搬入される場合、又は中間処理場に搬入される場合でも残さ等が発生し、最終処分場に搬出される場合は、循環税が課税されるので適正に処理すること。

▶ 18. 自主施工期間の施工条件

自主施工期間中は、低温時施工により品質管理上支障の起こす恐れのない工種は、これを積極的に活用できる。

▷ 19. 防寒養生

ただし、支障の起こす恐れのある次の工種は、工法等を監督員と十分協議の上、施工するものとする。

<工種> コンクリート・屋外防水・屋上防水・タイル・左官・塗装・緑化工事その他これに類する工事

防寒養生は、次の範囲とする。

(1) 養生期間 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

ただし、上記期間外において品質確保の観点から防寒養生の実施が必要となる期間については設計変更できるものとする。

なお、寒中コンクリートの適用期間については、建築工事監理指針第6章第11節 表6.11.1による。

(2) 養生方法

7. 仮囲 ○ 上家仮囲 ○ 側 仮 囲

4. 採暖 ○ 外部採暖 ○ 内部採暖

▶ 20. 季節労働者などの雇用

工事施工に際しては、職業安定機関と密接な連携を図り、季節労働者などの雇用の拡大に努めること。

▶ 21. 火災保険等

工事着手から完成引渡までの間を契約金額に相当する保険等に加入するものとし、取扱いは次による。

(1) 付保する保険

工事の内容により、火災保険、建設工事保険、組立保険等の1以上の保険を付保する。

なお、受注者自ら上記の保険に追加して付する特約等については、これを妨げるものではない。

(2) 保険金

原則として請負代金額とする。

(3) 保険の期間

保険の加入期間は原則として工事着手日から完成引渡しまでの間とする。

工事着手日 ～ 実際の工事のための準備工事（現場事務所等の建設又は測量を開始すること）の初日をいう。

完成引渡し ～ 工期に14日追加した日とする。

(4) 対象外工事

次に掲げる工事は、対象外工事として保険を付さない事ができる。

(7) 解体、撤去、分解又は片づけ工事

(4) 外構工事

(5) 保険契約の変更

保険契約締結後に請負代金額の変更又は工期延長等があった場合は、相応の保険契約を変更しなければならない。

(6) 保険証券等の提出

保険契約を締結（変更を含む）した場合は、当該保険証券等の写しを工事着手の前に、監督員へ提出しなければならない。

(7) 協議

この取扱いにより難しい事項については、必要に応じて受注者は、発注者と協議するものとする。

▶ 22. 法定外の労災保険の付保

本工事の受注者は、下記に従い、法定外の労災保険に付さなければならない。

(1) この特記仕様書における「法定外の労災保険」とは、従業員等が業務上の災害によって身体の障害（後遺障害、死亡を含む）を被った場合に、法定労災保険の給付に上乗せして雇用者が従業員等又はその遺族に支払う金額に対し、保険会社が雇用者に保険金を支払うことを定める契約をいう。

- (2) 受注者は、本工事の契約工期を包含する保険期間による「法定外の労災保険」（以下「法定外労災保険」という。）を締結しなければならない。本工事に係る契約締結時において「法定外労災保険」の契約を締結していない場合は、工事着工の前に「法定外労災保険」を締結すること。
- (3) 受注者は「法定外労災保険」の保険証券の写し又は加入証明書の原本を工事着手の前に、監督員へ提出しなければならない。
- (4) 契約書第23条に基づき本工事の工期を変更したことにより、工期が「法定外労災保険」の保険適用外に及んだ場合、受注者は速やかに変更後の工期による保険期間の変更又は保険の追加契約を行い、変更又は追加して契約した「法定外労災保険」の保険証券の写し又は加入証明書の原本を監督員へ提出しなければならない。
- (5) 本工事で求める「法定外労災保険」については、保険契約に定める保険金額の多寡や特約の有無等の契約内容は問わず、保険契約の事実のみを求めるものとする。

▶ 23. 現場環境改善

魅力ある建設工事を推進するため、工事現場の環境改善に努めること。

▷ 24. 快適トイレの設置

本工事は、「快適トイレ設置工事」の対象工事である。

- (1) 受注者が当該工事の現場に仮設トイレを設置する場合は、建設現場を男女ともに働きやすい職場環境へと改善することを目的に、快適トイレの設置を検討すること。

- (2) 快適トイレとは、次のア.及びイ.の各項目を全て満たすものとする。ウ.については必須ではないが、装備していればより快適になると思われる項目なので、設置を検討すること。

ア. 快適トイレに求める標準仕様

(ア) 洋式（洋風）便器

(イ) 水洗機能（簡易水洗、し尿処理装置付き含む）

(ウ) 臭い逆流防止機能（フラッパー機能：必要に応じて消臭剤等活用し臭い対策を取ること）

(エ) 容易に開かない施錠機能（二重ロック等：二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明出来るもの）

(オ) 照明設備（電源がなくても良いもの）

(カ) 衣類掛け等のフック付、又は荷物置き場設備機能（耐荷重5kg以上）

イ. 快適トイレとして活用するために備える付属品

(ア) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示

(イ) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫

(ウ) サニタリーボックス

(エ) 鏡付きの洗面台

(オ) 便座除菌シート等の衛生用品

ウ. 推奨する仕様、付属品

(ア) 便房内寸法900×900mm以上（半畳程度以上）

(イ) 擬音装置

(ウ) 着替え台

(エ) フラッパー機能の多重化

(オ) 窓など室内温度の調整が可能な設備

(カ) 小物置き場等（トイレットペーパー予備置き場）

- (3) 快適トイレの設置にあたっては、次に留意すること。

- ア. 男女別で1基ずつ設置することを原則とする。ただし、女性が現場にいない場合はこの限りではない。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で1基ずつ2基/現場まで、一体型で1基/現場までとする。

- ▶ 25. 建設業退職金共済制度
- ▶ 26. 工事標識

- イ. 具体的な実施内容や設置時期については、工事着手前の施工計画書提出時に、(2)の項目を満たすことを確認できる資料（見積書を含む）を監督員に提出し、規格・設置基数等の詳細について、協議のうえ決定すること。
- ウ. 手配が困難な場合は、監督員と協議のうえ設置しないことができる。

工事現場には「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

受注者は、着工後速やかに公衆の見やすい場所に工事標識を掲示すること。

900	工 事 名 工 期 自 令 和 年 月 日 至 令 和 年 月 日 発 注 者 帯 広 市 監 理 帯 広 市 都 市 環 境 部 都 市 建 築 室 住 宅 営 繕 課 受 注 者
-----	---

1,800

注1 黒文字・丸ゴシック カラー鉄板（白）タルキ下地

- ▶ 27. 工事实績情報の登録
- ▶ 28. 施工体制台帳の整備
- ▷ 29. 共同企業体編成表の提出
- ▶ 30. 完成施設事後調査実施
- ▶ 31. 暴力団員等による不当介入を受けた場合の対応
- ▷ 32. 特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律への対応

受注者は、受注時、変更時及び完了時に（10日以内）工事实績情報システム（CORINS）に基づき、「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けた後に、（財）日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない（ただし、請負代金額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注時のみ登録するものとする。）。また、同センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督員に提出しなければならない。（対象工事：請負代金額500万円以上の全工事）

建設業法に基づく施工体制台帳を作成し、施工管理体制に関する事項を監督員に提出しなければならない。また、公衆の見やすい場所に施工体系図を掲示すること。

本工事を共同企業体で受注した場合は、契約締結後5日以内に共同企業体編成表作成のうえ監督員に提出しなければならない。

帯広市工事請負契約に定める「契約不適合責任」期間内に、完成施設事後調査実施方針に基づき下記調査を行う。

- 一次調査 ※ 一次調査及び二次調査
- (1) 受注者は、暴力団員等による不当要求又は工事（業務）妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否しなければならない。

 また、不当介入があった時点で速やかに警察に通報するとともに、捜査上必要な協力を行わなければならない。
- (2) 受注者は、前記により警察へ通報を行った際には、速やかにその内容を監督員に報告しなければならない。
- (3) 受注者は、暴力団員等による不当介入を受けたことにより、工程に遅れが生じる等の被害が発生した場合は、監督員と協議するものとする。

受注者は、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」に基づき、保険への加入又は保証金の供託を行うこと。

33. 週休2日工事

- (1) 本工事は、完全週休2日（土日）及び月単位の週休2日工事の対象工事であり、当初予定価格は月単位の週休2日以上の達成を前提とした経費の補正を行っている。
- (2) 受注者は、週休2日による施工を希望する場合、契約後、発注者と協議を行い、協議が整った場合に完全週休2日（土日）及び月単位の週休2日による施工を行うこととする。
なお、月単位の週休2日が達成できない場合においても、通期の週休2日による施工を行わなければならない。
- (3) 完全週休2日（土日）とは、対象期間内の全ての週において、土日に現場閉所されている状態をいう。土日に加えて、受注者自らが土日以外にも現場閉所することは可能とする。受注者の責によらず、土日に施工を行わざるを得ない場合は、事前に協議した上で、土日に代わる現場閉所日を指定するものとする。
月単位の週休2日とは、対象期間の全ての月において、4週8休以上（現場閉所日数（降雨、降雪等による予定外の現場閉所日を含む。）の割合（以下「現場閉所率」という。）が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態）の現場閉所がされている状態をいう。ただし、曆上の土曜日・日曜日の閉所では現場閉所率が28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上の閉所を行っている場合に、達成しているものとみなす。
通期の週休2日とは、対象期間の全体を通した期間において、土日・祝日にかかわらず、4週8休以上の現場閉所がされている状態をいう。
対象期間は、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日（各種仮設物を撤去し、現場の清掃を完了した日）までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏期休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等）は含まない。
契約後、週休2日の対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議し、現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。
- (4) 現場閉所とは、巡回パトロール、保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。
- (5) 週休2日の確保の取組みは、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
- (6) 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。
 - ・ 受注者は、週休2日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。
 - ・ 受注者は、実施結果を発注者へ報告する。
- (7) 発注者が必要に応じ週休2日の実施状況の聞き取り等を行う場合には、受注者は協力するものとする。
- (8) 補正の対象となる経費は、労務費（工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）及び現場管理費とし、現場閉所の達成状況の結果、完全週休2日（土日）を達成した場合は、増額の設計変更を行い、月単位の週休2日に満たない場合は、減額の設計変更を行う。また、市場単価についても月単位の週休2日に満たない場合は設計変更を行う。
なお、その他労務費分が明らかとなっていない単価等については補正の対象としない。
- (9) 週休2日工事について、受注者を対象としたアンケート調査の依頼があった場合は協力するものとする。

<p>▶ 34. 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間</p>	<p>(10) 週休2日の実施計画書提出後、当該工事の全体工期に影響はないものの、一部の施工内容・箇所に変更があり、工期内での期限を設ける必要がある場合は、対象期間外とできる場合があるので、受発注者間協議を行うこと。</p> <p>(11) その他の事項については、帯広市週休2日工事実施要領によるものとする。</p> <p>請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。 なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、受注者が申し出た日とし、工事工程表、総合施工計画書、工事指示・協議書のいずれかで示すこと。 不明な点については、監督員と協議すること。</p>
<p>▷ 35. 電子納品、情報共有システムの活用</p>	<p>本工事は、電子納品、情報共有システム活用の対象工事である。活用にあたっては、監督員と協議の上、「営繕工事電子納品要領」（平成24年3月12日付け国営施第25号）及び「電子納品運用ガイドライン」に基づき、情報共有システムを活用し、完成図書を電子納品すること。</p>

● 第2章 仮設工事

記載のない限り1.1.1等の3つの数字は、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)の章・節・項を示す

項目	特記事項																													
▷ 1. 騒音・粉じん等の対策	(1) 防音パネル (2.1.3) ○ 設ける (設置範囲: 図示) * 設けない																													
▷ 2. 足場等	(2) 防音シート ○ 設ける (設置範囲: 図示) * 設けない (3) 壁つなぎ処理(高性能真空掃除機併用) ○ 適用する ○ 適用しない (1) 内部足場 ○ 脚立足場 ○ 枠組棚足場 ○ ローリングタワー (2.2.1) (2) 外部足場 ○ 設置する 足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」について(厚生労働省令和5年12月改定)の「(別紙)手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、全ての作業床について手すり、中棧及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。																													
▶ 3. 養生	(3) 災害防止 (2.2.1) ○ 工事用シート(メッシュ) (○ 防災Ⅰ類 ○ 防災Ⅱ類) ○ 工事用シート(帆布製) (○ 防災Ⅰ類 ○ 防災Ⅱ類) ○ 養生防護棚 ○ 金網張 ○ 金網式養生枠 (4) 材料、撤去材等の運搬方法 (表2.2.1) ○ A種(二本構リフト等) ○ B種(トラッククレーン等) ○ C種(既存EV利用) ○ D種(既存階段) ○ E種(登り桟橋等)																													
▷ 4. 仮設間仕切り	(1) 既存部分・既存家具・既存設備等の養生 (2.3.1) * 行わない ● 行う 養生方法 * ビニルシート ○ _____ (2) 既存ブラインド、カーテン等の養生及び保管場所等 * 行わない ○ 行う 養生の方法 * ビニルシート ○ _____ 保管場所 _____ (3) 固定された備品、机・ロッカー等の移動 * 行わない ○ 行う 移動場所 _____																													
	(1) 仮設間仕切りの種別 (2.3.2)(表2.3.1)																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>材質</th> <th>充填材</th> <th>塗装</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ A種</td> <td>○ 木下地</td> <td>* せっこうボード(* 9.5 ○)</td> <td>厚さ mm</td> <td>○ 片面</td> </tr> <tr> <td>○ B種</td> <td>* 軽量鉄骨</td> <td>○ 合板 (* 9.0 ○)</td> <td>—</td> <td>* 無し</td> </tr> <tr> <td>* C種</td> <td>○ 単管下地</td> <td>○ 全面シート</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">仮設扉</td> <td>* 木製扉</td> <td>* 合板張り程度</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>○ 鋼製扉</td> <td>○ 片面フラッシュ程度</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	種別	下地	材質	充填材	塗装	○ A種	○ 木下地	* せっこうボード(* 9.5 ○)	厚さ mm	○ 片面	○ B種	* 軽量鉄骨	○ 合板 (* 9.0 ○)	—	* 無し	* C種	○ 単管下地	○ 全面シート	—	—	仮設扉	* 木製扉	* 合板張り程度	—	—	○ 鋼製扉	○ 片面フラッシュ程度	—	—
種別	下地	材質	充填材	塗装																										
○ A種	○ 木下地	* せっこうボード(* 9.5 ○)	厚さ mm	○ 片面																										
○ B種	* 軽量鉄骨	○ 合板 (* 9.0 ○)	—	* 無し																										
* C種	○ 単管下地	○ 全面シート	—	—																										
仮設扉	* 木製扉	* 合板張り程度	—	—																										
	○ 鋼製扉	○ 片面フラッシュ程度	—	—																										
▶ 5. 監督員事務所及び備品等	(2) 設置箇所 * 図示 (1) 監督員事務所 (2.4.1) ○ 設ける * 設けない (* 10㎡ ○ 20㎡ ○ 35㎡ ○ 65㎡ ○ 100㎡)程度 (2) 設備、備品等は監督員との協議による。																													
▶ 6. 工事用便所	* 設ける ○ 設けない																													
▶ 7. 工事用水	構内既存の施設 ○ 利用できる(* 有償 ○ 無償) * 利用できない																													
▶ 8. 工事用電力	構内既存の施設 ○ 利用できる(* 有償 ○ 無償) * 利用できない																													
▷ 9. 指定仮設	* 仮設計画図による。																													
▷ 10. 交通誘導警備員	建設機械及び車両等の出入りの際には、出入口に交通誘導警備員を配置し、一般通行者及び一般車両の安全を確保すること。																													

なお、配置位置及び交通誘導警備員の区分は、次による。

配置位置 * 図示 警備員詰所 (○ 設ける * 設けない)
表 工事現場の位置と交通誘導警備員区分

工事現場の出入り口を設ける道路(路線)	交通誘導警備員区分
市街地(DID)内の路線	交通誘導警備員A
北海道(各方面)公安委員会告示による認定路線	
上記以外の路線	交通誘導警備員B

市街地内の路線及び認定路線の場合は、交通誘導警備業務を行う場所ごとに交通誘導警備員Aを1人以上配置する。

交通誘導警備員Aを配置できない場合で、やむを得ず受注者自らが交通誘導を行う場合は、監督員と協議すること。

建設機械及び車両等の出入りの際には、適宜作業員を配置し、敷地外の道路等を泥等で汚した場合には、速やかに清掃を行うこと。

▶ 11. 清掃員

○ 第3章 防水改修工事

○ 第4章 外壁改修工事

● 第5章 建具改修工事

項目	特記事項																				
▶ 1. 改修工法 ※ 図示	(1) ○ かぶせ工法 ○ 撤去工法 (5.1.3) 両方適用の場合の区分は、図示																				
▷ 2. 防火戸	(2) 新規に建具を設置する場合 (5.1.3) 壁部分の開口の開け方、新規建具周囲の補修工法並びに範囲 * 図示																				
▷ 3. 見本の製作等	(1) 防火戸の適用 (5.1.4) ○ 適用する (適用箇所: * 建具表による ○) ○ 適用しない																				
▷ 4. 取付け調整等	(2) ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動: (5.1.4) * 建具表による ○ _____																				
▷ 5. アルミニウム製建具	(1) 建具見本の製作 * 行わない ○ 行う(建具表により指定する。) (5.1.5) (2) 特殊な建具の仮組 * 行わない ○ 行う(建具表により指定する。)																				
	(1) ブラインドボックス等の再使用 * 行わない ○ 行う(建具表により指定する。) (5.1.6)																				
	(2) 防犯建物部品 * 適用する ○ 適用しない (5.1.7)																				
	(1) 外部に面するアルミニウム製建具の性能等級等 (5.2.2)(表5.2.1)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>* A種</th> <th>○ B種</th> <th>○ C種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>枠の見込寸法(mm)</td> <td>* 70 ○ 100</td> <td>* 70 ○ 100</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>S-4</td> <td>S-5</td> <td>S-6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td colspan="2">A-3</td> <td>A-4</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td colspan="2">W-4</td> <td>W-5</td> </tr> </tbody> </table>	種別	* A種	○ B種	○ C種	枠の見込寸法(mm)	* 70 ○ 100	* 70 ○ 100	○	耐風圧性	S-4	S-5	S-6	気密性	A-3		A-4	水密性	W-4		W-5
種別	* A種	○ B種	○ C種																		
枠の見込寸法(mm)	* 70 ○ 100	* 70 ○ 100	○																		
耐風圧性	S-4	S-5	S-6																		
気密性	A-3		A-4																		
水密性	W-4		W-5																		
	(2) 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性能の等級 * 図示																				
	(3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 * 図示																				
	(4) 外部に面するアルミニウム製建具の断熱性能による等級																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>枠見込寸法(mm)</th> <th>断熱性能による等級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>引き違い</td> <td>○ 70</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>引き違い</td> <td>○ 100</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>開き</td> <td>○ 70</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>開き</td> <td>○ 100</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	種類	枠見込寸法(mm)	断熱性能による等級	引き違い	○ 70	○	引き違い	○ 100	○	開き	○ 70	○	開き	○ 100	○					
種類	枠見込寸法(mm)	断熱性能による等級																			
引き違い	○ 70	○																			
引き違い	○ 100	○																			
開き	○ 70	○																			
開き	○ 100	○																			

FIX	<input type="radio"/> 70	<input type="radio"/>
	<input type="radio"/> 100	

(5) アルミニウム製建具の表面処理 (5.2.4)(表5.2.2)

7. 外部に面する建具

- (ア) 種別 BB-1種 BB-2種
 (イ) 着色 標準色 特注色
 (ブラウン系 ブラック ステンカラー)

4. 屋内の建具

- (ア) 種別 BC-1種 BC-2種
 (イ) 着色 標準色 特注色
 (ブラウン系 ブラック ステンカラー)

(6) ステンレス製のくつずりの仕上げ * HL _____ (5.2.4)

(7) 結露水の処理方法 (5.2.4)

- * 図示 水貯め式 排水式 _____

(8) 水切り板、ぜん板等の加工組立 * 図示 _____ (5.2.5)

(9) 網戸等を設置する場合の防虫網の材質 (5.2.3)

- ガラス繊維入り合成樹脂製 * 合成樹脂製 ステンレス(SUS316)

(10) 線径 * 0.25mm以上 _____ mm以上

(11) 網目 * 16~18メッシュ _____ メッシュ

▷ 6. 樹脂製建具

(1) 外部に面する樹脂製建具の性能等級等 (5.3.2)(表5.3.1)

種 別	<input type="radio"/> A種	<input type="radio"/> B種	<input type="radio"/> C種
枠の見込み寸法(mm)	* 建具表による <input type="radio"/>	* 建具表による <input type="radio"/>	* 建具表による <input type="radio"/>
耐風圧性	S-4	S-5	S-6
気密性	A-4		
水密性	W-4	W-5	

(2) 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性能の等級 (5.3.2)

- T-1 T-2

(3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 (5.3.2)(表5.3.2)

- * 外部に面する樹脂製建具の断熱性の等級
 適用する(H-4 H-5 H-6 H-7 H-ε)
 適用しない

(4) ガラス: * 複層ガラス 単板ガラス 三重ガラス (5.3.3)

(5) 表面色 標準色 特注色 (5.3.4)

(6) ステンレス製のくつずりの仕上げ * HL _____ (5.3.4)

(7) 水切り板、ぜん板等の加工組立 (5.3.5)(5.2.5)

- * 図示 _____

(8) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 (5.3.2)

- N-1 N-2 N-3

▷ 7. 鋼製建具

(1) 簡易気密型ドアセット (5.4.2)(表5.4.1)

- 適用する 適用しない

(2) 耐風圧性(外部) (5.4.2)(表5.2.1)

- S-4 S-5 S-6

(3) 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性能の等級 (5.4.2)(5.2.2)

- * 図示

(4) 断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 (5.4.2)(5.2.2)

- * 図示

(5) 耐震ドアとする場合の面内変形追随性の等級 (5.4.2)

- * 図示

(6) くつずりの材料 * ステンレス鋼板 _____ (5.4.3)

(7) 鋼板類の厚さ * 表5.4.2による 図示 (5.4.4)

▷ 8. 鋼製軽量建具

(1) 簡易気密型ドアセット (5.5.2)

- 適用する(A-3) 適用しない

▷ 9. ステンレス製
建具

- (2) 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性能の等級 (5.5.2)(5.2.2)
* 図示
- (3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 (5.5.2)(5.2.2)
* 図示
- (4) 耐震ドアとする場合の面内変形追随性の等級 (5.5.2)
* 図示
- (5) 鋼板類 (5.5.3)
○ 亜鉛めっき鋼板 ○ ビニル被覆鋼板 ○ カラー鋼板
○ ステンレス鋼板
- (6) 召合せ、縦小口包み板等の材質 (5.5.3)
○ ステンレス鋼板 * 鋼板 ○ アルミニウム合金押出材
- (7) 鋼板類の厚さ * 表5.5.1による ○ 図示 (5.5.4)
- (1) 簡易気密型ドアセット (5.6.2)
○ 適用する ○ 適用しない
- (2) 耐風圧性(外部) ○ S-4 ○ S-5 ○ S-6 (5.6.2)
- (3) 耐震ドアとする場合の面内変形追随性の等級 (5.6.2)
* 図示
- (4) ステンレス鋼板 (5.6.3)
○ SUS304 ○ SUS430J1L ○ SUS443J1 ○ _____
- (5) 表面仕上げ * HL ○ 鏡面 (5.6.4)
- (6) 曲げ加工 * 普通曲げ ○ 角出し曲げ (5.6.5)
- (1) 建具材の含水率の種別 * A種 ○ B種 (5.7.2)(表5.7.1)
- (2) フラッシュ戸の表面材の合板の種類 (5.7.2)(表5.7.2)

合板の種類	表面材の品質等
○ 普通合板	接着の程度 * 水掛り箇所を1類、その他2類以上 ○ 板面の品質 * 広葉樹1等 ○
○ 天然木化粧合板	接着の程度 * 水掛り箇所を1類、その他2類以上 ○
○ 特殊加工化粧合板	接着の程度 * 水掛り箇所を1類、その他2類以上 ○
○ ミディアムデンシティ ファイバーボード (MDF)	表裏面の状態による区分 () 曲げ強さによる区分 () 耐水性による区分 () 難燃性による区分 ()

かまち戸の材料

かまち樹種 _____
鏡板樹種 _____

ふすまの材料

種別 ○ I型 ○ II型 (表5.7.3)
上張り(押入等の裏側以外)
○ 鳥の子 ○ 新鳥の子又はビニル紙程度

枠及びくつずりの材料

* 図示

接着剤のホルムアルデヒド放散量

* F☆☆☆☆ ○ (表5.7.4)

表面板の厚さ

* 表5.7.6 ○ _____ (5.7.3)(表5.7.6)

見込み寸法 (mm)

かまち戸 * 36 ○ _____ (表5.7.7)
ふすま * 19.5 ○ _____

	戸ぶすま * 30 ○ _____	
	紙張り障子 * 30 ○ _____	
▷ 11. 建具用金物	(3) 工法 (5.7.4)(表5.7.8)(表5.7.10) 引戸の召合せかまちをいんろう付き ○ 適用する ○ 適用しない ふすまの縁の仕上げ ○ 塗り縁 ○ 生地縁(素地) ○ 生地縁(ウレタンクリヤー塗装) (5.8.2)(表5.8.1～表5.8.5)	
	(1) 材質、形状及び寸法 ア. 金物の種類及び見え掛り部の材質: * 建具表による 建具表で指示のない建具金物は、表5.8.1による。 イ. 金属製建具、樹脂製建具及び木製建具に使用する丁番: * 表5.8.2～4による ○ _____ ウ. 木製建具に使用する戸車及びレール: * 表5.8.5による ○ _____	
	(2) 取付け施工 (5.8.3) 取っ手類の取付け高さ(床仕上げ面からの高さ) * 建具表による ○ 建具製造所の仕様による	
	(3) マスターキー (5.8.4) ○ 製作する * 製作しない ○ 既存のマスターキーに合わせる	
	(4) 鍵 * 3本1組(室名札付) ○ _____ (5.8.4)	
	(5) 鍵箱(仕様は監督員と協議) ○ 無し ○ 有り (5.8.4)	
▷ 12. 自動ドア開閉装置	(1) 引き戸用駆動装置の性能 (5.9.2)(表5.9.1) ○ SSLD-1 ○ SSLD-2 ○ DSLD-1 ○ DSLD-2 防錆の適用 ○ 適用する ○ 適用しない	
	(2) 車椅子使用者用便房出入口に設置される引き戸用駆動装置の性能 (5.9.2) * 表5.9.2による ○ 図示 防錆の適用 ○ 適用する ○ 適用しない	
	(3) 引き戸用検出装置の性能 (5.9.2) * 表5.9.3による ○ 図示 防錆の適用 ○ 適用する ○ 適用しない	
	(4) 戸の開閉方式は、建具表による。 (5.9.2)	
	(5) 引き戸用検出装置の種類 (5.9.2)(表5.9.4) * 光線(反射)センサー ○ 熱線センサー ○ その他 _____ タッチスイッチの種類 ○ 無線式タッチスイッチ ○ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房用操作スイッチの種類 ○ 大形(開・閉)押しボタンスイッチ ○ 非接触スイッチ	
▷ 13. 自閉式上吊り引戸装置	(6) 凍結防止措置 * 行う(適用箇所は建具表による) ○ 行わない (5.9.2)	
	(1) 性能等 (5.10.3) * 表5.10.1による ○ _____	
▷ 14. 重量シャッター	(1) シャッターの種類 (5.11.2) ○ 管理用シャッター ○ 外壁用防火シャッター ○ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	
	(2) 耐風圧強度 (5.11.2) 管理用シャッター _____ Pa 外壁用防火シャッター _____ Pa	
	(3) 開閉方式 (5.11.2 表5.11.1) * 電動式(手動併用) ○ 手動式	
	(4) 安全装置 (5.11.2) ア. 急降下制動装置等の設置箇所 * 図示 イ. 障害物感知装置の設置箇所 * 図示 ウ. 煙感知器連動機構若しくは熱感知器連動機構又は手動閉鎖装置により閉鎖する 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターに設ける装置 * 危害防止装置	

○ 可動座板式
 危害防止装置又は可動座板式は「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」
 (昭和48年12月28日 建設省告示第2563号)に定める基準に適合するもの

設置箇所 * 図示

- (5) シャッターケース(管理用シャッター) (5.11.2)
 ○ 設ける ○ 設けない

- (6) 注意喚起装置
 ○ 音声発生装置 ○ 注意灯の設置
 ○ シャッターへの危険表示 ○ シャッターの下降位置の表示

- (7) 吹雪止め 吹き込み防止用サイドシール(3方)を設ける (5.11.3)

- (8) 鋼板の種類及びめっきの付着量 (5.11.3)
 種類 ○ JIS G 3302 ○ JIS G 3312
 付着量 * Z12又はF12 ○ _____

- (9) ガイドレール及びまぐさ、外部に面する箇所に用いる場合の座板又は座板カバー及び
 スイッチボックス類のふた
 ステンレス鋼板
 ○ SUS304 ○ SUS430J1L ○ SUS443J1 ○ _____

▷ 15. 軽量シャッター

- (1) 開閉形式による種類 * 手動式 ○ 電動式(手動併用) (5.12.2)(表5.12.1)

- (2) 耐風圧強度 _____ Pa (5.12.2)

- (3) 安全装置(電動式シャッター) (5.12.2)
 急降下停止装置
 ○ 設ける ○ 設けない

- (4) スラットの材質の種類 (5.12.3)
 ○ JIS G 3312
 めっき付着量 * Z06又はF06 ○ _____
 ○ JIS G 3322
 めっき付着量 * AZ90 ○ _____

- (5) スラットの種類 ○ インターロッキング形 ○ オーバーラッピング形 (5.12.4)
 (5.13.2・3)

セクション材料による区分	耐風圧区分	開閉方式による区分	収納形式による区分
* スチールタイプ	○ 125	* バランス式	○ スタンダード形
○ アルミニウムタイプ	○ 100	○ チェーン式	○ ローヘッド形
○ ファイバーグラストタイプ	○ 75	○ 電動式	○ ハイリフト形
○	○ 50		○ パーチカル形

障害物感知装置の設置(電動式)

設置箇所 * 図示

ガイドレールに使用する材料

- * 溶融亜鉛めっき鋼板 ○ ステンレス鋼板
 ○ SUS304 ○ SUS430J1L ○ SUS443J1

▷ 17. ガラス

- (1) ガラスの種類及び厚さは建具表による。 (5.14.2)

- (2) ガラス留め材(防火戸以外)

該当	建具の種類	材 種
○	アルミニウム製建具	* シーリング材 ○ 建築用ガスケット
○	鋼製建具	* シーリング材
○	ステンレス製建具	* シーリング材
○	鋼製軽量建具	* シーリング材
○	木製建具	* 押縁
○	樹脂製建具	* 建築用ガスケット

- (3) 板ガラスをはめ込む溝の大きさ (5.14.3)
 * 建具の製造所の仕様による ○ 図示

- (4) ガラス用フィルム(JIS A 5759)の性能 * 図示

▷ 18. ガラスブロック
 積み

- (1) 表面形状、呼び寸法及び厚さ * 図示 (5.14.5)

- (2) 壁用金属枠、補強材 * 図示 (5.14.5)

(3) 力骨の材質、寸法、形状	(5.14.5)
* ステンレス鋼(SUS304)、径5.5mmのはしご形状複筋及び単筋	
○ 図示	
(4) 化粧目地モルタル 色 _____	(5.14.5)
(5) シーリングの種類 * 図示	(5.14.5)
(6) 金属製化粧カバーの材質、寸法、形状	(5.14.5)
* 図示	
(7) 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法	(5.14.5)
* 適用する ○ 適用しない	
(8) ガラスブロックの目地幅の寸法	(5.14.5)
ア. 平積み * 8mm以上15mm以下 ○ _____	
イ. 曲面積み * 曲率半径をガラスブロックの幅寸法の10倍以上とし、外側15mm以下、内側6mm以上	
○ _____	
(9) 伸縮調整目地の位置	(5.14.5)
* 6m以下ごとに幅10～25mm ○ 図示	
(10) 目地部の横力骨の納まり	(5.14.5)
* ガラスブロック製造所の仕様 ○ 図示	

第6章 内装改修工事

項目	特記事項																										
▶ 1. 他の部位との取合い等	(1) 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 (6.1.3) * 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ● 図示 (2) 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 * 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ● 適用しない (3) 既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 * 既存のまま ● 適用しない																										
▷ 2. 既存床の撤去及び下地補修	(1) 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 (6.2.2) * 図示 ○ _____ (2) 合成樹脂塗床材の除去等 ○ 機械的除去工法 ○ 目荒し工法 (3) 改修後の床の清掃範囲 * 改修端部より1m程度 ○ _____																										
▷ 3. 既存壁の撤去及び下地補修	(1) 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 (6.3.2) * モルタル塗替え工法(4.3.10)のモルタル塗り ○ _____																										
▶ 4. 木下地等	(1) 表面仕上げ(見え掛り面) (6.5.1) * プレーナー加工仕上げ程度 ○ 超自動機械かな ○ サンダー等 (2) 木材の含水率 (6.5.2)(表6.5.1) ア. <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th colspan="2">種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地材</td> <td>* A種(15%以下)</td> <td>○ B種(20%以下)</td> <td rowspan="2">全断面の平均の推定値</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>* A種(15%以下)</td> <td>○ B種(18%以下)</td> </tr> </tbody> </table> イ. ホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ ○ _____ (3) 製材 (6.5.2) ア. JAS 1083-5による下地用製材 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>寸法(mm)</th> <th>保存処理</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>* 2級</td> <td></td> <td>○ 防腐 ○ 防虫</td> <td>* A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○ 防ぎ ○</td> <td>○ B種</td> </tr> </tbody> </table>	部位	種別		備考	下地材	* A種(15%以下)	○ B種(20%以下)	全断面の平均の推定値	造作材	* A種(15%以下)	○ B種(18%以下)	施工箇所	等級	寸法(mm)	保存処理	含水率		* 2級		○ 防腐 ○ 防虫	* A種		○		○ 防ぎ ○	○ B種
部位	種別		備考																								
下地材	* A種(15%以下)	○ B種(20%以下)	全断面の平均の推定値																								
造作材	* A種(15%以下)	○ B種(18%以下)																									
施工箇所	等級	寸法(mm)	保存処理	含水率																							
	* 2級		○ 防腐 ○ 防虫	* A種																							
	○		○ 防ぎ ○	○ B種																							

	* 2級 ○		○ 防腐 ○ 防虫 ○ 防ぎ ○	* A種 ○ B種
	* 2級 ○		○ 防腐 ○ 防虫 ○ 防ぎ ○	* A種 ○ B種

イ. JAS 1083-2による造作用製材

施工箇所	等級	寸法(mm)	保存処理	含水率
見え掛り面	* 上小節 ○		○ 防腐 ○ 防虫 ○ 防ぎ ○	* A種 ○ B種
見え掛り面 以外	○ 上小節 * 小節		○ 防腐 ○ 防虫 ○ 防ぎ ○	* A種 ○ B種

ウ. JAS 1083-6による広葉樹製材

施工箇所	等級	寸法(mm)	保存処理	含水率
	* 1等 ○		○ 防腐 ○ 防虫 ○ 防ぎ ○	* 10%以下 ○
	* 1等 ○		○ 防腐 ○ 防虫 ○ 防ぎ ○	* 10%以下 ○
	* 1等 ○		○ 防腐 ○ 防虫 ○ 防ぎ ○	* 10%以下 ○

エ. JAS 1083(製材)以外の製材

(6.5.2)(表6.5.2)

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率
		* A種 ○ B種	○ 適用する ○ 適用しない	* A種 ○ B種
		* A種 ○ B種	○ 適用する ○ 適用しない	* A種 ○ B種
		* A種 ○ B種	○ 適用する ○ 適用しない	* A種 ○ B種

(4) JAS乾燥認定工場から出荷された木材は、出荷証明書を、その他の工場から出荷された木材は、北海道林産物検査会が発行する検査証明書を提出すること。

(5) カラマツの使用範囲は、束・母屋・土台・大引きとする。

(6) 造作用集成材等

(6.5.2)

ア. 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材等

施工箇所	品名	樹種	見付け材面	寸法(mm)	見付け材面の品質
手摺下地	下地用集成材	エゾ・トド	1 面	図示	* 1等 ○ 2等
敷居	敷居	エゾ・トド	1 面	図示	* 1等 ○ 2等

イ. 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	厚さ(mm)	見付け材面	寸法(mm)	見付け材面の品質
	化粧薄板:			面		* 1等 ○ 2等
	芯材:			面		* 1等 ○ 2等
	化粧薄板:			面		* 1等 ○ 2等
	芯材:			面		* 1等 ○ 2等

ウ. 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材等

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率
			* 1等 ○ 2等	* 15%以下 ○
			* 1等 ○ 2等	* 15%以下 ○

エ. 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板:			* 1等 ○ 2等	* 15%以下
	芯材:			* 1等 ○ 2等	○
	化粧薄板:			* 1等 ○ 2等	* 15%以下
	芯材:			* 1等 ○ 2等	○

(7) 造作用単板積層材

(6.5.2)

ア. JAS 0701の造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質(化粧加工)	防虫処理
			<input type="radio"/> 有り [加工: <input type="radio"/> 天然木化粧加工 <input type="radio"/> 塗装加工] <input type="radio"/> 無し (等級:)	<input type="radio"/> 適用する <input type="radio"/> 適用しない
			<input type="radio"/> 有り [加工: <input type="radio"/> 天然木化粧加工 <input type="radio"/> 塗装加工] <input type="radio"/> 無し (等級:)	<input type="radio"/> 適用する <input type="radio"/> 適用しない

イ. JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質(化粧加工)	含水率	防虫処理
		<input type="radio"/> 有り [加工: <input type="radio"/> 天然木化粧加工 <input type="radio"/> 塗装加工] <input type="radio"/> 無し ()	* 14% 以下 <input type="radio"/>	<input type="radio"/> 適用する <input type="radio"/> 適用しない
		<input type="radio"/> 有り [加工: <input type="radio"/> 天然木化粧加工 <input type="radio"/> 塗装加工] <input type="radio"/> 無し ()	* 14% 以下 <input type="radio"/>	<input type="radio"/> 適用する <input type="radio"/> 適用しない

ウ. JAS 3079による直交集成板

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	強度等級	種別	接着性能
	<input type="radio"/> 異等級構成 <input type="radio"/> 同一等級構成	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> 目視1等 <input type="radio"/> 目視2等	<input type="radio"/> A種 <input type="radio"/> B種	<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C
	<input type="radio"/> 異等級構成 <input type="radio"/> 同一等級構成	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> 目視1等 <input type="radio"/> 目視2等	<input type="radio"/> A種 <input type="radio"/> B種	<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C

(8) 合板等

(6.5.2)

ア. 「合板の日本農林規格」による普通合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
		* 5.5 <input type="radio"/>		<input type="radio"/> 1類 <input type="radio"/> 2類	広葉樹 * 2等 <input type="radio"/> 1等 針葉樹 * C-D <input type="radio"/>	<input type="radio"/> 適用する <input type="radio"/> 適用しない
		* 5.5 <input type="radio"/>		<input type="radio"/> 1類 <input type="radio"/> 2類	広葉樹 * 2等 <input type="radio"/> 1等 針葉樹 * C-D <input type="radio"/>	<input type="radio"/> 適用する <input type="radio"/> 適用しない

イ. 「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	保存処理	板面の品質	等級	接着の程度	防虫処理	強度等級
		* 12.0 <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	* C-D <input type="radio"/>	* 2級 <input type="radio"/> 1級	<input type="radio"/> 特類 <input type="radio"/> * 1類	<input type="radio"/> 適用する <input type="radio"/> 適用しない	<input type="radio"/> 適用する () <input type="radio"/> 適用しない
		* 12.0 <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	* C-D <input type="radio"/>	* 2級 <input type="radio"/> 1級	<input type="radio"/> 特類 <input type="radio"/> * 1類	<input type="radio"/> 適用する <input type="radio"/> 適用しない	<input type="radio"/> 適用する () <input type="radio"/> 適用しない

ウ. 「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
		○ 12.0 ○	○ ○	○ 特類 * 1類	○ 適用する ○ 適用しない
		○ 12.0 ○	○ ○	○ 特類 * 1類	○ 適用する ○ 適用しない

エ. 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
	○	○	○ 1類 ○ 2類	○ 適用する ○ 適用しない
	○		○ 1類 ○ 2類	○ 適用する ○ 適用しない

オ. 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	品名	単板の樹種名	化粧加工の方法	表面性能	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理
		○	○ オーバーレイ ○ プリント ○ 塗装等 ○	○	○	○	○ 適用する ○ 適用しない
		○	○ オーバーレイ ○ プリント ○ 塗装等 ○	○	○	○	○ 適用する ○ 適用しない

カ. JIS A 5908によるパーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ(mm)
		* 13タイプ ○	○ 耐水性1(Mタイプ) ○ 耐水性2(Pタイプ)	* 15 ○
		* 13タイプ ○	○ 耐水性1(Mタイプ) ○ 耐水性2(Pタイプ)	* 15 ○

キ. JAS 0360による構造用パネル

施工箇所	品名	厚さ(mm)

ク. JIS A 5905によるミディアムデンシティーファイバーボード(MDF)

(6.5.2)

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)

(9) 接合具等

(6.5.3)

ア. 釘等

造作材の化粧面の釘打ち * 隠し釘打ち ○ _____

イ. 諸金物

形状、寸法及び材質 * 表6.5.3～表6.5.5による ○ 図示

ウ. 接着剤

ホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ ○ _____

(10) 木れんがの接着工法に使用する接着剤 (6.5.4)
ホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ ○ _____

(11) 防腐・防蟻処理 (6.5.5)
ア. 表面処理用防腐剤は監督員の承諾するものとする。
イ. 防腐・防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材
適用部位 ()
ウ. 薬剤の加圧注入処理等による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分		
	○ K2	○ K3	○ K4
	○ K2	○ K3	○ K4

エ. 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	薬剤の種類	処理の方法
	○ JIS K 1571に適合する表面処理用木材保存剤又は同等品	* 薬剤の製造所の仕様による ○
	○ JIS K 1571付属書Aに基づく表面処理用木材保存剤 種類:()	* 薬剤の製造所の仕様による ○
	○	* 薬剤の製造所の仕様による ○

オ. 薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理
適用部材 ()
カ. 合板等の加圧注入処理等による防腐・防蟻処理
適用部材 ()
保存処理の性能区分 * K3 ○ _____
キ. 不燃処理木材等
○ 不燃材料 ○ 準不燃材料 ○ 難燃材料

(12) 鉄筋コンクリート造等の内部間仕切軸組及び床組 (6.5.6)
ア. 間仕切軸組に用いる木材
* 杉又は松 ○
イ. 床組に用いる木材
* 杉又は松 ○

(13) 窓、出入口その他に用いる木材 (6.5.7)
ア. 吊元枠、水掛りの下枠及び敷居 * ひのき ○
イ. その他 * 杉又は松 ○

(14) 縁甲板及び上がりがまちに用いる木材 (6.5.8)
* ひのき ○

(15) 壁及び天井下地に用いる木材 (6.5.9)
* 杉又は松 ○

▷ 5. 軽量鉄骨天井
下地 (6.6.2)(表6.6.1)

(1) 材料 (6.6.2)(表6.6.1)
ア. 野縁等の種類

施工部位		野縁等の種類
屋内		* 19形
		○ 25形
屋外		○ 19形
		* 25形

(2) 形式及び寸法 (6.6.3)(表6.6.2)
ア. 野縁受け、つりボルト及びインサートの間隔

屋内	* 900mm程度 周辺部の端から150mm以内
屋外	○

イ. 野縁の間隔

屋内	* 表6.6.2による
屋外	○

(3) 工法 (6.6.4)

ア. 既存の埋込みインサートを使用する場合
つりボルトの引張試験

箇所数	確認する強度
* 3箇所(当該階) ○	* 400N程度 ○

イ. あと施工アンカーの施工後の確認

- 実施する(引張試験) * 6.6.4(1)(ウ)による
○ 実施しない

(4) 開口補強(つりボルトの間隔が900mmを超える場合) (6.6.4)

補強方法 * 図示 ○ _____

(5) 天井ふとところが3.0mを超える場合 (6.6.4)

補強方法 * 図示 ○ _____

(6) 天井下地材における耐震性を考慮した補強 (6.6.4)

補強箇所 * 図示

補強方法 * 図示

(7) 屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 (6.6.4)

補強箇所 * 図示

補強方法 * 図示

▷ 6. 軽量鉄骨壁下地

(1) スタッド、ランナ等の種類 (6.7.3)(表6.7.1)

施工部位	スタッドの高さによる区分	種類
	高さ2.7m以下	* 50形 ○
	高さ4.0m以下	* 65形 ○
	高さ4.0m超～4.5m以下	* 90形 ○
	高さ4.5m超～5.0m以下	* 100形 ○

(2) スタッドの高さが5.0mを超える場合: * 図示 (6.7.3)(表6.7.1)

(3) 出入口及びこれに準じる開口部の補強 (6.7.4)

- * 6.7.4による ○ 図示

▷ 7. ビニル床シート、
ビニル床タイル
及びゴム床タイル張り

(1) 材料 (6.8.2)(6.8.3)

ア. ビニル床シート(JIS A 5705)

施工箇所	種類の記号	色柄	厚さ(mm)	工法
	* FS ○	○ マーブル ○ フレーン	* 2.0 ○	○ 突付け * 熱溶接
	* FS ○	○ マーブル ○ フレーン	* 2.0 ○	○ 突付け * 熱溶接

イ. ビニル床タイル(JIS A 5705) (6.8.2)

施工箇所	種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)
	* KT ○	○ マーブル ○ フレーン	○ 300×300 ○ 450×450	* 2.0 ○
	* KT ○	○ マーブル ○ フレーン	○ 300×300 ○ 450×450	* 2.0 ○

ウ. 特殊機能床材 (6.8.2)

(ア) 帯電防止床シート

施工箇所	種類	性能	厚さ(mm)

(イ) 帯電防止床タイル

施工箇所	種類	性能	寸法(mm)	厚さ(mm)
			×	
			×	

(ウ) 視覚障害者用床タイル (6.8.2)

区分	施工箇所	種類	形状
屋外		<input type="radio"/> 塩化ビニル系	<input type="radio"/>
		<input type="radio"/> レジンコンクリート系	<input type="radio"/>
		<input type="radio"/> 磁器質タイル	
屋内		<input type="radio"/> 塩化ビニル系	<input type="radio"/>
		<input type="radio"/> 磁器質タイル	<input type="radio"/>

※ 色は周囲の床材と識別しやすいものとする

(エ) 耐動荷重性床シート (6.8.2)

施工箇所	種類	厚さ(mm)

(オ) 防滑性床シート (6.8.2)

施工箇所	種類	厚さ(mm)

(カ) 防滑性床タイル (6.8.2)

施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)
		×	
		×	

エ. ビニル幅木 (6.8.2)

材質の種類 * 軟質 硬質
 厚さ(mm) * 1.5以上 _____
 高さ(mm) * 60 75 100

オ. ゴム床タイル (6.8.2)

色柄 _____
 種類 単層品 積層品
 厚さ(mm) 3.0 4.0 5.0 6.0 9.0
 寸法(mm) _____

カ. 接着剤 (6.8.2)

(ア) ホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆

(イ) 施工箇所の下地が、セメント系及び木質系以外の場合 (表6.8.1)(表6.8.2)

施工箇所 _____
 主成分による区分 _____

(ウ) モルタル塗り下地、セルフレベリング材塗り下地及び木下地以外の下地の工法 (6.8.3)

工法 _____

▷ 8. カーペット敷き

(1) 織じゅうたん (JIS L 4404) (6.9.2)(6.9.3)(表6.9.1)(表6.9.2)

種別	織り方	パイルの形状	色柄	パイル糸の種類	帯電性
<input type="radio"/> A種	<input type="radio"/> ウィルトン	<input type="radio"/> ループ	* 模様の	A種の場合	<input type="radio"/> 適用する
<input type="radio"/> B種	<input type="radio"/> フェイストウ	<input type="radio"/> カット	ない	そ毛糸	性能
<input type="radio"/> C種	<input type="radio"/> フェイス	<input type="radio"/> 併用	無地	B種、C種の場合	* 人体帯電圧
	<input type="radio"/> アクシンスター		<input type="radio"/>	紡毛糸	3.0kv以下
					<input type="radio"/>
					<input type="radio"/> 適用しない

接合方法 * ヒートボンド工法 つづり縫い

(2) タフテッドカーペット (JIS L 4405) (6.9.2)(6.9.3)(表6.9.1)(表6.9.2)

パイルの形状	パイル長(mm)	工法	帯電性
<input type="radio"/> ループ		<input type="radio"/> 全面接着工法	<input type="radio"/> 適用する
<input type="radio"/> カット		<input type="radio"/> グリッパー工法	性能
<input type="radio"/> 併用			* 人体帯電圧
			3.0kv以下
			<input type="radio"/>
			<input type="radio"/> 適用しない

(3) タイルカーペット (JIS L 4406) (6.9.2)

種類	パイルの形状	寸法	総厚さ
* 第一種	* ループ	* 500mm角	* 6.5mm
○ 第二種	○ カット ○ 併用	○	○

(4) 下敷き材 * 第2種2号 ○ _____ (6.9.2)
* 呼び厚さ8mm ○ _____

(5) 見切り、押え金物の材質、種類、形状 * 図示 (6.9.2)

(6) 接着剤 (6.9.2)

ホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ ○ _____

(7) タイルカーペットの敷き方 (6.9.3)

平場 * 市松敷き ○ 模様流し ○ _____

階段部分 * 模様流し ○ 市松敷き ○ _____

▷ 9. 合成樹脂塗床

(1) 弾性ウレタン樹脂系塗床 (6.10.2)(6.10.3)(表6.10.4)

施工部位	仕上げの種類	厚さ(mm)
	* 平滑 ○ 防滑 ○ つや消し	
	* 平滑 ○ 防滑 ○ つや消し	

(2) エポキシ樹脂系塗床 (6.10.2)(6.10.3)(表6.10.2.5~7)

施工部位	工法	仕上げの種類	厚さ(mm)
	○ 薄膜流しのペ ○ 厚膜流しのペ ○ 樹脂モルタル	○ 平滑 ○ 防滑	
	○ 薄膜流しのペ ○ 厚膜流しのペ ○ 樹脂モルタル	○ 平滑 ○ 防滑	

(3) 塗床材のホルムアルデヒド放散量 (6.10.2)

* F☆☆☆☆ ○

▷ 10. フローリング張り

(1) 単層フローリング (6.11.2~7)(表6.11.1)(表6.11.3)(表6.11.5)

品名	樹種	工法	厚さ(mm)	仕上げ塗装
○ フローリング ボード1等	* なら ○	○ 釘留め (根太張り) ○ 釘留め (直張り) ○ 接着	○ _____ mm ○ 図示	○ 塗装品 ○ 無塗装品
○ フローリング ブロック等	○ なら ○	○ 接着	○ _____ mm ○ 図示	○ 塗装品 ○ 無塗装品

(2) 複合フローリング (6.11.2~7)(表6.11.2)(表6.11.4)(表6.11.6)

樹種	種別	工法	厚さ(mm)	仕上げ塗装
* なら ○ さくら ○ ひのき、まつ	○ A種 ○ B種 * C種	○ 釘留め (根太張り) ○ 釘留め (直張り) ○ 接着	○ _____ mm ○ 図示	○ 塗装品 ○ 無塗装品

(3) 特殊フローリング

品名	表面材の樹種	仕上げ塗装
○ 屋内体育館アリーナ床 (JIS A 6519)	* なら	
○ 柔剣道場の床 (JIS A 6519)	* なら	

※ 塗装の凡例

素地：素地のまま W: 生地のまま、ワックス塗り

OSW: オイルステインワックス塗り(オイルステイン2回、ワックス1回)

UCB: ウレタン樹脂ワニス塗りB種(2回塗り)

- (4) フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 (6.11.2)
 * F☆☆☆☆ ○ _____
- (5) 接着工法におけるフローリング裏面の不陸緩衝材 (6.11.5)
 * 合成樹脂発泡シート ○ _____
- (6) 現場塗装仕上げ (6.11.6)
 ○ 適用する ○ 適用しない
 適用する施工箇所 ○ 図示
 下地調整 ○ する ○ しない
 塗装の種類 * ウレタン樹脂ワニス塗り
 ○ オイルステインの上、ワックス塗り
 ○ 生地そのままワックス塗り
- (1) 普通畳の種別 (6.12.2)
 ○ A種 ○ B種 ○ C種 * D種
 A種の場合の畳表 ○ JS ○ J1
 C種の場合の畳床 ○ PS-C20 ○ PS-C25 ○ PS-C30
 D種の場合の畳床 ○ KT-I ○ KT-II * KT-III
 ○ KT-K ○ KT-N
- (2) 衝撃緩和型畳 畳表 ○ C1 ○ C2 (6.12.2)
- (3) 柔道畳
 畳床は、JIS A 5901(畳床)の2級品とし、畳表は、柔道用レザー表地(裏地ビニロン使用)とする。
- (1) せっこうボード及びその他のボードの種類、厚さ (6.13.2)
 * 図示
- (2) 合板類、MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 (6.13.2)
 * F☆☆☆☆ ○ _____
- (3) 普通合板の規格 (6.13.2)
- | 品名 | 単板の樹種名 | 厚さ(mm) | 板面の品質 | 防虫処理 |
|----|--------------------|--------------|--|--|
| ○ | ○ ラワン
○ シナ
○ | * 5.5mm
○ | (広葉樹)
* 2等以上
(針葉樹)
* C-D以上
○ | * 適用する
○ 適用しない
ラワン材及びびならを使用する場合
* 性能区分 K1 |
- (4) 天然木化粧合板の規格 (6.13.2)
- | 化粧板の単板樹種名 | 厚さ(mm) | 防虫処理 |
|-----------|--------|--|
| ○ | ○ | * 適用する
○ 適用しない
ラワン材及びびならを使用する場合
* 性能区分 K1 |
- (5) 特殊加工化粧合板の規格 (6.13.2)
- | 品目 | 厚さ(mm) | 接着の程度 | 単板の樹種名 | 化粧加工の方法 | 防虫処理 |
|--|--------|--------------|--------|-----------------------------|--|
| ○ メラミン化粧合板
○ ポリエステル化粧合板
○ プリント合板
○ 塩化ビニル化粧合板
○ | ○ | ○ 1類
○ 2類 | ○ | ○ オーバーレイ
○ プリント
○ 塗装等 | * 適用する
○ 適用しない
ラワン材及びびならを使用する場合
* 性能区分 K1 |
- (6) 天井のボード(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 (6.13.3)
 * 図示 ○ _____
- (7) 合板の張付けの種別 ○ A種 * B種 (6.13.3)
- (8) せっこうボードの目地工法の種類 (6.13.3)(表6.13.5)
 * 突付け工法
 ○ ベベルエッジ ○ スクエアエッジ
 ○ 継目処理工法
 ○ テーパーエッジ ○ ベベルエッジ

▶ 11. 畳敷き

▶ 12. せっこうボード、
 その他ボード及
 び合板張り

▷ 13. 壁紙張り

- 目透し工法
○ ベベルエッジ ○ スクエアエッジ (6.14.2)
- (1) 材料 (6.14.2)
壁紙の施工部位・種類・防火性能
* 図示
- (2) 壁紙及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ ○ 規制対象外
- (3) 素地ごしらの種別 (6.14.3)(表6.14.1～3)

▷ 14. モルタル塗り

- モルタル・せっこうプラスター面 * B種 ○ A種
コンクリート面 * B種 ○ A種
せっこうボード面及びけい酸カルシウム板面 * B種 ○ A種
- (1) 材料 (6.15.3)
○ 現場調合材料 ○ 既調合材料
- (2) 既製目地材 (6.15.3)
○ 設ける
施工箇所(_____)
形状 (* 図示 ○ _____)
○ 設けない
- (3) 下地処理 (6.15.5)
壁面の仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処理
処理方法 * 図示 ○ _____
- (4) 床の目地 (6.15.6)
○ 設ける(種類 * 押し目地 ○ _____)
* 目地割2㎡程度、最大目地間隔3m程度
○ _____
○ 設けない

▷ 15. タイル張り

- (1) 伸縮目地の位置 (6.16.2)
床タイル * 縦・横とも4m以内ごと ○ 図示
床タイル以外 * 図示 ○ _____
- (2) セメントモルタルによるタイル張り (6.16.2)(6.16.3)
再生材利用タイルの使用 * 使用する ○ 使用しない

施工箇所	タイルの形状、寸法 (mm)	吸水率による区分	うわぐすり		役物		色		耐凍害性		耐滑り性
			施釉	無釉	有	無	標準	特注	有	無	
	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○

- 試験張り ○ 行う ○ 行わない
見本焼き ○ 行う ○ 行わない
既調合モルタル * 既調合モルタルの製造所の仕様による
○ _____

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理の方法
* 目荒し工法
○ _____

- (3) 壁タイル張り (6.16.3)

タイルの種類	タイルの大きさ	工法
○ 内装タイル	○ 小口平 ○ 二丁掛 ○ 100角	○ 密着張り ○ 改良圧着張り
○ ユニットタイル (内装タイル以外)	○ 50二丁以下	○ マスク張り ○ モザイクタイル張り

(4) 有機系接着剤によるタイル張り (6.16.2)(6.16.4)

再生材利用タイルの使用 * 使用する ○ 使用しない

施工箇所	タイルの 形状、寸法 (mm)	吸水率 による 区分	うわぐすり		役物		色		耐凍 害性		耐滑 り性
			施 釉	無 釉	有	無	標 準	特 注	有	無	
	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○

試験張り ○ 行う * 行わない

見本焼き ○ 行う * 行わない

接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ ○ _____

(6.17.2)(6.17.3)

▷ 16. セルフレベリ
ング材塗り

施工箇所	種 類	塗 厚
	○ せっこう系	○ 10 mm
	○ セメント系	○ mm
	○ せっこう系	○ 10 mm
	○ セメント系	○ mm

● 第 7 章 塗装改修工事

項 目	特 記 事 項																											
▶ 1. 材料	(1) 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (7.1.3) * F☆☆☆☆ ○ _____																											
▷ 2. 下地調整	(1) 塗替えてRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 (7.2.1~7) * 劣化部分は除去し、活膜部分は残す ○ _____ (2) 下地調整種別 (7.2.2~7)																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>下地の種類</th> <th>種別 塗替え</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合 * RB種 ○ RA種 ○ RB種 ○ RC種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>○ RA種 * RB種 ○ RC種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>○ RA種 * RB種 ○ RC種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及び プラスター面</td> <td>○ RA種 * RB種 ○ RC種</td> <td>○ 適用する ○ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面、 ALCパネル面</td> <td>○ RA種 * RB種 ○ RC種</td> <td>○ 適用する ○ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面、 (DP)</td> <td>○ RA種 ○ RB種 ○ RC種</td> <td>○ 適用する ○ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>押出成形 セメント板面</td> <td>○ RA種 ○ RB種 ○ RC種</td> <td>○ 適用する ○ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面 及びその他ボード面</td> <td>○ RA種 * RB種 ○ RC種</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	下地の種類	種別 塗替え	ひび割れ部の補修	木部	不透明塗料塗りの場合 * RB種 ○ RA種 ○ RB種 ○ RC種	—	鉄鋼面	○ RA種 * RB種 ○ RC種	—	亜鉛めっき鋼面	○ RA種 * RB種 ○ RC種	—	モルタル面及び プラスター面	○ RA種 * RB種 ○ RC種	○ 適用する ○ 適用しない	コンクリート面、 ALCパネル面	○ RA種 * RB種 ○ RC種	○ 適用する ○ 適用しない	コンクリート面、 (DP)	○ RA種 ○ RB種 ○ RC種	○ 適用する ○ 適用しない	押出成形 セメント板面	○ RA種 ○ RB種 ○ RC種	○ 適用する ○ 適用しない	せっこうボード面 及びその他ボード面	○ RA種 * RB種 ○ RC種	—
下地の種類	種別 塗替え	ひび割れ部の補修																										
木部	不透明塗料塗りの場合 * RB種 ○ RA種 ○ RB種 ○ RC種	—																										
鉄鋼面	○ RA種 * RB種 ○ RC種	—																										
亜鉛めっき鋼面	○ RA種 * RB種 ○ RC種	—																										
モルタル面及び プラスター面	○ RA種 * RB種 ○ RC種	○ 適用する ○ 適用しない																										
コンクリート面、 ALCパネル面	○ RA種 * RB種 ○ RC種	○ 適用する ○ 適用しない																										
コンクリート面、 (DP)	○ RA種 ○ RB種 ○ RC種	○ 適用する ○ 適用しない																										
押出成形 セメント板面	○ RA種 ○ RB種 ○ RC種	○ 適用する ○ 適用しない																										
せっこうボード面 及びその他ボード面	○ RA種 * RB種 ○ RC種	—																										
▶ 3. 素地ごしらえ	素地ごしらえ種別 (7.3.2~7)																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>下地の種類</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合 * A種 ○ B種 透明塗料塗りの場合 ○ A種 * B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>○ A種 ○ B種 * C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP)</td> <td>○ A種 * B種 ○ C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>○ A種 ○ B種</td> </tr> </tbody> </table>	下地の種類	種別	木部	不透明塗料塗りの場合 * A種 ○ B種 透明塗料塗りの場合 ○ A種 * B種	鉄鋼面	○ A種 ○ B種 * C種	鉄鋼面(DP)	○ A種 * B種 ○ C種	亜鉛めっき鋼面	○ A種 ○ B種																	
下地の種類	種別																											
木部	不透明塗料塗りの場合 * A種 ○ B種 透明塗料塗りの場合 ○ A種 * B種																											
鉄鋼面	○ A種 ○ B種 * C種																											
鉄鋼面(DP)	○ A種 * B種 ○ C種																											
亜鉛めっき鋼面	○ A種 ○ B種																											

モルタル面及び プラスター面	○ A種 * B種
コンクリート面、 ALCパネル面	○ A種 * B種
コンクリート面(DP)	○ A種 ○ B種
押出成形 セメント板面	○ A種 ○ B種
せっこうボード面 及びその他ボード面	○ A種 * B種

▷ 4. 錆止め塗料塗り

(7.4.2~3)

素地面	改修塗 り仕様	錆止め塗 料種別	錆止め塗料塗り種別				
鉄鋼面	SOP	* As種	新規	見え掛り部分	* A種	○ B種	○ C種
		○		見え隠れ部分	○ A種	* B種	○ C種
		○ Cs種	塗替え	○ A種	○ B種	* C種	
	DP	○ Cs種	新規	* A種	○ B種	○ C種	
		○ Ds種	塗替え	○ A種	○ B種	○ C種	
		○ As種	新規	見え掛り部分	* A種	○ B種	○ C種
* Bs種	見え隠れ部分	○ A種		* B種	○ C種		
亜鉛 めっき 鋼面	SOP	○ Az種	新規	○ A種	* B種	○ C種	
		* Bz種	塗替え	○ A種	○ B種	* C種	
	SOP(鋼 製建具 等)	* Az種	新規	* A種	○ B種	○ C種	
		○ Bz種	塗替え	○ A種	○ B種	* C種	
	DP	* Bz種	—				
	EP-G	* Cz種	新規	○ A種	* B種	○ C種	
			塗替え	○ A種	○ B種	* C種	
	EP-G(鋼 製建具 等)	* Cz種	新規	* A種	○ B種	○ C種	
			塗替え	○ A種	○ B種	* C種	

▶ 5. 塗料塗り

(7.5.2~7.13.2)

種類	塗装面	新規		塗替え		
合成樹 脂調合 ペイン ト (SOP)	木部屋外	* A種	○ B種	○ A種	* B種	○ C種
	木屋内	○ A種	* B種	○ A種	* B種	○ C種
	鉄鋼面	○ A種	○ B種	○ A種	* B種	○ C種
	亜鉛 めっき 鋼面	○ A種	* B種	* A種	○ B種	○ C種
	鋼製 建具 その他	○ A種	* B種	○ A種	* B種	○ C種
クリヤ ラッカー (CL)	木屋内	○ A種	* B種	○ A種	* B種	
アクリ ル樹脂 系非水 分散形 塗料 (NAD)	コンクリート面	○ A種	* B種	○ A種	* B種	
	モルタル面	○ A種	* B種	○ A種	* B種	
	押出成形セメン ト板面	○ A種	* B種	○ A種	* B種	
	鉄鋼面	上塗り塗料	○ A種	○ B種		
耐候性 塗料 (DP)	亜鉛めっき鋼面	上塗り塗料	○ A種	○ B種		
	コンクリート面 及び押出成形 セメント板面	* A-1種	○ B-1種	○ A-1種	○ A-2種	
		○ C-1種		○ B-1種	○ B-2種	
				○ C-1種	○ C-2種	

つや有合成樹脂エマルジョンペイント (EP-G)	コンクリート面、押出成形セメント板面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面	○ A種 * B種	○ A種 * B種 ○ C種 B種又はC種の場合は工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする
	木部屋内	* A種 ○ B種	○ A種 * B種 ○ C種
	屋内鉄鋼面	○ A種 * B種	○ A種 * B種 ○ C種
	亜鉛めっき鋼面	* A種	* A種 ○ B種
合成樹脂エマルジョンペイント (EP)	コンクリート面、押出成形セメント板面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面	○ A種 * B種	○ A種 * B種 ○ C種 B種又はC種の場合は工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする
ウレタン樹脂ワニス (UC)	木部屋内	○ A種 * B種	○ A種 * B種
		工程1の着色の適用 ○ 適用する ○ 適用しない ○ 油性顔料着色剤 ○ 溶剤形顔料着色剤	
ピグメントステイン	木部屋内	7.12.2による	
木材保護塗料 (WP)	木部屋外	○ A種 * B種	○ A種 * B種

○ 第 8 章 耐震改修工事

● 第 9 章 環境配慮改修工事

項 目	特 記 事 項
▶ 1. 石綿含有建材の除去工事	<p>(1) 事前調査 (9.1.1)</p> <p>調査範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての材料について、設計図書等の書面調査及び現地での目視調査 調査結果報告書で確認 対象建築物の新築工事の着工日が平成18年9月1日以降であることを設計図書等で確認 <p>既存の設計図書 * 貸与 ○ 無</p> <p>石綿含有建材の調査報告書 * 貸与 ○ 無</p> <p>分析結果 ● 石綿含有 ○ 石綿非含有</p> <p>分析調査 ○ 適用する ○ 適用しない</p> <p>適用する場合の調査範囲 ○ _____</p> <p>建材中の石綿含有率の分析方法について(基発0821002号、最終改正令和3年12月22日基発1222第17号)による。</p> <p>なお、分析調査は厚生労働大臣が定めた必要な知識及び技能を有する者が行うものとする。事前調査の結果、設計図書等と異なる場合は、監督員と協議する。</p> <p>調査結果を監督員に説明するとともに関係法令等に基づき官公署へ報告を行うこと。</p> <p>(2) 石綿含有建材除去後の仕上げ ○ 図示</p>

- (3) 石綿粉じん濃度測定 * 行う ○ 行わない
- 測定方法 * 図示 ○ _____
- 測定時期 * 図示 ○ _____
- 測定場所 * 図示 ○ _____
- 測定箇所数 * 図示 ○ _____

(4) 石綿含有吹付け材の除去 (9.1.3)

ア 除去方法

* 石綿含有吹付け材を粉じん飛散抑制剤等により湿潤化した後に除去する。

○ _____

イ 除去した石綿含有吹付け材等の梱包

飛散防止措置 * 湿潤化 ○ 固化

ウ 除去した石綿含有吹付け材等の処分方法

処理区分	* 最終処分(管理型) ○ 中間処理 (○ 無害化 ○ 溶融)
場所	第1章 発生材の処理等による

(5) 石綿含有保温材等の除去 (9.1.4)

ア 除去方法 ○ 切断又は破砕 ○ 手ばらし

イ 除去工法(煙突用断熱材は除く) * 湿潤化後手ばらし ○

ウ 煙突用断熱材の除去 * 図示

エ 除去した石綿含有保温材等の処分方法

処理区分	* 最終処分 ○ 中間処理 ○
場所	第1章 発生材の処理等による

(6) 石綿含有成形板等の除去 (9.1.5)

ア 石綿含有成形板の種類 * 図示

イ 石綿粉じん飛散防止の養生 * 行う ○ 行わない

ウ 除去した石綿含有成形板等の処分方法

処理区分	* 最終処分(* 安定型 ○ 管理型) ○ 中間処理 (○ 無害化 ○ 溶融)
場所	第1章 発生材の処理等による

(7) 石綿含有仕上塗材の除去 (9.1.6)

ア 除去工法 * 図示

イ 除去した石綿含有成形板等の処分方法

処理区分	* 最終処分(* 安定型 ○ 管理型) ○ 中間処理 (○ 無害化 ○ 溶融)
場所	第1章 発生材の処理等による

▷ 2. 外断熱改修工事

材料 (9.2.2)

- グラスウール
- ロックウール
- グラスウールボード
- ロックウールボード
- ビーズ法ポリスチレンフォーム
- 押出法ポリスチレンフォーム
- 硬質ポリウレタンフォーム
- ポリエチレンフォーム
- フェノールフォーム
- 吹込み用グラスウール
- 吹込み用ロックウール
- 吹込み用セルロースファイバー
- 吹付け硬質ポリウレタンフォーム

性能 * 図示

厚さ _____ mm

外装材の種類、防火性能 * 図示

既存外壁の処置 (9.2.3)

仕上げ材撤去 ○ 行う ○ 行わない

下地面の清掃 ○ 行う(_____) ○ 行わない

下地欠損部の改修 ○ 行う (工法 * 図示) ○ 行わない

建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 (9.2.4)

* 適用する 工法: _____ ○ 適用しない

不陸等の下地調整 ○ _____ ○ 図示

断熱材の施工 ○ _____ ○ 図示

外装材の施工 ○ _____ ○ 図示

通気層の有無及び厚さ * 図示

外装材の外壁への取付け * 図示

▷ 3. 断熱・防露改修工事

(1) 材料

(9.3.2)(9.3.3)(9.3.4)

適用	断熱材	種類	厚さ (mm)
<input type="radio"/>	ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		<input type="radio"/> 1号 <input type="radio"/> 2号 <input type="radio"/> 3号 <input type="radio"/> 4号
<input type="radio"/>	押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし)	<input type="radio"/> 1種b <input type="radio"/> 2種b <input type="radio"/> 3種a <input type="radio"/> 3種b	<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D
<input type="radio"/>	硬質ウレタンフォーム断熱材	<input type="radio"/> 1種 <input type="radio"/> 2種	<input type="radio"/> 1号 <input type="radio"/> 2号 <input type="radio"/> 3号 <input type="radio"/> 4号
<input type="radio"/>	ポリエチレンフォーム断熱材	<input type="radio"/> 1種 <input type="radio"/> 2種 <input type="radio"/> 3種	<input type="radio"/> 1号 <input type="radio"/> 2号
<input type="radio"/>	フェノールフォーム断熱材	<input type="radio"/> 1種1号 <input type="radio"/> 1種2号 <input type="radio"/> 1種3号 <input type="radio"/> 2種1号 <input type="radio"/> 2種2号 <input type="radio"/> 2種3号 <input type="radio"/> 3種1号	<input type="radio"/> AI <input type="radio"/> AII <input type="radio"/> BI <input type="radio"/> BII <input type="radio"/> CI <input type="radio"/> CII <input type="radio"/> DI <input type="radio"/> DII <input type="radio"/> EI <input type="radio"/> EII

フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド放散量

* F☆☆☆☆ _____

(2) 断熱材現場発泡工法

(9.3.2)

ア 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量

* F☆☆☆☆ _____

イ 種類 A種1 A種1H

ウ 吹付厚さ(mm) _____

(3) 断熱材後張り工法

(9.3.4)

ア 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネルの使用

適用する (パネルの仕様 * 図示 _____)

適用しない

イ 接着剤のホルムアルデヒド放散量

* F☆☆☆☆ _____

ウ 張り付け工法

後張りした断熱材に直接ボードの張り付け

断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル

特記事項 * 図示

(9.4.2~4)

▷ 4. 屋上緑化改修工事

第10章 屋根工事

第11章 その他

● 工 事 概 要

項 目	特 記 事 項					
▶ 1. 電気工作物の種類	● 一般用電気工作物 ○ 事業用電気工作物(自家用電気工作物)					
▶ 2. 工事種目 【一般建物】						
名 称	新 営	改 修	施工の範囲			備 考
電灯設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
動力設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
電熱設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
雷保護設備	○ 一式	○ 一式				
受変電設備	○ 一式	○ 一式				
電力貯蔵設備	○ 一式	○ 一式				
発電設備	○ 一式	○ 一式				
構内情報通信網設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
構内交換設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
情報表示設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
映像音響設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
拡声設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
誘導支援設備	○ 一式	● 一式	● 配管	● 配線	● 器具付	
テレビ共同受信設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
監視カメラ設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
火災報知設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
中央監視制御設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
防犯入退室管理設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
構内配電線路設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
構内通信線路設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
▶ 3. 設備概要	<p>本工事対象建築物の設備概要は下記のとおりとする。</p> <p>なお、改修工事にあつては改修工事後の設備概要を示し、本工事の対象となっていない設備については記載していない。</p> <p>引込（電力） ○ 架空 ○ 地中 引込（通信） ○ 架空 ○ 地中</p> <p>受電方式 ○ 低圧受電（○ 電灯 ○ 動力） ○ 高圧受電 _____ K V</p> <p>受電設備 ○ 非常電源専用受電設備 ○ 屋内 ○ 屋外 ○ キュービクル式 ○ 高圧スイッチギア</p> <p>変圧器 単相 計 _____ K V A 三相 計 _____ K V A</p> <p>自家発電装置 種別 ○ ディーゼル機関 ○ ガス機関 ○ ガスタービン機関</p> <p> 発電機出力 _____ K V A 燃料 ○ 軽油 ○ A 重油 ○ 灯油 ○ ガス</p>					

実装数／容量数 局線数 ／
 内線数 ／
 電話機 ○ 一般形 ○ 多機能形
 ○ 停電用 ○ IP電話機
 電源装置 停電補償時間 分

情報表示設備 ○ マルチサイン装置
 ○ 出退表示装置
 ○ 時刻表示装置 出力回線数 回線

映像音響設備 ○ 有 ○ 無

拡声設備 ○ Hi形増幅器 増幅器容量 W
 ○ 一般放送用 ○ 非常放送用 ○ 一般非常兼用
 ○ 遠隔操作器 箇所

誘導支援設備 ○ 音声誘導装置 ● インターホン
 その他機器 ○ テレビインターホン
 ○ 外部受付用インターホン
 ● トイレ等呼出装置
 ○ 受付呼出装置

テレビ共同受信設備 アンテナ ○ UHF
 ○ BS・110°CS
 ○ CS
 ○ その他 (AM・FM)

火災報知設備

(1) 自動火災報知設備

受信機 形 級 回線
 ○ 単独盤 ○ 複合盤
 ○ 壁掛形 ○ 自立形

副受信機 台 回線
 ○ 自動試験機能 ○ 遠隔試験機能
 ○ GP型3級受信機 (住戸内)

発信機 形 級 ○ 組込形 ○ 露出形
 警報ベル ○ 露出形 ○ 組込形
 総合盤 ○ 単独 (○ 露出 ○ 埋込)
 ○ 消火栓箱組込形 (消火栓箱は別途工事)

(2) 自動閉鎖設備

自動閉鎖装置連動制御器 ○ 単独盤 ○ 複合盤

(3) 非常警報設備

○ 一体型 ○ 複合型
 ○ その他 (○ 非常ベル ○ 表示灯 ○ 起動装置)

(4) ガス漏れ警報設備 (機械設備のガス漏れ警報設備に係わる工事)

○ 電気設備工事で設置 ○ 機械設備工事で設置
 施工の範囲 ○ 配管 ○ 配線
 ○ 基台 (警報機は別途)
 ○ 器具付け

基台は警報出力接点付き、アダプター付きとする。

ガス種別 ○ LPG ○ 都市ガス

中央監視装置 ○ 警報盤
 ○ 簡易型監視制御装置

	<p>○ 監視制御装置</p> <p>防犯入退室管理設備</p> <p>○ センサ</p> <p>○ マグネットスイッチ</p> <p>○ バイブレーションスイッチ</p> <p>○ パッシブセンサ</p> <p>○ 制御部</p> <p>○ キースイッチ</p> <p>○ 暗証番号入力装置</p> <p>○ 磁気カード</p> <p>○ ICカード</p> <p>○ 機器類は施設管理者リース品である。</p> <p>共用灯設備</p> <p>電気方式</p> <p>単相2線式 (○ 100V ○ 200V) 50Hz</p> <p>照明制御装置</p> <p>○ 人感センサー</p> <p>○ 明るさセンサ</p> <p>○ タイマ</p> <p>外灯設備</p> <p>○ 架空</p> <p>○ 地中</p> <p>ポール種別</p> <p>○ 鋼製塗装</p> <p>○ アルミ</p> <p>○ 溶融亜鉛メッキ塗装</p> <p>○ 溶融亜鉛メッキ[®]ポリエステル粉体塗装</p> <p>○ 埋込式</p> <p>○ ベースプレート式</p> <p>ランプ</p> <p>○ LED</p> <p>○ その他 (_____)</p> <p>点滅方式</p> <p>○ 自動式 (○ 自動点滅器 ○ タイマ)</p> <p>○ 手動式</p> <p>電波障害防除設備</p> <p>施工方法</p> <p>○ 架空配線式</p> <p>○ 地中配線式</p> <p>○ アンテナ対策</p> <p>○ CATV</p> <p>受信点</p> <p>○ 当該施設のテレビアンテナより分岐</p> <p>○ 新設</p> <p>○ 既設電波障害防除施設より分岐</p>
--	--

● 電気設備共通事項

項 目	特 記 事 項
▷ 1. 電気保安技術者	電気主任技術者を補佐し、監督員の承諾を受け電気工作物の保安業務を行う電気保安技術者をおくこと。
▷ 2. 諸手続	本工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、受注者が代行し速やかに行い、費用は全て受注者の負担とする。
▷ 3. 試運転調整	この工事に必要な試運転調整の費用は全て受注者の負担とする。
▷ 4. 指定仮設	* なし ○ 本工事 (仮設計画図による)
▷ 5. 足場及び橋類	別契約の関係受注者の定置する足場、栈橋の類は、無償で使用できる。

▷ 6. 交通誘導警備員

建設機械及び車両等の出入りの際には、出入口に交通誘導警備員を配置し、一般通行者及び一般車両の安全を図ること。

なお、交通誘導警備員の区分、配置位置及び設置日数は、次による。

区分： ○ 交通誘導警備員A ○ 交通誘導警備員B

位置： 図面による。 設置日数： _____

警備員詰所： (○ 設ける ○ 設けない)

表 工事現場の位置と交通誘導警備員区分の考え方

工事現場の出入り口を設ける道路（路線）	交通誘導警備員区分
市街地（DID）内の路線	交通誘導警備員A
北海道（各方面）公安委員会告示による認定路線	
上記以外の路線	交通誘導警備員B

市街地内の路線及び認定路線の場合は、交通誘導警備業務を行う場所ごとに交通誘導警備員Aを1人以上配置する。

交通誘導警備員Aを配置できない場合で、やむを得ず受注者自らが交通誘導を行う場合は監督員と協議すること。

▶ 7. 工事用電力水等

1) 工事用水

構内既存の施設 ○ 利用できる (* 有償 ○ 無償)
* 利用できない

2) 工事用電力

構内既存の施設 ○ 利用できる (* 有償 ○ 無償)
* 利用できない

▶ 8. 使用機材等

使用する機材は「北海道建設部建築局建築整備課 令和8年度版 設備機材等指定名簿」を参考とする。

▷ 9. 製品の検査

次の機器は原則、監督員及び検査職員立会のもとに工場検査を行うこと。また、検査機器は出来高対象とする。

(対象機器： _____)

▶ 10. 参考図

図中参考図の寸法は概略寸法とする。

▶ 11. 発生材の処理

共通事項特記仕様書による。

▷ 12. 小型2次電池の処理

J B R Cの回収システムを利用すること。

▷ 13. イオン化式感知器の処理

共通事項特記仕様書 第1章 16による。

▷ 14. PCBを含む機器類

発生材にPCBを含む機器類がある場合は、PCBが飛散、流失、地下への浸透等がないよう適切な容器に収め、適切な場所に保管する。

保管場所・容器については、監督員の指示による。

▷ 15. 概数等発注

(1) 次に示した項目の工事数量は概数であり、必要に応じて設計変更するものとする。

なお、設計に対して過大な出来高数量に変更するものではないことに留意すること

7. 閲覧用設計書細目別内訳又は別紙明細の備考欄に「概数」又は「概」と表示された項目

イ. 次の項目

- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____

(2) この工事においては、設計変更図書の作成（設計変更図面の作成及び工事数量の算出）を受注者に行わせることができる。

▷ 16. 耐震措置

- (3) 概数として取り扱っている事項の施工に当たっては施工前に監督員と協議すること。
 なお、数量の確認ができない場合を除き、施工前に数量を確定すること。
- (4) 概数として示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、取り合い等によって新たに必要となる項目についても概数として取り扱うことがある。
- (1) 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(日本建築センター発行)に基づき、耐震施工を行う。(100kgを超える機器については、計算書を提出すること)

○ 一般の施設 ○ 特定の施設 ○ 甲類 ○ 乙類

① 局所震度法による建築設備機器(水槽類を除く)の設計用標準水平震度(Ks)

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
1階及び 地下階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

(注) () 内の数値は防振支持機器の場合に適用する

② 局所震度法による水槽類の設計用標準水平震度(Ks)

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要水槽	一般水槽	重要水槽	一般水槽
上層階 屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び 地下階	1.5	1.0	1.0	0.6

重要機器は、次のいずれかに該当するものをいう。また、一般機器とは重要機器以外をいう。

- イ. 災害応急対策活動に必要な施設等において、施設目的に応じた活動を行うために必要な設備機器
- ロ. 危険物を貯蔵又は使用する施設において、危険物による被害を防止するための設備機器
- ハ. 避難、消火等の防災機能を果たす設備機器
- ニ. 火災、水害、避難の障害等の二次災害を引き起こす恐れのある設備機器
- ホ. その他これらに類する機器

重要水槽とは重要機器として扱う水槽類、一般水槽とは一般機器として扱う水槽類を示す

また、水槽類にはオイルタンク等を含む

- (2) あと施工アンカーの場合は、監督員と事前協議の上使用することとし、施工後の確認試験は次による。

- ① 施工されたアンカーの固着状況を確認する試験(現場非破壊検査)とする。
- ② 試験箇所、試験荷重等を記載した試験計画書を、試験前に監督員に提出する。
- ③ 引抜試験装置は、油圧式加力装置、レンチ式加力装置等とする。

▷ 17. 防災電源（非常電源）	次の設備は防災電源（非常電源）として関係法令等に適合したものであること。
▷ 18. 配分電盤・端子盤類	○ キュービクル等 ○ 蓄電池 ○ 発電装置 図中に特記がある場合、及び住戸内を除き「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」を適用する。
▷ 19. 塗装工事	金属管の塗装箇所 * 無し ○ 有り（ _____ ）
▷ 20. 電線及びケーブル	1) 環境配慮形を使用することを原則とする。 2) アルミケーブルを使用する際は監督員と協議すること。 3) 高圧架橋ポリエチレンケーブル
▷ 21. 直線接続材(低圧)	○ E-Eタイプ（押出成形） ○ E-Tタイプ（テープ巻） 標準仕様書に記載のあるほか下記による。
▷ 22. 直線接続材(高圧)	* JCAA A102 * JCAA K1101 標準仕様書に記載のあるほか下記による。
▷ 23. 端末処理材(低圧)	* JCAA A305 標準仕様書に記載のあるほか下記による。
▷ 24. 端末処理材(高圧)	* JCAA K1101 標準仕様書に記載のあるほか下記による。
▶ 25. 位置ボックス	* JCAA K1301 図面に特記がある場合を除き標準仕様書の使用区分による。
▶ 26. 配線器具用プレート	● 気密処理を行う。 図中に特記がない場合は下記による。 住戸内 ● 合成樹脂製 その他 ○ アルミ合金製 ○ 合成樹脂製 ○ ステンレス製 ○ ネジ止め
▷ 27. フロアプレート	床ボックスに取付のもの（二重床を除く）は水平高低調整形プレートを用いる。
▷ 28. つりボルト	床下ピット等の湿気のある場所に使用するつりボルトは亜鉛メッキ又はステンレス製とする。
▷ 29. ボルト・ナット等	屋外又はそれに類する場所で使用するボルト、ナット等は亜鉛メッキ又はステンレス製とする。
▷ 30. プルボックス	天井内隠蔽部分及び高所取付のプルボックスの蓋に用いるビスは脱落防止ビスとする。
▷ 31. 結露防止	(1) 断熱材は可能な限り欠損させないこと。ただしこれによりがたい場合は、同等以上の処理を行う。
▷ 32. 呼び線	(2) 断熱処理箇所に使用するインサートは断熱インサートとする。 長さ1m以上の通線を行わない配管には、導入線（樹脂被覆鉄線等）を挿入する。
▷ 33. はつり工事	はつり作業を行う場合は、事前調査を入念に行い、埋込配管及び主鉄筋への損傷、じんあい処置等について注意して行うこと。 作業実施日時を施設管理者と共有し、施工場所の設備機能は、原則として停止すること。 電動器具を用いて、はつり工事を行う場合は、金属センサードラム等から電源を供給すること。 イ. 埋設物の探査方法 * 電磁波検査など ○ 放射線透過検査 対象ヶ所、躯体厚さ、フィルムサイズは図示による。 ロ. 設備機能の停止に伴う代替措置 影響範囲 () 代替措置 ()

▷ 34. その他

放射線透過検査を行う場合は、労働安全衛生法等に定めるところによるほか、次による。

作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有する者とし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。

放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業員以外の立入り禁止措置を講ずる。

露出時間は、コンクリート厚さ等により、適宜調整する。

付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。

躯体の墨出しは、表裏でズレがないよう措置を講ずる。

(1) MCCB回路とELCB回路に施工する接地は別接地とする。

- 電力設備工事
- 発電設備工事
- 通信・情報設備工事
- 映像・音響設備工事
- 構内配電線路設備
構内通信線路設備
- 環境配慮改修工事

機器取り付け高さ

項 目	特 記 事 項
-----	---------

▶ 1. 機器の取付高さは図示のほか下記を標準とする。

【一般建物／公営住宅】

	名 称	測 定	取 付 高 (mm)
共電 通 力	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000
	引込開閉器	床上～中心	1,800
電 灯	分電盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
	スイッチ	"	1,150
	スイッチ (公住) ※	"	1,100
	コンセント (一般)	"	400 (帯広市独自で改定)
	" (和室)	"	200
	" (台上)	台上～中心	150
	" (土間)	床上～中心	600～1,300 (帯広市独自で改定)
	コンセント (公住) ※	"	400
	" (冷蔵庫用) (公住) ※	床上～中心	1,800
	" (給湯器・洗面台用) (公住) ※	"	1,300
	ブラケット (一般)	"	2,100～2,500
	" (踊場)	"	2,500
	" (鏡上)	鏡上端～中心	150
動 力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
	開閉器箱	"	1,500
	操作スイッチ	"	1,300
	操作スイッチ (公住) ※	"	1,100
	端子盤	床上～下端	300 (帯広市独自で改定)
	保安器箱	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)

電 話	壁付位置ボックス	''	400 (帯広市独自で改定)
	'' (和室)	''	200
	壁付位置ボックス (公住) ※	''	400
	壁付インターホン	''	1,150
	壁付位置ボックス	''	1,150
	'' (和室)	''	200
	壁付インターホン (公住) ※	''	1,100
	壁付位置ボックス (公住) ※	''	1,100
時 計 拡 声	壁掛形親時計	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
	子時計	''	2,300
	壁掛形スピーカ	''	2,300
	アッテネーター	''	1,150
表 示	表示盤	床上～中心	2,300
	表示盤 (公住) ※	''	1,300
	壁付発信器	''	1,150
	壁付発信器 (公住) ※	''	1,100
	ベル・ブザー・チャイム	''	2,300
	壁付ボタン		1,150
	多目的便所呼出ボタン	''	400・850 (帯広市独自で改定)
共 同 受 信 テ レ ビ	分配器箱	床上～上端	1,500 (上端1,900以下)
	テレビアウトレット	床上～中心	400 (帯広市独自で改定)
	'' (和室)	''	200
	テレビアウトレット (公住) ※	''	400
	収容箱	床上～上端	1,500 (上端1,900以下)
火 災 報 知	受信機・副受信機	床上～中心	1,300 (帯広市独自で改定)
	受信機 (公住) ※	床上～操作盤	800～1,500
	総合盤	''	1,300
	発信機	''	1,300
	電鈴	''	2,300
	表示灯	''	2,100 (帯広市独自で改定)

広野団地個別改善工事

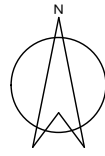
図 面 リ ス ト					
建築主体特記仕様書		電気設備特記仕様書			
建築主体工事	共通	A-001	案内図・配置図・設計概要	共通	
	R 1 号 棟	A-101	R-1号棟 改修概要・仕上表	E-101	R-1号棟 1階 タイプA (西端) インターホン設備設置配線図
		A-102	R-1号棟 改修1階平面図 2階平面図	E-102	R-1号棟 1階 タイプB (中央) インターホン設備設置配線図
		A-103	R-1号棟 タイプA (西端) 撤去・改修 平面詳細図	E-103	R-1号棟 1階 タイプB (東端) インターホン設備設置配線図
		A-104	R-1号棟 タイプB (中央) 撤去・改修 平面詳細図	E-104	R-1号棟 2階 タイプA (西端) インターホン設備設置配線図
		A-105	R-1号棟 タイプB (東端) 撤去・改修 平面詳細図	E-105	R-1号棟 2階 タイプB (中央) インターホン設備設置配線図
		A-106	R-1号棟 ポーチ手摺 改修詳細図	E-106	R-1号棟 2階 タイプB (東端) インターホン設備設置配線図
		A-107	R-1号棟 共用廊下手摺 改修詳細図	E-107	R-1号棟 居間 インターホン設備設置展開図
		A-108	R-1号棟 階段手摺 改修詳細図	E-108	R-1号棟 浴室・脱衣室・玄関 インターホン設備設置展開図
		A-109	R-1号棟 内部手摺改修展開図 胴縁割り一覧表		
		A-110	R-1号棟 住戸内手摺改修詳細図		
	R 2 号 棟	A-201	R-2号棟 改修概要・仕上表	E-201	R-2号棟 1階 タイプA インターホン設備設置配線図
		A-202	R-2号棟 改修1階平面図 2階平面図	E-202	R-2号棟 1階 タイプB インターホン設備設置配線図
		A-203	R-2号棟 タイプA 撤去・改修 平面詳細図	E-203	R-2号棟 2階 タイプA インターホン設備設置配線図
		A-204	R-2号棟 タイプB 撤去・改修 平面詳細図	E-204	R-2号棟 2階 タイプB インターホン設備設置配線図
		A-205	R-2号棟 ポーチ手摺 改修詳細図	E-205	R-2号棟 居間 インターホン設備設置展開図
		A-206	R-2号棟 階段手摺 改修詳細図	E-206	R-2号棟 浴室・脱衣室・玄関 インターホン設備設置展開図
		A-207	R-2号棟 内部手摺改修展開図 胴縁割り一覧表		
		A-208	R-2号棟 住戸内手摺改修詳細図		

2025. 9

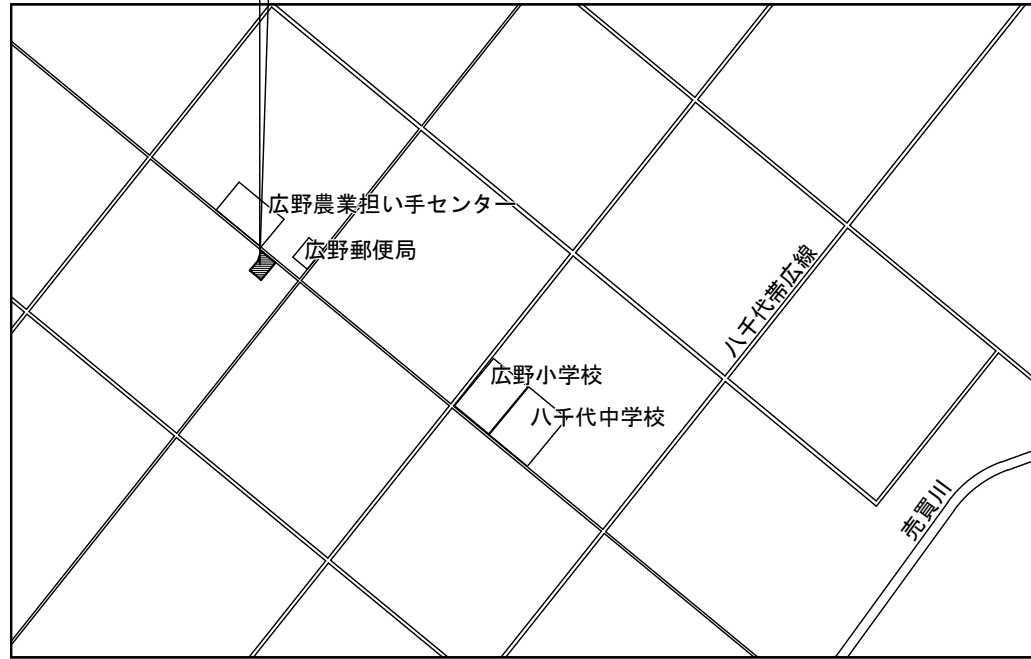
一級建築士事務所 まちの建築家



あくていぶネット協同組合

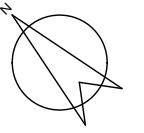
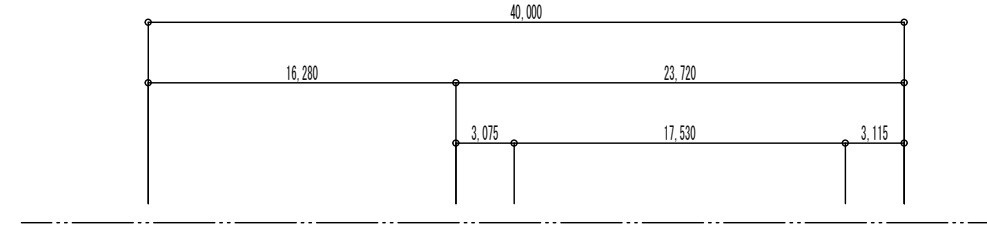


工事場所
帯広市広野町西2線152番4

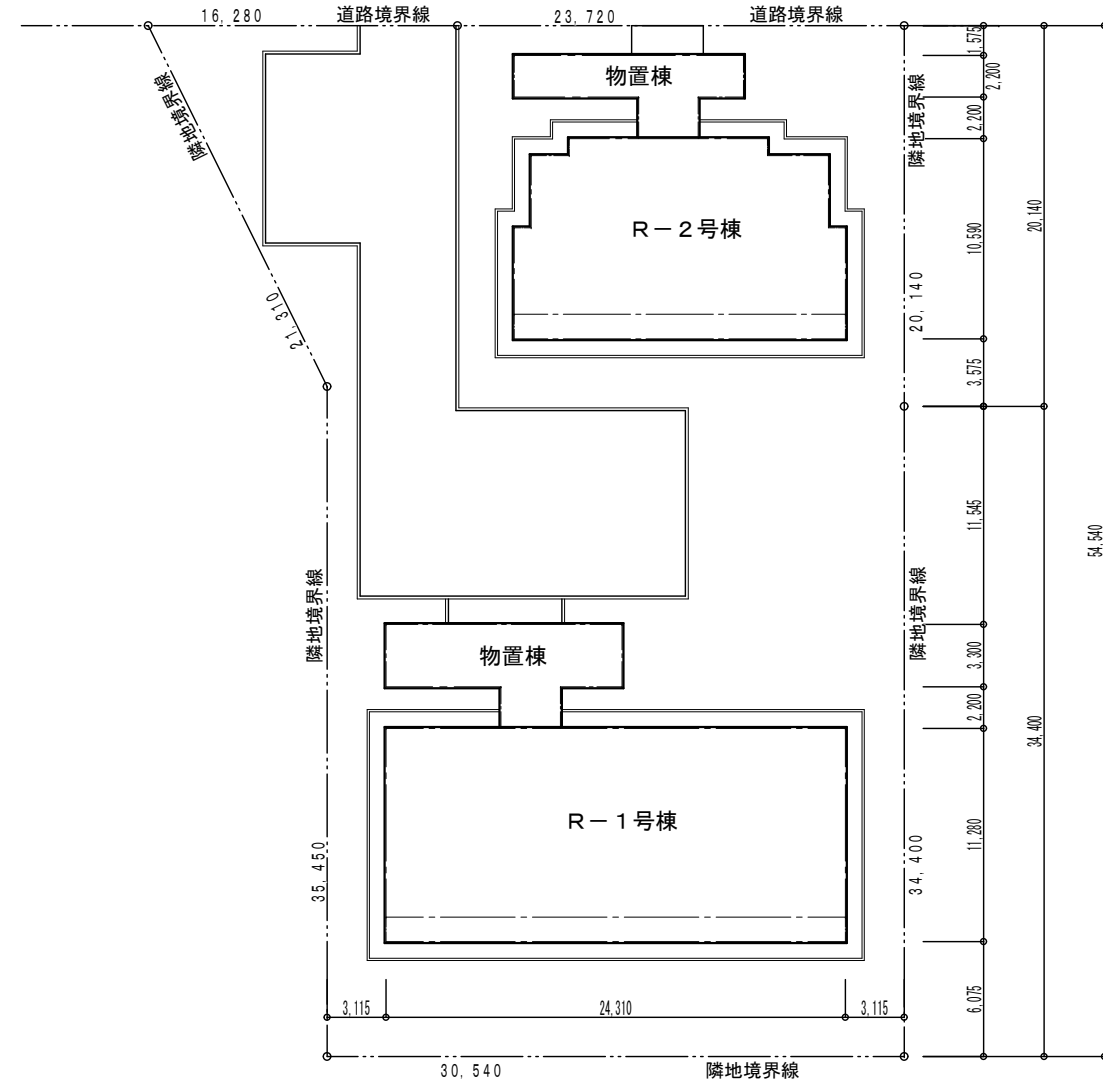


附近見取図

改修工事対象建築物概要					
工事名	広野団地個別改善工事	棟別	R-1号棟(6戸)	棟別	R-2号棟(4戸)
工事場所	帯広市広野町西2線152番4	構造	セラミックブロック造 2階建	構造	セラミックブロック造 2階建
用途地域	指定なし(都市計画区域外)	建築面積	274.21 m ²	建築面積	172.43 m ²
		1階床面積	242.61 m ²	1階床面積	149.64 m ²
		2階床面積	242.61 m ²	2階床面積	149.64 m ²
		延べ床面積	485.22 m ²	延べ床面積	299.28 m ²



道路(幅員10,900mm)



配置図

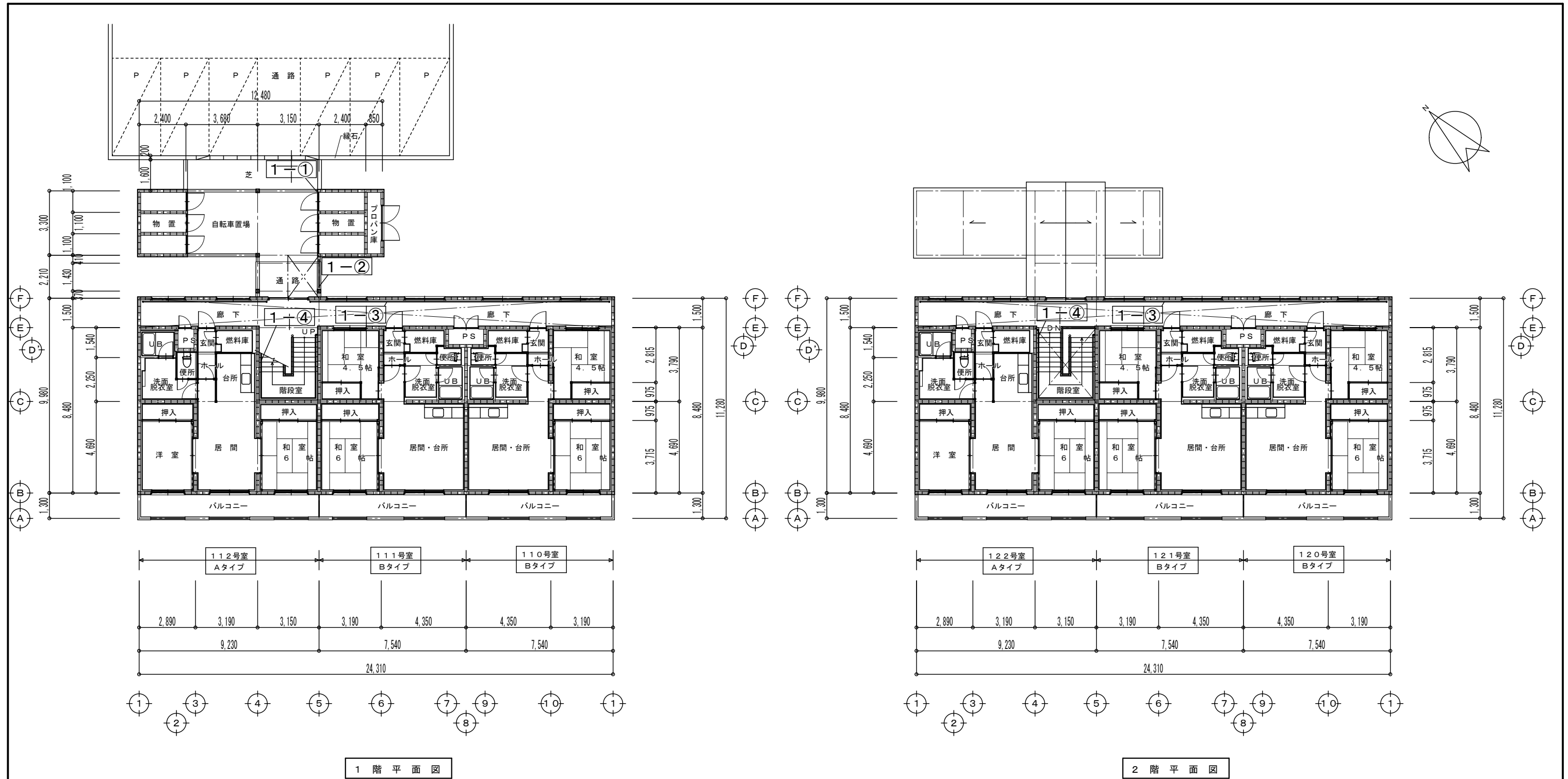
CONSTRUCTION TITLE	DRAWING NAME	SCALE	DATE	interior desing project 1級建築士事務所 (十)404号 まちの建築家あくていぶネット協同組合 帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655	代表となる設計者	1級建築士登録(大臣)210079号 成田 斉	NUMBER A-001
広野団地個別改善工事	案内図・配置図・設計概要	1:400	2025. 9. 17		管理建築士	1級建築士登録(大臣)158816号 佐藤 有宏	

住戸別改修概要（全住戸共通）									
番号	改修概要								
1 (建築)	共用部分：手摺	3 (建築)	洗面化粧台＋化粧鏡の取外し、再取付	5-1 (電気)	インターホン設備1-1：インターホンの新設	5-2 (電気)	インターホン設備2-1：非常押釦の新設		
	新設箇所：ポーチ 縦手摺				新設箇所（住戸）：親機 居間		新設箇所（住戸）：居間 主寝室 便所 UB		
	新設箇所：ポーチ通路 自立型手摺				子機 廊下（玄関ドア横）		インターホン設備2-2：非常押釦の撤去		
	新設箇所：内部廊下（窓側）				インターホン設備1-1：既設チャイムの撤去		撤去箇所（1階 Aタイプ Bタイプ）：居間 便所 UB		
	新設箇所：階段（外廻り）				撤去箇所（住戸）：チャイム本体（居間）		インターホン設備2-3：既設フック付警報フックの撤去		
2 (建築)	各住戸内：手摺	4 (建築)			（共用廊下）：チャイム呼出し釦（玄関ドア横）		撤去箇所（1階 Aタイプ Bタイプ）：共用廊下（玄関ドア横）		
	新設箇所：玄関ホール、洗面脱衣室、浴室								
	新設箇所：浴室								

外部仕上表							
基礎（既設のまま）	壁（既設のまま）	屋根（既設のまま）	軒天井（既設のまま）	ポーチ	バルコニー（既設のまま）	犬走り（既設のまま）	備考
コンクリート打放しAEP	セラミックブロック t 150	長尺カラー鉄板 t0.35 瓦葺き	フレキシブルボード t 6 AEP (ノンアスベスト) 目透し	床：コンクリート平板 300×300×60 t	床：防水モルタルコテ押え t 20 立上り、側溝共（目地切り）	軒下化粧砂利敷 t60 (B種)	
	役物：窓 マグサ用 窓台用 水切り用	アスファルトルーフィング 20kg	一部有孔ボード使用 目透し	一部ゴムマット 300×300×10 t 敷敷き	壁：セラミックブロック t 150	コンクリート製縁石 120×150×600	
	臥梁廻り：コンクリート打放しの上吹付タイル	コンパネ t 12 下地			軒天：コンクリート打ち放し AEP		
	一部屋根裏面：フレキシブルボード t 6 AEP			手摺：壁付け型 新設	物干金物：公団型 H640・H780 6ヶ所		
	(ノンアスベスト) 目透し			手摺：床支持型 新設	手摺：アルミ製 既製品 バルコニー隔板：公団型 アルミ製 4ヶ所		

内部仕上表 ※ 化粧ケイカル板 t 5 及びユニットバス壁材は石綿含有建材です。												
室名	床		巾木	壁		天井		天井廻り縁	天井高	改修内容		
	仕上	下地		仕上	下地	仕上	下地					
共用部分	階段室	モルタル刷毛引 t 20 浸透性強化剤塗	コンクリート	ポーチモルタルコテ押え 吹付タイル 120×20	セラミックブロック 一部吹付タイル	一部コンクリート	石膏吸音板 t 9	木下地	塩ビ見切縁	2, 200	外周リ床支持型手摺 新設	
	廊下	同上	同上	セラミックブロック	セラミックブロック		同上	同上	同上	2, 200	窓側 床支持型横手摺 新設	
住戸部分共通	玄関	モルタルコテ押え t 20	コンクリート	青木 H=60	化粧合板 t 4	木下地	化粧石膏ボード t 9 目透し	木下地	青木廻り縁	2, 395		
	ホール	化粧フロア合板 t 12	システムフロア＋ラワン合板 t 3	同上	同上	同上	同上	同上	同上	2, 300	手摺 I 型 600L 新設	
	燃料庫	モルタルコテ押え t 20	コンクリート	同上	ラワン合板 t 3	同上	同上	合成樹脂素地板 t 40 打込 一部コンクリート表し	コンクリート	同上	スラブ下	
	洗面・脱衣室	塩ビシート t 2.5	システムフロア＋コンパネ t 12	同上	化粧ケイカル板 t 5 (アルミジョイナー使用)	同上	同上	石膏吸音板 t 9	木下地	同上	2, 100	手摺 I 型 600L 新設
	便所	同上	同上	同上	化粧合板 t 4	同上	同上	化粧石膏ボード t 9 目透し	同上	同上	2, 100	
	UB	ユニットバス			ユニットバス			ユニットバス				手摺 I 型 600L 新設
	台所	化粧フロア合板 t 12	システムフロア＋ラワン合板 t 3	青木 H=60	化粧合板 t 4 一部化粧ケイカル板 t 5	木下地	同上	石膏吸音板 t 9	木下地	青木廻り縁	2, 150	
	居間	同上	同上	同上	化粧合板 t 4	同上	同上	化粧石膏ボード t 9 目透し	同上	同上	2, 400 一部 2, 150	
	洋室	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	2, 400	
	和室	断熱タタミ C種 t 60 一部化粧フロア合板 t 12	システムフロア	青木タタミ寄せ	化粧石膏ボード t 9	同上	同上	化粧石膏ボード杉目 t 9 目透し	同上	同上	2, 300	
押入	シナ合板 t 5.5	木下地	青木雑巾摺	ラワン合板 t 3	同上	同上	ラワン合板 t 3	同上	同上	2, 300 ~2, 400		

CONSTRUCTION TITLE	DRAWING NAME	SCALE	DATE	interior desing project 1級建築士事務所 (十) 404 号 まちの建築家 あくていぶネット協同組合 帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655	代表となる設計者	1級建築士登録 (大臣) 210079 号 成田 斉	NUMBER
広野団地個別改善工事	R-1号棟 改修概要・仕上表		2025. 9. 17		管理建築士	1級建築士登録 (大臣) 158816 号 佐藤 有宏	A - 101

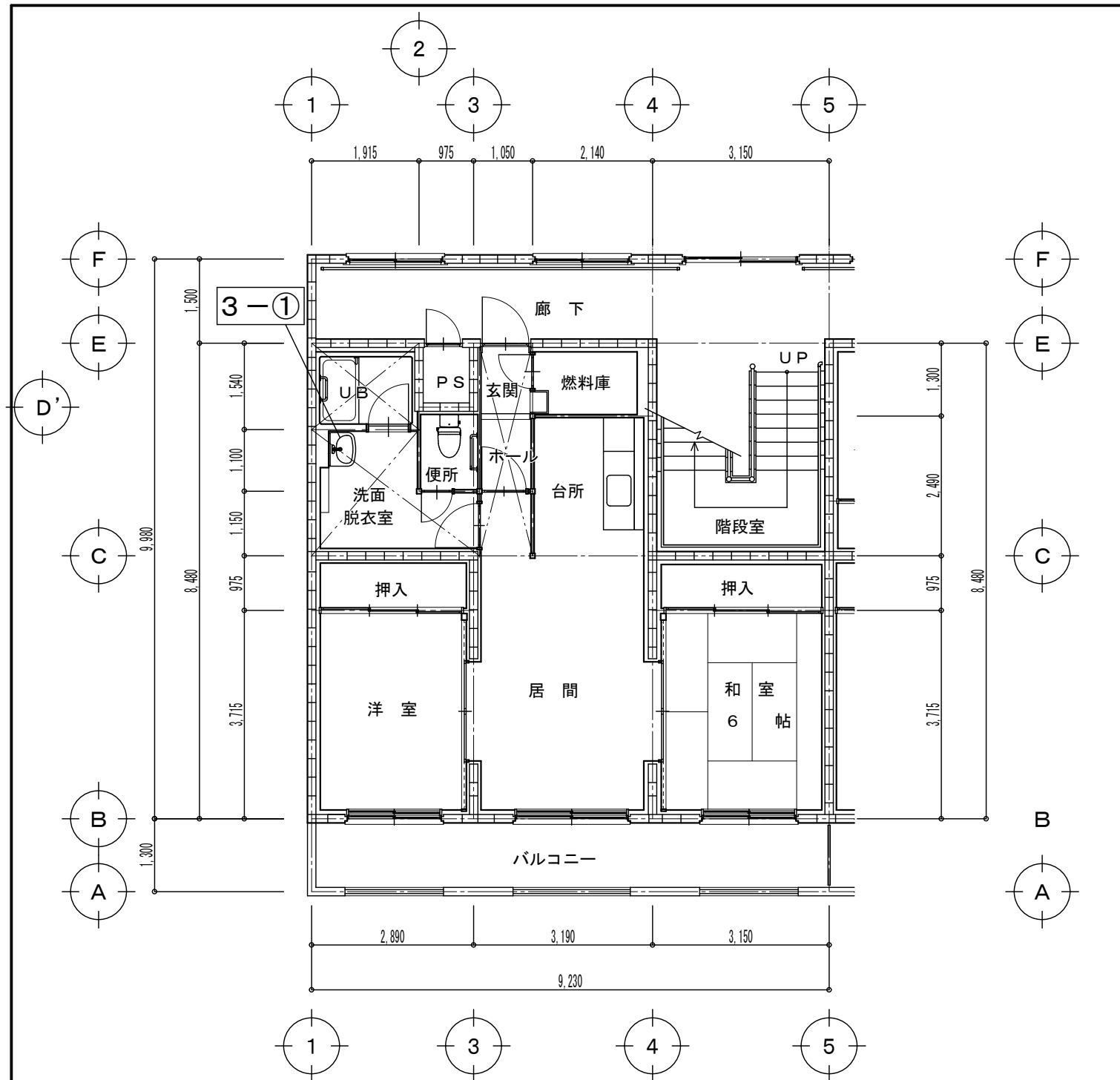


1階平面図

2階平面図

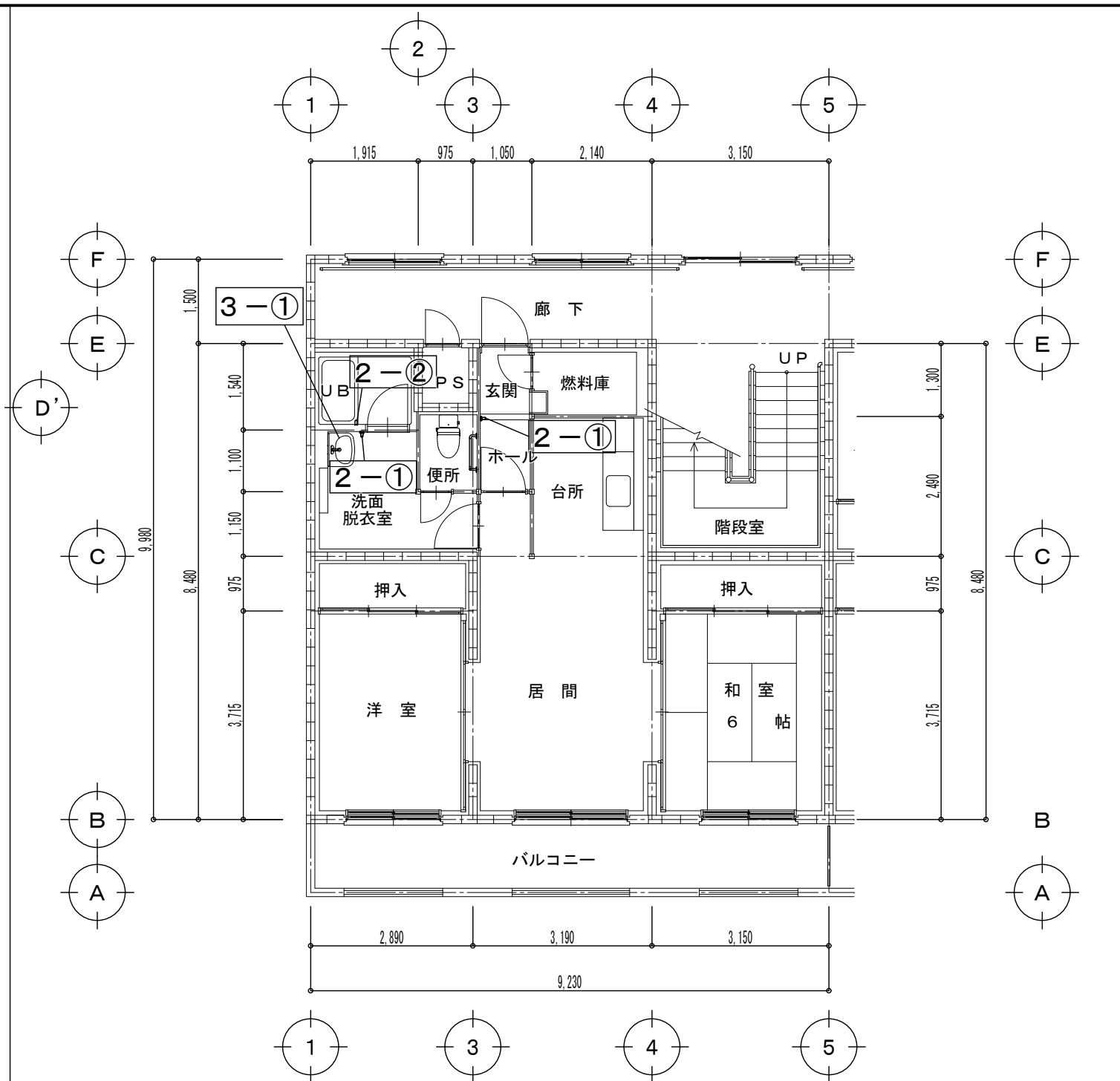
番号	改修項目	工事内容(形状・仕様・規格)
1-①	共用部 ポーチ 壁 縦手摺の新設	手摺新設: 外部用樹脂被服(高耐候 光触媒 抗菌仕様) 手摺40φ L=600
1-②	共用部 ポーチ 通路 横手摺の新設	手摺新設: 外部用樹脂被服(高耐候 光触媒 抗菌仕様) 手摺40φ(アルミ笠木請け) スチール支柱 H=750 床自立型
1-③	共用部 廊下 手摺の新設	手摺新設: 樹脂被覆手摺40φ(アルミ笠木受) スチール焼付塗装支柱 H=750 床自立型 有効廊下巾1,200以上確保(手摺内側~壁面)
1-④	共用部 階段 手摺の新設	手摺新設: 樹脂被覆手摺40φ(アルミ笠木受) スチール焼付塗装支柱 H=750 床自立型 有効階段巾1,200以上確保(手摺内法)

CONSTRUCTION TITLE	DRAWING NAME	SCALE	DATE	interior desing project 1級建築士事務所 (十)404号 まちの建築家あくていぶネット協同組合 帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655	代表となる設計者	1級建築士登録(大臣)210079号 成田 齊	NUMBER A-102
広野団地個別改善工事	R-1号棟 改修 1階平面図 2階平面図	1:200	2025. 9. 17		管理建築士	1級建築士登録(大臣)158816号 佐藤 有宏	



タイプA (西端) 改修前平面詳細図
[112号室・122号室]

- ※ 養生 整理清掃後片付け範囲
- ※ 養生範囲：玄関 ホール 洗面・脱衣室 UB
- ※ 整理清掃後片付け範囲：玄関 ホール 洗面・脱衣室 UB



タイプA (西端) 改修後平面詳細図
[112号室・122号室]

■ R-1号棟 タイプB住戸共通改修内容

番号	改修項目	工事内容 (形状・仕様・規格)	番号	改修項目	工事内容 (形状・仕様・規格)
2-①	玄関、洗面脱衣室 手摺の新設	手摺新設：ステンレス芯材樹脂被覆製 34φ L=600 I型縦付け 取付板集成材20×100×1000 WUC			
2-②	浴室 手摺の新設	手摺新設：ステンレス芯材樹脂被覆製 34φ L=600 I型縦付け 洗面脱衣室側間仕切壁仕上材の一部を撤去し手摺下地230×85×120を設置後化粧ケイカル板t5 (ジョイナー使用) 貼りにて復旧			
3-①	洗面化粧台+化粧鏡取外し、洗面化粧台+化粧鏡取付け	600W×1790H			

CONSTRUCTION TITLE
広野団地個別改善工事

DRAWING NAME
R-1号棟 タイプA (西端)
撤去・改修 平面詳細図

SCALE
1:100

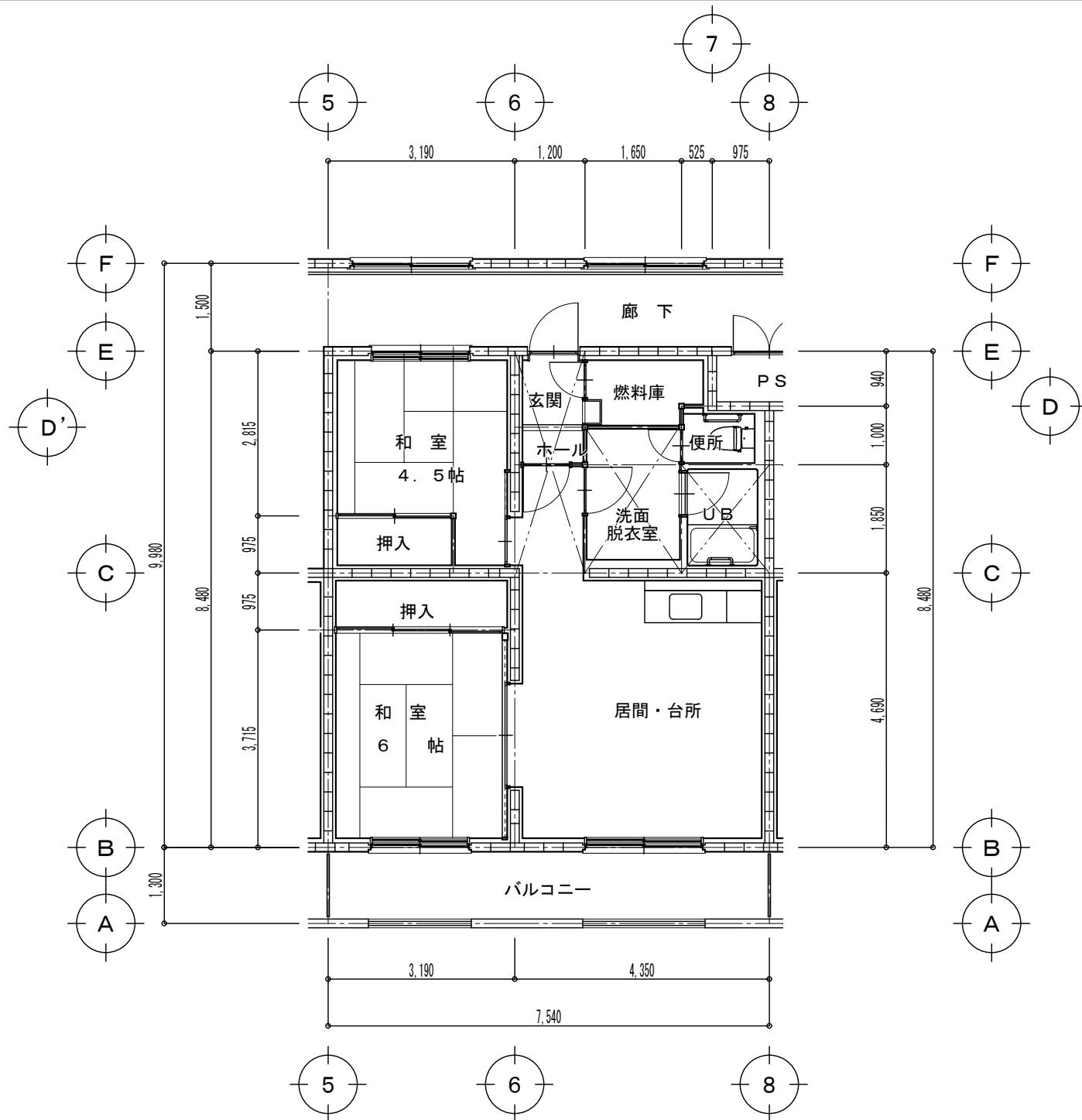
DATE
2025. 9. 17

interior desing project 1級建築士事務所 (十) 404 号
まちの建築家 あくていぶネット協同組合
帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655

代表となる設計者
管理建築士

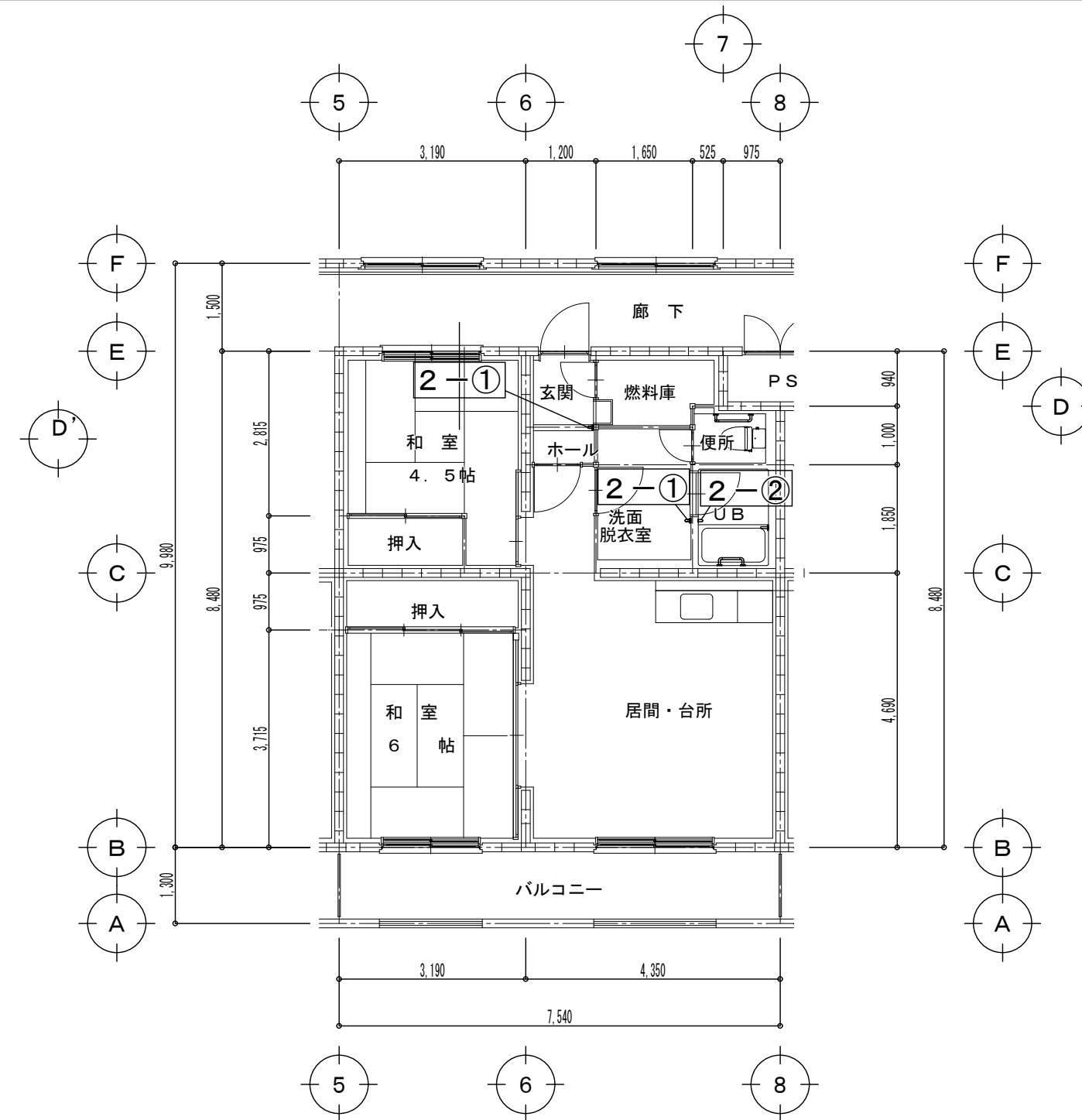
1級建築士登録 (大臣) 210079 号
成田 斉
1級建築士登録 (大臣) 158816 号
佐藤 有宏

NUMBER
A - 103



タイプB (中央) 改修前平面詳細図
[111号室・121号室]

※ 養生 整理清掃後片付け範囲
 ※ 養生範囲: 玄関 ホール 洗面・脱衣室 UB
 ※ 整理清掃後片付け範囲: 玄関 ホール 洗面・脱衣室 UB

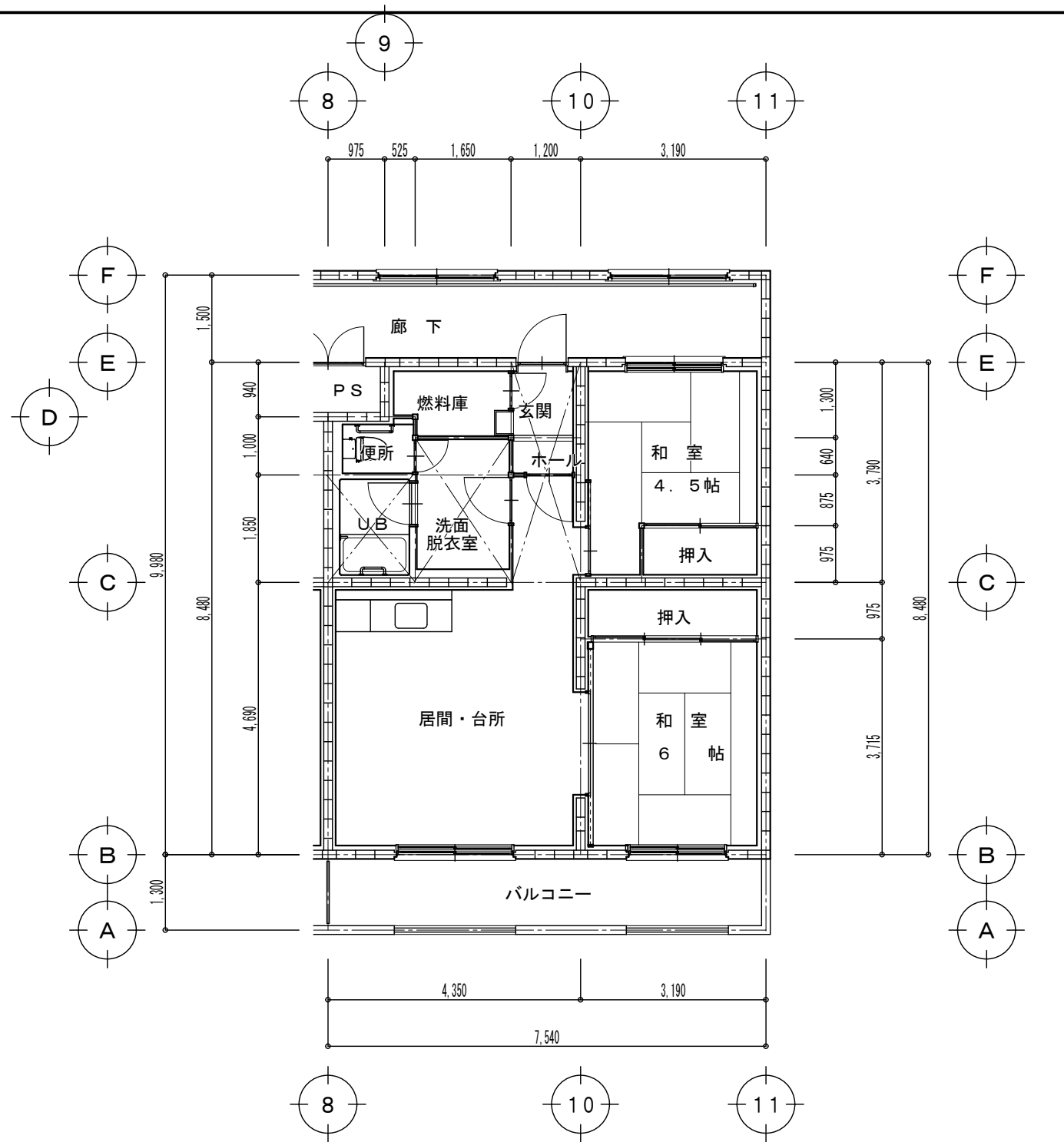


タイプB (中央) 改修後平面詳細図
[111号室・121号室]

■ R-1号棟 タイプB住戸共通改修内容

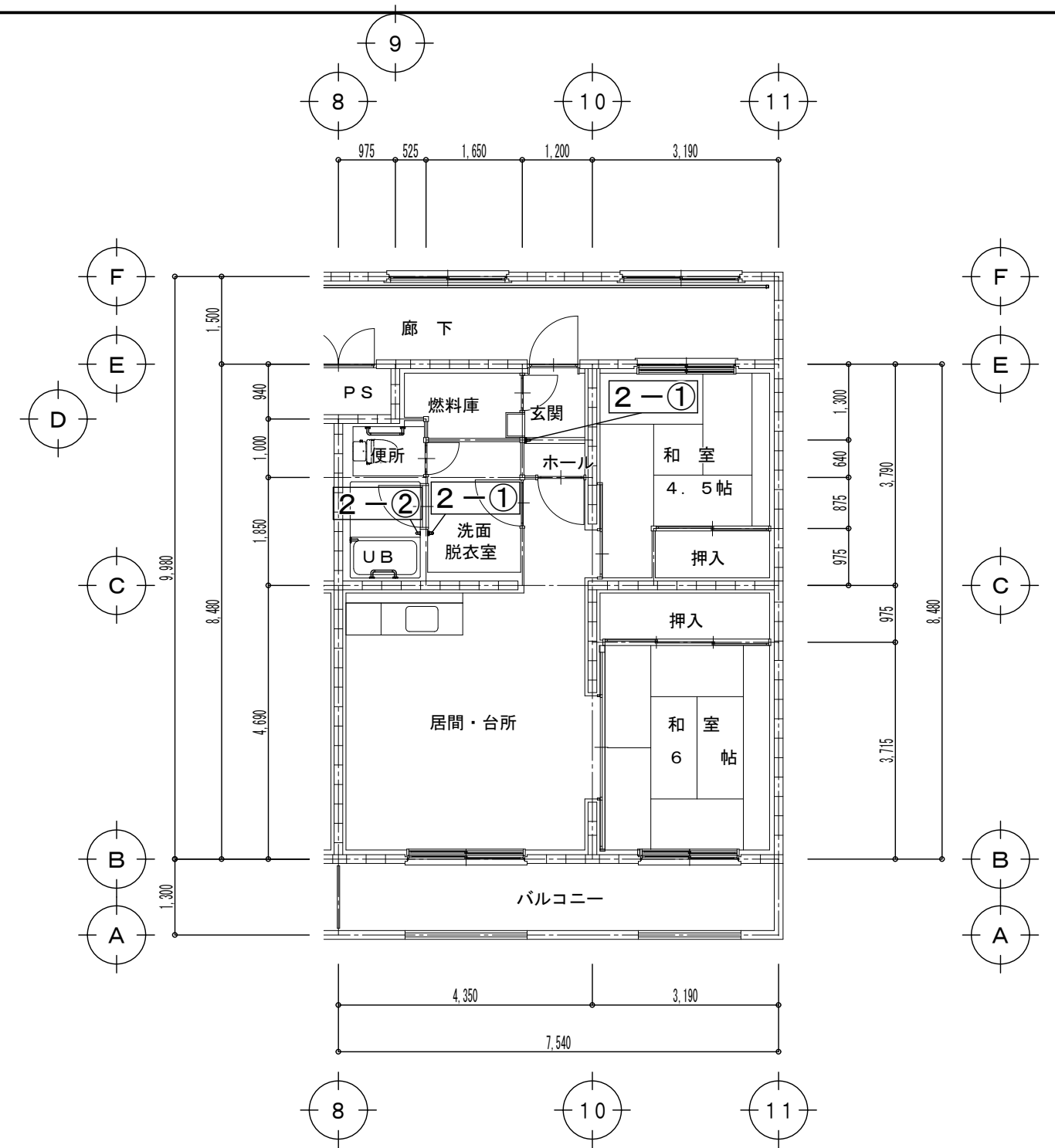
番号	改修項目	工事内容 (形状・仕様・規格)	番号	改修項目	工事内容 (形状・仕様・規格)
2-①	玄関、洗面脱衣室 手摺の新設	手摺新設: ステンレス材樹脂被覆製 34φ L=600 I型縦付け 取付板集成材20×100×1000 WUC			
2-②	浴室 手摺の新設	手摺新設: ステンレス材樹脂被覆製 34φ L=600 I型縦付け 洗面脱衣室側間仕切壁仕上材の一部を撤去し手摺下地230×85×120を設置後 化粧ケイカル板t5 (ジョイナー使用) 貼りにて復旧			

CONSTRUCTION TITLE 広野団地個別改善工事	DRAWING NAME R-1号棟 タイプB (中央) 撤去・改修 平面詳細図	SCALE 1:100	DATE 2025. 9. 17	interior desing project 1級建築士事務所 (十) 404 号 まちの建築家 あくていぶネット協同組合 帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655	代表となる設計者 管理建築士	1級建築士登録 (大臣) 210079 号 成田 齊 1級建築士登録 (大臣) 158816 号 佐藤 有宏	NUMBER A - 104
----------------------------------	--	----------------	---------------------	---	-------------------	---	-------------------



タイプB (東端) 改修前平面詳細図
[110号室・120号室]

※ 養生 整理清掃後片付け範囲
 ※ 養生範囲: 玄関 ホール 洗面・脱衣室 UB
 ※ 整理清掃後片付け範囲: 玄関 ホール 洗面・脱衣室 UB



タイプB (東端) 改修後平面詳細図
[110号室・120号室]

■ R-1号棟 タイプB住戸共通改修内容

番号	改修項目	工事内容 (形状・仕様・規格)	番号	改修項目	工事内容 (形状・仕様・規格)
2-①	玄関、洗面脱衣室 手摺の新設	手摺新設: ステンレス材樹脂被覆製 34φ L=600 I型縦付け 取付板集成材20×100×1000 WUC			
2-②	浴室 手摺の新設	手摺新設: ステンレス材樹脂被覆製 34φ L=600 I型縦付け 洗面脱衣室側間仕切壁仕上材の一部を撤去し手摺下地230×85×120を設置後 化粧ケイカル板t5 (ジョイナー使用) 貼りにて復旧			

CONSTRUCTION TITLE
広野団地個別改善工事

DRAWING NAME
R-1号棟 タイプB (東端)
撤去・改修 平面詳細図

SCALE
1:100

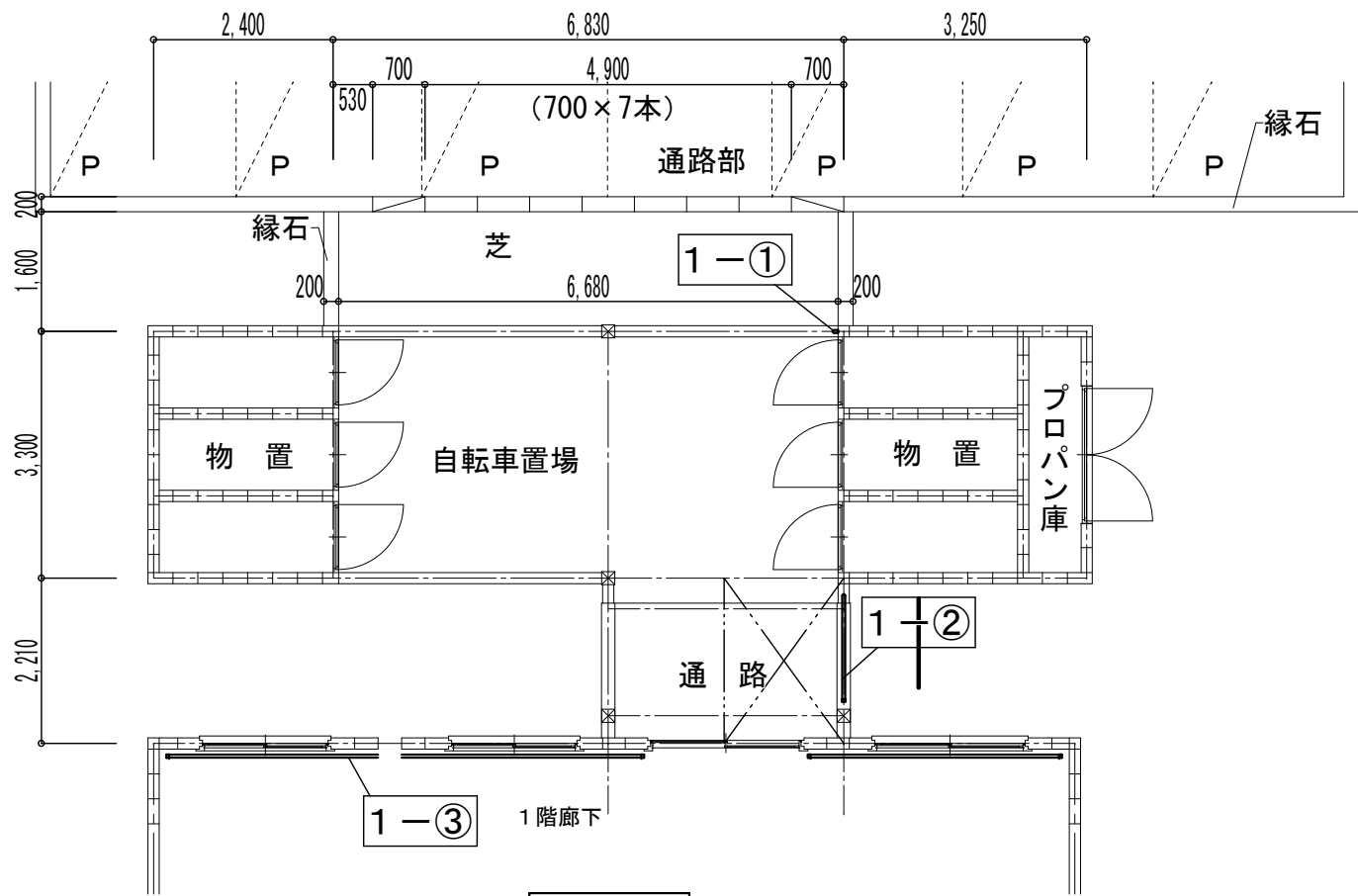
DATE
2025. 9. 17

interior desing project 1級建築士事務所 (十) 404 号
まちの建築家 あくていぶネット協同組合
帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655

代表となる設計者
管理建築士

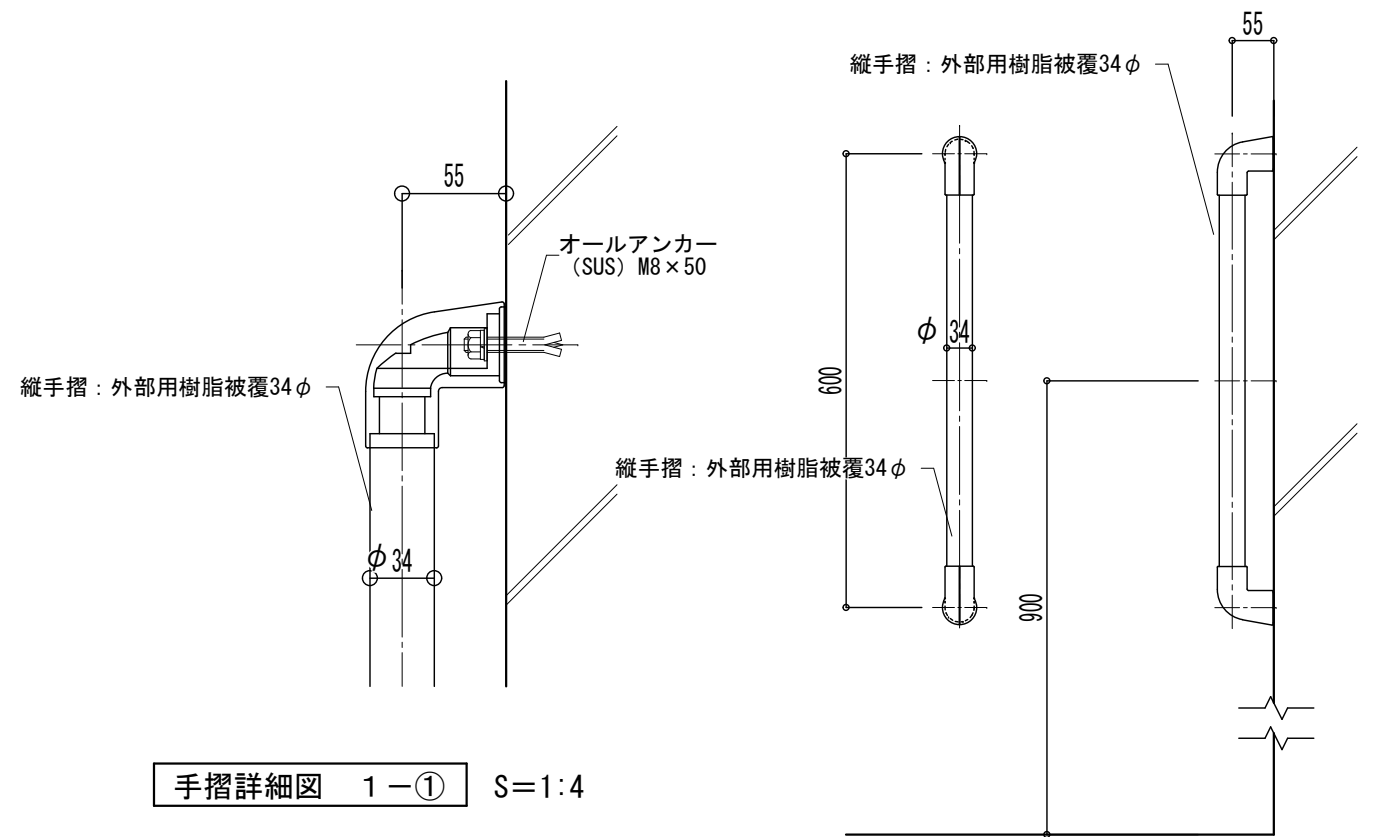
1級建築士登録 (大臣) 210079 号
成田 齊
1級建築士登録 (大臣) 158816 号
佐藤 有宏

NUMBER
A - 105



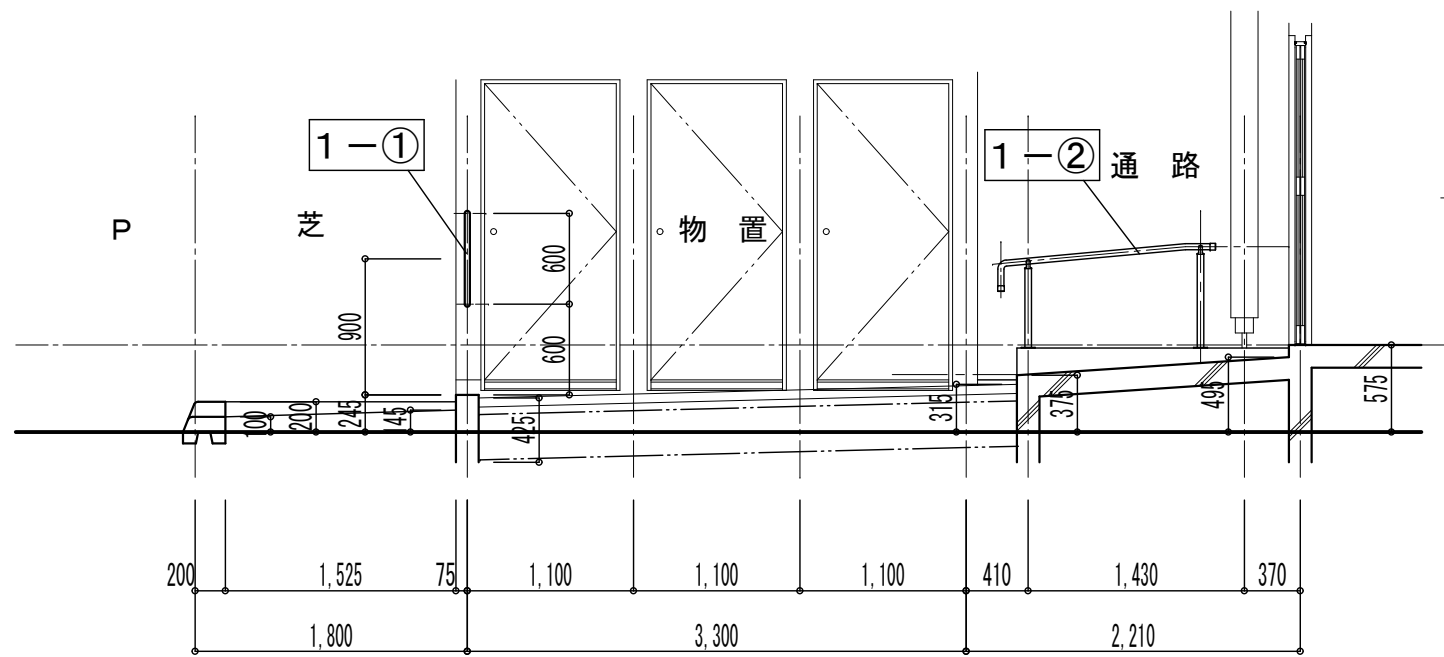
平面図 S=1:100

※ 養生 整理清掃後片付け範囲：ポーチ通路の東半分

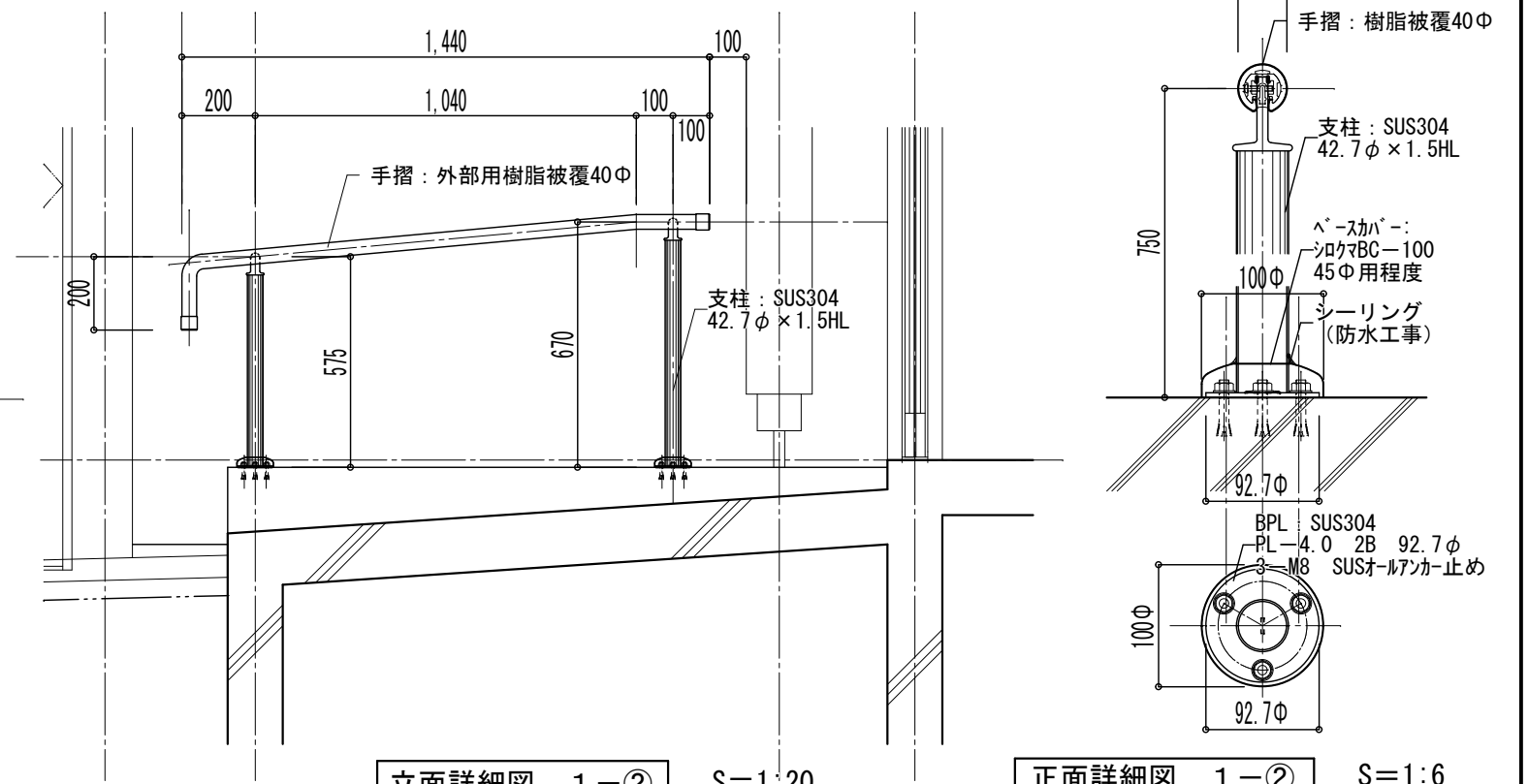


手摺詳細図 1-1 S=1:4

手摺詳細図 1-1 S=1:10



断面図 S=1:50



立面詳細図 1-2 S=1:20

正面詳細図 1-2 S=1:6

CONSTRUCTION TITLE
広野団地個別改善工事

DRAWING NAME
R-1号棟
ポーチ手摺 改修詳細図

SCALE
1:4 1:6
1:10 1:20
1:50 1:100

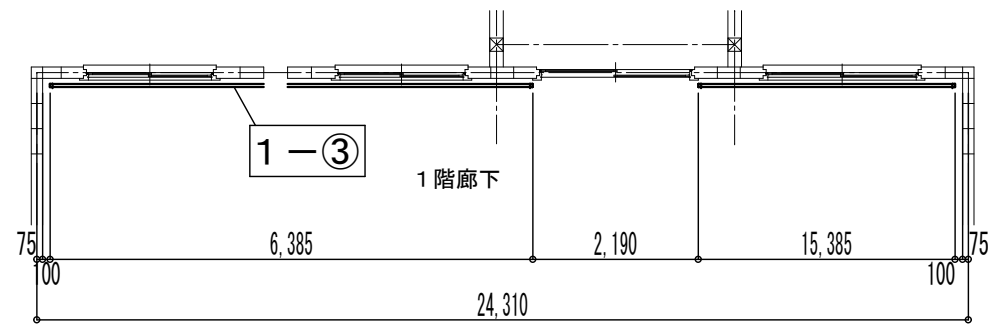
DATE
2025. 9. 17

interior desing project 1級建築士事務所 (十) 404 号
まちの建築家 あくていぶネット協同組合
帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655

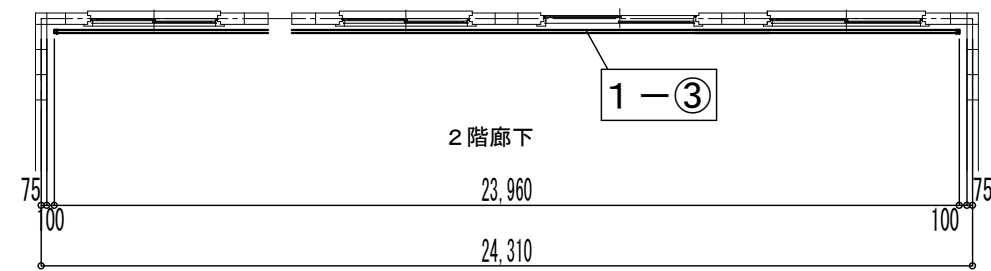
代表となる設計者
管理建築士

1級建築士登録 (大臣) 210079 号
成田 齊
1級建築士登録 (大臣) 158816 号
佐藤 有宏

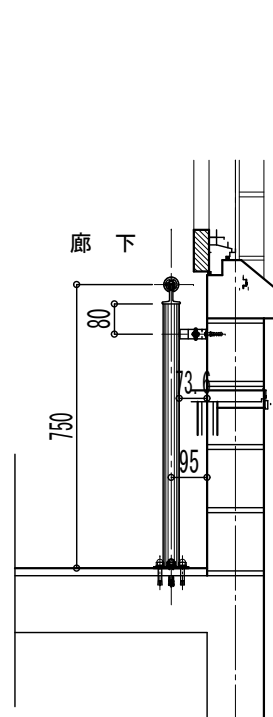
NUMBER
A - 106



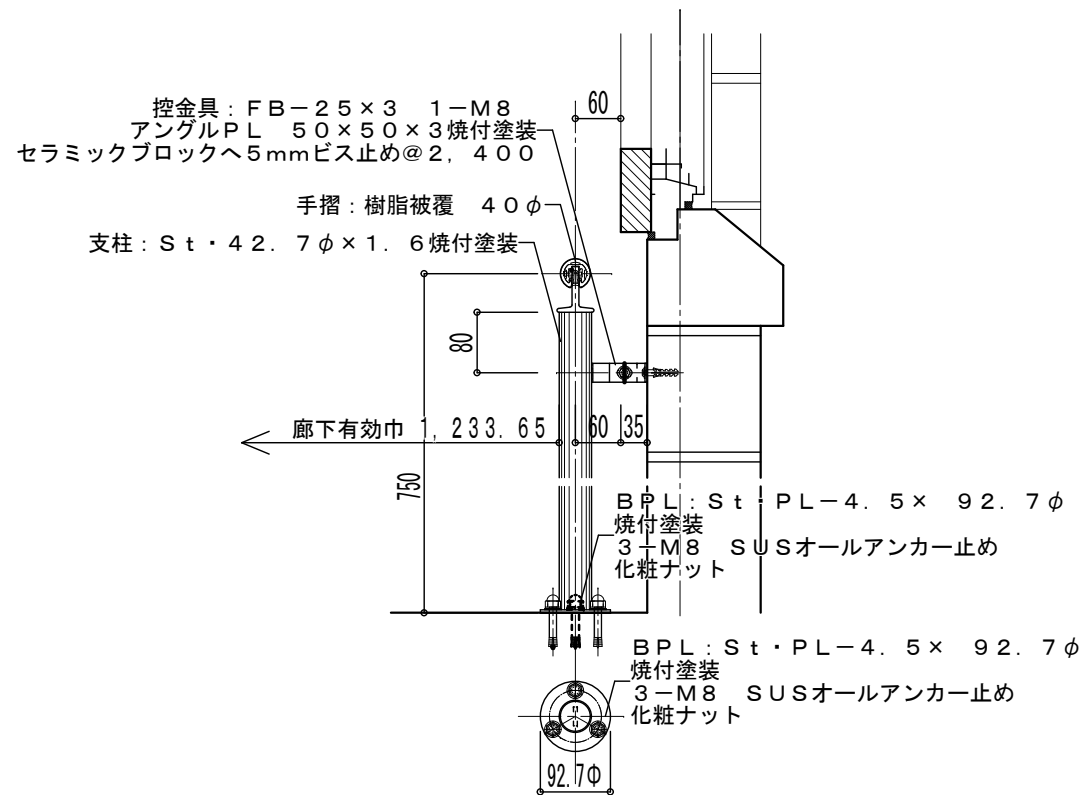
改修1階廊下平面図 S=1:100



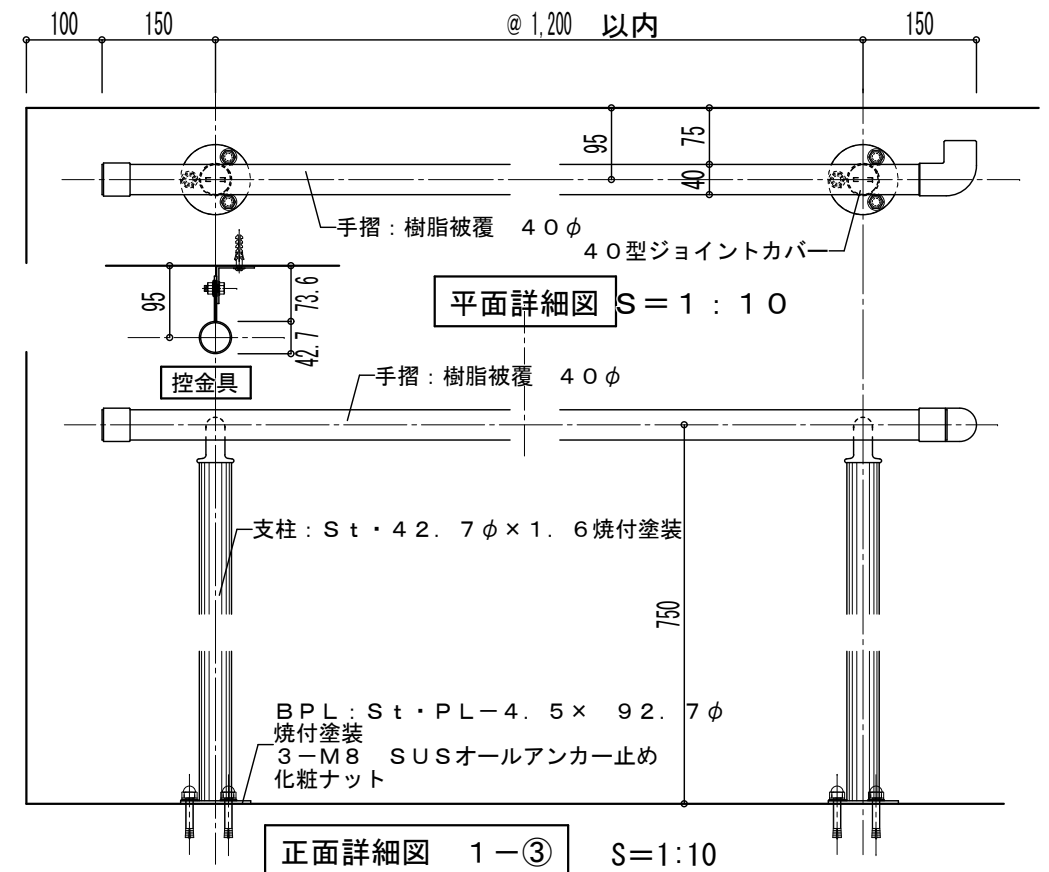
改修2階廊下平面図 S=1:100



断面図 1-3 S=1:20

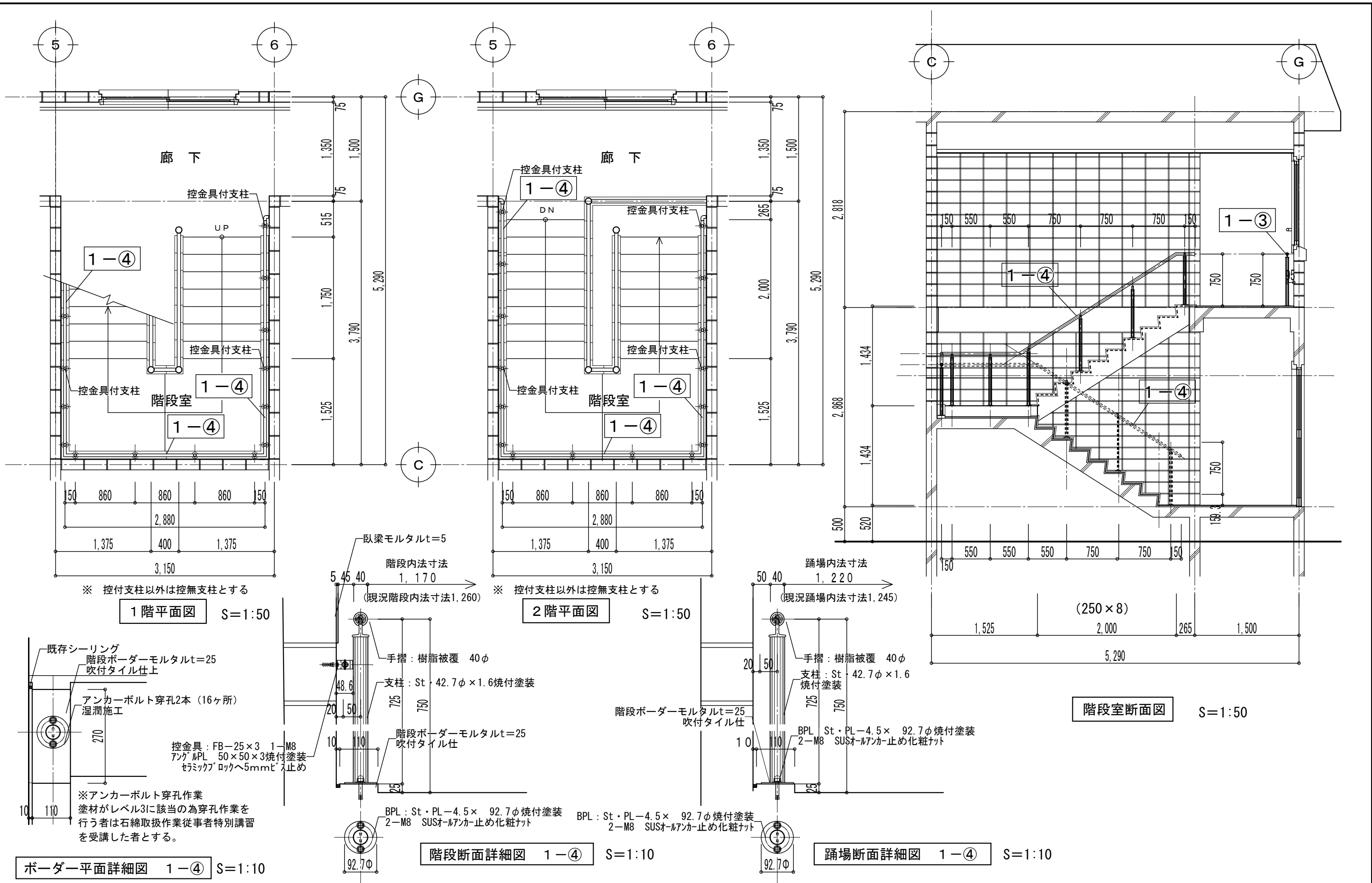


断面詳細図 1-3 S=1:10

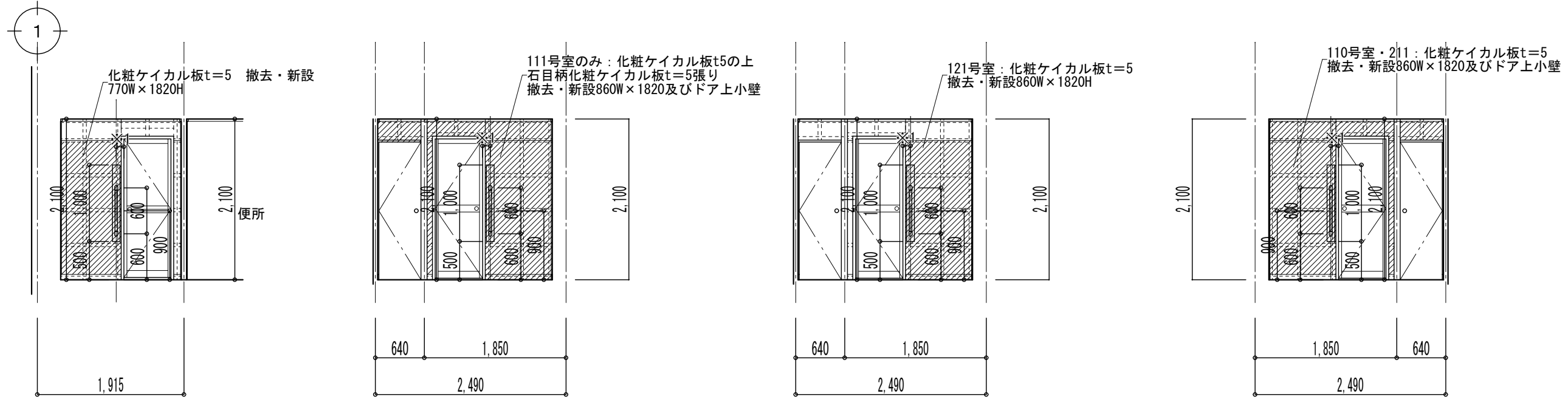


正面詳細図 1-3 S=1:10

CONSTRUCTION TITLE 広野団地個別改善工事	DRAWING NAME R-1号棟 共用廊下手摺 改修詳細図	SCALE 1:6 1:10 1:20 1:100	DATE 2025. 9. 17	interior desing project 1級建築士事務所 (十) 404 号 まちの建築家 あくていぶネット協同組合 帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655	代表となる設計者 成田 齊	1級建築士登録 (大臣) 210079 号	NUMBER A - 107
					管理建築士 佐藤 有宏	1級建築士登録 (大臣) 158816 号	



CONSTRUCTION TITLE 広野団地個別改善工事	DRAWING NAME R-1号棟 階段手摺 改修詳細図	SCALE 1:50 1:10	DATE 2025. 9. 17	interior desing project 1級建築士事務所 (十) 404 号 まちの建築家 あくていぶネット協同組合 帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655	代表となる設計者 成田 斉	1級建築士登録(大臣) 210079号	NUMBER A - 108
					管理建築士 佐藤 有宏	1級建築士登録(大臣) 158816号	



※1 浴室出入口より100mm程度の位置とし、
監督員と協議の上取付ける。
床からの高さは下地の位置に合わせて
流動的に対応する。

※1 浴室出入口より100mm程度の位置とし、
監督員と協議の上取付ける。
床からの高さは下地の位置に合わせて
流動的に対応する。

R-1 1F 112号室 洗面脱衣展開図 S=1/60
R-1 2F 122号室 洗面脱衣展開図 S=1/60

R-1 2F 121号室 洗面脱衣展開図 S=1/60

R-1 1F 111号室 洗面脱衣展開図 S=1/60

R-1 1F 110号室 洗面脱衣展開図 S=1/60
R-1 2F 120号室 洗面脱衣展開図 S=1/60

※ 化粧ケイカル板t5は石綿含有建材です。

壁胴縁割り一覧表

部 位	壁 仕 上	縦 胴 縁		横 胴 縁	
		胴縁サイズ	ピッチ	胴縁サイズ	ピッチ
1. セラミックブロック壁下地	石膏ボード類・化粧ケイ酸カルシウム板面	35×45	@450	18×45	@450
	化粧合板面		@300		
2. 木造間仕切り壁下地	石膏ボード類・化粧ケイ酸カルシウム板面	45×45	@450	45×45	@450
	化粧合板面		@300		
3. 片引き戸・引分け戸	石膏ボード類・化粧ケイ酸カルシウム板面	18×45	@450	18×45	@450
	化粧合板面		@300		

CONSTRUCTION TITLE
広野団地個別改善工事

DRAWING NAME
R-1号棟
内部手摺改修展開図 胴縁割り一覧表

SCALE
1:60

DATE
2025. 9. 17

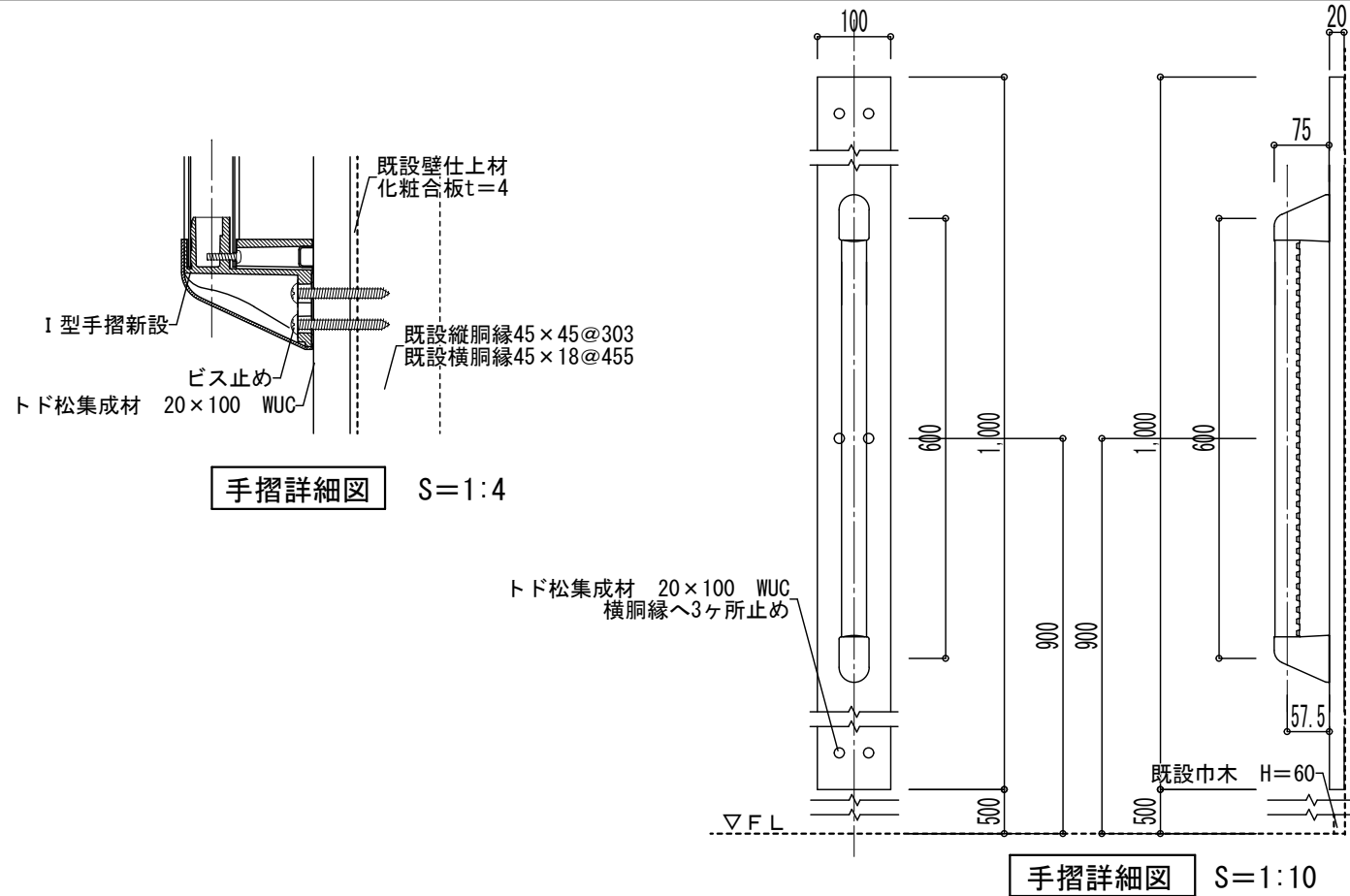
interior desing project 1級建築士事務所 (十) 404 号
まちの建築家 あくていぶネット協同組合
帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655

代表となる設計者
管理建築士

1級建築士登録 (大臣) 210079 号
成田 齊
1級建築士登録 (大臣) 158816 号
佐藤 有宏

NUMBER
A - 109

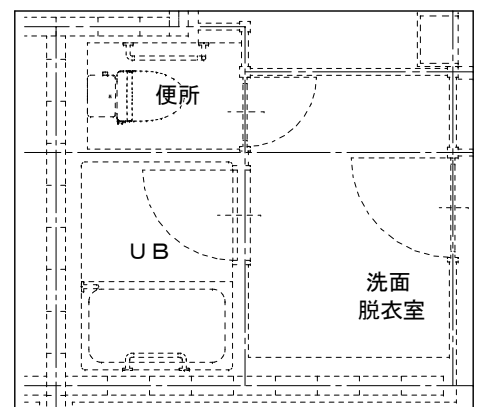
改修番号 2-① 玄関 洗面脱衣室



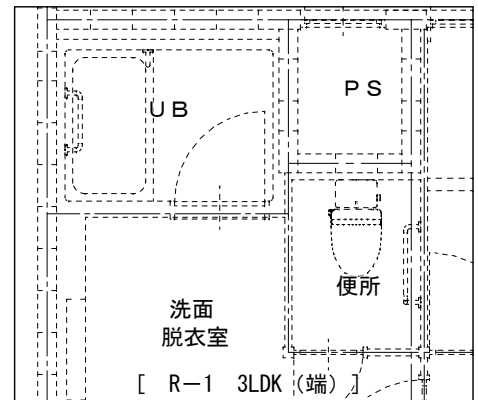
手摺詳細図 S=1:4

手摺詳細図 S=1:10

改修番号 2-② 浴室

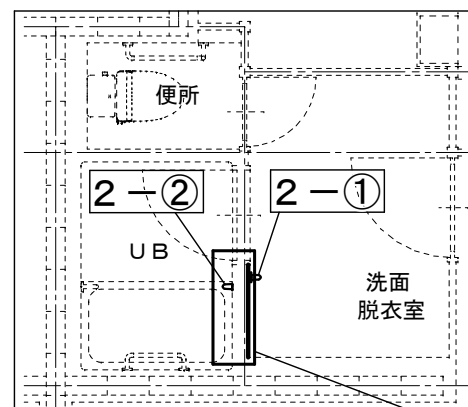


[R-1 2LDK (端)] [R-1 2LDK (中)]

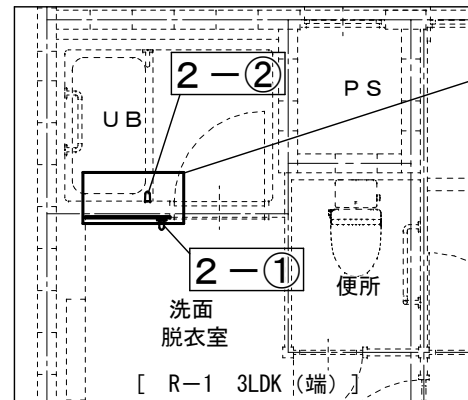


[R-1 3LDK (端)]

改修前平面図 S=1:60

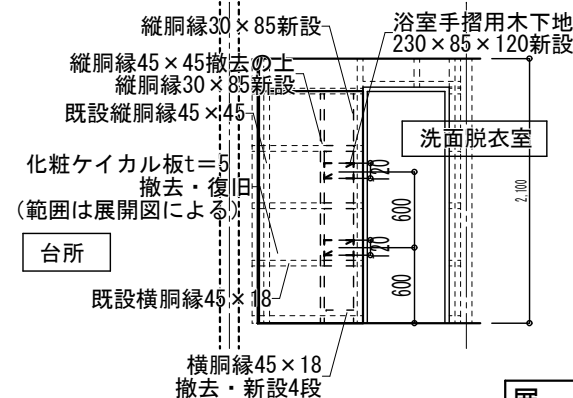


[R-1 2LDK (端)] [R-1 2LDK (中)]

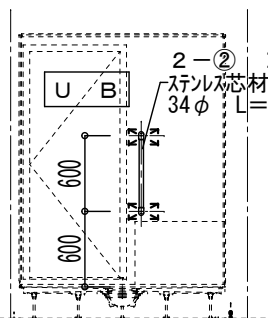


[R-1 3LDK (端)]

改修後平面図 S=1:60

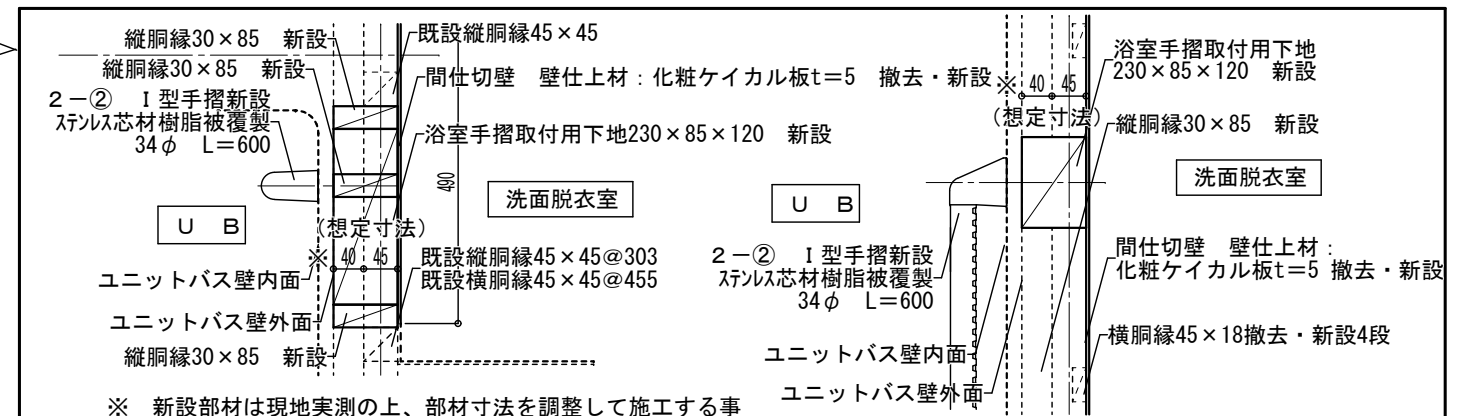


展開図



※手摺取付穿孔作業
壁材が石綿含有建材の為レベル3に
該当する穿孔作業を行う者は
石綿取扱作業従事者特別講習を
受講した者とする。

S=1:60



UB手摺詳細図 S=1:10

CONSTRUCTION TITLE
広野団地個別改善工事

DRAWING NAME
R-1号棟
住戸内手摺改修詳細図

SCALE
1:4
1:10
1:60

DATE
2025. 9. 17

interior desing project 1級建築士事務所 (十) 404 号
まちの建築家 あくていぶネット協同組合
帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655

代表となる設計者
管理建築士

1級建築士登録 (大臣) 210079 号
成田 斉
1級建築士登録 (大臣) 158816 号
佐藤 有宏

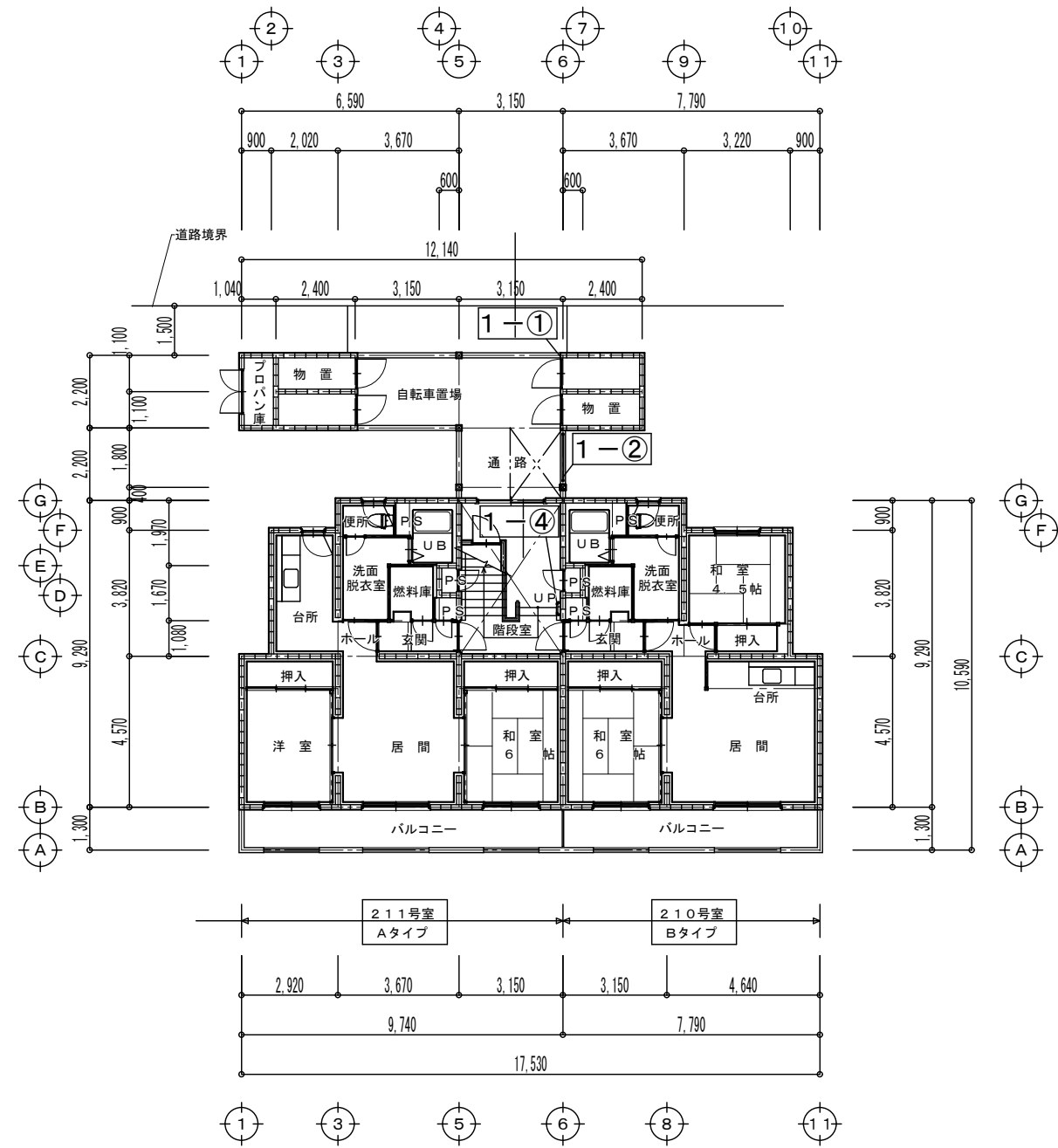
NUMBER
A - 110

住戸別改修概要（全住戸共通）									
番号	改修概要								
1 (建築)	共用部分：手摺	2	撤去箇所：便所	5-1 (電気)	インターホン設備1-1：インターホンの新設	5-2 (電気)	インターホン設備2-1：非常押釦の新設		
	新設箇所：ポーチ	(建築)			新設箇所（住戸）：親機 居間		新設箇所（住戸）：居間 主寝室 便所 UB		
	新設箇所：ポーチ通路 自立型手摺	3	ユニットバス折り戸 吊元変更		子機 廊下（玄関ドア横）		インターホン設備2-2：非常押釦の撤去		
	新設箇所：階段（外廻り）	(建築)			インターホン設備1-1：既設チャイムの撤去		撤去箇所（1階 Aタイプ Bタイプ）：居間 便所 UB		
2 (建築)	各住戸内：手摺	4 (建築)			撤去箇所（住戸）：チャイム本体（居間）		インターホン設備2-3：既設フック付警報ブザーの撤去		
	新設箇所：玄関ホール、洗面脱衣室				(共用廊下)：チャイム呼出し釦（玄関ドア横）		撤去箇所（1階 Aタイプ Bタイプ）：共用廊下（玄関ドア横）		
	新設箇所：浴室、便所								
	新設箇所：便所								

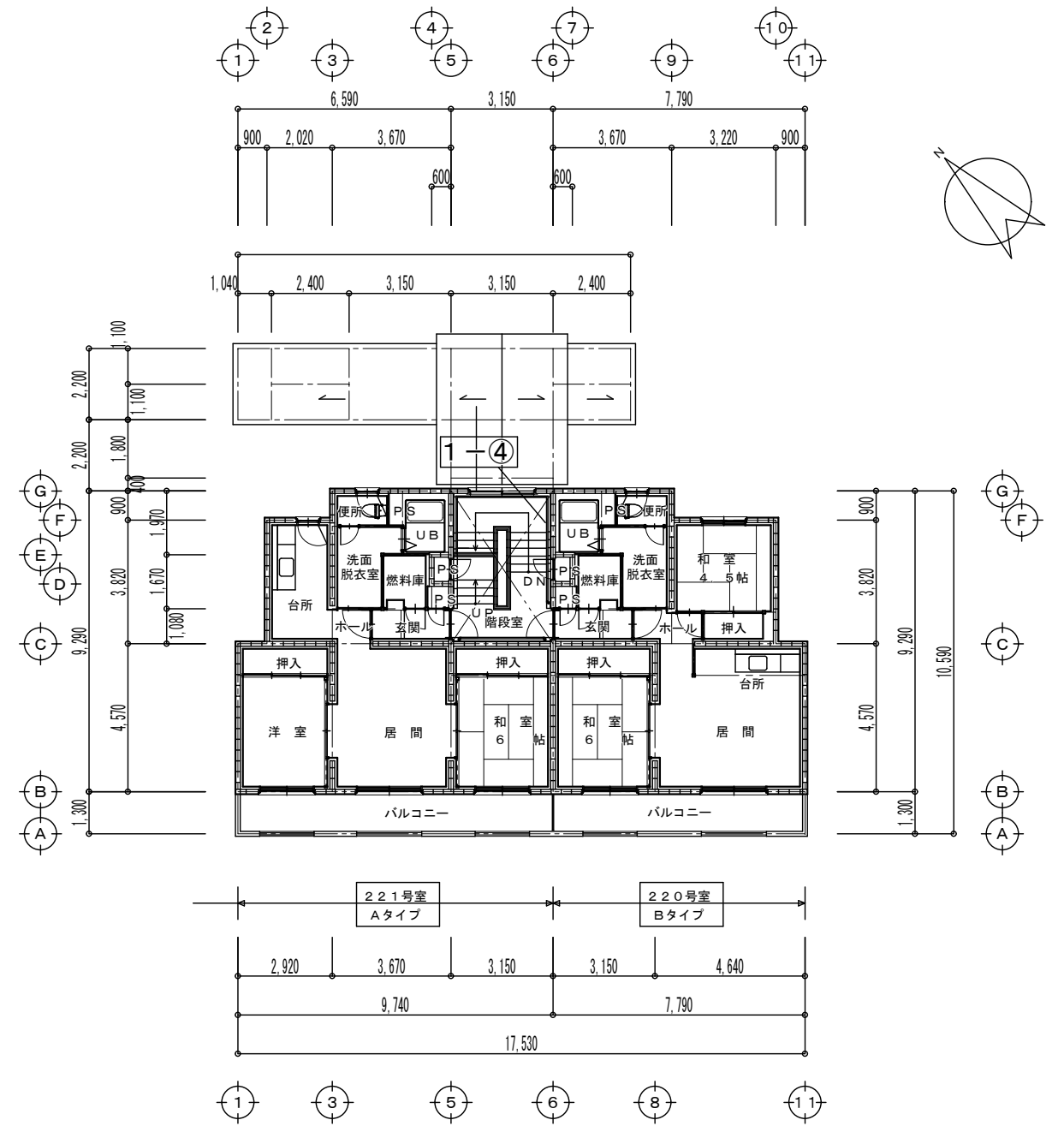
外部仕上表							
基礎（既設のまま）	壁（既設のまま）	屋根（既設のまま）	軒天井（既設のまま）	ポーチ	バルコニー（既設のまま）	犬走り（既設のまま）	備考
コンクリート打放しAEP	セラミックブロック t150	長尺カラー鉄板 t0.35 瓦葺き	フレキシブルボード t6 AEP (ノンアスベスト) 目透し	床：コンクリート平板 300×300×60 t	床：防水モルタルコテ押え t20 立上り、側溝共（目地切り）	軒下化粧砂利敷 t60 (B種)	屋根点検タラップ：ステンレス製 400W×6、150L
	役物：窓 マグサ用 窓台用 水切り用	アスファルトルーフィング 22kg	一部有孔ボード使用 目透し	一部ゴムマット 300置敷き	壁：セラミックブロック t150		
	臥梁廻り：コンクリート打放しの上吹付タイル	コンパネ t12下地			軒天：コンクリート打放し AEP		
				手摺：壁付け型 新設	物干金物：公団型 H780 4ヶ所		
				手摺：床支持型 新設	手摺：7mm製 既製品 バルコニー隔板：公団型 7mm製 2ヶ所		

内部仕上表 ※ ユニットバス壁材は石綿含有建材です。 ※ 天井仕上：石膏吸音板 t9.5 (準不燃) はジプトーンを示す。											
	室名	床		巾木	壁		天井		天井廻り縁	天井高	改修内容
		仕上	下地		仕上	下地	仕上	下地			
共用部分	階段室	モルタル刷毛引 t20 ハードナーS塗布	コンクリート	ポーターモルタルコテ工 吹付タイル 120×30	セラミックブロック	一部コンクリート	石膏吸音板 t9 一部コンクリート打ち放し	木下地	塩ビ見切縁	2,318	外周リ床支持型手摺 新設
	玄関	モルタルコテ押え t20 一部化粧フロア合板 t12	コンクリート	青木 H=60	化粧合板 t4	木下地	化粧石膏ボード t9.5 目透し	木下地	青木廻り縁	2,380	
住戸部分共通	ホール	化粧フロア合板 t12	システムフロア+ラワン合板 t3	同上	同上	同上	石膏吸音板 t9.5 (準不燃)	同上	同上	2,300	手摺I型600L 新設
	燃料庫	モルタルコテ押え t20	コンクリート	同上	ラワン合板 t3	同上	合成樹脂素地板 打込 一部コンクリート表し	コンクリート	同上	スラブ下	
	洗面・脱衣室	塩ビシート t2.5	システムフロア+コンパネ t12	同上	着色ケイ酸カルシウム板 t6 (アルミジョイナー使用)	同上	石膏吸音板 t9.5 (準不燃)	木下地	同上	2,150	手摺I型600L 新設
	便所	同上	同上	同上	化粧合板 t4	同上	化粧石膏ボード t9.5 目透し	同上	同上	2,150	既存手摺I型450L 撤去 手摺L型600×600 新設
	UB	ユニットバス			ユニットバス		ユニットバス				手摺I型600L 新設
	居間	化粧フロア合板 t12	システムフロア+ラワン合板 t3	青木 H=60	化粧合板 t4	木下地	石膏吸音板 t9.5 (準不燃)	木下地	青木廻り縁	2,400	
	台所	同上	同上	同上	着色ケイ酸カルシウム板 t6	同上	石膏吸音板 t9.5 (準不燃)	同上	同上	2,150	
	洋室	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	2,400	
	和室	断熱タタミ C種 t60	システムフロア	青木タタミ寄せ	化粧石膏ボード t9	同上	化粧石膏ボード 杉板目 t9.5 目透し	同上	同上	2,300	
	押入	シナ合板 t5.5	木下地	青木雑巾摺	ラワン合板 t3	同上	ラワン合板 t3	同上	同上	2,300	

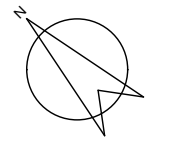
CONSTRUCTION TITLE 広野団地個別改善工事	DRAWING NAME R-2号棟 改修概要・仕上表	SCALE	DATE 2025. 9. 17	interior desing project 1級建築士事務所 (十) 404 号 まちの建築家 あくていぶネット協同組合 帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655	代表となる設計者 管理建築士	1級建築士登録 (大臣) 210079 号 成田 斉 1級建築士登録 (大臣) 158816 号 佐藤 有宏	NUMBER A - 201
----------------------------------	-----------------------------------	-------	---------------------	---	-------------------	---	-------------------



1階平面図



2階平面図



■ R-2号棟 共用部共通改修内容



※ 養生 整理清掃後片付け範囲: ポーチ通路、階段室

番号	改修項目	工事内容(形状・仕様・規格)
1-①	共用部 ポーチ 壁 縦手摺の新設	手摺新設: 外部用樹脂被覆(高耐候 光触媒 抗菌仕様) 手摺40φ L=600
1-②	共用部 ポーチ 通路 横手摺の新設	手摺新設: 外部用樹脂被覆(高耐候 光触媒 抗菌仕様) 手摺40φ (アルミ笠木受) ステンレス支柱 H=750 床自立型
1-③	共用部 階段 手摺の新設 (R-2号棟は該当部分無し)	手摺新設: 樹脂被覆手摺40φ (アルミ笠木受) スチール焼付塗装支柱 H=750 床自立型 有効階段巾1.200以上確保(手摺内法)

CONSTRUCTION TITLE
広野団地個別改善工事

DRAWING NAME
R-2号棟
改修 1階平面図 2階平面図

SCALE
1:200

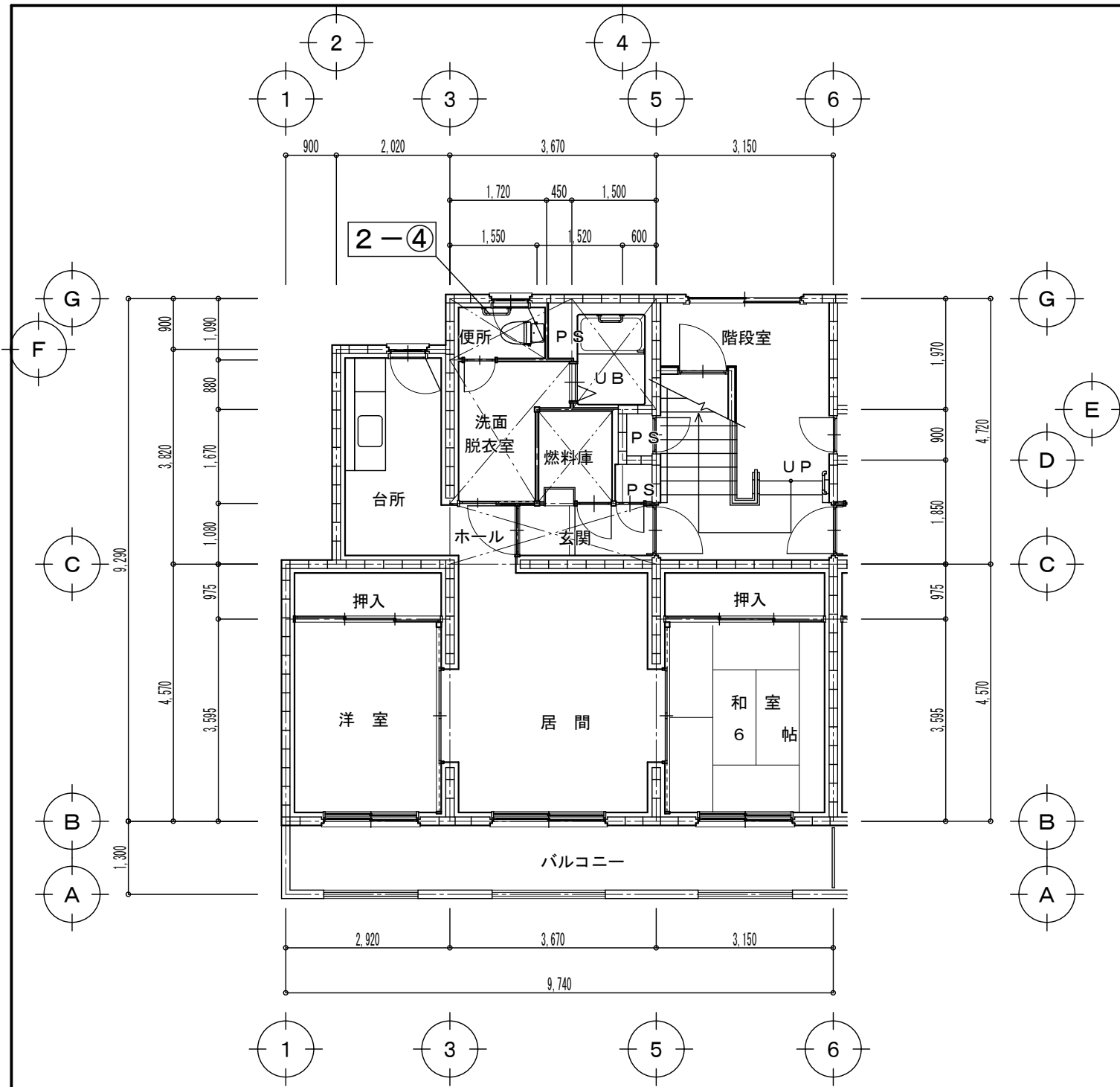
DATE
2025. 9. 17

interior desing project 1級建築士事務所 (十) 404 号
まちの建築家 あくていぶネット協同組合
帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655

代表となる設計者
管理建築士

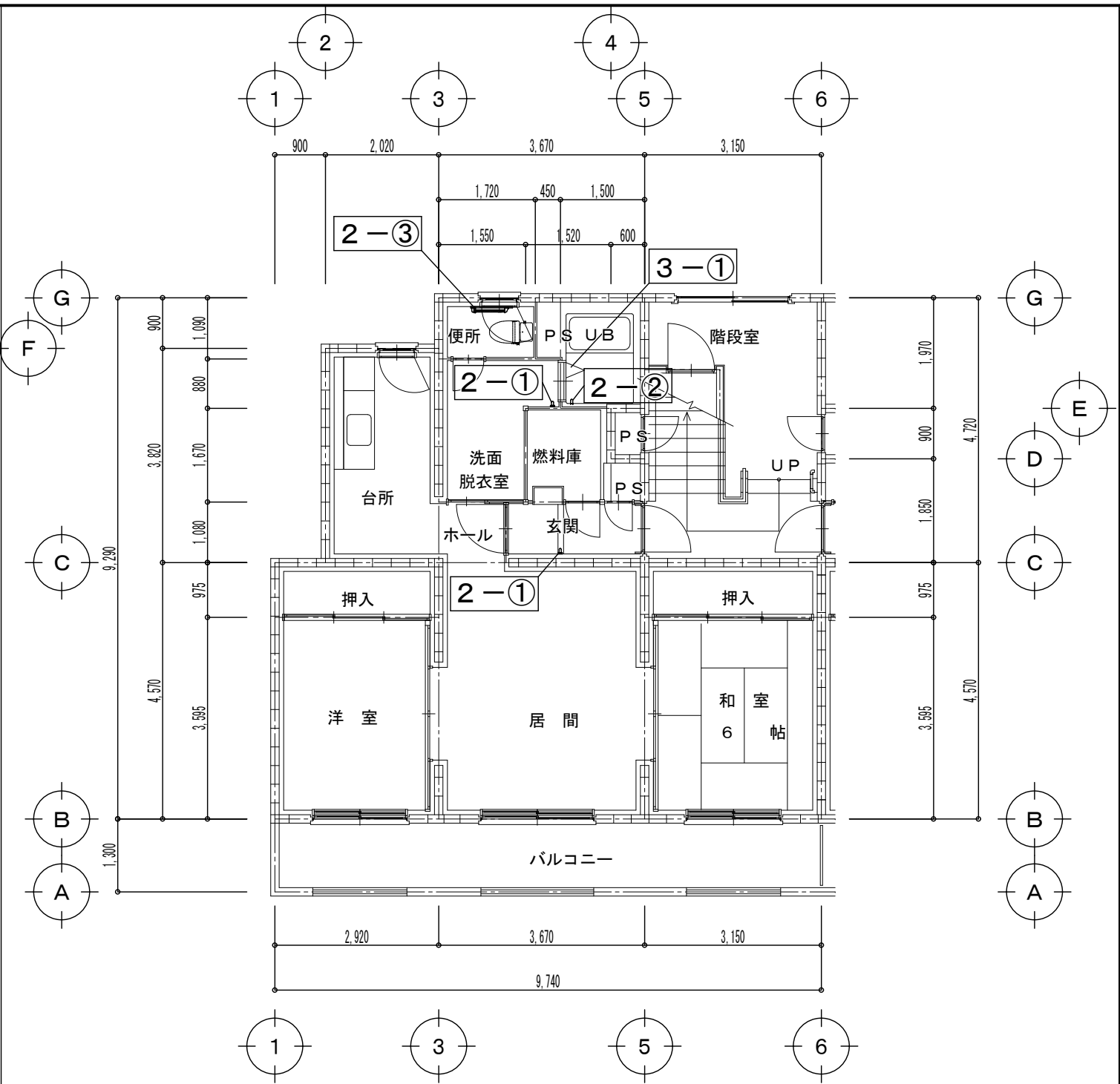
1級建築士登録(大臣) 210079 号
成田 齊
1級建築士登録(大臣) 158816 号
佐藤 有宏

NUMBER
A - 202



タイプA 改修前平面詳細図
[211号室・221号室]

※ 養生 整理清掃後片付け範囲
 ※ 養生範囲：玄関 ホール 洗面・脱衣室 便所 UB 燃料庫
 ※ 整理清掃後片付け範囲：玄関 ホール 洗面・脱衣室 便所 UB 燃料庫

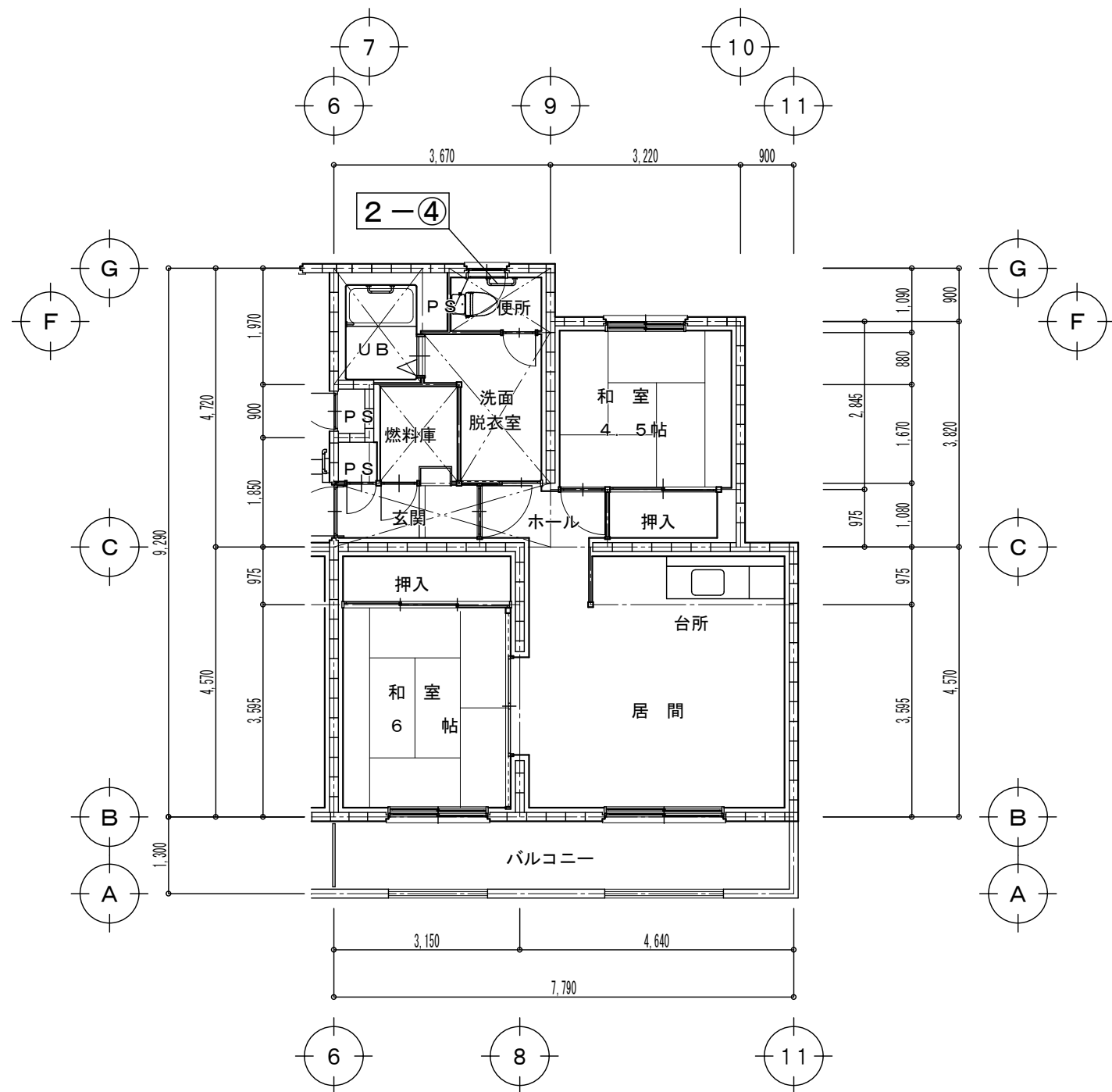


タイプA 改修後平面詳細図
[211号室・221号室]

■ R-2号棟 タイプA住戸共通改修内容

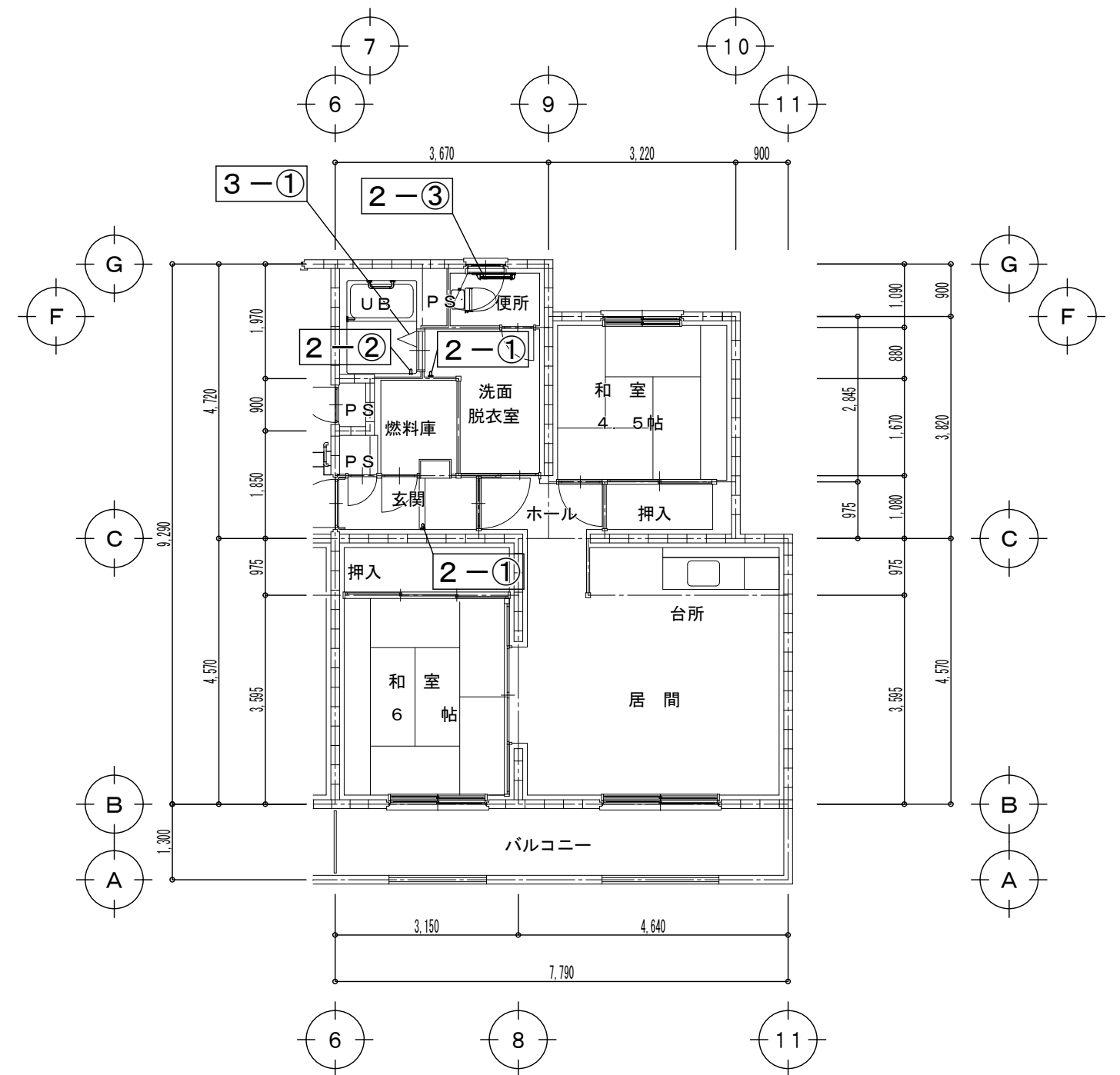
番号	改修項目	工事内容(形状・仕様・規格)	番号	改修項目	工事内容(形状・仕様・規格)
2-①	玄関、洗面脱衣室 手摺の新設	手摺新設：ステンレス材樹脂被覆製 34φ L=600 I型縦付け 取付板集成材20×100×1000 WUC	3-①	ユニットバス折り戸 吊元変更	折り戸の吊元変更及び開閉調整
2-②	浴室 手摺の新設	手摺新設：ステンレス材樹脂被覆製 34φ L=600 I型縦付け 浴室の燃料庫側間仕切壁仕上材の一部を撤去し手摺下地230×85×120を設置後 珧合板t3貼りにて復旧			
2-③	便所 手摺の新設	手摺新設：ステンレス材樹脂被覆製 34φ L型600×600 取付板集成材20×100×1000、20×100×750 WUC			
2-④	便所 既設手摺の撤去	手摺撤去：ステンレス製 I型450×38φ			

CONSTRUCTION TITLE 広野団地個別改善工事	DRAWING NAME R-2号棟 タイプA 撤去・改修 平面詳細図	SCALE 1:100	DATE 2025. 9. 17	interior desing project 1級建築士事務所 (十)404号 まちな建築家あくていぶネット協同組合 帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655	代表となる設計者 管理建築士	1級建築士登録(大臣)210079号 成田 斉 1級建築士登録(大臣)158816号 佐藤 有宏	NUMBER A - 203
----------------------------------	---	----------------	---------------------	--	-------------------	---	-------------------



タイプB 改修前平面詳細図
[210号室・220号室]

※ 養生 整理清掃後片付け範囲
 ※ 養生範囲：玄関 ホール 洗面・脱衣室 便所 UB 燃料庫
 ※ 整理清掃後片付け範囲：玄関 ホール 洗面・脱衣室 便所 UB 燃料庫

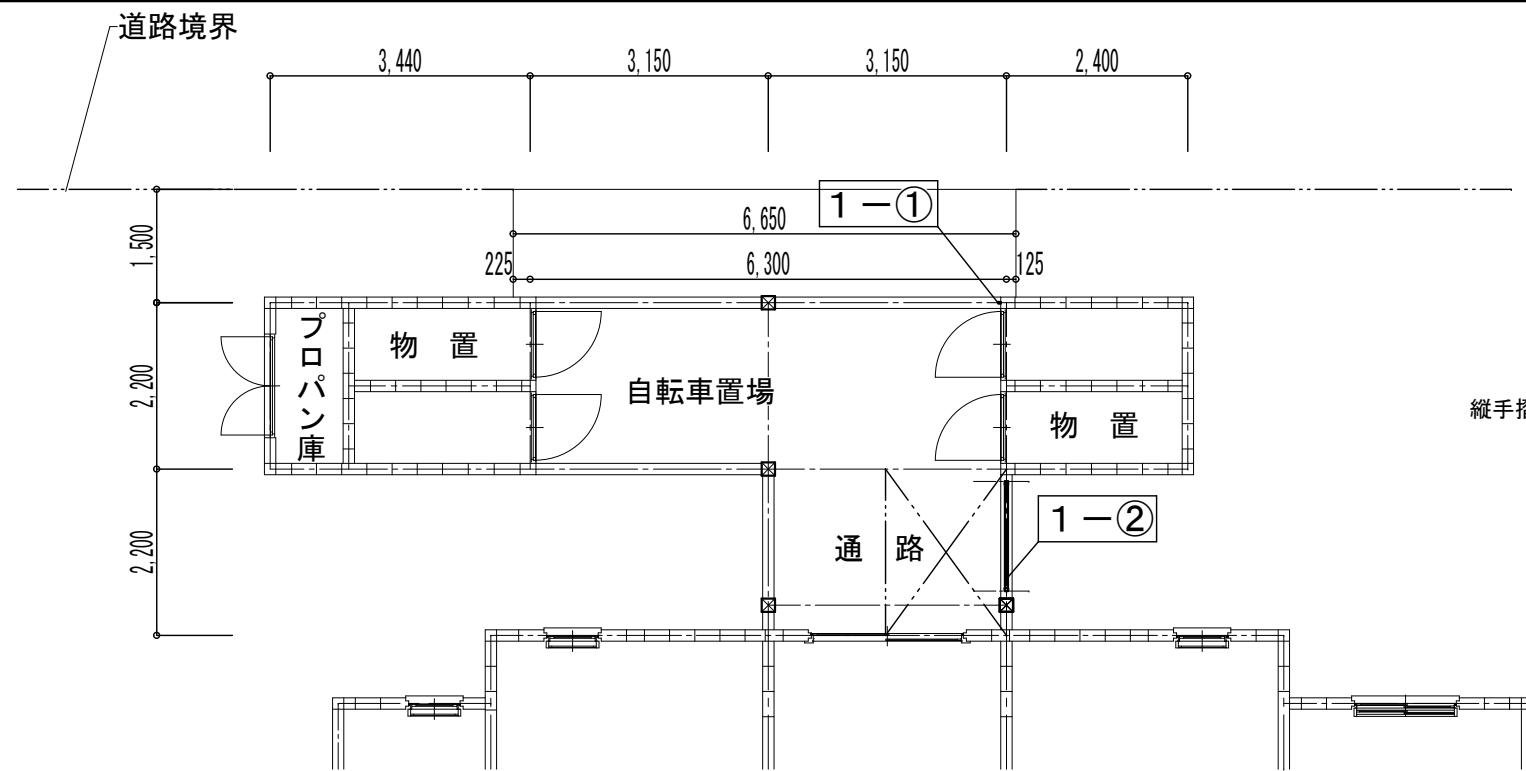


タイプB 改修後平面詳細図
[210号室・220号室]

■ R-2号棟 タイプB住戸共通改修内容

番号	改修項目	工事内容(形状・仕様・規格)	番号	改修項目	工事内容(形状・仕様・規格)
2-①	玄関、洗面脱衣室 手摺の新設	手摺新設：ステンレス芯材樹脂被覆製 34φ L=600 I型縦付け 取付板集成材20×100×1000 WUC	3-①	ユニットバス折戸 吊元変更	折り戸の吊元変更及び開閉調整
2-②	浴室 手摺の新設	手摺新設：ステンレス芯材樹脂被覆製 34φ L=600 I型縦付け 浴室の燃料庫側間仕切壁仕上材の一部を撤去し手摺下地230×85×120を設置後			
2-③	便所 手摺の新設	手摺新設：ステンレス芯材樹脂被覆製 34φ L=600×600 取付板集成材20×100×1000、20×100×750 WUC			
2-④	便所 既設手摺の撤去	手摺撤去：ステンレス製 I型450×38φ			

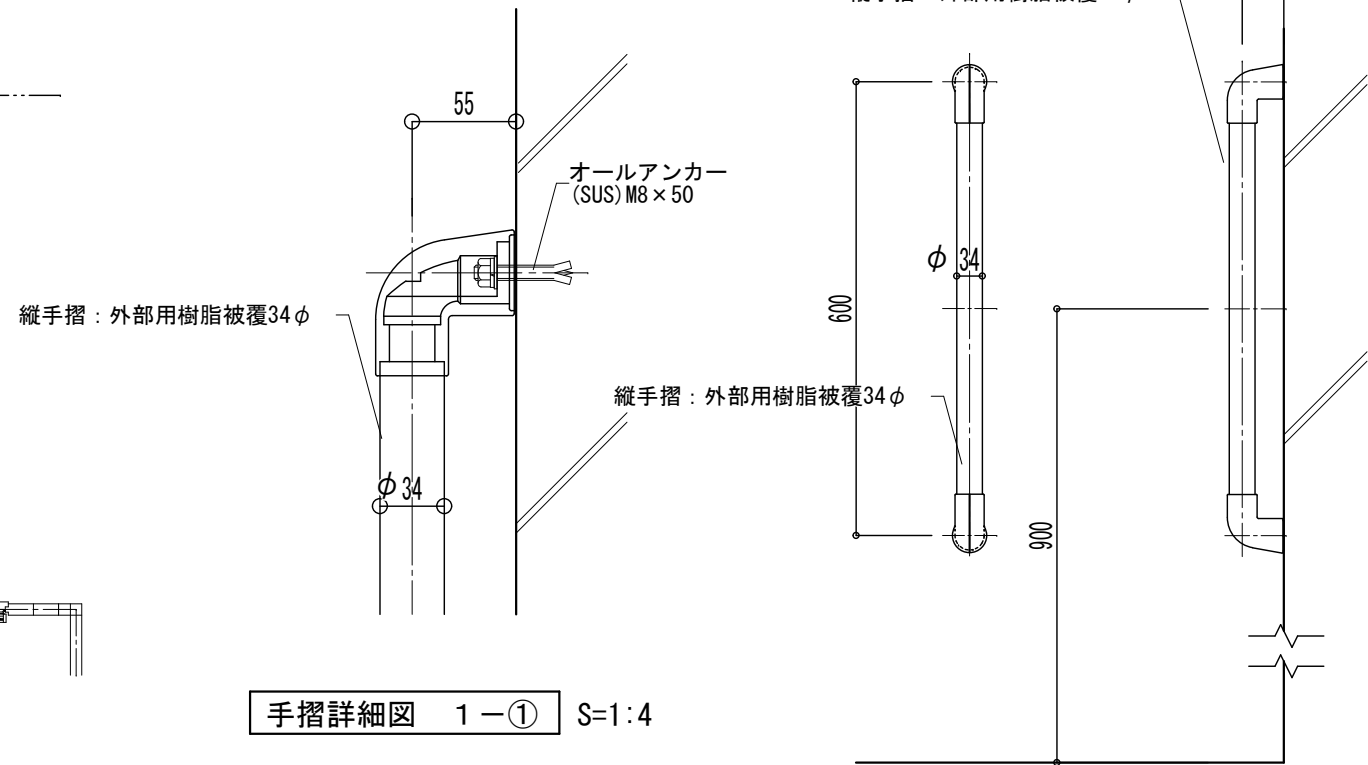
CONSTRUCTION TITLE 広野団地個別改善工事	DRAWING NAME R-2号棟 タイプB 撤去・改修 平面詳細図	SCALE 1:100	DATE 2025. 9. 17	interior desing project 1級建築士事務所 (十) 404 号 まちの建築家あくていぶネット協同組合 帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655	代表となる設計者 管理建築士	1級建築士登録(大臣) 210079 号 成田 齊 1級建築士登録(大臣) 158816 号 佐藤 有宏	NUMBER A - 204
----------------------------------	---	----------------	---------------------	--	-------------------	---	-------------------



平面図 S=1:100

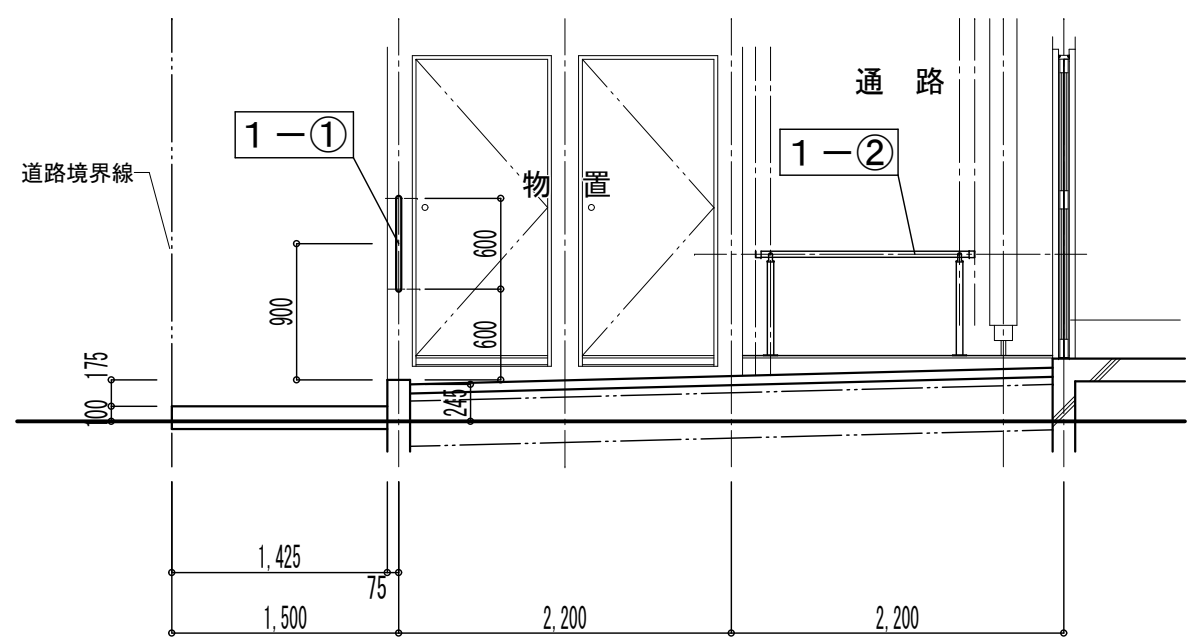


養生 整理清掃後片付け範囲：ポーチ通路の東半分

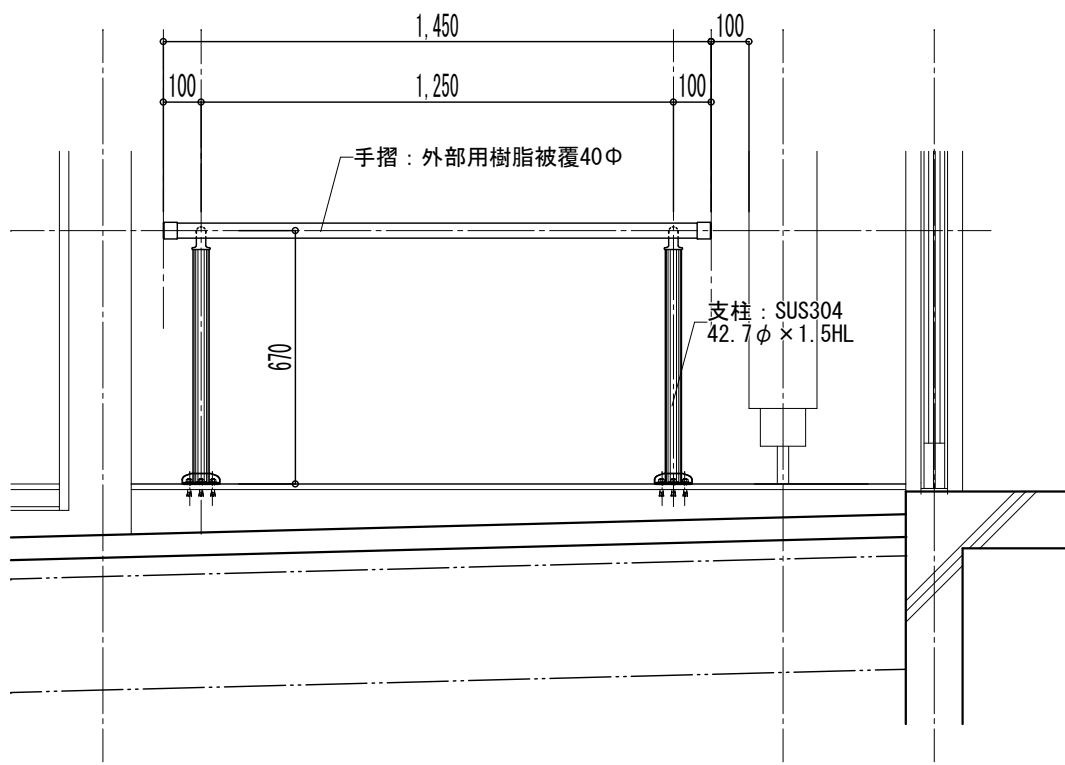


手摺詳細図 1-1 S=1:4

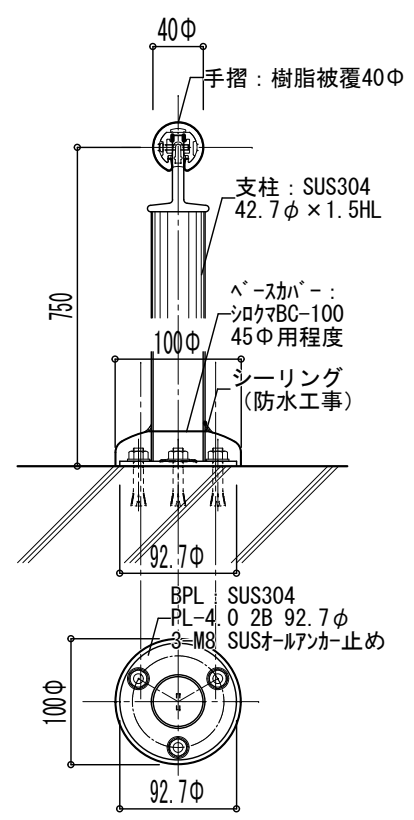
手摺詳細図 1-1 S=1:10



断面図 S=1:50

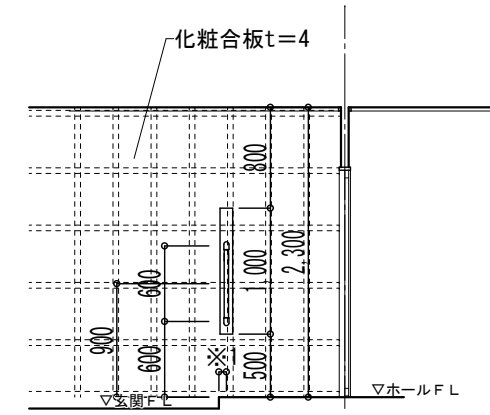
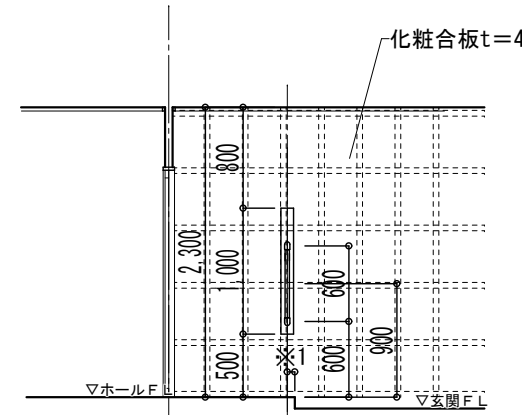
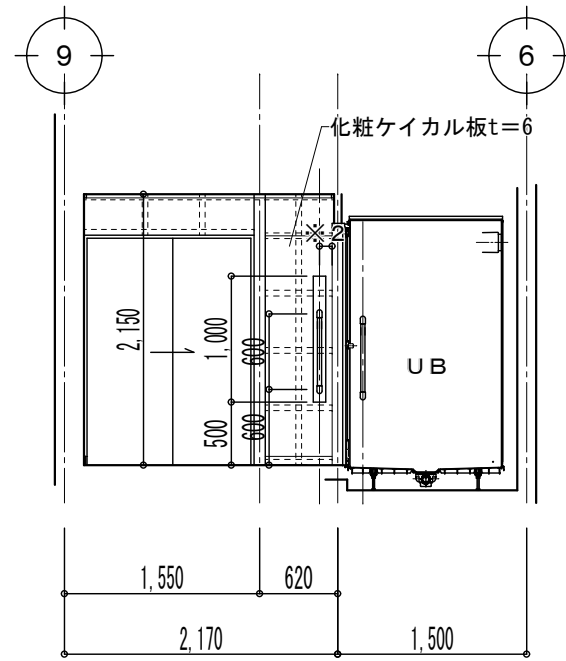
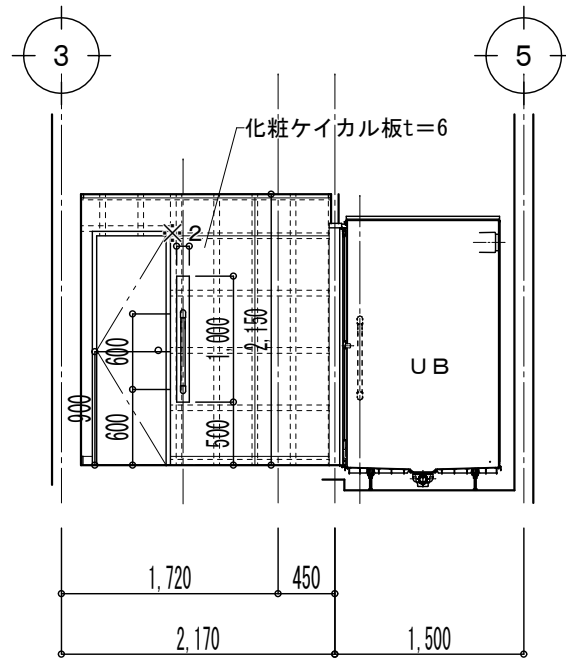


立面詳細図 1-2 S=1:20



正面詳細図 1-2 S=1:6

CONSTRUCTION TITLE 広野団地個別改善工事	DRAWING NAME R-2号棟 ポーチ手摺 改修詳細図	SCALE 1:4 1:6 1:10 1:20 1:50 1:100	DATE 2025. 9. 17	interior desing project 1級建築士事務所 (十) 404 号 まちの建築家 あくていぶネット協同組合 帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655	代表となる設計者 1級建築士登録 (大臣) 210079 号 成田 斉	NUMBER A - 205
					管理建築士 1級建築士登録 (大臣) 158816 号 佐藤 有宏	



※1 寸法は上り框面より60mm程度とするが間柱位置等を考慮して監督員と協議の上取付ける。床からの高さは下地の位置に合わせて流動的に対応する。

※2 浴室出入口より100mm程度の位置とし、監督員と協議の上取付ける。床からの高さは下地の位置に合わせて流動的に対応する。

R-2 1F 211号室 (Aタイプ) 洗面脱衣室展開図 S=1/60
R-2 2F 221号室 (Aタイプ) 洗面脱衣室展開図 S=1/60

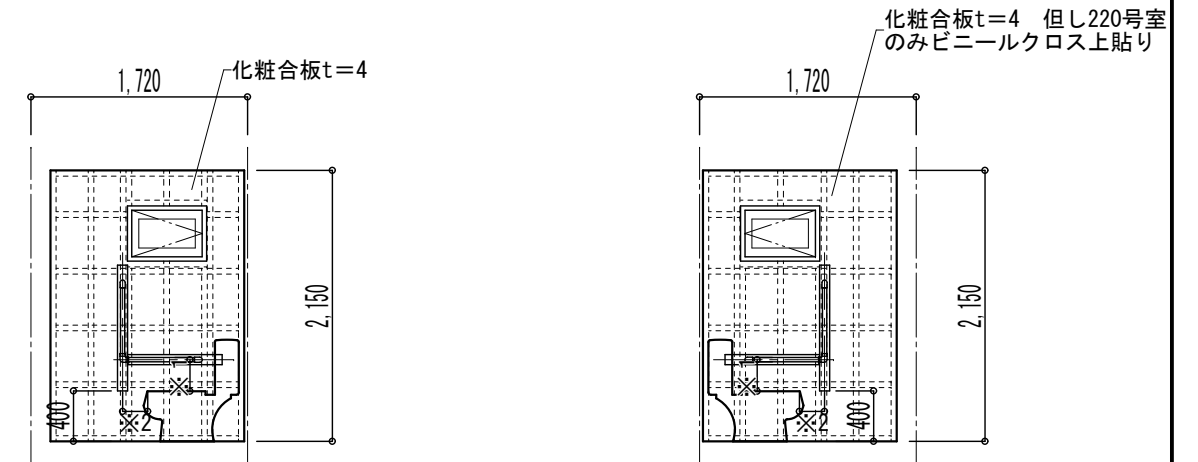
R-2 1F 210号室 (Bタイプ) 洗面脱衣室展開図 S=1/60
R-2 2F 220号室 (Bタイプ) 洗面脱衣室展開図 S=1/60

R-2 1F 210号室 (Bタイプ) 玄関展開図 S=1/60
R-2 2F 220号室 (Bタイプ) 玄関展開図 S=1/60

R-2 1F 211号室 (Aタイプ) 玄関展開図 S=1/60
R-2 2F 221号室 (Aタイプ) 玄関展開図 S=1/60

壁洞縁割り一覧表

部 位	壁 仕 上	縦 洞 縁		横 洞 縁	
		洞縁サイズ	ピッチ	洞縁サイズ	ピッチ
1. セラミックブロック壁下地	石膏ボード類・化粧ケイ酸カルシウム板面	35×45	@450	18×45	@450
	化粧合板面		@300		
2. 木造間仕切り壁下地	石膏ボード類・化粧ケイ酸カルシウム板面	45×45	@450	45×45	@450
	化粧合板面		@300		
3. 片引き戸・引分け戸	石膏ボード類・化粧ケイ酸カルシウム板面	18×45	@450	18×45	@450
	化粧合板面		@300		



※1寸法は便座面より250mm程度とする
※2寸法は便器先端より250mm程度とする
※ 上記以外に紙巻器、非常用押し釘位置等を考慮し施工する

R-2 1F 211号室 (Aタイプ) 便所展開図 S=1/60
R-2 2F 221号室 (Aタイプ) 便所展開図 S=1/60

R-2 1F 210号室 (Bタイプ) 便所展開図 S=1/60
R-2 2F 220号室 (Bタイプ) 便所展開図 S=1/60

CONSTRUCTION TITLE
広野団地個別改善工事

DRAWING NAME
R-2号棟
内部手摺改修展開図 洞縁割り一覧表

SCALE
1:60

DATE
2025. 9. 17

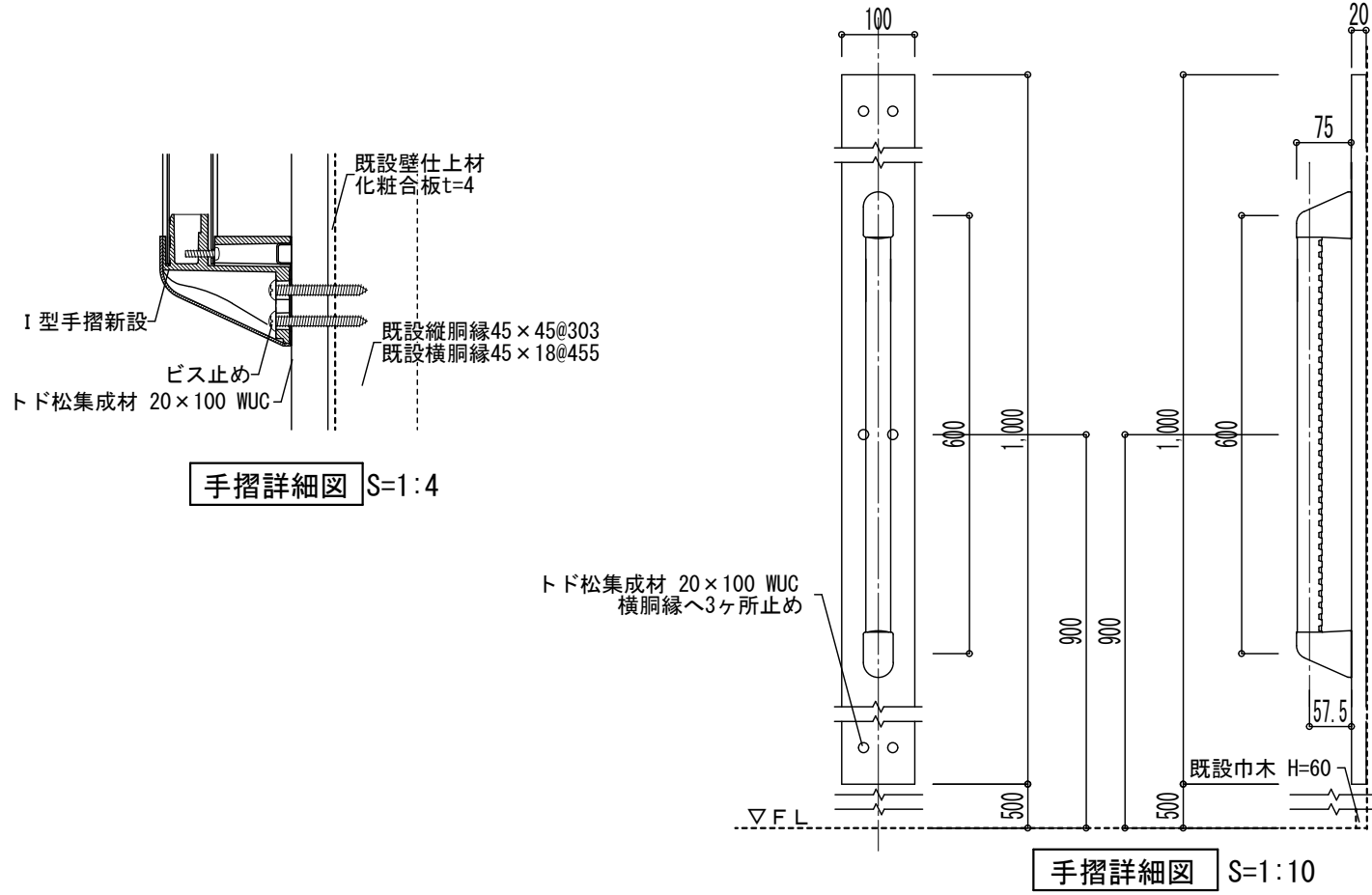
interior desing project 1級建築士事務所 (十) 404 号
まちの建築家 あくていぶネット協同組合
帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655

代表となる設計者
管理建築士

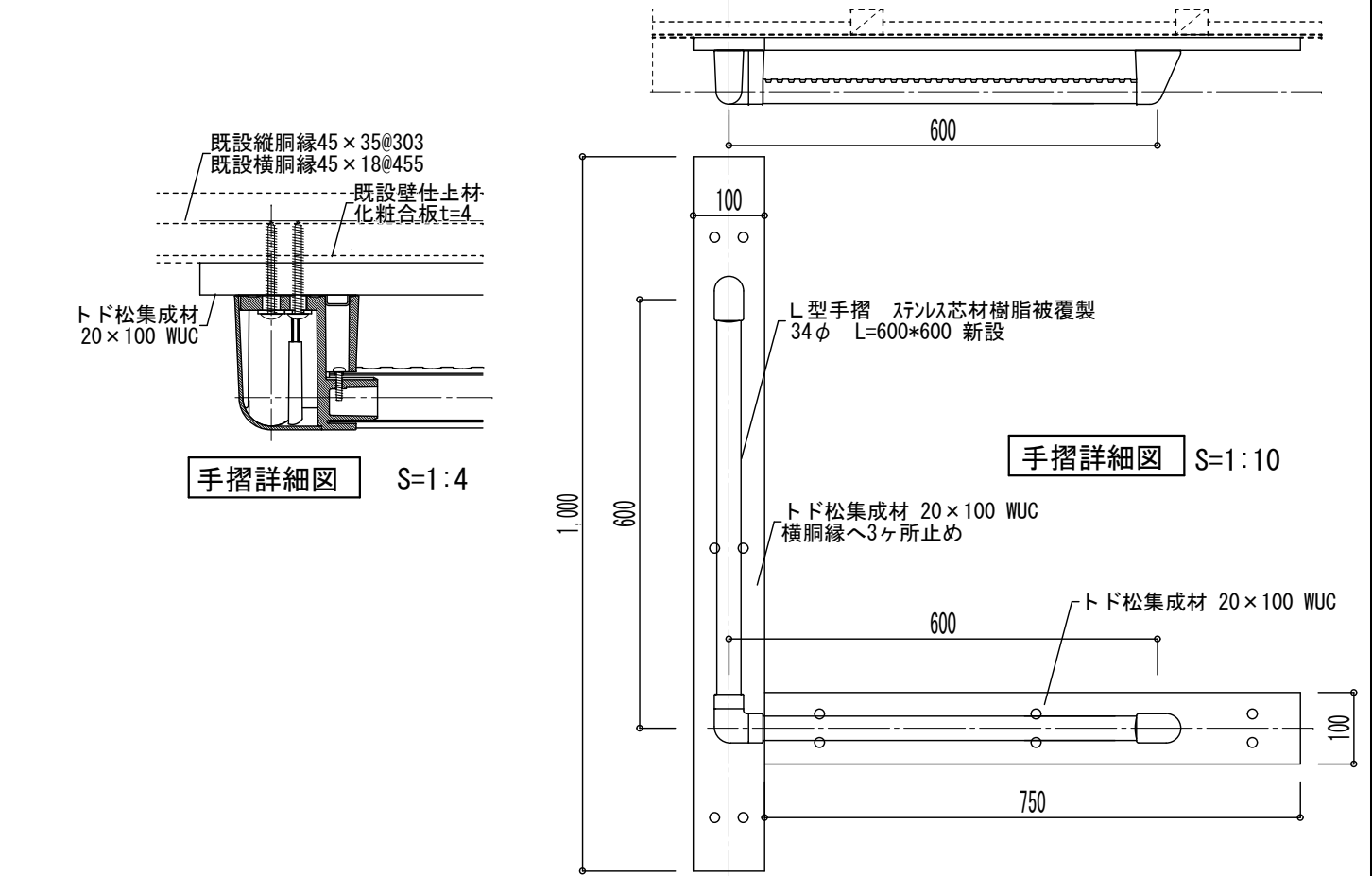
1級建築士登録 (大臣) 210079 号
成田 齊
1級建築士登録 (大臣) 158816 号
佐藤 有宏

NUMBER
A - 207

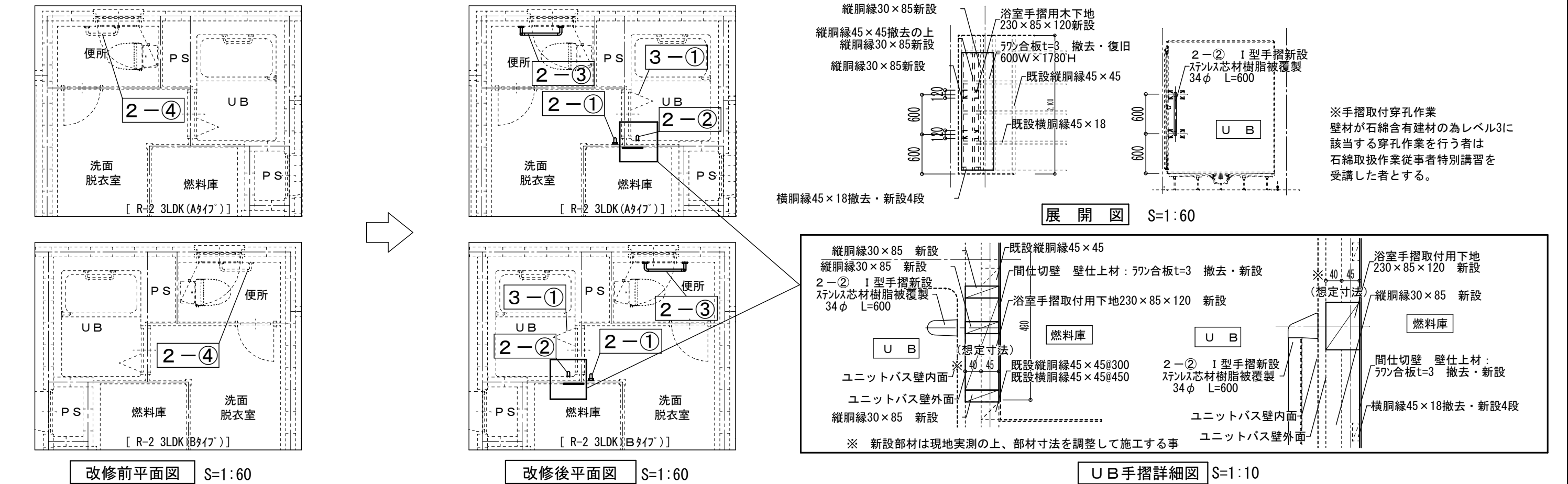
改修番号 2-① 玄関 洗面脱衣室



改修番号 2-③ 便所



改修番号 2-② 浴室



CONSTRUCTION TITLE
広野団地個別改善工事

DRAWING NAME
R-2号棟
住戸内手摺改修詳細図

SCALE
1:4
1:10
1:60

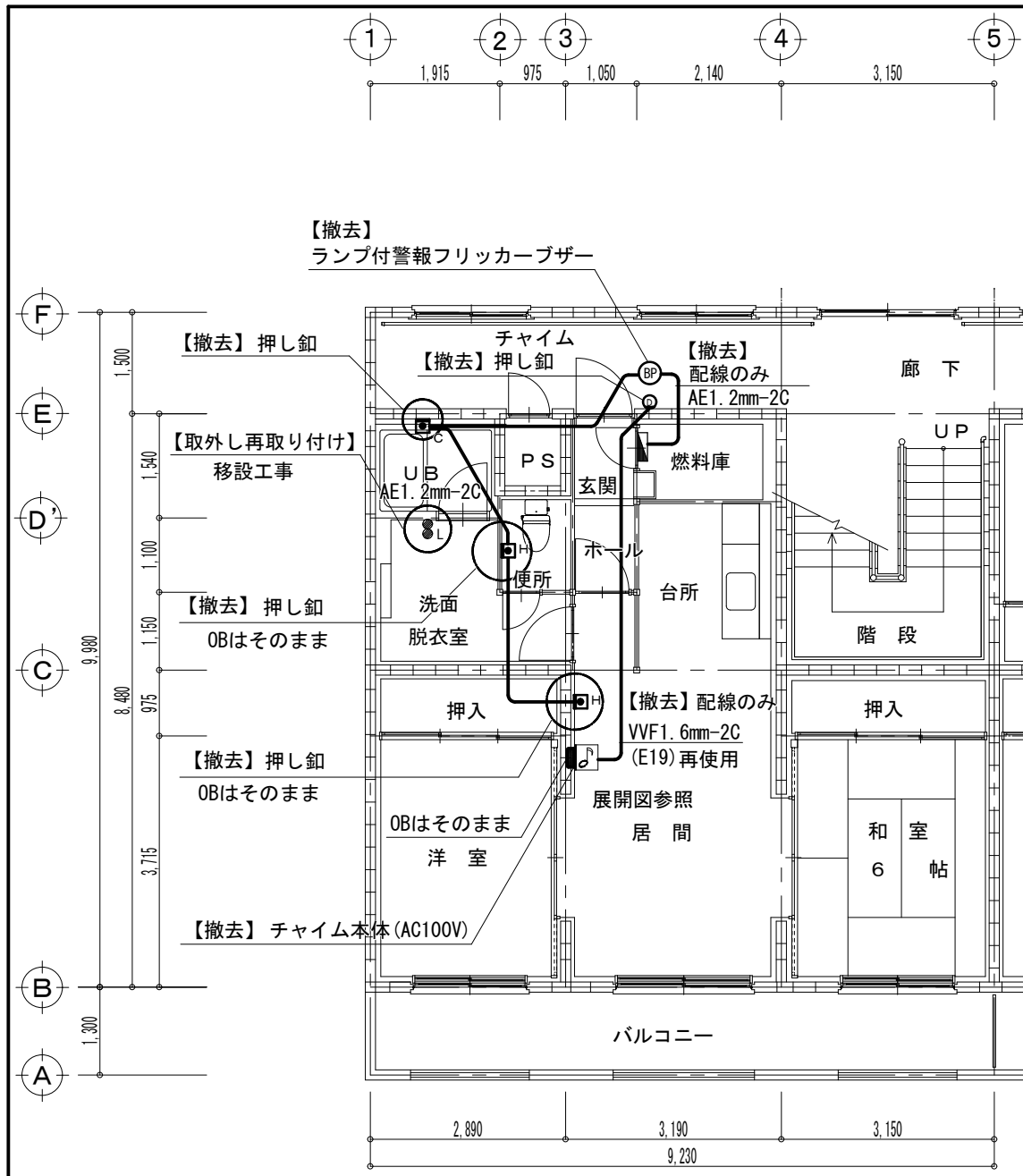
DATE
2025. 9. 17

interior desing project 1級建築士事務所 (十) 404 号
まちな建築家 あくていぶネット協同組合
帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655

代表となる設計者
1級建築士登録 (大臣) 210079 号
成田 齊

管理建築士
1級建築士登録 (大臣) 158816 号
佐藤 有宏

NUMBER
A - 208



1号棟 1階
112号室
タイプA (西端) 既設平面詳細図

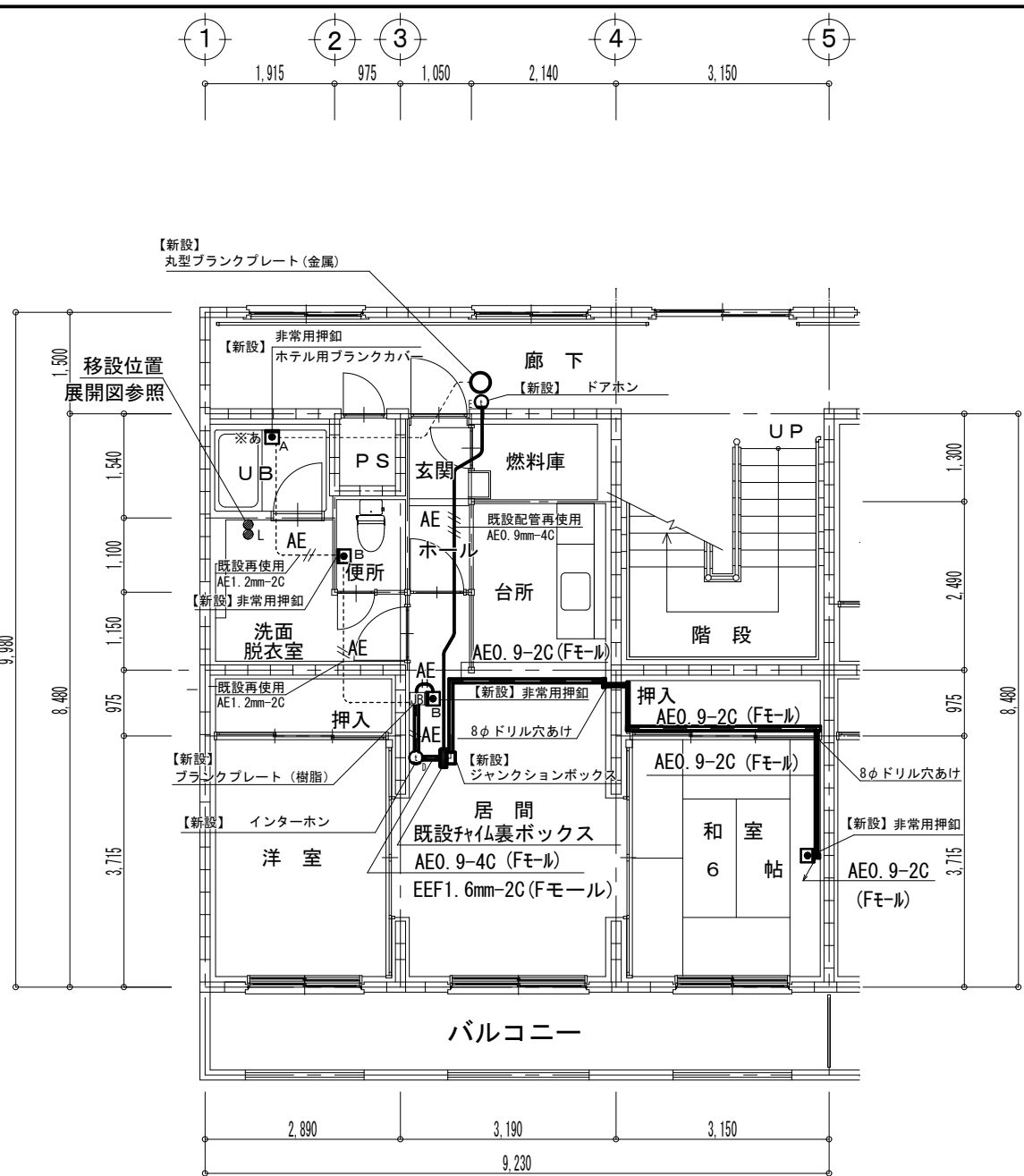


1号棟 立面配置図 (南面視図)

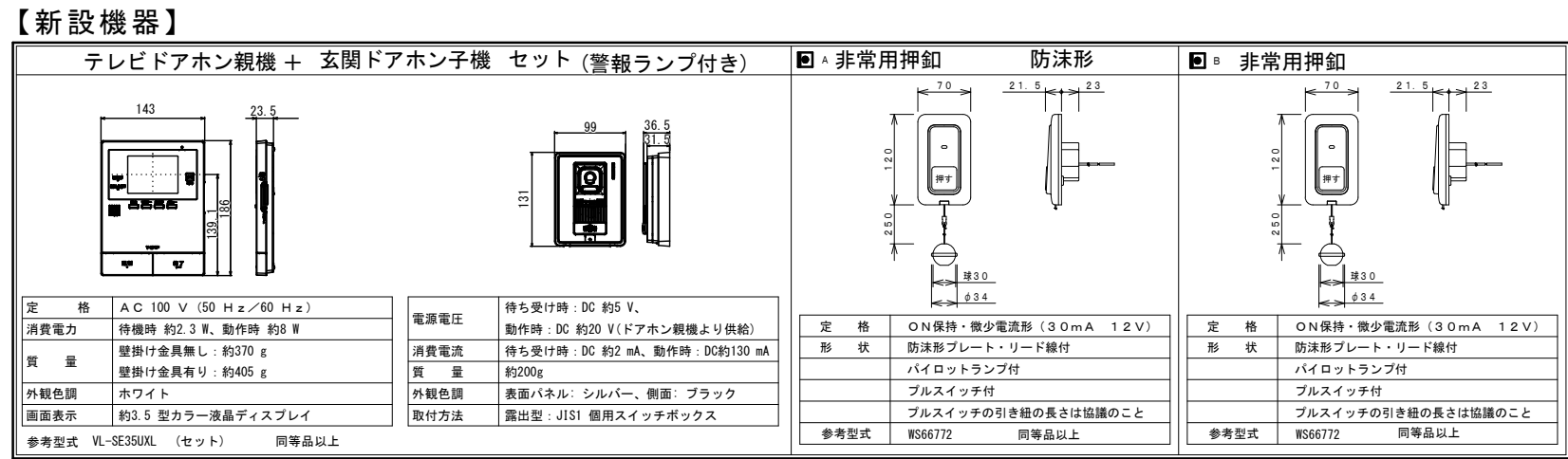
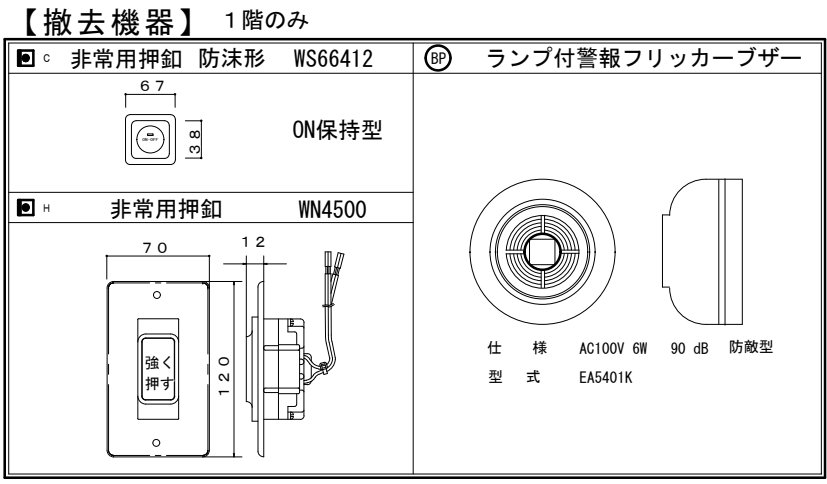
- (特記事項)
- 図中の撤去品は、建築工事にて産業廃棄物処理とする。
 - 居間・和室の新設押し錠は、合成樹脂線び1個用浅型スイッチボックスを使用して取付とする。取付高さはH=600とする。
居間の既設ボックスはブラックプレートを取付とする。
便所の押し錠は、既設ボックスに取付とする。
浴室押し錠は横にずらし高さを200あげ紐がバスタブに当たらないようにする。
浴室の※あの押し錠はユニットバス天井点検口によりインペイ配線とする。
壁フタコを立ち上げてボックスに引き入れて、新設押し錠に接続取付とする。
既設ボックスはホテル用ブラックカバー (防水) を取付とする。
 - 露出配線は、合成樹脂線び (Fモール1号) 保護とする。
 - 不要となる配線は、端処理の上ボックス内に収めること。
 - 図中の特記なき配線は下記とする。

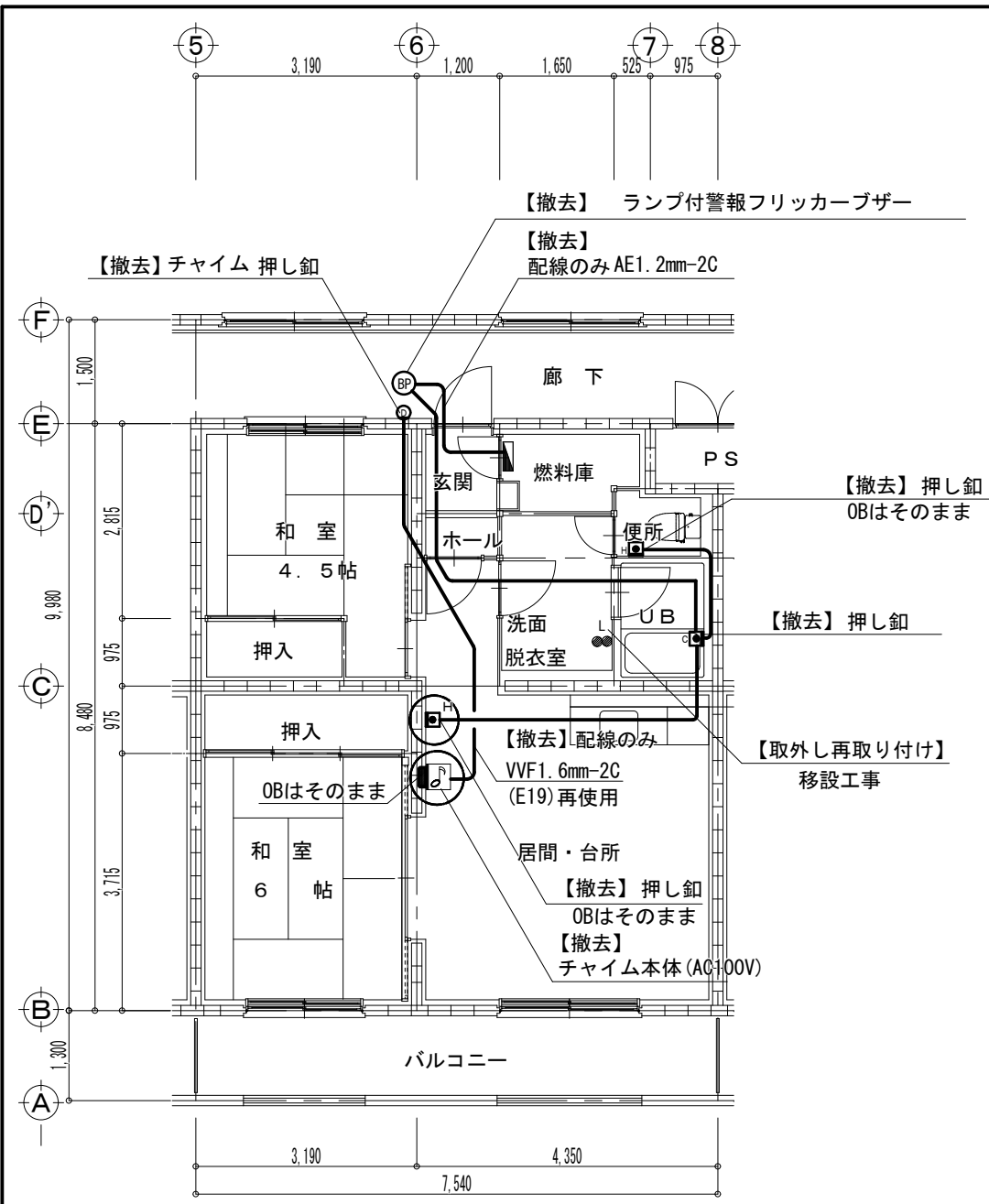
AE	AE0.9-2C	既設配線利用
AE	AE0.9-4C	(既設配管) 新設配線
AE	AE0.9-2C	(Fモール1号)
 - 施工にあたっては管理者と充分な協議を行い、住人とトラブルの無いよう留意のこと。
各住棟・住戸への施工連絡は、受注者側にて行うものとする。

記号	名称	備考
ⓐ	テレビドアホン	ハンズフリー 非常押し錠付 電源直結式 新設
ⓑ	玄関ドアホン子機	露出型 警報表示付 新設
Ⓒ	チャイム本体	露出型 (AC100V) 既設品撤去
Ⓓ	チャイム押し錠	露出型 既設品撤去
ⒺA	非常用押し錠	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
ⒺB	"	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
ⒺC	"	防沫型 既設品撤去
ⒺD	"	防沫型 既設品撤去
ⓑP	ランプ付警報フリッカーブザー	1階のみ 既設品撤去
□	ジャンクションボックス	1連用腰高カバープレート付 新設



1号棟 1階
112号室
タイプA (西端) 改修平面詳細図





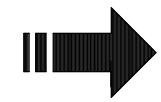
1号棟 1階 111号室 タイプB (中央) 既設平面詳細図



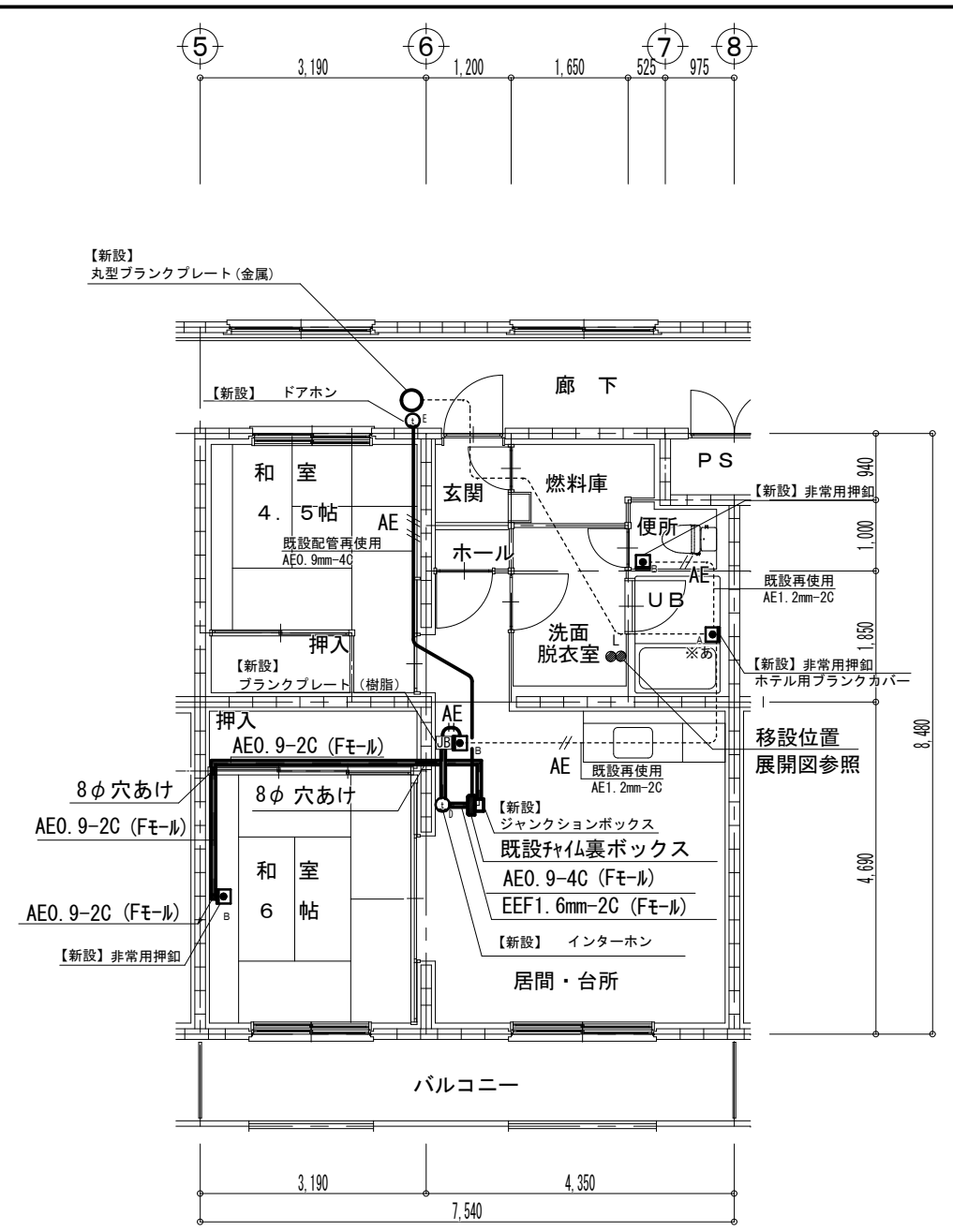
1号棟 立面配置図 (南面視図)

- (特記事項)
- 図中の撤去品は、建築工事にて産業廃棄物処理とする。
 - 居間・和室の新設押釘は、合成樹脂線ひ1個用浅型スイッチボックスを使用して取付とする。取付高さはH=600とする。
居間の既設ボックスはブランクプレートを取付とする。
便所の押釘は、既設ボックスに取付とする。
浴室押釘は横にずらし高さを200あげ紐がバスタブに当たらないようにする。
浴室の※あ押釘はユニットバス天井検口によりインペイ配線とする。
壁フツコロを立ち下げてボックスに引き入れて、新設押釘に接続取付とする。
既設ボックスはホテル用ブランクカバー (防水) を取付とする。
 - 露出配線は、合成樹脂線ひ (Fモール1号) 保護とする。
 - 不要となる配線は、端処理の上ボックス内に収めること。
 - 図中の特記なき配線は下記とする。

AE	AE0.9-2C	既設配線利用
AE	AE0.9-4C	(既設配管) 新設配線
AE	AE0.9-2C	(Fモール1号)
 - 施工にあたっては管理者と充分な協議を行い、住人とトラブルの無いよう留意のこと。
各住棟・住戸への施工連絡は、受注者側にて行うものとする。



記号	名称	備考
⓪	テレビドアホン	ハンズフリー 非常押釘付 電源直結式 新設
Ⓛ	玄関ドアホン子機	露出型 警報表示付 新設
Ⓜ	チャイム本体	露出型 (AC100V) 既設品撤去
Ⓝ	チャイム 押し釘	露出型 既設品撤去
Ⓜ	非常用押釘	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
Ⓜ	"	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
Ⓜ	"	防沫型 既設品撤去
Ⓜ	"	防沫型 既設品撤去
Ⓟ	ランプ付警報フリッカーブザー	1階のみ 既設品撤去
Ⓜ	ジャンクションボックス	1連用腰高カバープレート付 新設



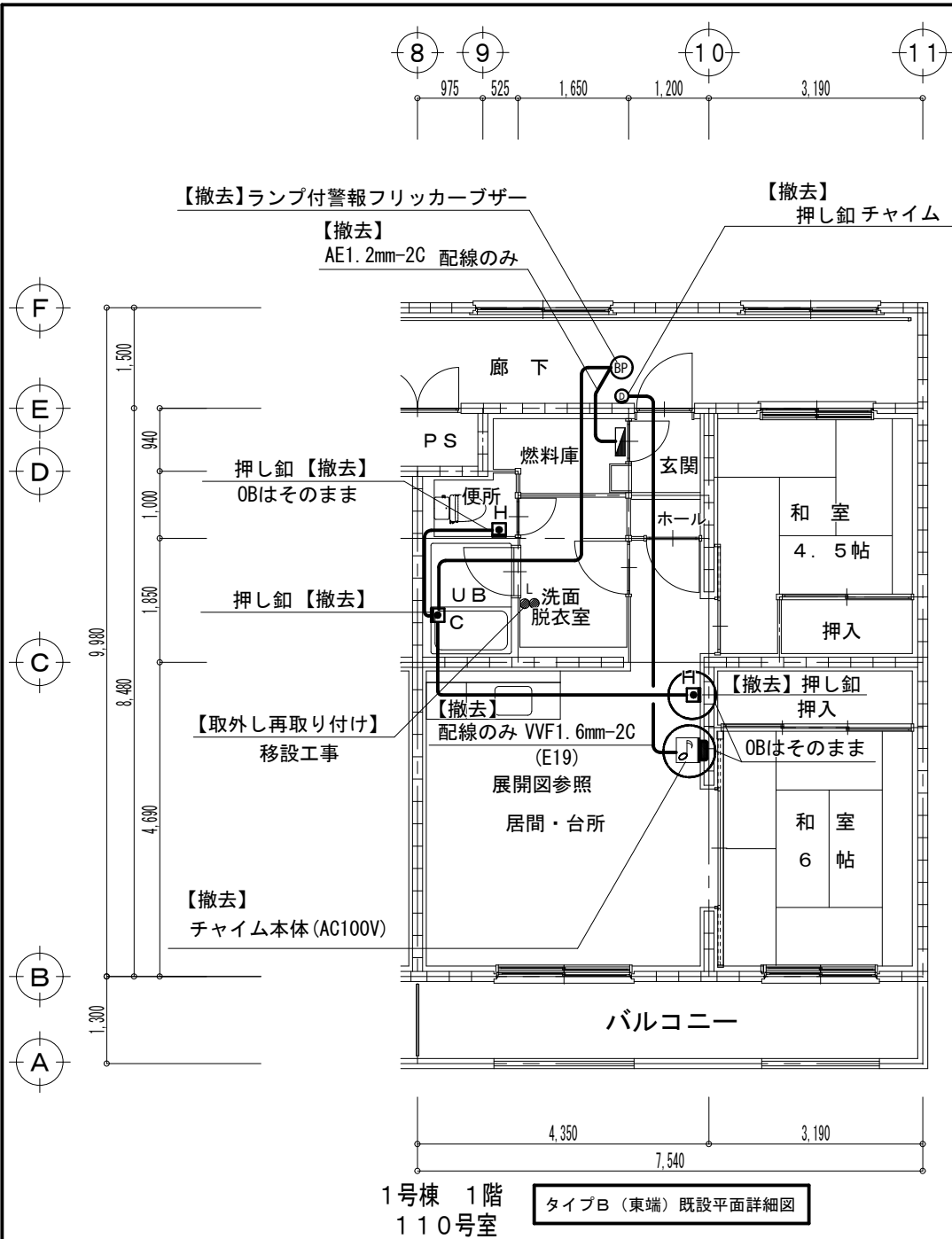
1号棟 1階 111号室 タイプB (中央) 改修平面詳細図

【撤去機器】1階のみ

<p>Ⓜ 非常用押釘 防沫形 WS66412</p> <p>ON保持型</p>	<p>Ⓟ ランプ付警報フリッカーブザー</p> <p>仕様 AC100V 6W 90 dB 防敵型 型式 EA5401K</p>
<p>Ⓜ H 非常用押釘 WN4500</p>	

【新設機器】

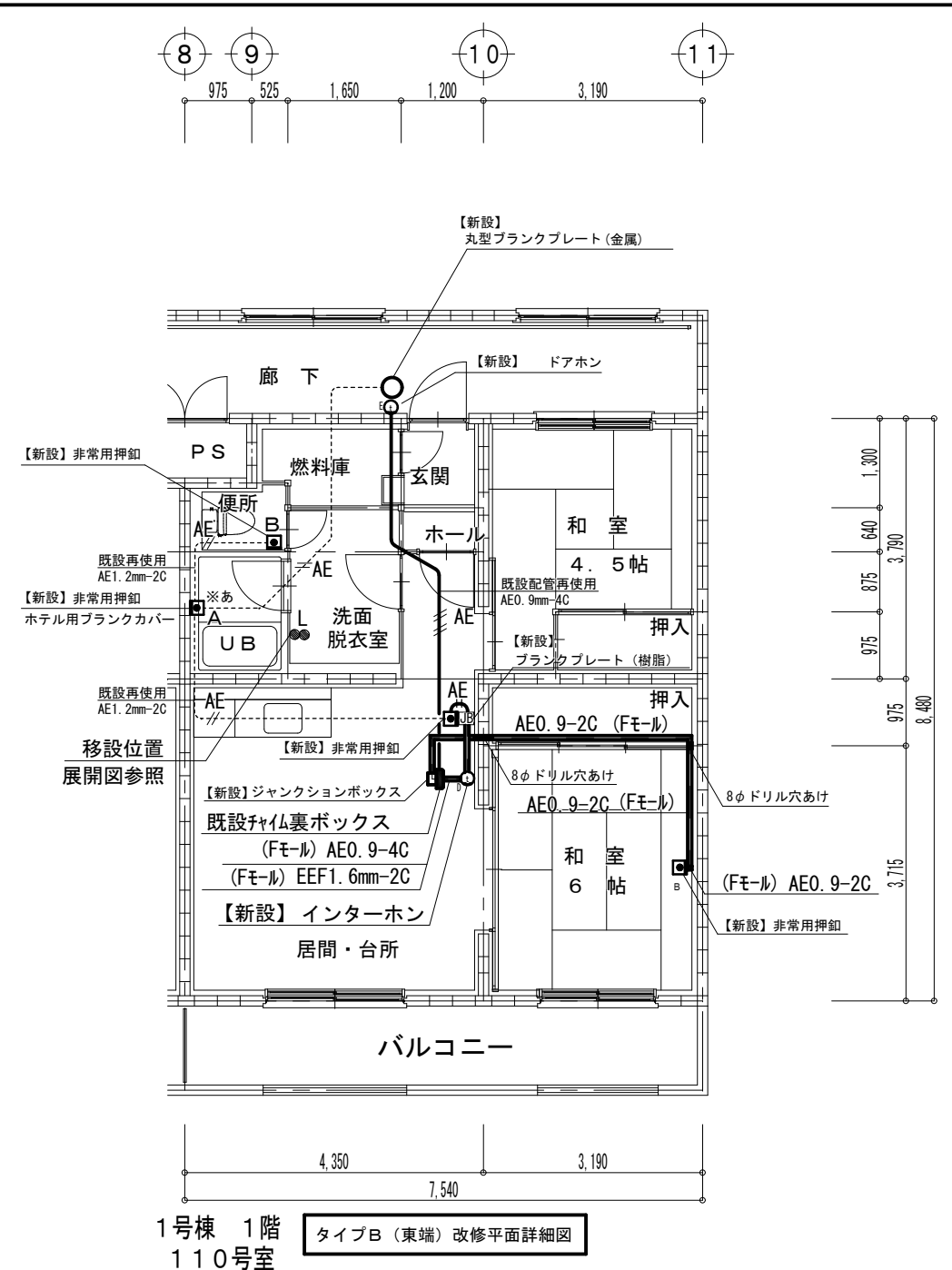
<p>テレビドアホン親機 + 玄関ドアホン子機 セット (警報ランプ付き)</p> <p>参考型式 VL-SE35UXL (セット) 同等品以上</p> <table border="1"> <tr> <td>定 格</td> <td>AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)</td> <td>電源電圧</td> <td>待ち受け時: DC 約5 V、 動作時: DC 約20 V (ドアホン親機より供給)</td> </tr> <tr> <td>消費電力</td> <td>待機時 約2.3 W、動作時 約8 W</td> <td>消費電流</td> <td>待ち受け時: DC 約2 mA、動作時: DC 約130 mA</td> </tr> <tr> <td>質 量</td> <td>壁掛け金具無し: 約370 g 壁掛け金具有り: 約405 g</td> <td>質 量</td> <td>約200g</td> </tr> <tr> <td>外観色調</td> <td>ホワイト</td> <td>外観色調</td> <td>表面パネル: シルバー、側面: ブラック</td> </tr> <tr> <td>画面表示</td> <td>約3.5 型カラー液晶ディスプレイ</td> <td>取付方法</td> <td>露出型: JIS1 個用スイッチボックス</td> </tr> </table>	定 格	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)	電源電圧	待ち受け時: DC 約5 V、 動作時: DC 約20 V (ドアホン親機より供給)	消費電力	待機時 約2.3 W、動作時 約8 W	消費電流	待ち受け時: DC 約2 mA、動作時: DC 約130 mA	質 量	壁掛け金具無し: 約370 g 壁掛け金具有り: 約405 g	質 量	約200g	外観色調	ホワイト	外観色調	表面パネル: シルバー、側面: ブラック	画面表示	約3.5 型カラー液晶ディスプレイ	取付方法	露出型: JIS1 個用スイッチボックス	<p>Ⓜ A 非常用押釘 防沫形</p> <table border="1"> <tr> <td>定 格</td> <td>ON保持・微少電流形 (30mA 12V)</td> <td>定 格</td> <td>ON保持・微少電流形 (30mA 12V)</td> </tr> <tr> <td>形 状</td> <td>防沫形プレート・リード線付</td> <td>形 状</td> <td>防沫形プレート・リード線付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>パイロットランプ付</td> <td></td> <td>パイロットランプ付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プルスイッチ付</td> <td></td> <td>プルスイッチ付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td> <td></td> <td>プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td> </tr> <tr> <td>参考型式</td> <td>WS66772 同等品以上</td> <td>参考型式</td> <td>WS66772 同等品以上</td> </tr> </table>	定 格	ON保持・微少電流形 (30mA 12V)	定 格	ON保持・微少電流形 (30mA 12V)	形 状	防沫形プレート・リード線付	形 状	防沫形プレート・リード線付		パイロットランプ付		パイロットランプ付		プルスイッチ付		プルスイッチ付		プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと		プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと	参考型式	WS66772 同等品以上	参考型式	WS66772 同等品以上	<p>Ⓜ B 非常用押釘</p> <table border="1"> <tr> <td>定 格</td> <td>ON保持・微少電流形 (30mA 12V)</td> <td>定 格</td> <td>ON保持・微少電流形 (30mA 12V)</td> </tr> <tr> <td>形 状</td> <td>防沫形プレート・リード線付</td> <td>形 状</td> <td>防沫形プレート・リード線付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>パイロットランプ付</td> <td></td> <td>パイロットランプ付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プルスイッチ付</td> <td></td> <td>プルスイッチ付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td> <td></td> <td>プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td> </tr> <tr> <td>参考型式</td> <td>WS66772 同等品以上</td> <td>参考型式</td> <td>WS66772 同等品以上</td> </tr> </table>	定 格	ON保持・微少電流形 (30mA 12V)	定 格	ON保持・微少電流形 (30mA 12V)	形 状	防沫形プレート・リード線付	形 状	防沫形プレート・リード線付		パイロットランプ付		パイロットランプ付		プルスイッチ付		プルスイッチ付		プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと		プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと	参考型式	WS66772 同等品以上	参考型式	WS66772 同等品以上
定 格	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)	電源電圧	待ち受け時: DC 約5 V、 動作時: DC 約20 V (ドアホン親機より供給)																																																																			
消費電力	待機時 約2.3 W、動作時 約8 W	消費電流	待ち受け時: DC 約2 mA、動作時: DC 約130 mA																																																																			
質 量	壁掛け金具無し: 約370 g 壁掛け金具有り: 約405 g	質 量	約200g																																																																			
外観色調	ホワイト	外観色調	表面パネル: シルバー、側面: ブラック																																																																			
画面表示	約3.5 型カラー液晶ディスプレイ	取付方法	露出型: JIS1 個用スイッチボックス																																																																			
定 格	ON保持・微少電流形 (30mA 12V)	定 格	ON保持・微少電流形 (30mA 12V)																																																																			
形 状	防沫形プレート・リード線付	形 状	防沫形プレート・リード線付																																																																			
	パイロットランプ付		パイロットランプ付																																																																			
	プルスイッチ付		プルスイッチ付																																																																			
	プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと		プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと																																																																			
参考型式	WS66772 同等品以上	参考型式	WS66772 同等品以上																																																																			
定 格	ON保持・微少電流形 (30mA 12V)	定 格	ON保持・微少電流形 (30mA 12V)																																																																			
形 状	防沫形プレート・リード線付	形 状	防沫形プレート・リード線付																																																																			
	パイロットランプ付		パイロットランプ付																																																																			
	プルスイッチ付		プルスイッチ付																																																																			
	プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと		プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと																																																																			
参考型式	WS66772 同等品以上	参考型式	WS66772 同等品以上																																																																			



- (特記事項)
- 図中の撤去品は、建築工事にて産業廃棄物処理とする。
 - 居間・和室の新設押釦は、合成樹脂線び1個用浅型スイッチボックスを使用して取付とする。取付高さはH=600とする。
居間の既設ボックスはブラックプレートを取付とする。
便所の押釦は、既設ボックスに取付とする。
浴室押釦は横にずらし高さを200あげ紐がバスタブに当たらないようにする。
浴室の※あ押釦はユニットバス天井検口によりインペイ配線とする。
壁フトコロを立ち上げてボックスに引き入れて、新設押釦に接続取付とする。
既設ボックスはホテル用ブラックカバー (防水) を取付とする。
 - 露出配線は、合成樹脂線び (Fモール1号) 保護とする。
 - 不要となる配線は、端末処理の上ボックス内に収めること。
 - 図中の特記なき配線は下記とする。
- AE AEO. 9-2C 既設配線利用
 AE AEO. 9-4C (既設配管) 新設配線
 AF AEO. 9-2C (Fモール1号)
6. 施工にあたっては管理者と充分な協議を行い、住人とトラブルの無いよう留意のこと。
各住棟・住戸への施工連絡は、受注者側にて行うものとする。



記号	名称	備考
⓪	テレビドアホン	ハンズフリー 非常用押釦付 電源直結式 新設
⓪	玄関ドアホン子機	露出型 警報表示付 新設
⓪	チャイム本体	露出型 (AC100V) 既設品撤去
⓪	チャイム 押し釦	露出型 既設品撤去
⓪ A	非常用押釦	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
⓪ B	"	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
⓪ C	"	防沫型 既設品撤去
⓪ H	"	既設品撤去
⓪ BP	ランプ付警報フリッカーブザー	1階のみ 既設品撤去
⓪	ジャンクションボックス	1連用腰高カバープレート付 新設



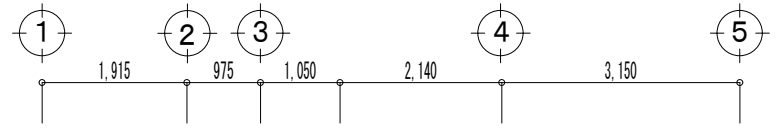
【撤去機器】 1階のみ

<p>⓪ c 非常用押釦 防沫形 WS66412</p> <p>ON保持型</p>	<p>⓪ BP ランプ付警報フリッカーブザー</p> <p>仕様 AC100V 6W 90 dB 防敵型 型式 EA5401K</p>
<p>⓪ H 非常用押釦 WN4500</p>	

【新設機器】

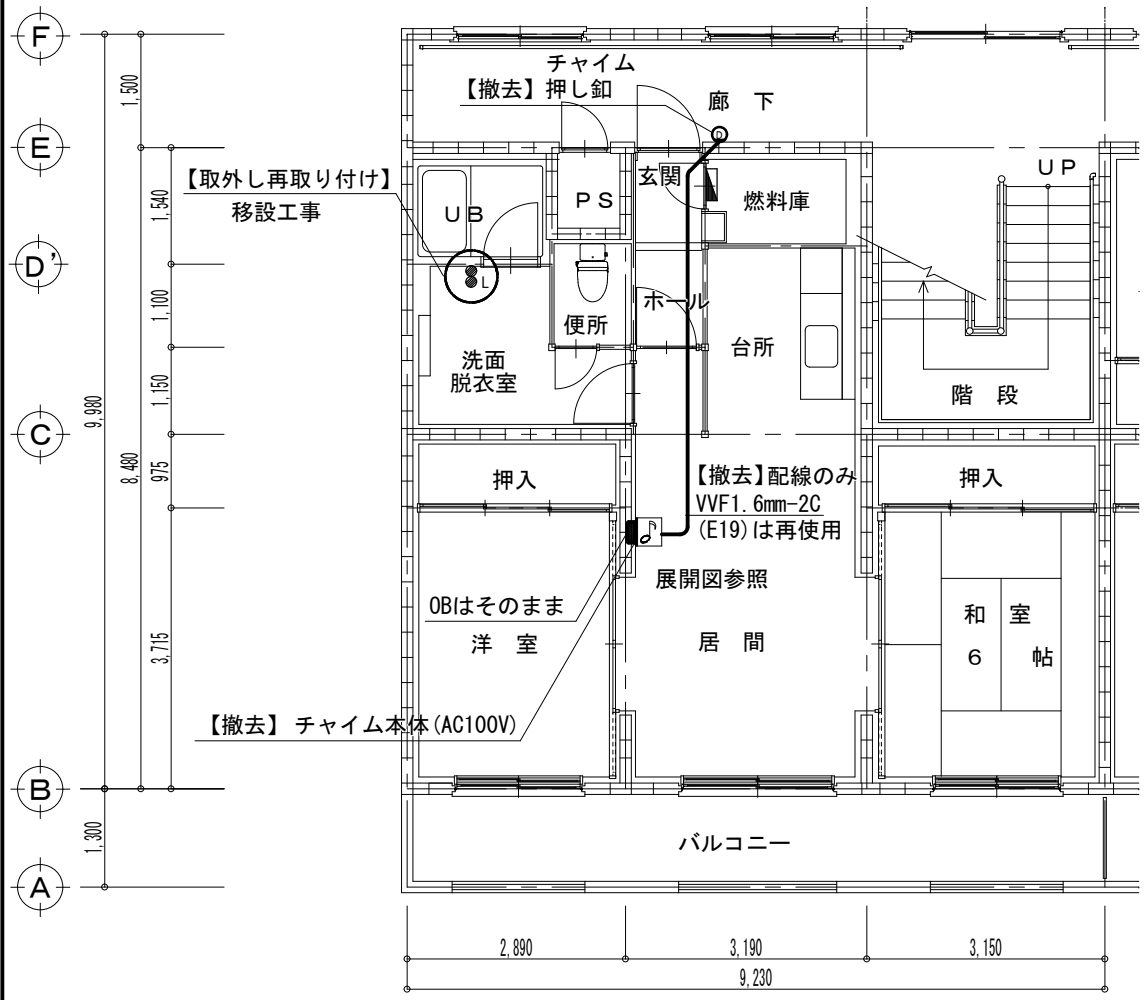
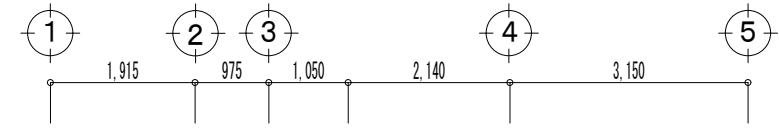
<p>テレビドアホン親機 + 玄関ドアホン子機 セット (警報ランプ付き)</p> <p>定 格 AC 100 V (50 Hz / 60 Hz) 消費電力 待機時 約2.3 W、動作時 約8 W 質 量 壁掛け金具無し: 約370 g 壁掛け金具有り: 約405 g 外観色調 ホワイト 画面表示 約3.5 型カラー液晶ディスプレイ 参考型式 VL-SE35UXL (セット) 同等品以上</p>	<p>電源電圧 待ち受け時: DC 約5 V、 動作時: DC 約20 V (ドアホン親機より供給) 消費電流 待ち受け時: DC 約2 mA、動作時: DC 約130 mA 質 量 約200g 外観色調 表面パネル: シルバー、側面: ブラック 取付方法 露出型: JIS1 個用スイッチボックス</p>	<p>⓪ A 非常用押釦 防沫形</p> <p>定 格 ON保持・微小電流形 (30 mA 1.2 V) 形 状 防沫形プレート・リード線付 パイロットランプ付 プルスイッチ付 プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと 参考型式 WS66772 同等品以上</p>	<p>⓪ B 非常用押釦</p> <p>定 格 ON保持・微小電流形 (30 mA 1.2 V) 形 状 防沫形プレート・リード線付 パイロットランプ付 プルスイッチ付 プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと 参考型式 WS66772 同等品以上</p>
---	---	---	---

CONSTRUCTION TITLE	DRAWING NAME	SCALE	DATE	interior desing project	代表となる設計者	1級建築士登録 (大臣) 210079 号	NUMBER
広野団地個別改善工事	R-1号棟1階 タイプB (東端) インターホン設備設置配線図	1:100	2025. 9. 17	1級建築士事務所 (十) 404 号 まちの建築家 あくていぶネット協同組合 帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655	管理建築士	1級建築士登録 (大臣) 158816 号 成田 斉 佐藤 有宏	E-103



122号室	121号室	120号室
112号室	111号室	110号室

1号棟 立面配置図 (南面視図)



1号棟 2階 122号室 タイプA (西端) 既設平面詳細図

- (特記事項)
- 図中の撤去品は、建築工事にて産業廃棄物処理とする。
 - 居間・和室・便所の新設押釦は、合成樹脂線び1個用浅型スイッチボックスを使用して取付とする。取付高さはH=600とする。
 - 浴室の※あの押釦はユニットバス天井検口によりインベイ配線とする。壁フツコロを立ち下げてボックスに引き入れて、新設押釦に接続取付とする。
 - 露出配線は、合成樹脂線び(Fモール1号)保護とする。
 - 不要となる配線は、端末処理の上ボックス内に収めること。
 - 図中の特記なき配線は下記とする。
- | | | |
|----|----------|-------------|
| AE | AE0.9-2C | 既設配線利用 |
| AE | AE0.9-4C | (既設配管) 新設配線 |
| AE | AE0.9-2C | (Fモール1号) |

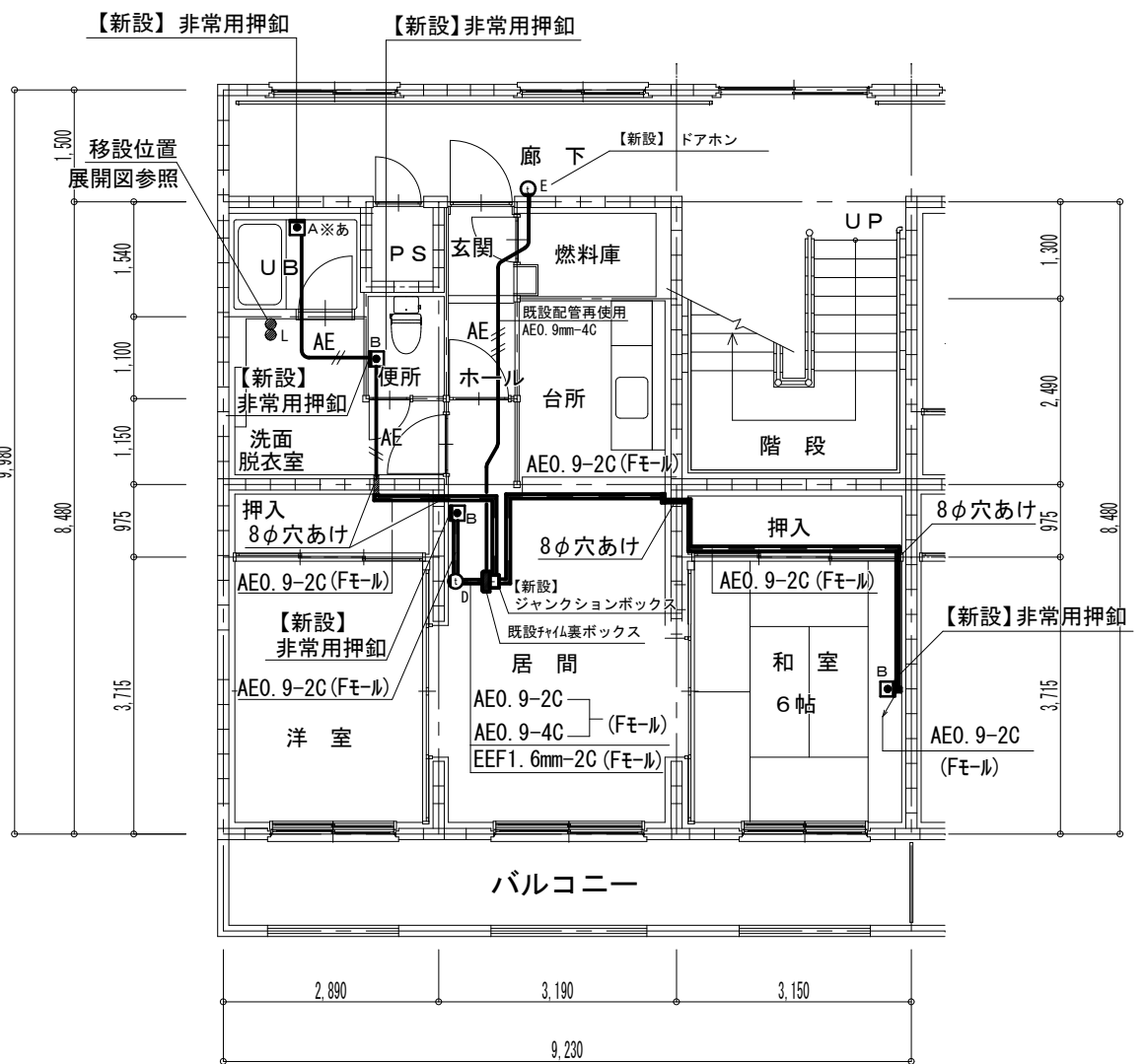
記号	名称	備考
ⓐ	テレビドアホン	ハンズフリー 非常押釦付 電源直結式 新設
ⓑ	玄関ドアホン子機	露出型 警報表示付 新設
Ⓒ	チャイム本体	露出型 (AC100V) 既設品撤去
Ⓓ	チャイム 押し釦	露出型 既設品撤去
ⒺA	非常用押釦	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
ⒺB	"	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
ⒺC	"	防沫型 既設品撤去
ⒺH	"	防沫型 既設品撤去
ⓑP	ランプ付警報フリッカーバザー	1階のみ 既設品撤去
□	ジャンクションボックス	1連用腰高カバープレート付 新設

【新設機器】

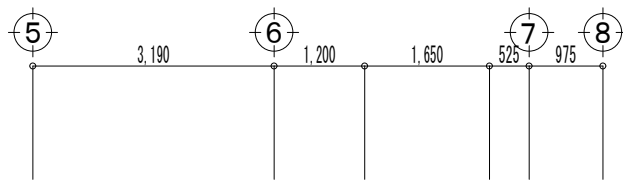
<p>テレビドアホン親機 + 玄関ドアホン子機 セット (警報ランプ付き)</p> <table border="1"> <tr> <td>定 格</td> <td>AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)</td> <td>電源電圧</td> <td>待ち受け時: DC 約5 V, 動作時: DC 約20 V (ドアホン親機より供給)</td> </tr> <tr> <td>消費電力</td> <td>待機時 約2.3 W, 動作時 約8 W</td> <td>消費電流</td> <td>待ち受け時: DC 約2 mA, 動作時: DC 約130 mA</td> </tr> <tr> <td>質 量</td> <td>壁掛け金具無し: 約370 g, 壁掛け金具有り: 約405 g</td> <td>質 量</td> <td>約200g</td> </tr> <tr> <td>外観色調</td> <td>ホワイト</td> <td>外観色調</td> <td>表面パネル: シルバー、側面: ブラック</td> </tr> <tr> <td>画面表示</td> <td>約3.5 型カラー液晶ディスプレイ</td> <td>取付方法</td> <td>露出型: JIS1 個用スイッチボックス</td> </tr> </table> <p>参考型式 VL-SE35UXL (セット) 同等品以上</p>	定 格	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)	電源電圧	待ち受け時: DC 約5 V, 動作時: DC 約20 V (ドアホン親機より供給)	消費電力	待機時 約2.3 W, 動作時 約8 W	消費電流	待ち受け時: DC 約2 mA, 動作時: DC 約130 mA	質 量	壁掛け金具無し: 約370 g, 壁掛け金具有り: 約405 g	質 量	約200g	外観色調	ホワイト	外観色調	表面パネル: シルバー、側面: ブラック	画面表示	約3.5 型カラー液晶ディスプレイ	取付方法	露出型: JIS1 個用スイッチボックス	<p>非常用押釦 防沫形</p> <table border="1"> <tr> <td>定 格</td> <td>ON保持・微小電流形 (30mA 12V)</td> </tr> <tr> <td>形 状</td> <td>防沫形プレート・リード線付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>パイロットランプ付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プルスイッチ付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td> </tr> <tr> <td>参考型式</td> <td>WS66772 同等品以上</td> </tr> </table>	定 格	ON保持・微小電流形 (30mA 12V)	形 状	防沫形プレート・リード線付		パイロットランプ付		プルスイッチ付		プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと	参考型式	WS66772 同等品以上	<p>非常用押釦</p> <table border="1"> <tr> <td>定 格</td> <td>ON保持・微小電流形 (30mA 12V)</td> </tr> <tr> <td>形 状</td> <td>防沫形プレート・リード線付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>パイロットランプ付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プルスイッチ付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td> </tr> <tr> <td>参考型式</td> <td>WS66772 同等品以上</td> </tr> </table>	定 格	ON保持・微小電流形 (30mA 12V)	形 状	防沫形プレート・リード線付		パイロットランプ付		プルスイッチ付		プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと	参考型式	WS66772 同等品以上
定 格	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)	電源電圧	待ち受け時: DC 約5 V, 動作時: DC 約20 V (ドアホン親機より供給)																																											
消費電力	待機時 約2.3 W, 動作時 約8 W	消費電流	待ち受け時: DC 約2 mA, 動作時: DC 約130 mA																																											
質 量	壁掛け金具無し: 約370 g, 壁掛け金具有り: 約405 g	質 量	約200g																																											
外観色調	ホワイト	外観色調	表面パネル: シルバー、側面: ブラック																																											
画面表示	約3.5 型カラー液晶ディスプレイ	取付方法	露出型: JIS1 個用スイッチボックス																																											
定 格	ON保持・微小電流形 (30mA 12V)																																													
形 状	防沫形プレート・リード線付																																													
	パイロットランプ付																																													
	プルスイッチ付																																													
	プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと																																													
参考型式	WS66772 同等品以上																																													
定 格	ON保持・微小電流形 (30mA 12V)																																													
形 状	防沫形プレート・リード線付																																													
	パイロットランプ付																																													
	プルスイッチ付																																													
	プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと																																													
参考型式	WS66772 同等品以上																																													

【撤去チャイム機器】

<p>ⓐ チャイム押し釦</p> <p>樹脂製</p>	<p>Ⓒ チャイム本体</p> <p>AC100V</p>
-----------------------------	-------------------------------

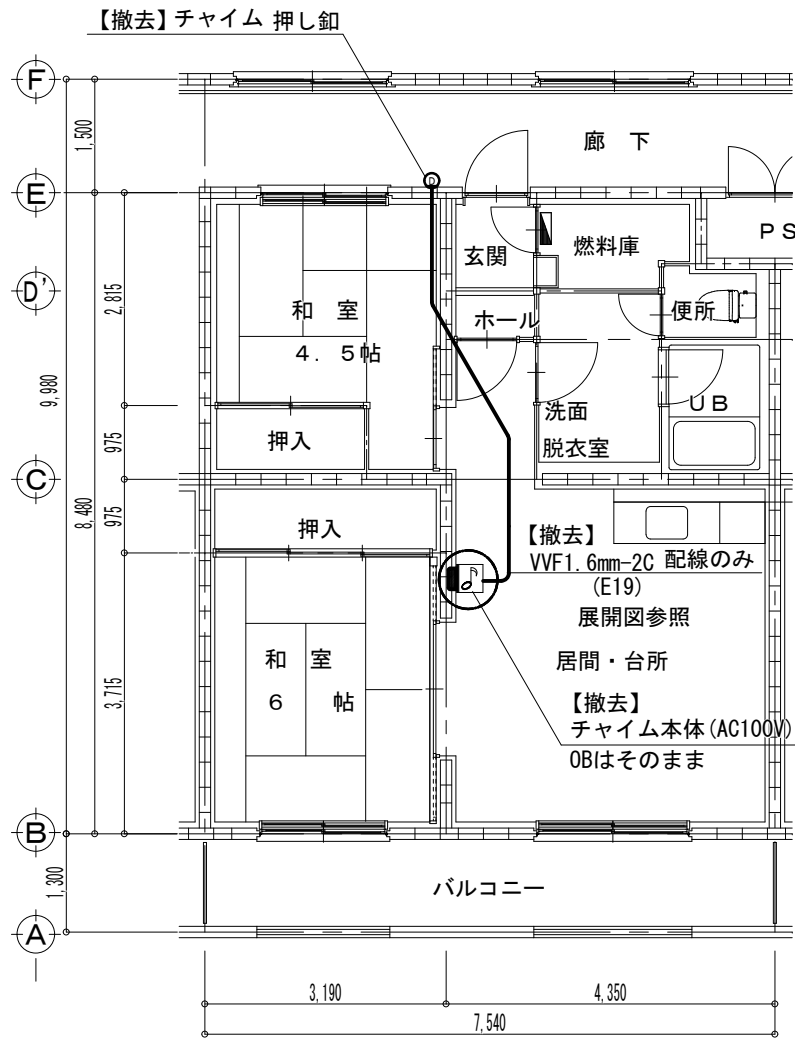
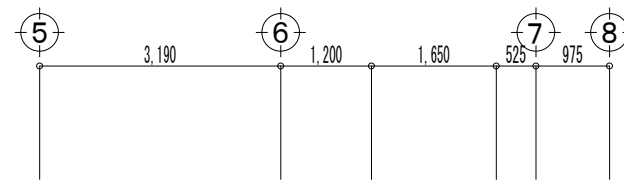


1号棟 2階 122号室 タイプA (西端) 改修平面詳細図



122号室	121号室	120号室
112号室	111号室	110号室

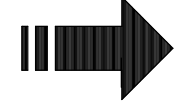
1号棟 立面配置図 (南面視図)



1号棟 2階 121号室 タイプB (中央) 既設平面詳細図

- (特記事項)
- 図中の撤去品は、建築工事にて産業廃棄物処理とする。
 - 居間・和室・便所の新設押釦は、合成樹脂製び1個用浅型スイッチボックスを使用して取付とする。取付高さはH=600とする。
浴室押釦は手すりに当たらないよう位置とする。
浴室の※あの押釦はユニットバス天井点検口によりインペイ配線とする。
壁フタコロを立ち下げてボックスに引き入れて、新設押釦に接続取付とする。
 - 露出配線は、合成樹脂製び (Fモール1号) 保護とする。
 - 不要となる配線は、端末処理の上ボックス内に収めること。
 - 図中の特記なき配線は下記とする。

AE	AE0.9-2C	既設配線利用
AE	AE0.9-4C	既設配管 新設配線
AE	AE0.9-2C	(Fモール1号)
 - 施工にあたっては管理者と充分な協議を行い、住人とトラブルの無いよう留意のこと。
各住棟・住戸への施工連絡は、受注者側に行うものとする。



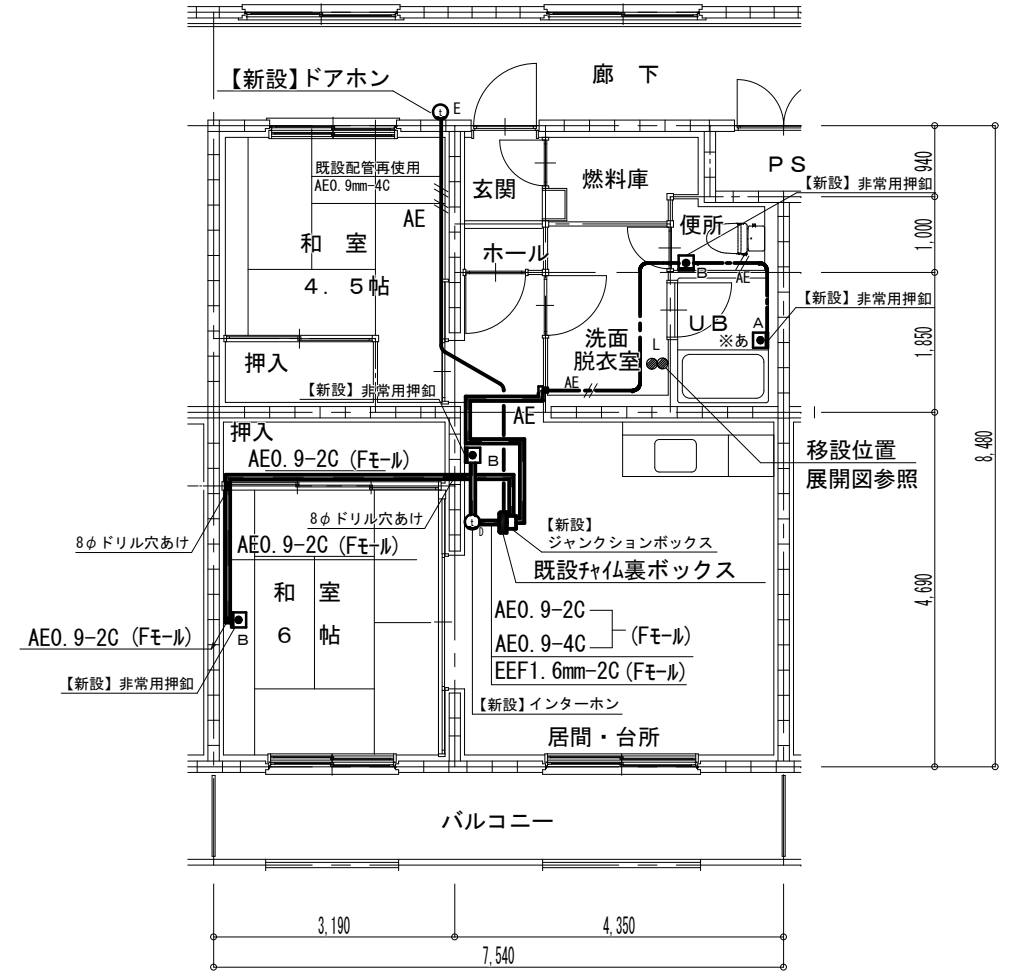
記号	名称	備考
⓪	テレビドアホン	ハンズフリー 非常押釦付 電源直結式 新設
⓪ _E	玄関ドアホン子機	露出型 警報表示付 新設
⓪	チャイム本体	露出型 (AC100V) 既設品撤去
⓪	チャイム押し釦	露出型 既設品撤去
⓪ _A	非常用押釦	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
⓪ _B	"	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
⓪ _C	"	防沫型 既設品撤去
⓪ _H	"	防沫型 既設品撤去
⓪ _{BP}	ランプ付警報フリッカーブザー	1階のみ 既設品撤去
⓪	ジャンクションボックス	1連用腰高カバープレート付 新設

【新設機器】

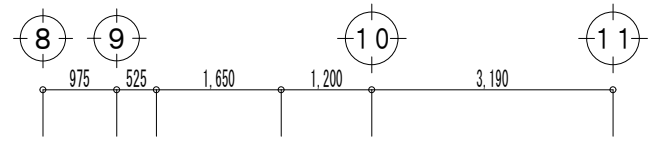
<p>テレビドアホン親機 + 玄関ドアホン子機 セット (警報ランプ付き)</p> <table border="1"> <tr> <td>定 格</td> <td>AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)</td> <td>電源電圧</td> <td>待ち受け時: DC 約5 V、 動作時: DC 約20 V (ドアホン親機より供給)</td> </tr> <tr> <td>消費電力</td> <td>待機時 約2.3 W、動作時 約8 W</td> <td>消費電流</td> <td>待ち受け時: DC 約2 mA、動作時: DC約130 mA</td> </tr> <tr> <td>質 量</td> <td>壁掛け金具無し: 約370 g 壁掛け金具有り: 約405 g</td> <td>質 量</td> <td>約200g</td> </tr> <tr> <td>外観色調</td> <td>ホワイト</td> <td>外観色調</td> <td>表面パネル: シルバー、側面: ブラック</td> </tr> <tr> <td>画面表示</td> <td>約3.5 型カラー液晶ディスプレイ</td> <td>取付方法</td> <td>露出型: JIS1 個用スイッチボックス</td> </tr> </table> <p>参考型式 VL-SE35UXL (セット) 同等品以上</p>	定 格	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)	電源電圧	待ち受け時: DC 約5 V、 動作時: DC 約20 V (ドアホン親機より供給)	消費電力	待機時 約2.3 W、動作時 約8 W	消費電流	待ち受け時: DC 約2 mA、動作時: DC約130 mA	質 量	壁掛け金具無し: 約370 g 壁掛け金具有り: 約405 g	質 量	約200g	外観色調	ホワイト	外観色調	表面パネル: シルバー、側面: ブラック	画面表示	約3.5 型カラー液晶ディスプレイ	取付方法	露出型: JIS1 個用スイッチボックス	<p>非常用押釦 防沫形</p> <table border="1"> <tr> <td>定 格</td> <td>ON保持・微少電流形 (30mA 1.2V)</td> </tr> <tr> <td>形 状</td> <td>防沫形プレート・リード線付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>パイロットランプ付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プルスイッチ付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td> </tr> <tr> <td>参考型式</td> <td>WS66772 同等品以上</td> </tr> </table>	定 格	ON保持・微少電流形 (30mA 1.2V)	形 状	防沫形プレート・リード線付		パイロットランプ付		プルスイッチ付		プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと	参考型式	WS66772 同等品以上	<p>非常用押釦</p> <table border="1"> <tr> <td>定 格</td> <td>ON保持・微少電流形 (30mA 1.2V)</td> </tr> <tr> <td>形 状</td> <td>防沫形プレート・リード線付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>パイロットランプ付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プルスイッチ付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td> </tr> <tr> <td>参考型式</td> <td>WS66772 同等品以上</td> </tr> </table>	定 格	ON保持・微少電流形 (30mA 1.2V)	形 状	防沫形プレート・リード線付		パイロットランプ付		プルスイッチ付		プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと	参考型式	WS66772 同等品以上
定 格	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)	電源電圧	待ち受け時: DC 約5 V、 動作時: DC 約20 V (ドアホン親機より供給)																																											
消費電力	待機時 約2.3 W、動作時 約8 W	消費電流	待ち受け時: DC 約2 mA、動作時: DC約130 mA																																											
質 量	壁掛け金具無し: 約370 g 壁掛け金具有り: 約405 g	質 量	約200g																																											
外観色調	ホワイト	外観色調	表面パネル: シルバー、側面: ブラック																																											
画面表示	約3.5 型カラー液晶ディスプレイ	取付方法	露出型: JIS1 個用スイッチボックス																																											
定 格	ON保持・微少電流形 (30mA 1.2V)																																													
形 状	防沫形プレート・リード線付																																													
	パイロットランプ付																																													
	プルスイッチ付																																													
	プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと																																													
参考型式	WS66772 同等品以上																																													
定 格	ON保持・微少電流形 (30mA 1.2V)																																													
形 状	防沫形プレート・リード線付																																													
	パイロットランプ付																																													
	プルスイッチ付																																													
	プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと																																													
参考型式	WS66772 同等品以上																																													

【撤去チャイム機器】

<p>チャイム押し釦</p> <p>樹脂製</p>	<p>チャイム本体</p> <p>AC100V</p>
---------------------------	-----------------------------

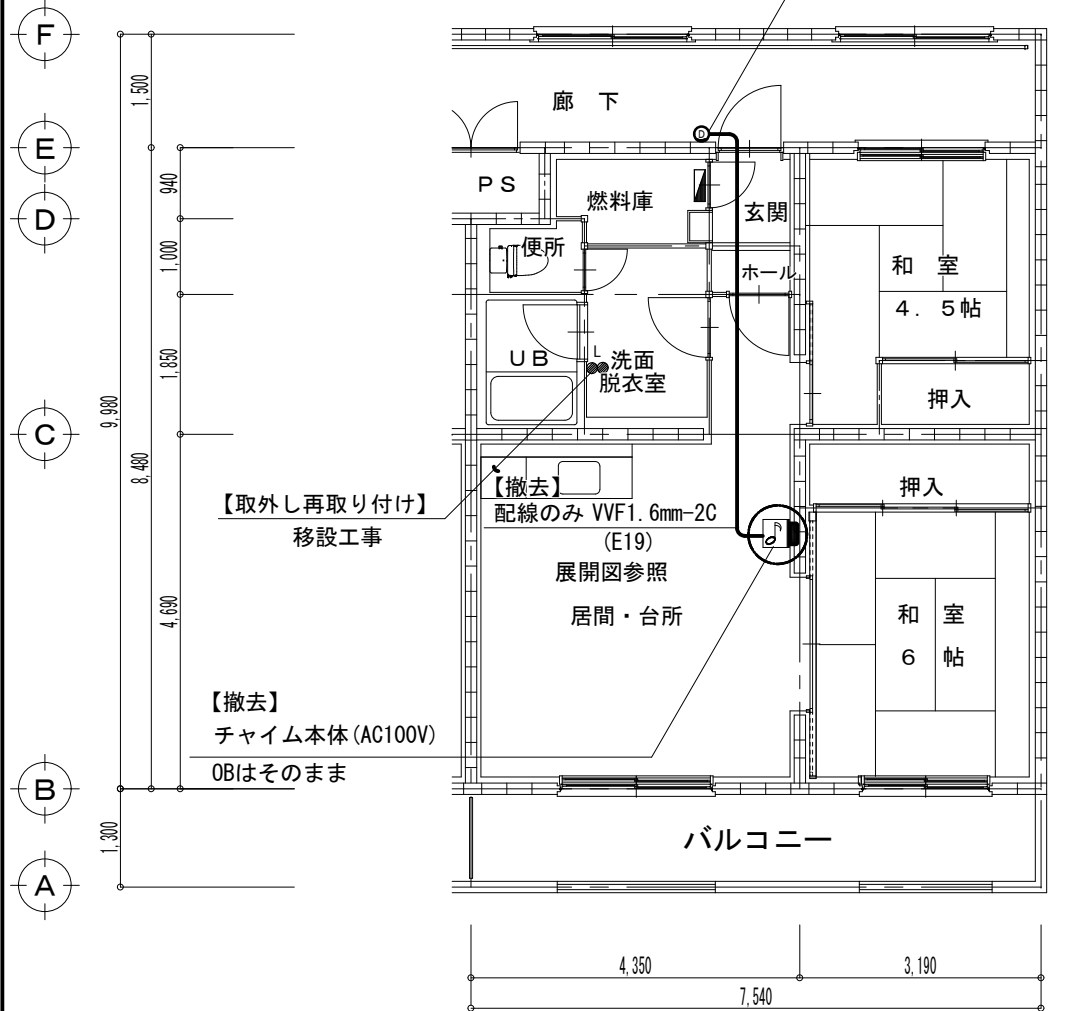
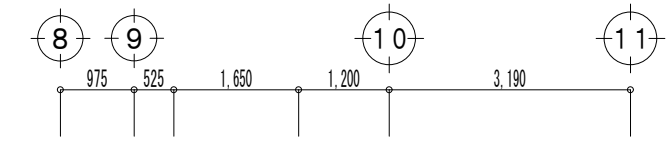


1号棟 2階 121号室 タイプB (中央) 改修平面詳細図



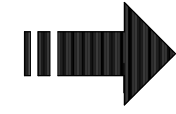
122号室	121号室	120号室
112号室	111号室	110号室

1号棟 立面配置図 (南面視図)

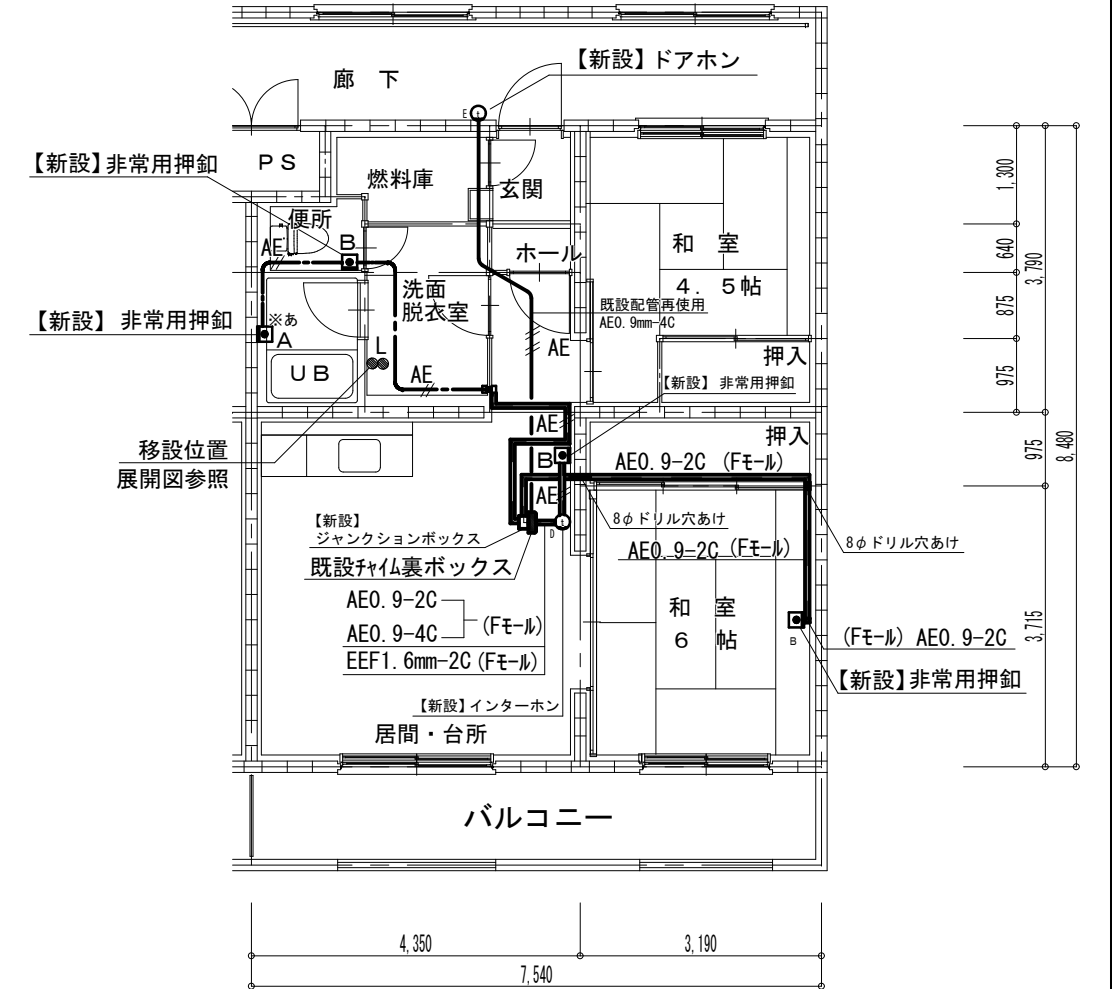


1号棟 1階 110号室 タイプB (東端) 既設平面詳細図

- (特記事項)
- 図中の撤去品は、建築工事にて産業廃棄物処理とする。
 - 居間・和室・便所の新設押釦は、合成樹脂線び1個用浅型スイッチボックスを使用して取付とする。取付高さはH=600とする。
浴室押釦は手すりに当たらないよう位置とする。
浴室の※あの押釦はユニットバス天井検口によりラインペイ配線とする。
壁フタコロを立ち下げてボックスに引き入れて、新設押釦に接続取付とする。
 - 露出配線は、合成樹脂線び(Fモールド1号)保護とする。
 - 不要となる配線は、端末処理の上ボックス内に収めること。
 - 図中の特記なき配線は下記とする。
- | | | |
|----|----------|-------------|
| AE | AE0.9-2C | 既設配線利用 |
| AE | AE0.9-4C | (既設配管) 新設配線 |
| AE | AE0.9-2C | (Fモールド1号) |
- 施工にあたっては管理者と充分な協議を行い、住人とトラブルの無いよう留意のこと。
各住棟・住戸への施工連絡は、受注者側にて行うものとする。

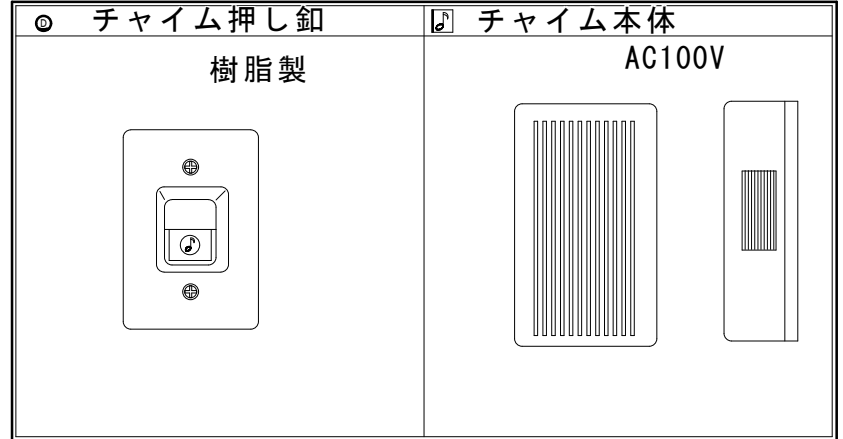


記号	名称	備考
⓪	テレビドアホン	ハンズフリー 非常押釦付 電源直結式 新設
⓪	玄関ドアホン子機	露出型 警報表示付 新設
⓪	チャイム本体	露出型 (AC100V) 既設品撤去
⓪	チャイム 押し釦	露出型 既設品撤去
⓪	非常用押釦	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
⓪	"	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
⓪	"	防沫型 既設品撤去
⓪	"	防沫型 既設品撤去
⓪	ランプ付警報フリッカープザー	1階のみ 既設品撤去
⓪	ジャンクションボックス	1連用腰高カバープレート付 新設



1号棟 2階 120号室 タイプB (東端) 改修平面詳細図

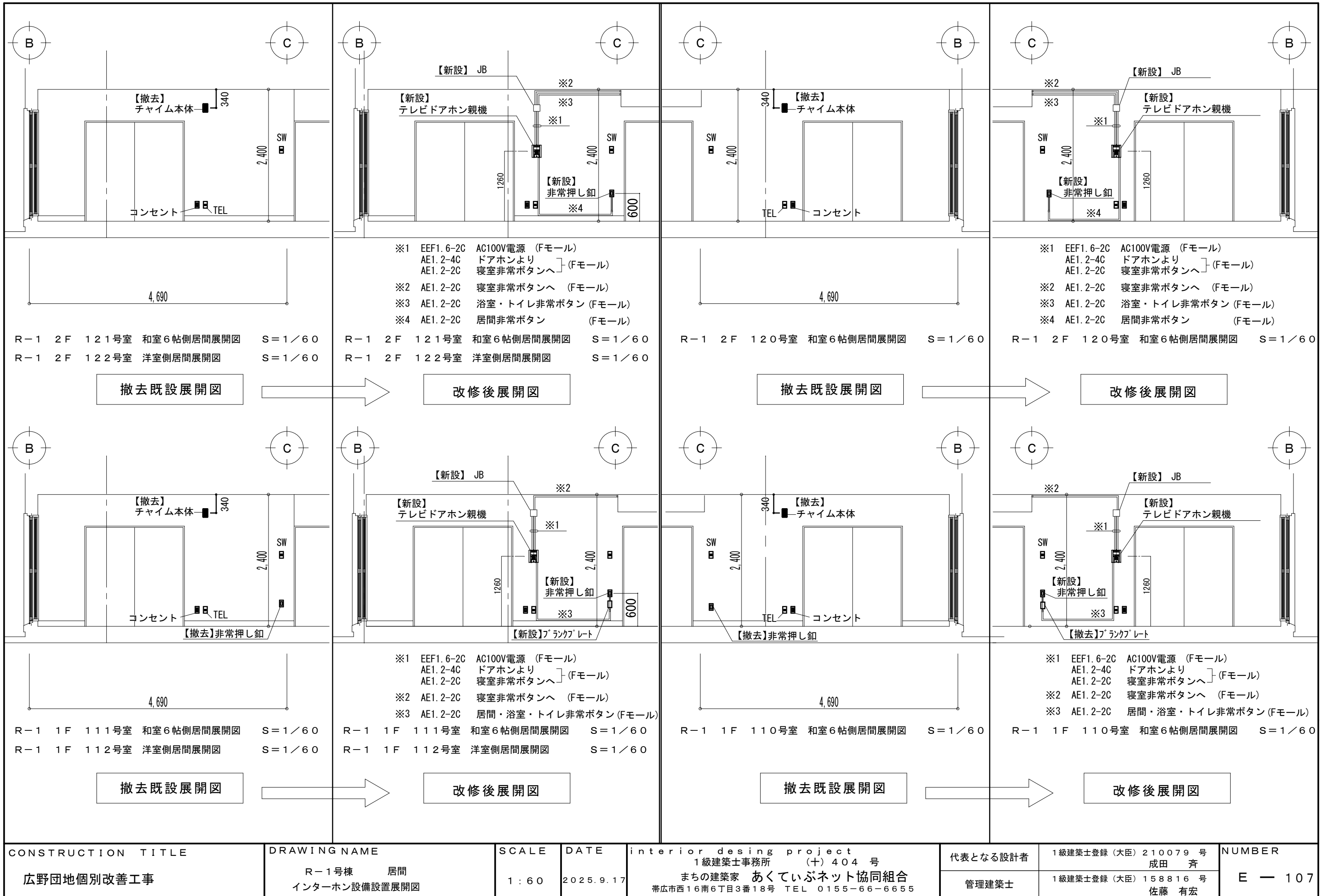
【撤去チャイム機器】



【新設機器】

<p>テレビドアホン親機 + 玄関ドアホン子機 セット (警報ランプ付き)</p> <table border="1"> <tr> <td>定 格</td> <td>AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)</td> <td>電源電圧</td> <td>待ち受け時: DC 約5 V, 動作時: DC 約20 V (ドアホン親機より供給)</td> </tr> <tr> <td>消費電力</td> <td>待機時 約2.3 W、動作時 約8 W</td> <td>消費電流</td> <td>待ち受け時: DC 約2 mA、動作時: DC 約130 mA</td> </tr> <tr> <td>質 量</td> <td>壁掛け金具無し: 約370 g 壁掛け金具有り: 約405 g</td> <td>質 量</td> <td>約200g</td> </tr> <tr> <td>外観色調</td> <td>ホワイト</td> <td>外観色調</td> <td>表面パネル: シルバー、側面: ブラック</td> </tr> <tr> <td>画面表示</td> <td>約3.5 型カラー液晶ディスプレイ</td> <td>取付方法</td> <td>露出型: JIS1 個用スイッチボックス</td> </tr> </table> <p>参考型式 VL-SE35UXL (セット) 同等品以上</p>	定 格	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)	電源電圧	待ち受け時: DC 約5 V, 動作時: DC 約20 V (ドアホン親機より供給)	消費電力	待機時 約2.3 W、動作時 約8 W	消費電流	待ち受け時: DC 約2 mA、動作時: DC 約130 mA	質 量	壁掛け金具無し: 約370 g 壁掛け金具有り: 約405 g	質 量	約200g	外観色調	ホワイト	外観色調	表面パネル: シルバー、側面: ブラック	画面表示	約3.5 型カラー液晶ディスプレイ	取付方法	露出型: JIS1 個用スイッチボックス	<p>⓪ A 非常用押釦 防沫形</p> <table border="1"> <tr> <td>定 格</td> <td>ON保持・微小電流形 (30mA 1.2V)</td> </tr> <tr> <td>形 状</td> <td>防沫形プレート・リード線付 パイロットランプ付 プルスイッチ付</td> </tr> <tr> <td>プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td> <td></td> </tr> <tr> <td>参考型式</td> <td>WS66772 同等品以上</td> </tr> </table>	定 格	ON保持・微小電流形 (30mA 1.2V)	形 状	防沫形プレート・リード線付 パイロットランプ付 プルスイッチ付	プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと		参考型式	WS66772 同等品以上	<p>⓪ B 非常用押釦</p> <table border="1"> <tr> <td>定 格</td> <td>ON保持・微小電流形 (30mA 1.2V)</td> </tr> <tr> <td>形 状</td> <td>防沫形プレート・リード線付 パイロットランプ付 プルスイッチ付</td> </tr> <tr> <td>プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td> <td></td> </tr> <tr> <td>参考型式</td> <td>WS66772 同等品以上</td> </tr> </table>	定 格	ON保持・微小電流形 (30mA 1.2V)	形 状	防沫形プレート・リード線付 パイロットランプ付 プルスイッチ付	プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと		参考型式	WS66772 同等品以上
定 格	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)	電源電圧	待ち受け時: DC 約5 V, 動作時: DC 約20 V (ドアホン親機より供給)																																			
消費電力	待機時 約2.3 W、動作時 約8 W	消費電流	待ち受け時: DC 約2 mA、動作時: DC 約130 mA																																			
質 量	壁掛け金具無し: 約370 g 壁掛け金具有り: 約405 g	質 量	約200g																																			
外観色調	ホワイト	外観色調	表面パネル: シルバー、側面: ブラック																																			
画面表示	約3.5 型カラー液晶ディスプレイ	取付方法	露出型: JIS1 個用スイッチボックス																																			
定 格	ON保持・微小電流形 (30mA 1.2V)																																					
形 状	防沫形プレート・リード線付 パイロットランプ付 プルスイッチ付																																					
プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと																																						
参考型式	WS66772 同等品以上																																					
定 格	ON保持・微小電流形 (30mA 1.2V)																																					
形 状	防沫形プレート・リード線付 パイロットランプ付 プルスイッチ付																																					
プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと																																						
参考型式	WS66772 同等品以上																																					

CONSTRUCTION TITLE	DRAWING NAME	SCALE	DATE	interior desing project	代表となる設計者	1級建築士登録 (大臣) 210079 号	NUMBER
広野団地個別改善工事	R-1号棟 2階 タイプB (東端) インターホン設備設置配線図	1:100	2025. 9. 17	1級建築士事務所 (十) 404 号 まちの建築家 あくていぶネット協同組合 帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655	管理建築士	1級建築士登録 (大臣) 158816 号 成田 斉 佐藤 有宏	E-106



CONSTRUCTION TITLE
 広野団地個別改善工事

DRAWING NAME
 R-1号棟 居間
 インターホン設備設置展開図

SCALE
 1:60

DATE
 2025.9.17

interior desing project
 1級建築士事務所 (十)404号
 まちの建築家 あくていぶネット協同組合
 帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655

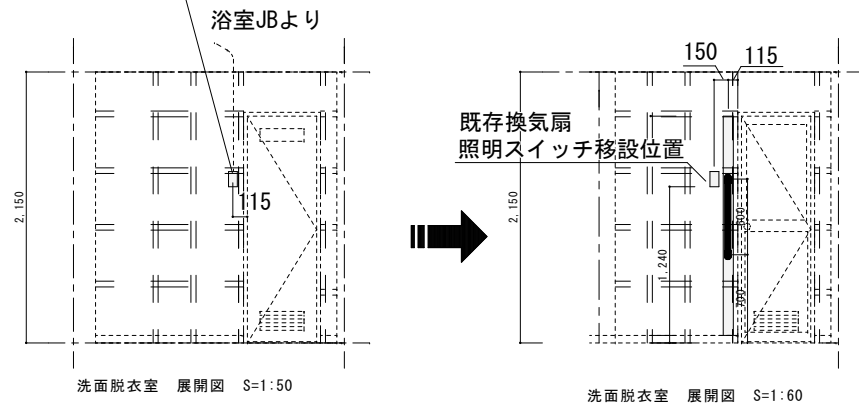
代表となる設計者
 管理建築士

1級建築士登録(大臣)210079号
 成田 斉

1級建築士登録(大臣)158816号
 佐藤 有宏

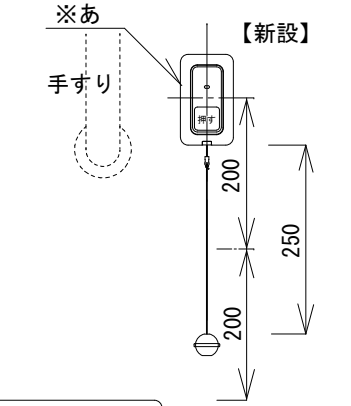
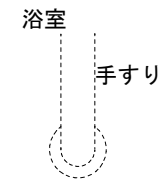
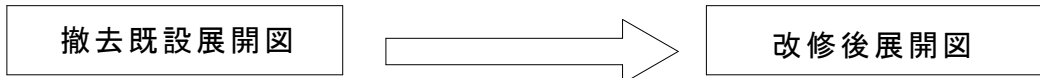
NUMBER
 E-107

浴室照明・換気SW取外し
1P15A×1+LED換気SW

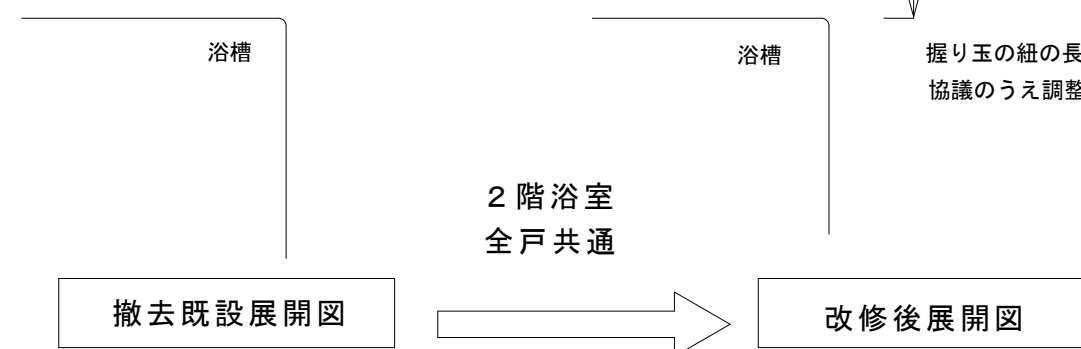


浴室スイッチ移設 S=1:60

R-1号棟全戸共通



握り玉の紐の長さは監督員と協議のうえ調整する事。



※あ E104・E105・E106図の新設機器 姿図参照
取付はE104・E105・E106図の特記事項を参照し、はさみ金具で取り付ける。

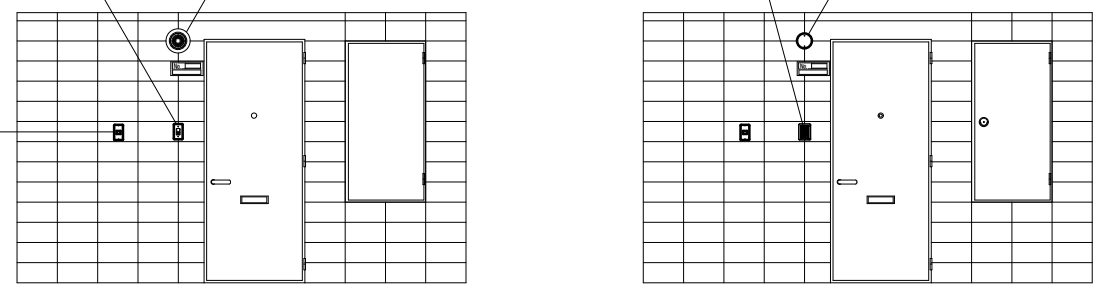
【撤去】
チャイム押し釦

【撤去】1階のみ
ランプ付警報フリッカーブザー

【新設】
ドアホン

【新設】1階のみ
金属製
フラッシュプレート

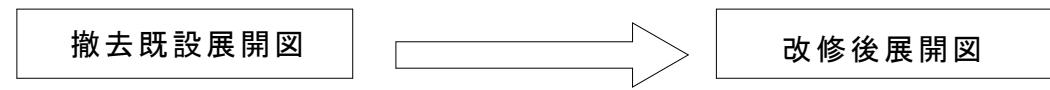
既存再使用
廊下灯スイッチ



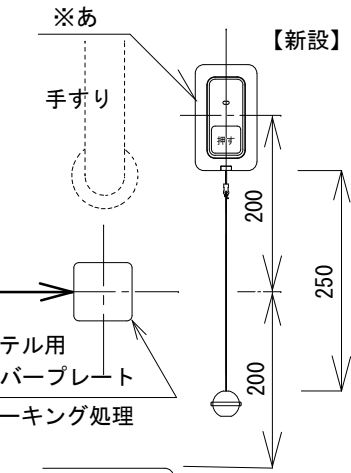
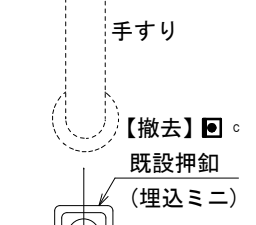
玄関(廊下側)

玄関(廊下側)

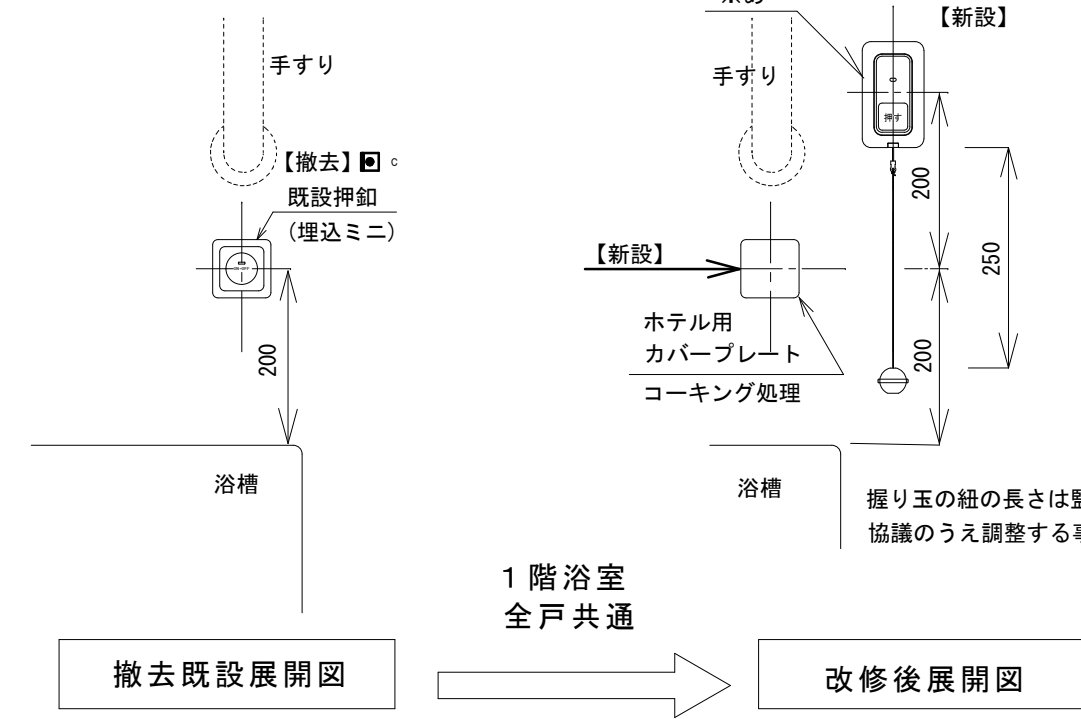
全棟共通



1号棟ランプ付警報フリッカーブザーの撤去は1階のみ(110号室・111号室・112号室)

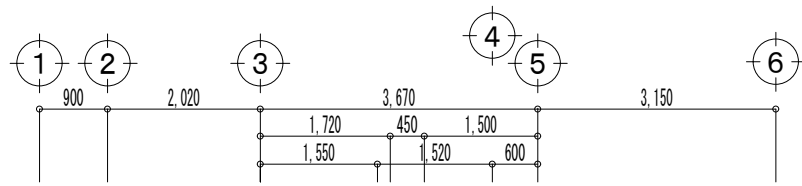


握り玉の紐の長さは監督員と協議のうえ調整する事。



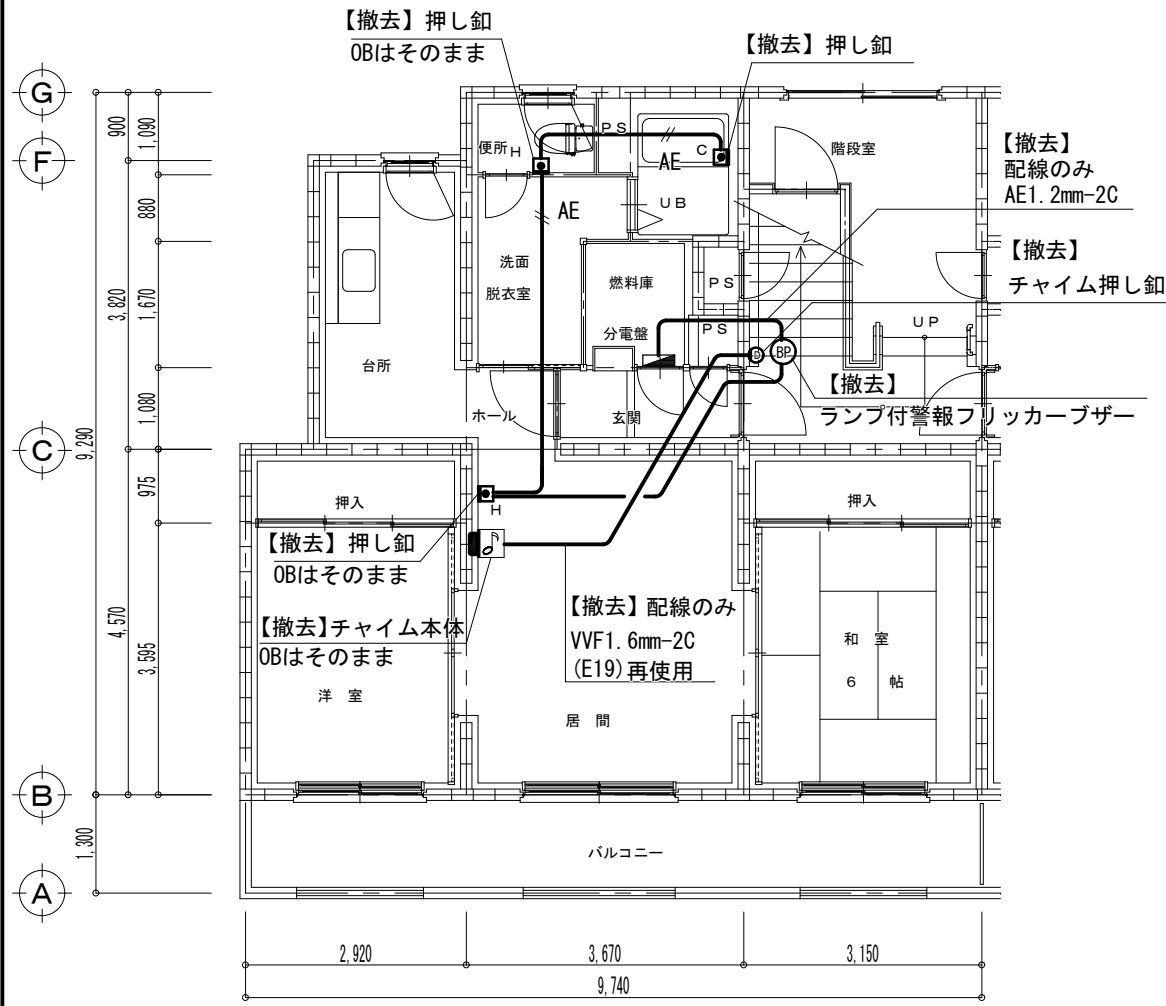
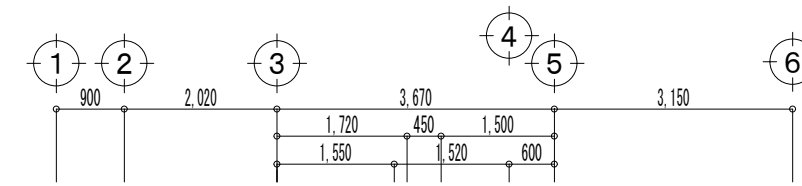
☐。 E101・E102・E103図の撤去機器 姿図参照
※あ E101・E102・E103図の新設機器 姿図参照
取付はE101・E102・E103図の特記事項を参照し、はさみ金具で取り付ける。

CONSTRUCTION TITLE	DRAWINGNAME	SCALE	DATE	interior desing project 1級建築士事務所 (十) 404号 まちの建築家 あくていぶネット協同組合 帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655	代表となる設計者	1級建築士登録(大臣) 210079号 成田 斉	NUMBER
広野団地個別改善工事	R-1号棟 浴室・脱衣室・玄関 インターホン設備設置展開図	1:60	2025.9.17		管理建築士	1級建築士登録(大臣) 158816号 佐藤 有宏	E-108



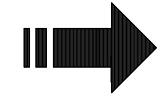
221号室 Aタイプ	220号室 Bタイプ
211号室 Aタイプ	210号室 Bタイプ

2号棟 立面配置図 (南面視図)

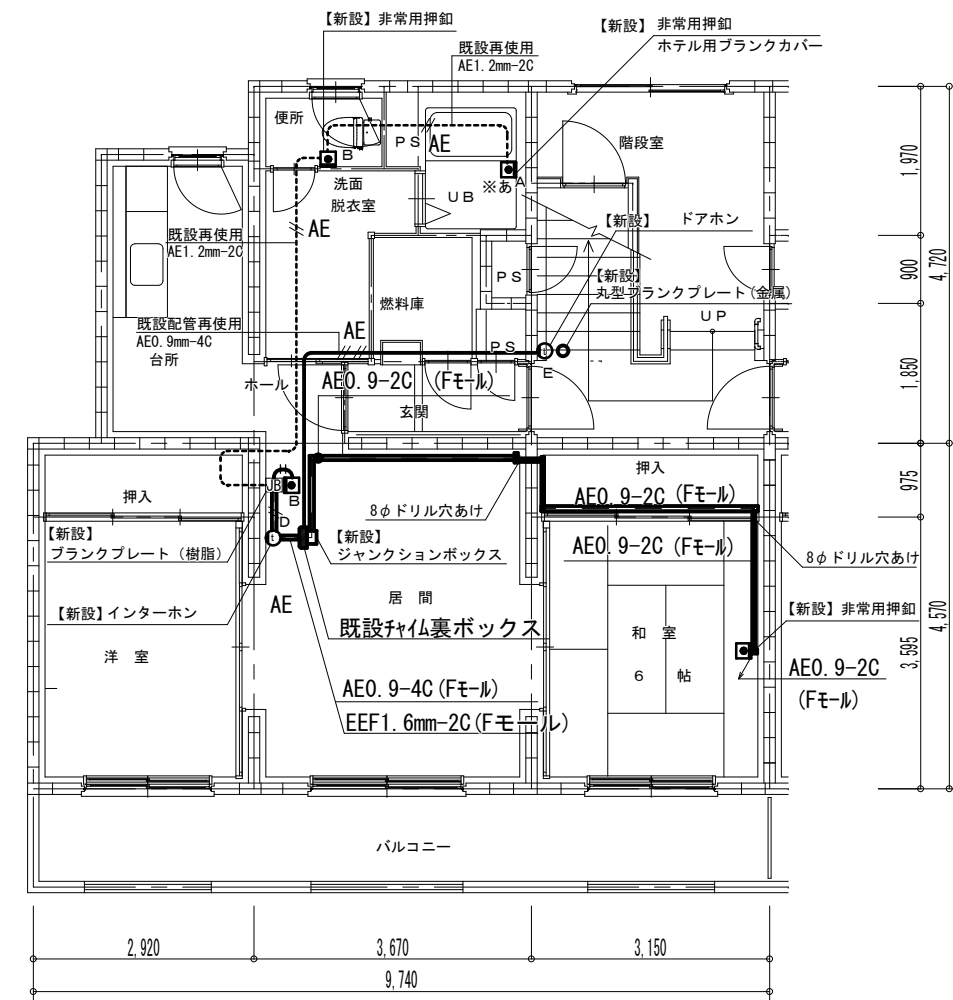


タイプA 既設平面詳細図

- (特記事項)
- 図中の撤去品は、建築工事にて産業廃棄物処理とする。
 - 居間・和室の新設押釦は、合成樹脂被り1個用浅型スイッチボックスを使用して取付とする。取付高さはH=600とする。
居間の既設ボックスはブラックプレートを取付とする。
便所の押釦は、既設ボックスに取付とする。
浴室押釦は横にずらし高さを200あげ紐がバスタブに当たらないようにする。
浴室の※あの押釦はユニットバス天井点検口によりインペイ配線とする。
壁フツコロを立ち下げてボックスに引き入れて、新設押釦に接続取付とする。
既設ボックスはホテル用ブラックカバー(防水)を取付とする。
 - 露出配線は、合成樹脂被り(Fモール1号)保護とする。
 - 不要となる配線は、端末処理の上ボックス内に収めること。
 - 図中の特記なき配線は下記とする。
- | | | |
|----|----------|-------------|
| AE | AE0.9-2C | 既設配線利用 |
| AE | AE0.9-4C | (既設配管) 新設配線 |
| AE | AE0.9-2C | (Fモール1号) |
- 施工にあたっては管理者と充分な協議を行い、住人とトラブルの無いよう留意のこと。
各住棟・住戸への施工連絡は、受注者側にて行うものとする。



記号	名称	備考
ⓐ	テレビドアホン	ハンズフリー 非常押釦付 電源直結式 新設
ⓑ	玄関ドアホン子機	露出型 警報表示付 新設
ⓒ	チャイム本体	露出型 (AC100V) 既設品撤去
ⓓ	チャイム 押し釦	露出型 既設品撤去
ⓔ	非常用押釦	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
ⓕ	非常用押釦	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
ⓖ	非常用押釦	防沫型 既設品撤去
ⓗ	非常用押釦	既設品撤去
ⓓ	ランプ付警報フリッカーバザー	1階のみ 既設品撤去
ⓓ	ジャンクションボックス	1連用腰高カバープレート付 新設



タイプA 改修平面詳細図

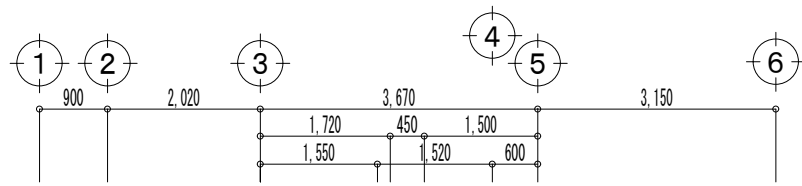
【撤去機器】
1階のみ

(注)チャイム本体と押し釦は2階の図面参照のこと。

<p>ⓓ 非常用押釦 防沫形 WS66412</p> <p>ON保持型</p>	<p>ランプ付警報フリッカーバザー</p>
<p>ⓗ 非常用押釦 WN4500</p>	<p>仕様 AC100V 6W 90 dB 防敵型 型式 EA5401K</p>

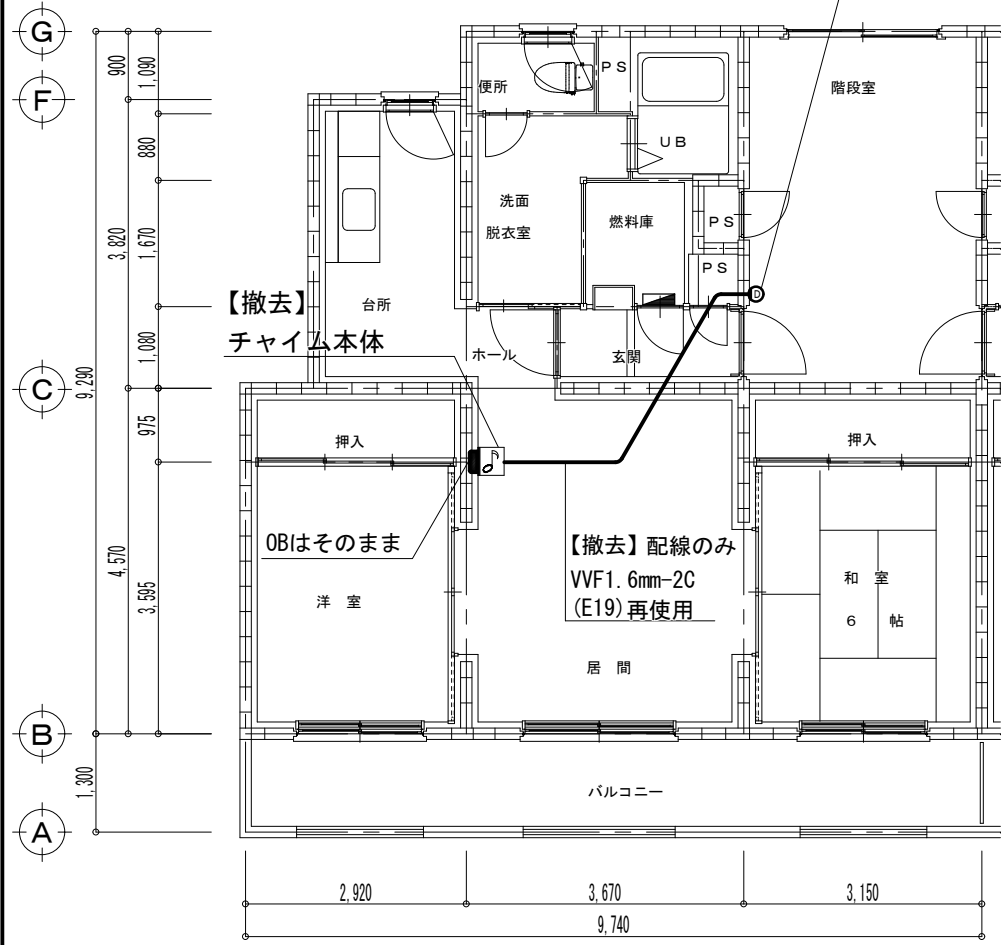
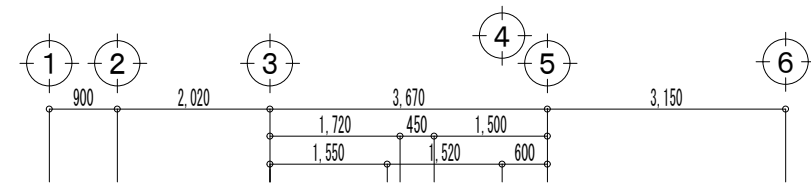
【新設機器】

<p>テレビドアホン親機 + 玄関ドアホン子機 セット (警報ランプ付き)</p> <table border="1"> <tr> <td>定 格</td> <td>AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)</td> <td>電源電圧</td> <td>待ち受け時: DC 約5 V, 動作時: DC 約20 V (ドアホン親機より供給)</td> </tr> <tr> <td>消費電力</td> <td>待機時 約2.3 W, 動作時 約8 W</td> <td>消費電流</td> <td>待ち受け時: DC 約2 mA, 動作時: DC 約130 mA</td> </tr> <tr> <td>質 量</td> <td>壁掛け金具無し: 約370 g, 壁掛け金具有り: 約405 g</td> <td>質 量</td> <td>約200g</td> </tr> <tr> <td>外観色調</td> <td>ホワイト</td> <td>外観色調</td> <td>表面パネル: シルバー、側面: ブラック</td> </tr> <tr> <td>画面表示</td> <td>約3.5 型カラー液晶ディスプレイ</td> <td>取付方法</td> <td>露出型: JIS1 個用スイッチボックス</td> </tr> </table> <p>参考型式 VL-SE35UXL (セット) 同等品以上</p>	定 格	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)	電源電圧	待ち受け時: DC 約5 V, 動作時: DC 約20 V (ドアホン親機より供給)	消費電力	待機時 約2.3 W, 動作時 約8 W	消費電流	待ち受け時: DC 約2 mA, 動作時: DC 約130 mA	質 量	壁掛け金具無し: 約370 g, 壁掛け金具有り: 約405 g	質 量	約200g	外観色調	ホワイト	外観色調	表面パネル: シルバー、側面: ブラック	画面表示	約3.5 型カラー液晶ディスプレイ	取付方法	露出型: JIS1 個用スイッチボックス	<p>ⓔ 非常用押釦 防沫形</p> <table border="1"> <tr> <td>定 格</td> <td>ON保持・微少電流形 (30mA 1.2V)</td> </tr> <tr> <td>形 状</td> <td>防沫形プレート・リード線付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>パイロットランプ付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プルスイッチ付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td> </tr> </table> <p>参考型式 WS66772 同等品以上</p>	定 格	ON保持・微少電流形 (30mA 1.2V)	形 状	防沫形プレート・リード線付		パイロットランプ付		プルスイッチ付		プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと	<p>ⓕ 非常用押釦</p> <table border="1"> <tr> <td>定 格</td> <td>ON保持・微少電流形 (30mA 1.2V)</td> </tr> <tr> <td>形 状</td> <td>防沫形プレート・リード線付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>パイロットランプ付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プルスイッチ付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td> </tr> </table> <p>参考型式 WS66772 同等品以上</p>	定 格	ON保持・微少電流形 (30mA 1.2V)	形 状	防沫形プレート・リード線付		パイロットランプ付		プルスイッチ付		プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと
定 格	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)	電源電圧	待ち受け時: DC 約5 V, 動作時: DC 約20 V (ドアホン親機より供給)																																							
消費電力	待機時 約2.3 W, 動作時 約8 W	消費電流	待ち受け時: DC 約2 mA, 動作時: DC 約130 mA																																							
質 量	壁掛け金具無し: 約370 g, 壁掛け金具有り: 約405 g	質 量	約200g																																							
外観色調	ホワイト	外観色調	表面パネル: シルバー、側面: ブラック																																							
画面表示	約3.5 型カラー液晶ディスプレイ	取付方法	露出型: JIS1 個用スイッチボックス																																							
定 格	ON保持・微少電流形 (30mA 1.2V)																																									
形 状	防沫形プレート・リード線付																																									
	パイロットランプ付																																									
	プルスイッチ付																																									
	プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと																																									
定 格	ON保持・微少電流形 (30mA 1.2V)																																									
形 状	防沫形プレート・リード線付																																									
	パイロットランプ付																																									
	プルスイッチ付																																									
	プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと																																									



221号室 Aタイプ	220号室 Bタイプ
211号室 Aタイプ	210号室 Bタイプ

2号棟 立面配置図 (南面視図)



2号棟 2階 タイプA 既設平面詳細図

(特記事項)

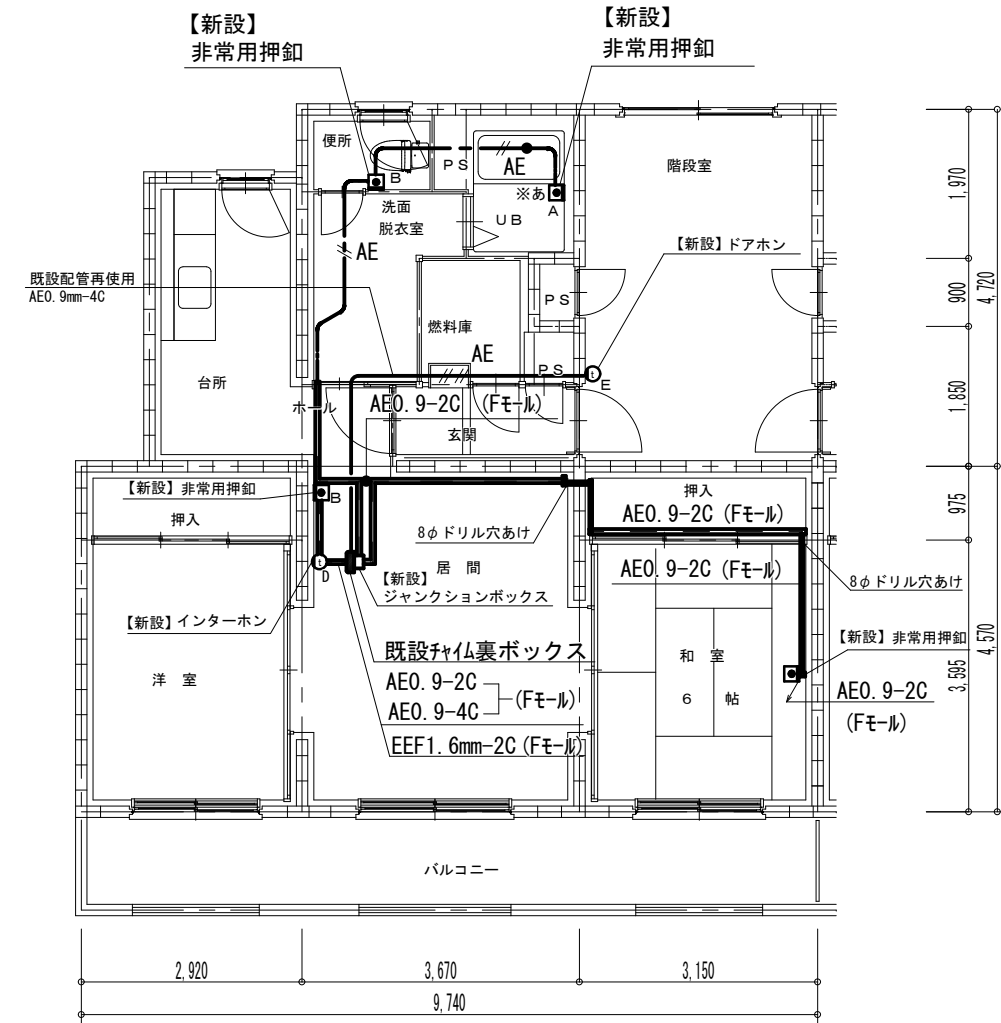
- 図中の撤去品は、建築工事にて産業廃棄物処理とする。
- 居間・和室・便所の新設押し錠は、合成樹脂びり1個用浅型スイッチボックスを使用して取付とする。取付高さはH=600とする。
浴室押し錠は手すりに当たらないよう位置とする。
浴室の※アの押し錠はユニットバス天井点検口によりインペイ配線とする。
壁フタを立ち下げてボックスに引き入れて、新設押し錠に接続取付とする。
- 露出配線は、合成樹脂びり(Fモール1号)保護とする。
- 不要となる配線は、端末処理の上ボックス内に収めること。
- 図中の特記なき配線は下記とする。

AE	AEO. 9-2C	既設配線利用
AE	AEO. 9-4C	(既設配管) 新設配線
AE	AEO. 9-2C	(Fモール1号)

- 施工にあたっては管理者と十分な協議を行い、住人とトラブルの無いよう留意のこと。
各住棟・住戸への施工連絡は、受注者側にて行うものとする。



記号	名称	備考
ⓐ	テレビドアホン	ハンズフリー 非常押し錠付 電源直結式 新設
ⓑ	玄関ドアホン子機	露出型 警報表示付 新設
Ⓒ	チャイム本体	露出型 (AC100V) 既設品撤去
Ⓓ	チャイム押し錠	露出型 既設品撤去
ⒺA	非常用押し錠	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
ⒺB	"	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
ⒺC	"	防沫型 既設品撤去
ⒺD	"	防沫型 既設品撤去
ⓑP	ランプ付警報フリッカーパーザー	1階のみ 既設品撤去
□	ジャンクションボックス	1連用腰高カバープレート付 新設



2号棟 2階 タイプA 改修平面詳細図

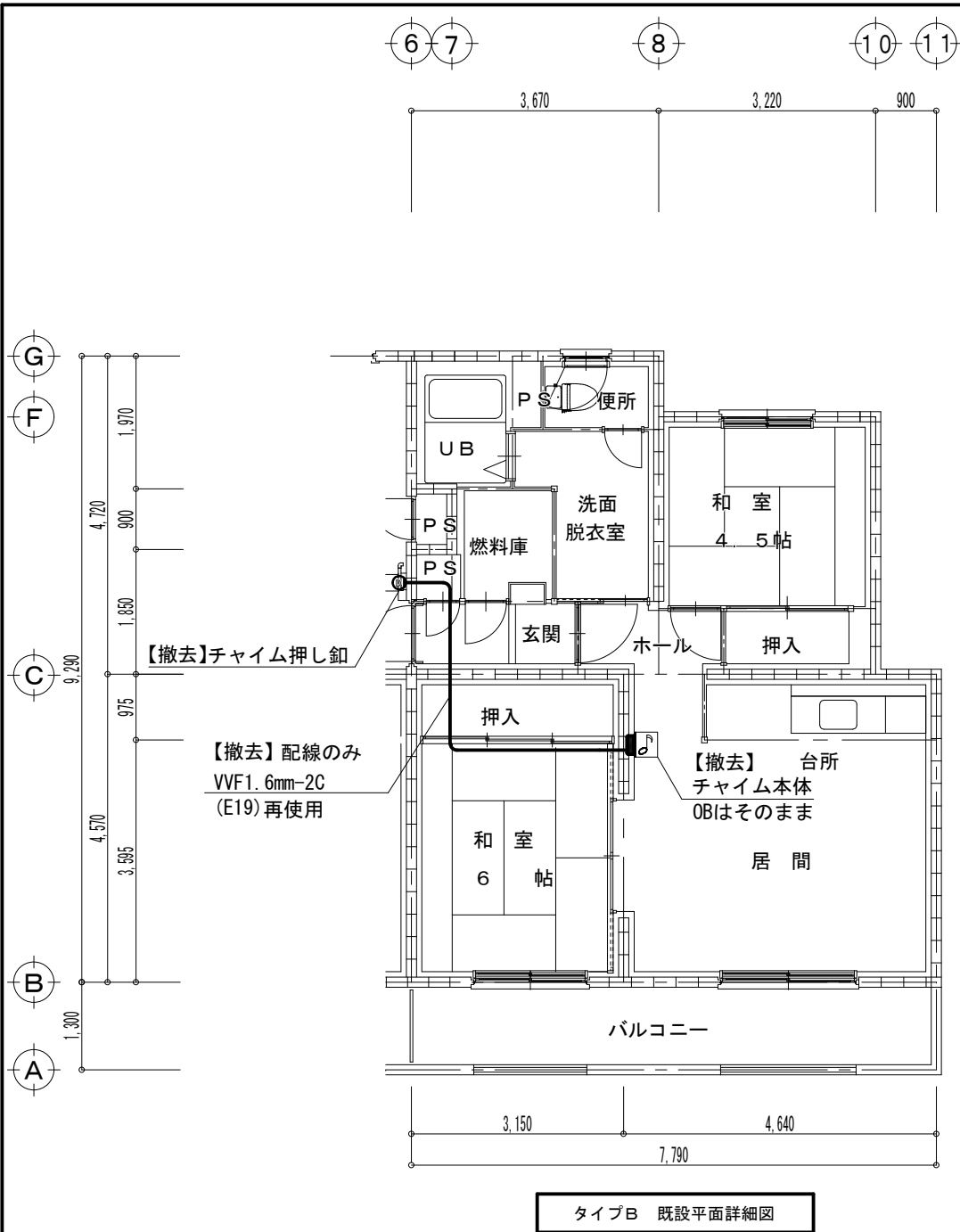
【撤去チャイム機器】

<p>ⓐ チャイム押し錠</p> <p>樹脂製</p>	<p>Ⓒ チャイム本体</p> <p>AC100V</p>
-----------------------------	-------------------------------

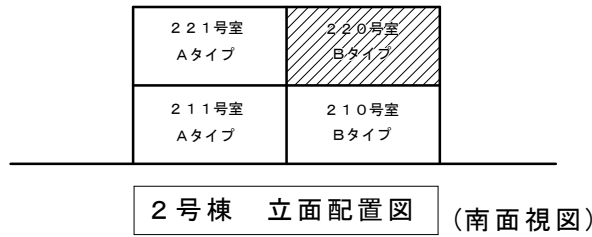
【新設機器】

<p>テレビドアホン親機 + 玄関ドアホン子機 セット (警報ランプ付き)</p> <table border="1"> <tr> <td>定 格</td> <td>AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)</td> <td>電源電圧</td> <td>待ち受け時: DC 約5 V、 動作時: DC 約20 V (ドアホン親機より供給)</td> </tr> <tr> <td>消費電力</td> <td>待機時 約2.3 W、動作時 約8 W</td> <td>消費電流</td> <td>待ち受け時: DC 約2 mA、動作時: DC 約130 mA</td> </tr> <tr> <td>質 量</td> <td>壁掛け金具無し: 約370 g 壁掛け金具有り: 約405 g</td> <td>質 量</td> <td>約200g</td> </tr> <tr> <td>外観色調</td> <td>ホワイト</td> <td>外観色調</td> <td>表面パネル: シルバー、側面: ブラック</td> </tr> <tr> <td>画面表示</td> <td>約3.5 型カラー液晶ディスプレイ</td> <td>取付方法</td> <td>露出型: JIS1 個用スイッチボックス</td> </tr> </table> <p>参考型式 VL-SE35UXL (セット) 同等品以上</p>	定 格	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)	電源電圧	待ち受け時: DC 約5 V、 動作時: DC 約20 V (ドアホン親機より供給)	消費電力	待機時 約2.3 W、動作時 約8 W	消費電流	待ち受け時: DC 約2 mA、動作時: DC 約130 mA	質 量	壁掛け金具無し: 約370 g 壁掛け金具有り: 約405 g	質 量	約200g	外観色調	ホワイト	外観色調	表面パネル: シルバー、側面: ブラック	画面表示	約3.5 型カラー液晶ディスプレイ	取付方法	露出型: JIS1 個用スイッチボックス	<p>ⒺA 非常用押し錠 防沫形</p> <table border="1"> <tr> <td>定 格</td> <td>ON保持・微小電流形 (30mA 12V)</td> </tr> <tr> <td>形 状</td> <td>防沫形プレート・リード線付 パイロットランプ付 プルスイッチ付 プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td> </tr> <tr> <td>参考型式</td> <td>WS66772 同等品以上</td> </tr> </table>	定 格	ON保持・微小電流形 (30mA 12V)	形 状	防沫形プレート・リード線付 パイロットランプ付 プルスイッチ付 プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと	参考型式	WS66772 同等品以上	<p>ⒺB 非常用押し錠</p> <table border="1"> <tr> <td>定 格</td> <td>ON保持・微小電流形 (30mA 12V)</td> </tr> <tr> <td>形 状</td> <td>防沫形プレート・リード線付 パイロットランプ付 プルスイッチ付 プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td> </tr> <tr> <td>参考型式</td> <td>WS66772 同等品以上</td> </tr> </table>	定 格	ON保持・微小電流形 (30mA 12V)	形 状	防沫形プレート・リード線付 パイロットランプ付 プルスイッチ付 プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと	参考型式	WS66772 同等品以上
定 格	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)	電源電圧	待ち受け時: DC 約5 V、 動作時: DC 約20 V (ドアホン親機より供給)																															
消費電力	待機時 約2.3 W、動作時 約8 W	消費電流	待ち受け時: DC 約2 mA、動作時: DC 約130 mA																															
質 量	壁掛け金具無し: 約370 g 壁掛け金具有り: 約405 g	質 量	約200g																															
外観色調	ホワイト	外観色調	表面パネル: シルバー、側面: ブラック																															
画面表示	約3.5 型カラー液晶ディスプレイ	取付方法	露出型: JIS1 個用スイッチボックス																															
定 格	ON保持・微小電流形 (30mA 12V)																																	
形 状	防沫形プレート・リード線付 パイロットランプ付 プルスイッチ付 プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと																																	
参考型式	WS66772 同等品以上																																	
定 格	ON保持・微小電流形 (30mA 12V)																																	
形 状	防沫形プレート・リード線付 パイロットランプ付 プルスイッチ付 プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと																																	
参考型式	WS66772 同等品以上																																	

CONSTRUCTION TITLE	DRAWING NAME	SCALE	DATE	interior desing project	代表となる設計者	1級建築士登録 (大臣) 210079 号	NUMBER
広野団地個別改善工事	R-2号棟 2階 タイプA インターホン設備設置配線図	1:100	2025. 9. 17	1級建築士事務所 (十) 404 号 まちの建築家 あくていぶネット協同組合 帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655	管理建築士	成田 斉 1級建築士登録 (大臣) 158816 号 佐藤 有宏	E - 203

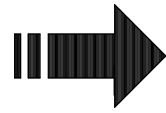


タイプB 既設平面詳細図

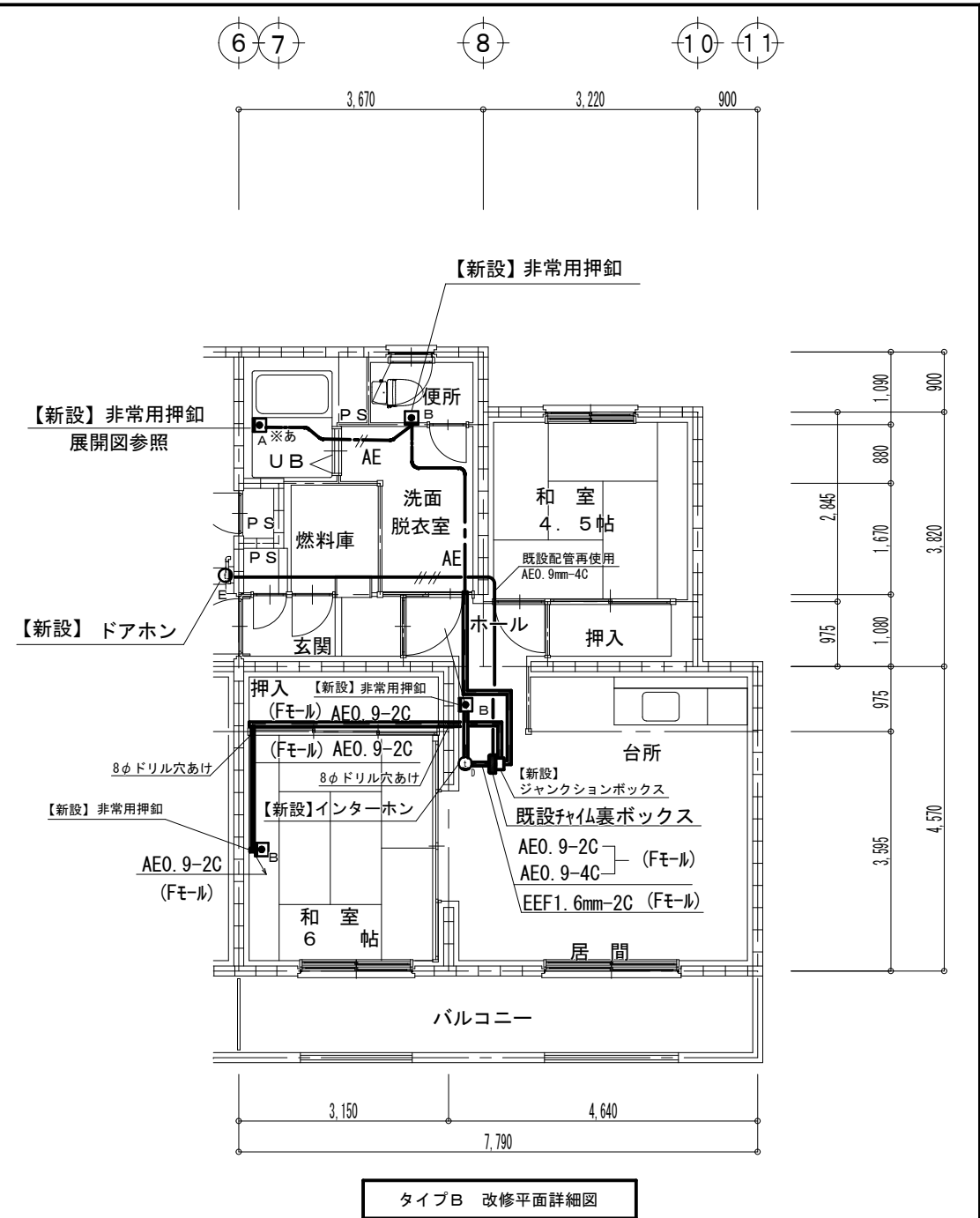


2号棟 立面配置図 (南面視図)

- (特記事項)
- 図中の撤去品は、建築工事にて産業廃棄物処理とする。
 - 居間・和室・便所の新設押釦は、合成樹脂製び1個用浅型スイッチボックスを使用して取付とする。取付高さはH=600とする。
浴室押釦は手すりに当たらないよう位置とする。
浴室の※あの押釦はユニットバス天井点検口によりインベイ配線とする。
壁フタコロを立ち上げてボックスに引き入れて、新設押釦に接続取付とする。
 - 露出配線は、合成樹脂製び(Fモール1号)保護とする。
 - 不要となる配線は、端末処理の上ボックス内に収めること。
 - 図中の特記なき配線は下記とする。
- AE AEO. 9-2C 既設配線利用
 AE AEO. 9-4C (既設配管) 新設配線
 AF AEO. 9-2C (Fモール1号)
- 施工にあたっては管理者と充分な協議を行い、住人とトラブルの無いよう留意のこと。
各住棟・住戸への施工連絡は、受注者側にて行うものとする。



凡 例 表		
記号	名称	備 考
⓪	テレビドアホン	ハンズフリー 非常押釦付 電源直結式 新設
⓪ _E	玄関ドアホン子機	露出型 警報表示付 新設
⓪ _D	チャイム本体	露出型 (AC100V) 既設品撤去
⓪ _D	チャイム 押し釘	露出型 既設品撤去
⓪ _A	非常用押釦	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
⓪ _B	〃	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
⓪ _C	〃	防沫型 既設品撤去
⓪ _H	〃	防沫型 既設品撤去
⓪ _{BP}	ランプ付警報フリッカーパーサー	1階のみ 既設品撤去
⓪	ジャンクションボックス	1連用腰高カバープレート付 新設



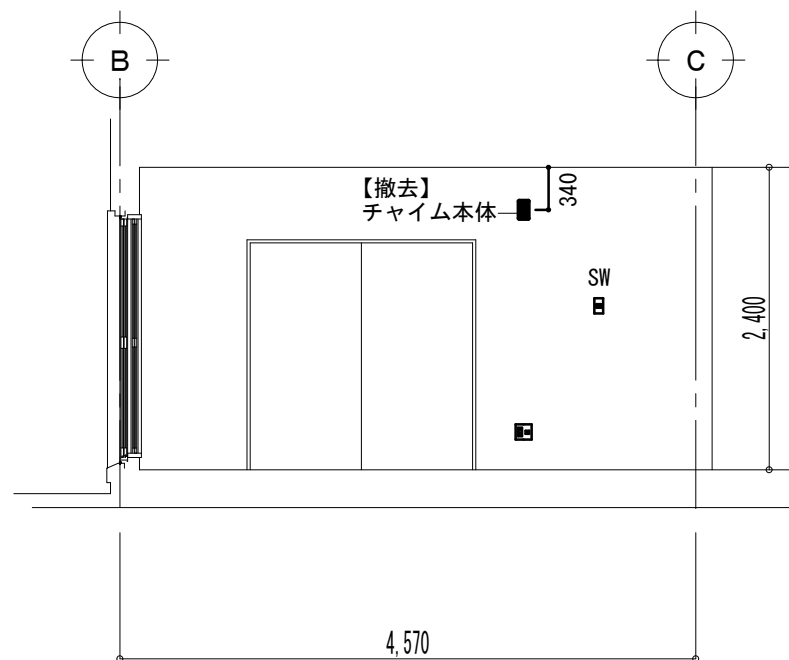
タイプB 改修平面詳細図

【撤去チャイム機器】全戸共通

<p>⓪ チャイム押し釘</p> <p>玄関 樹脂製</p>	<p>⓪_D チャイム本体</p> <p>居間 AC100V</p>
--------------------------------	--

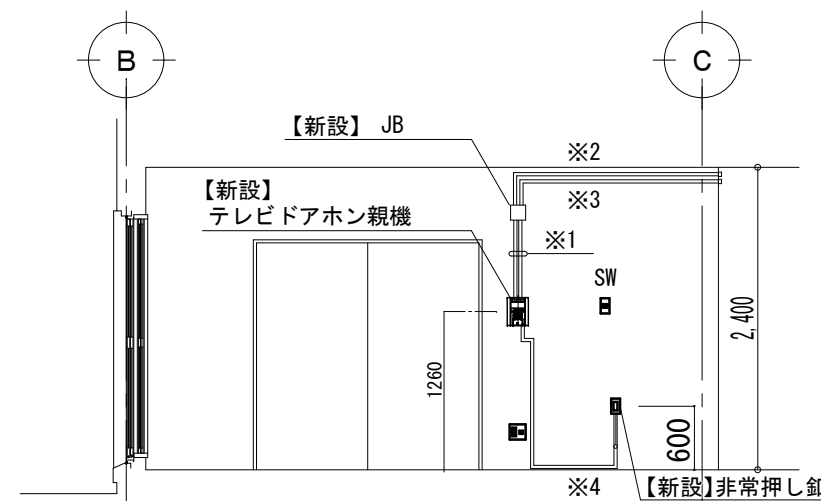
【新設機器】

<p>テレビドアホン親機 + 玄関ドアホン子機 セット (警報ランプ付き)</p> <table border="1"> <tr><td>定 格</td><td>AC 100 V (50 Hz/60 Hz)</td></tr> <tr><td>消費電力</td><td>待機時 約2.3 W、動作時 約8 W</td></tr> <tr><td>質 量</td><td>壁掛け金具無し: 約370 g 壁掛け金具有り: 約405 g</td></tr> <tr><td>外観色調</td><td>ホワイト</td></tr> <tr><td>画面表示</td><td>約3.5 型カラー液晶ディスプレイ</td></tr> <tr><td>参考型式</td><td>VL-SE35UXL (セット) 同等品以上</td></tr> </table>	定 格	AC 100 V (50 Hz/60 Hz)	消費電力	待機時 約2.3 W、動作時 約8 W	質 量	壁掛け金具無し: 約370 g 壁掛け金具有り: 約405 g	外観色調	ホワイト	画面表示	約3.5 型カラー液晶ディスプレイ	参考型式	VL-SE35UXL (セット) 同等品以上	<p>⓪_A 非常用押釦 防沫形</p> <table border="1"> <tr><td>定 格</td><td>ON保持・微小電流形 (30 mA 1.2 V)</td></tr> <tr><td>形 状</td><td>防沫形プレート・リード線付</td></tr> <tr><td></td><td>パイロットランプ付</td></tr> <tr><td></td><td>プルスイッチ付</td></tr> <tr><td></td><td>プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td></tr> <tr><td>参考型式</td><td>WS66772 同等品以上</td></tr> </table>	定 格	ON保持・微小電流形 (30 mA 1.2 V)	形 状	防沫形プレート・リード線付		パイロットランプ付		プルスイッチ付		プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと	参考型式	WS66772 同等品以上	<p>⓪_B 非常用押釦</p> <table border="1"> <tr><td>定 格</td><td>ON保持・微小電流形 (30 mA 1.2 V)</td></tr> <tr><td>形 状</td><td>防沫形プレート・リード線付</td></tr> <tr><td></td><td>パイロットランプ付</td></tr> <tr><td></td><td>プルスイッチ付</td></tr> <tr><td></td><td>プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td></tr> <tr><td>参考型式</td><td>WS66772 同等品以上</td></tr> </table>	定 格	ON保持・微小電流形 (30 mA 1.2 V)	形 状	防沫形プレート・リード線付		パイロットランプ付		プルスイッチ付		プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと	参考型式	WS66772 同等品以上
定 格	AC 100 V (50 Hz/60 Hz)																																					
消費電力	待機時 約2.3 W、動作時 約8 W																																					
質 量	壁掛け金具無し: 約370 g 壁掛け金具有り: 約405 g																																					
外観色調	ホワイト																																					
画面表示	約3.5 型カラー液晶ディスプレイ																																					
参考型式	VL-SE35UXL (セット) 同等品以上																																					
定 格	ON保持・微小電流形 (30 mA 1.2 V)																																					
形 状	防沫形プレート・リード線付																																					
	パイロットランプ付																																					
	プルスイッチ付																																					
	プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと																																					
参考型式	WS66772 同等品以上																																					
定 格	ON保持・微小電流形 (30 mA 1.2 V)																																					
形 状	防沫形プレート・リード線付																																					
	パイロットランプ付																																					
	プルスイッチ付																																					
	プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと																																					
参考型式	WS66772 同等品以上																																					



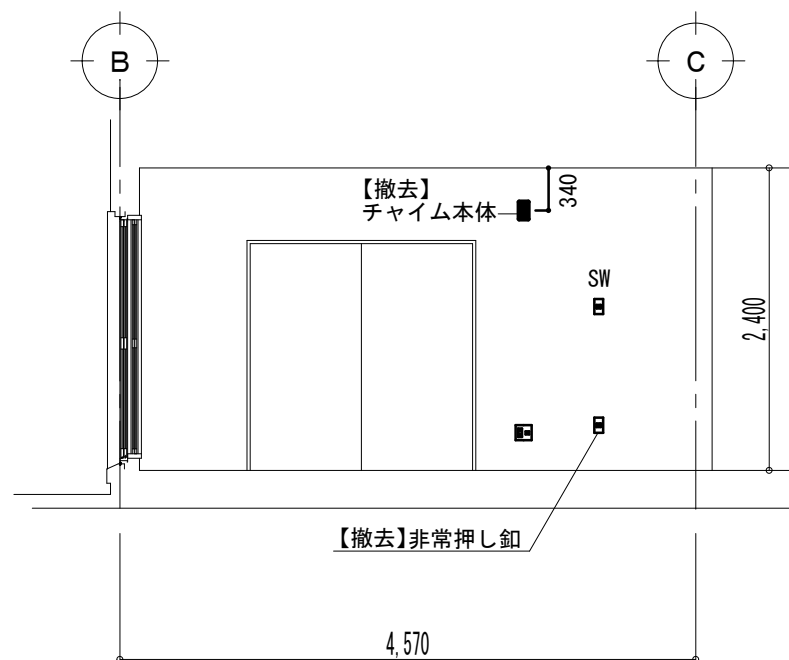
2号棟 2階
撤去既設展開図

AタイプBタイプ共通



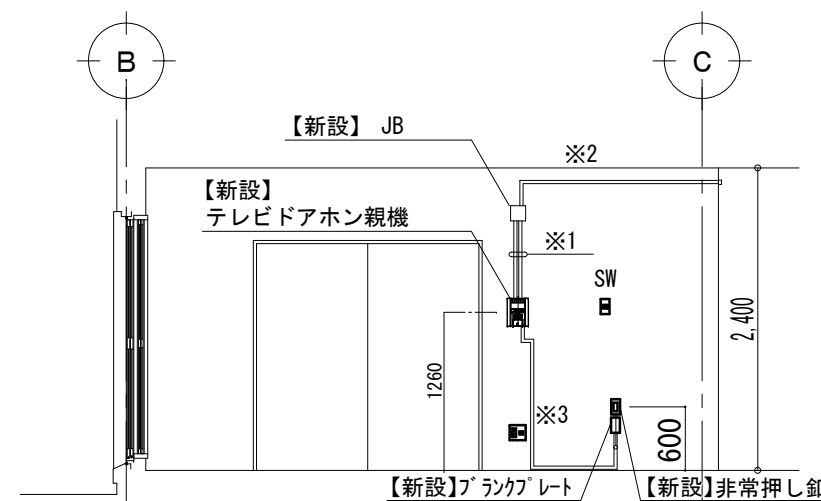
- ※1 EEF1.6-2C AC100V電源 (Fモール)
- AE1.2-4C ドアホンより
- AE1.2-2C 寝室非常ボタンへ (Fモール)
- ※2 AE1.2-2C 寝室非常ボタンへ (Fモール)
- ※3 AE1.2-2C 浴室・トイレ非常ボタン (Fモール)
- ※4 AE1.2-2C 居間非常ボタン (Fモール)

改修後展開図



2号棟 1階
撤去既設展開図

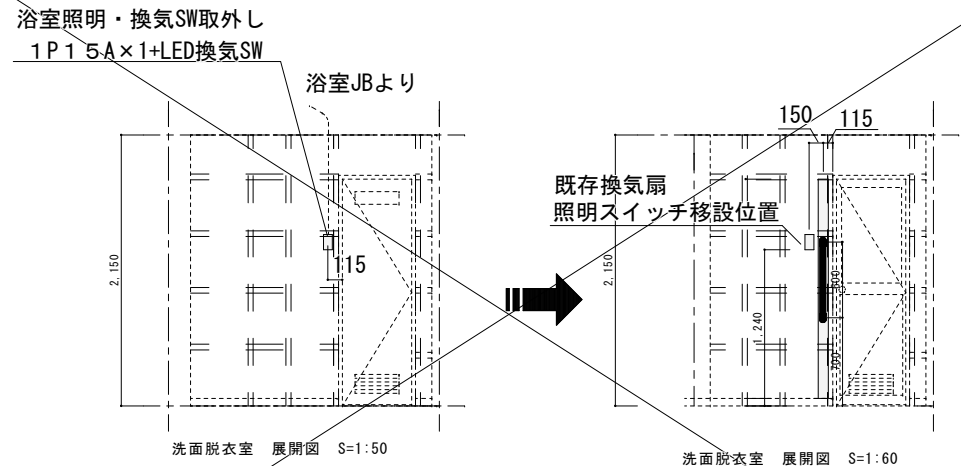
AタイプBタイプ共通



- ※1 EEF1.6-2C AC100V電源 (Fモール)
- AE1.2-4C ドアホンより
- AE1.2-2C 寝室非常ボタンへ (Fモール)
- ※2 AE1.2-2C 寝室非常ボタンへ (Fモール)
- ※3 AE1.2-2C 居間・浴室・トイレ非常ボタン

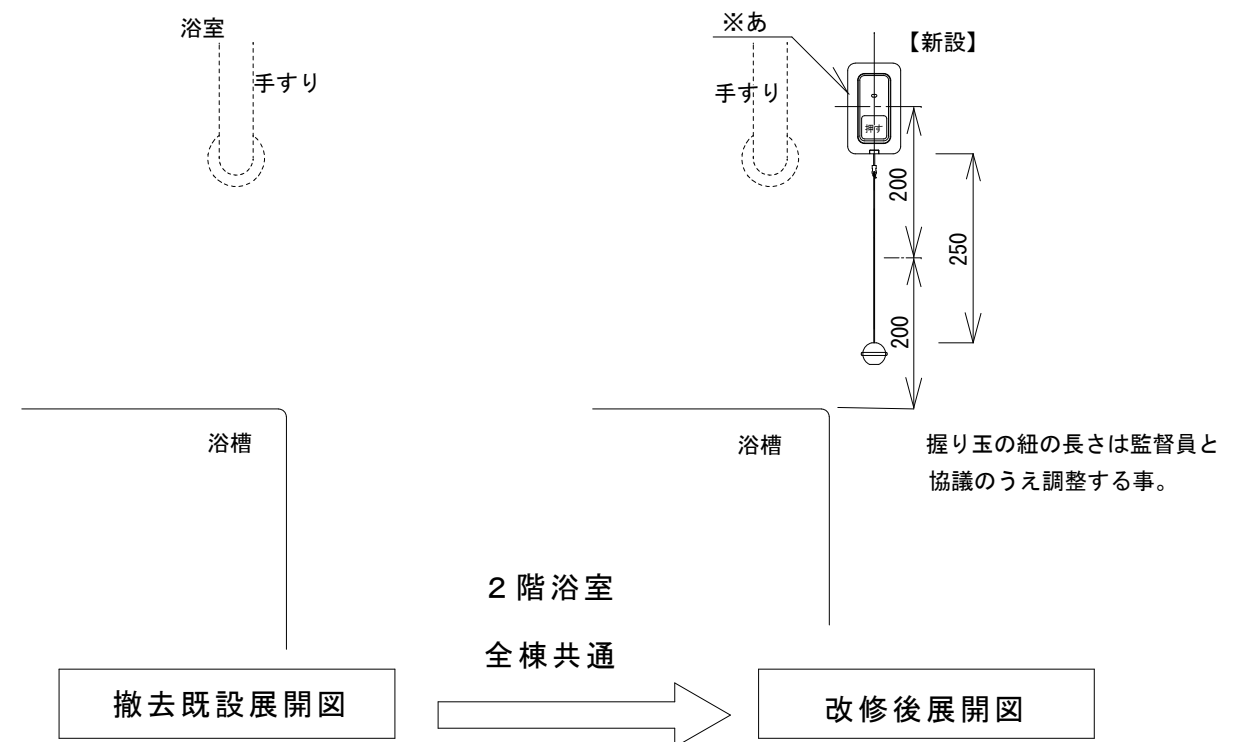
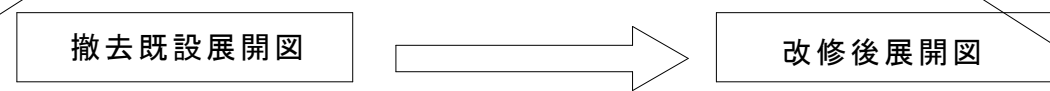
改修後展開図

CONSTRUCTION TITLE 広野団地個別改善工事	DRAWING NAME R-2号棟 居間 インターホン設備設置展開図	SCALE 1:60	DATE 2025.9.17	interior desing project 1級建築士事務所 (十) 404号 まちの建築家 あくていぶネット協同組合 帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655	代表となる設計者 成田 斉	1級建築士登録(大臣) 210079号	NUMBER E-205
					管理建築士 佐藤 有宏	1級建築士登録(大臣) 158816号	

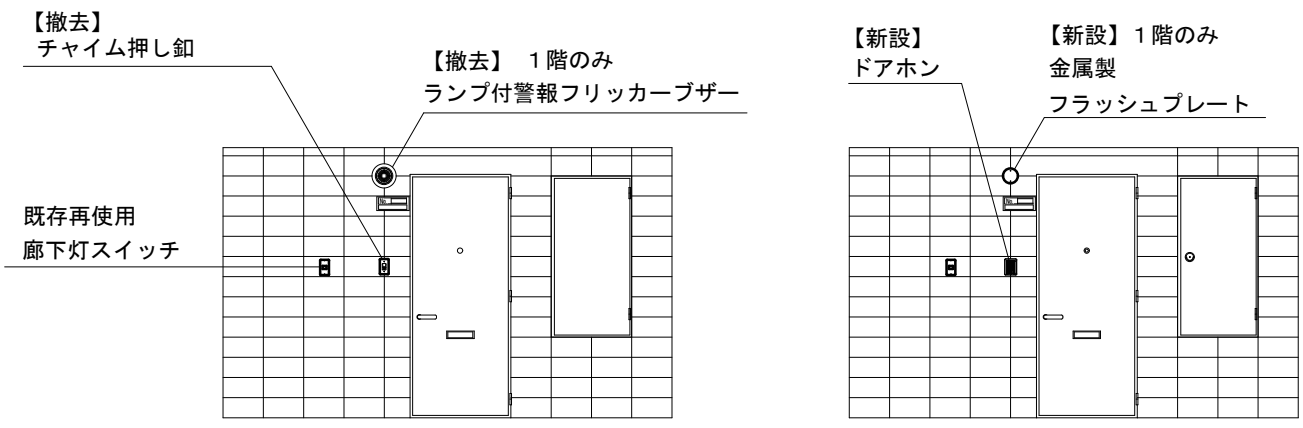


浴室スイッチ移設 S=1:60

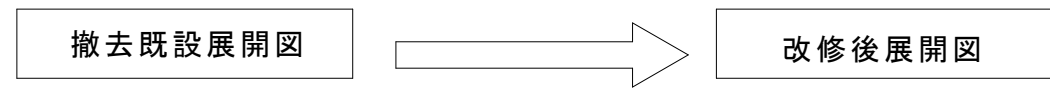
R-2号棟全戸該当なし



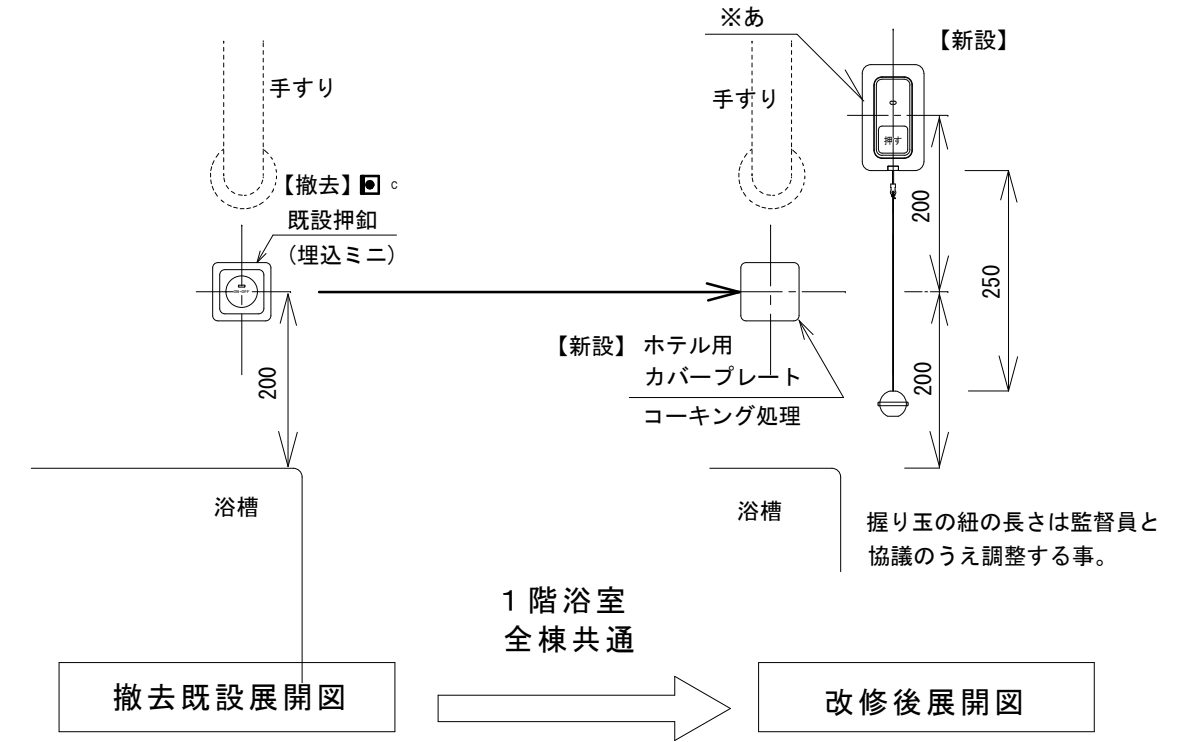
※あ E201・E202図の新設機器 姿図参照
取付はE201・E202図の特記事項を参照し、はさみ金具で取り付ける。



玄関(廊下側) 全棟共通



2号棟ランプ付警報フリッカーカバーの撤去は1階のみ(210号室・211号室・212号室)



□◦ E201・E202図の撤去機器 姿図参照
※あ E201・E202図の新設機器 姿図参照
取付はE201・E202図の特記事項を参照し、はさみ金具で取り付ける。

CONSTRUCTION TITLE	DRAWINGNAME	SCALE	DATE	interior desing project	代表となる設計者	1級建築士登録(大臣) 210079号	NUMBER
広野団地個別改善工事	R-2号棟 浴室・脱衣室・玄関 インターホン設備設置展開図	1:60	2025.9.17	1級建築士事務所 (十)404号 まちの建築家 あくていぶネット協同組合 帯広市西16南6丁目3番18号 TEL 0155-66-6655	成田 斉	成田 斉	E-206
					管理建築士	1級建築士登録(大臣) 158816号 佐藤 有宏	